

2021（令和3）年度

弘前学院大学

「学修行動・学修成果アンケート調査」

実施結果報告書

## まえがき

大学生を取り巻く環境は、現在急激に変化しつつある。学生生活、大学生活のあり方もそれにつれて大きく変化してきている。

こうした状況において、学生たちの学修行動や、学修の成果にはどのような変化が生まれているのであろうか。学生に対する支援のあり方をどのように進めて行くか、その方向性を探るためにも、学修行動の実態や学修成果の状況を定期的に把握していかなければならない。

こうした調査は本学では従来学部では実施されてきたものではあるが、大学全体として統一的に行うのは一昨年度の第1回目につき今回が3回目である。

大学教育の質の保証について、その充実・向上、点検・検証、それらを踏まえた改善というサイクルが求められており、本学でも全学的教学マネジメント体制を整備しつつ、教育の質保証に係る評価の一環として、昨年度に引き続き、学士課程教育の検証を目的として、学生の成長実感、満足度に焦点を当て、初年次教育、教養教育、専門教育の成果・効果を測るために、あわせてその支援体制としての学修環境・学生生活に関する意見を求めた。

こうして、本学の教育の有効性を検証するとともに、外部への説明責任を果たすべく、昨年を引き続き、その結果を公表するものである。

### 目 次

まえがき

I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項 (1)

II 実施結果 (3)

III 資料

(1) 回収状況等 (62)

(2) 学修行動・学修成果アンケート調査票 (63)

(3) 自由記述 (68)

あとがき

# I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項

弘前学院大学FD委員会

## はじめに

「弘前学院大学教育推進会議」規程第3条及び「大学FD委員会」規程第5条に基づき、本学の教育の質保証に係る評価の一環として、全学学生の学修に関する調査を実施する。

## 1. 目的

弘前学院大学の教育の質保証について、本学の学士課程教育の有効性の検証を行うべく、本学学生における学修行動、学修成果に関して、学生の意識、行動、学修充実度等の調査・分析の実施、および点検・評価を行い、その結果を踏まえて、教育課程・教育方法・教育内容等の改善、充実に資することを目的とする。

## 2. 調査内容

### A 学修行動

1. 授業以外の諸活動（部活、ボランティア活動、アルバイト）
2. 勉学状況

登校・出席状況、受講時間、授業への関心度、授業の難易度、授業への取組、事前事後学修・関連学修、授業以外の学修行動（読書、新聞、定期的購読誌等、インターネット使用、ゲーム等）

### B 学修成果

1. 教育理念（建学精神）、2つのポリシー
2. 外国語能力
3. ICTリテラシー
4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル
5. 総合的な力

- 自己の資質、能力の変化、向上
- 表現する力の変化、向上
- 他者と協働する力の変化、向上

### C その他—大学満足度

自由記述—弘前学院大学に対する要望

## 3. 設問内容

資料：「学修行動・学修成果アンケート調査票」参照

#### 4. 調査主体

大学 FD 委員会、I R 室。

#### 5. 調査時期

回収率及び調査の精度を上げるため、以下のように実施する。

##### ①調査学年1年生～3年生について

新年度（すなわち新2年生～新4年生）の在学生オリエンテーション時  
…2022（令和4）年4月2日（土）に実施。

##### ②調査学年4年生について

学位記授与式の前日の予行日（リハーサル時）  
…2022（令和4）年3月11日（金）に実施。

#### 6. 調査方法

アンケート用紙と回答用紙の配布、回収

#### 7. 調査対象者（卒業予定者数、回収数、回収率）

弘前学院大学の全学部全学年学生

#### 8. 実施体制

大学 FD 委員会及び各学部 FD 委員会。

## II 実施結果

### 問1 所属について

学部	学科（コース）	1年	2年	3年	4年
文学部	英語・英米文学科	27	31	21	21
	日本語・日本文学科	44	43	36	30
社会福祉学部	社会福祉実践コース	34	34	24	27
	人間科学コース	3	13	13	12
看護学部	看護学科	46	64	53	59

なお「Ⅲ 資料（1）回収状況等」（62ページ）も参照されたい。

### 問2 居住形態について

居住形態は次のとおりである（回答数 635 〈未回答 7〉）。

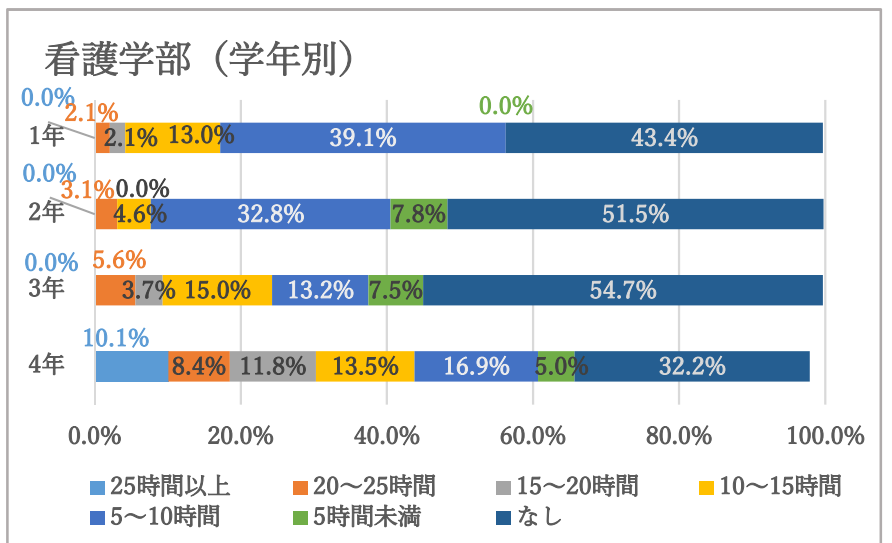
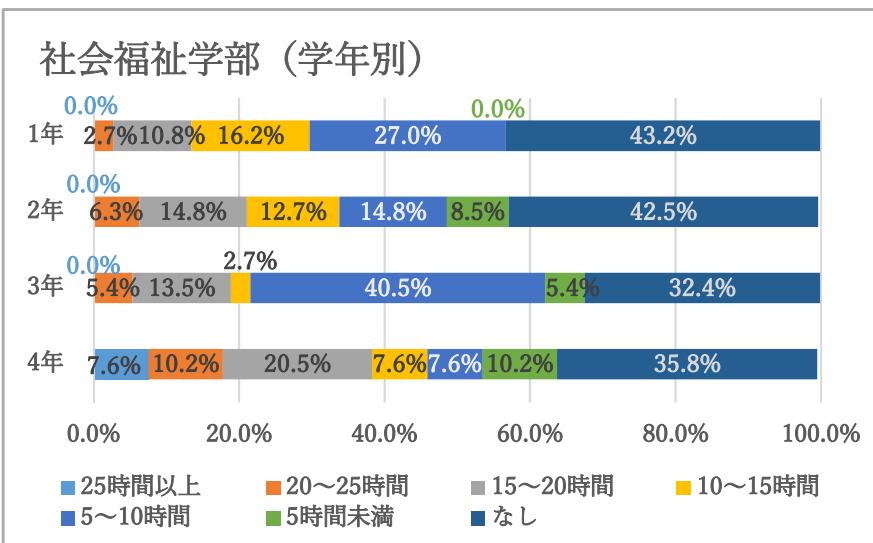
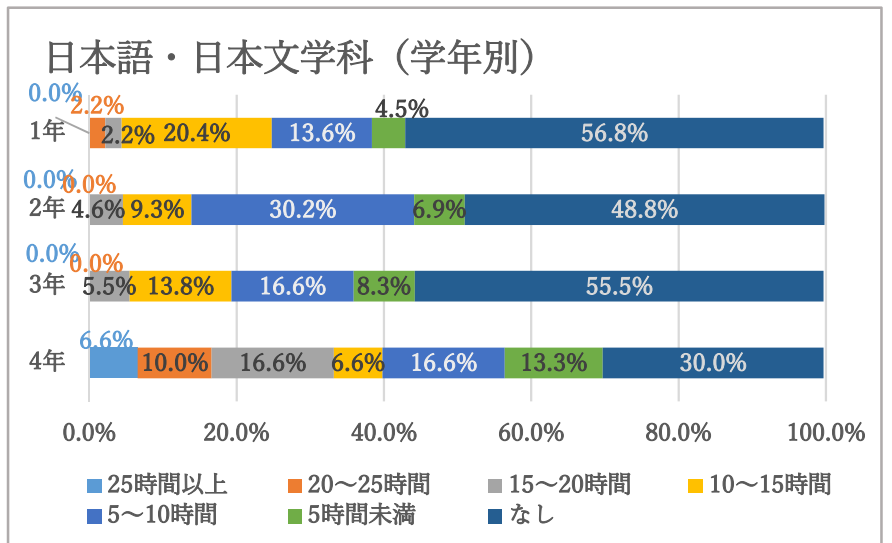
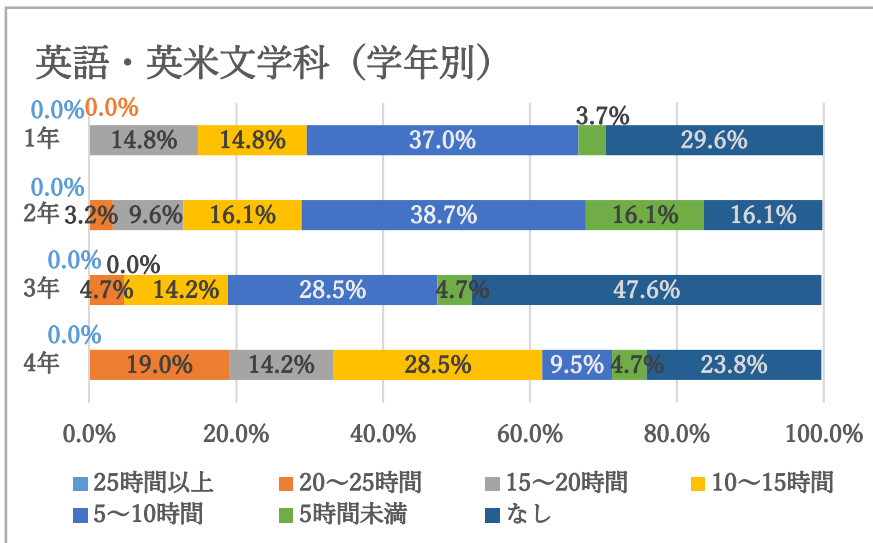
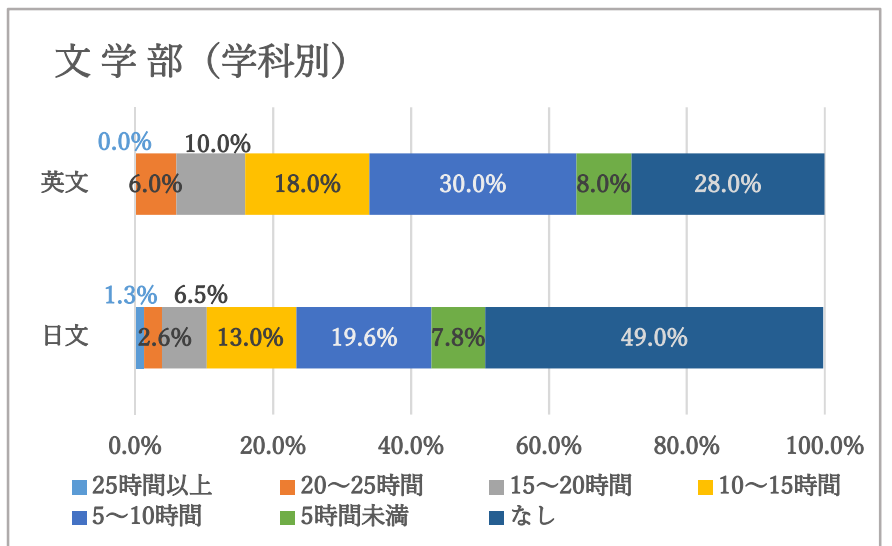
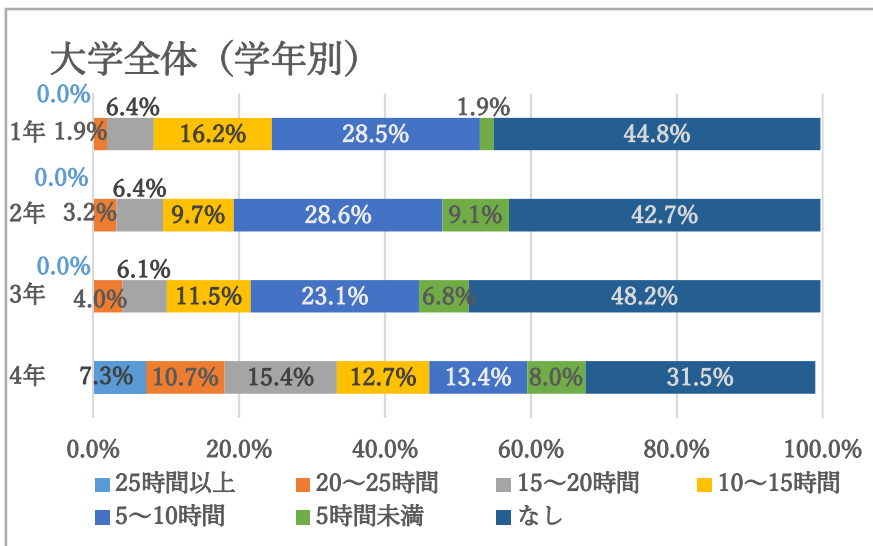
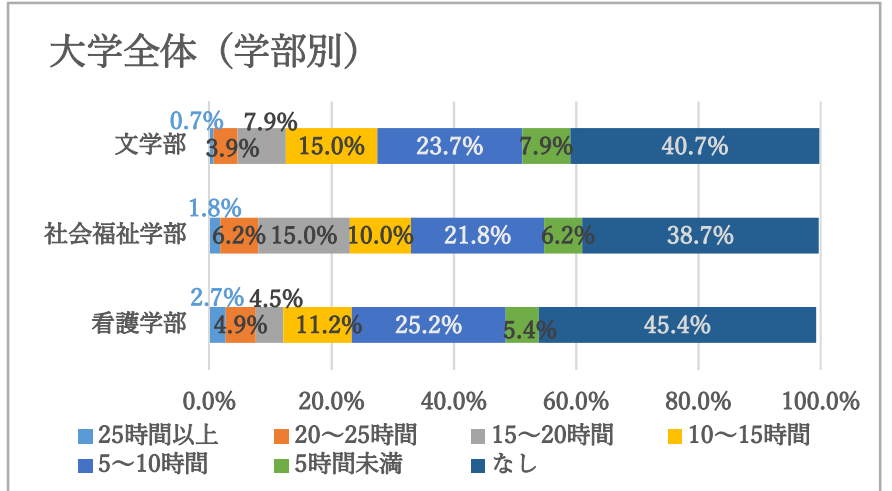
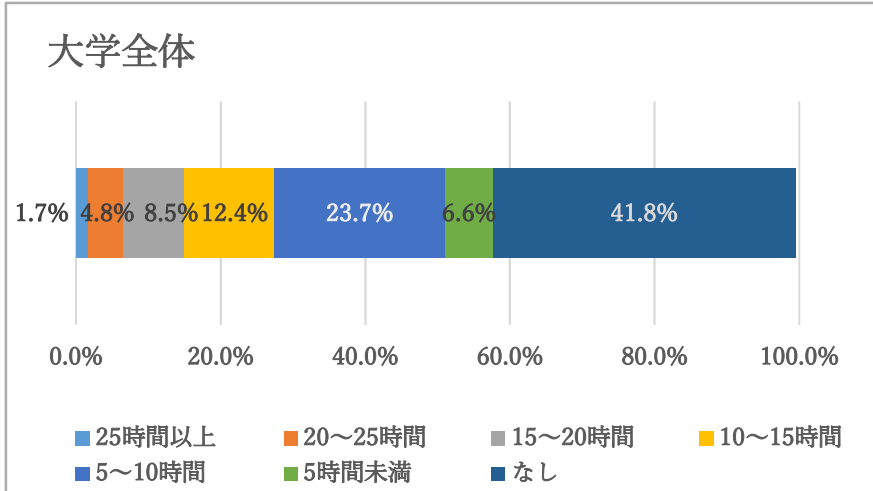
学部 \ 居住形態	自宅	下宿	アパート
文学部	182人 (71.9%)	13人 (5.1%)	57人 (22.5%)
社会福祉学部	114人 (71.2%)	9人 (5.6%)	34人 (21.2%)
看護学部	128人 (57.6%)	22人 (9.9%)	69人 (31.1%)
大学全体 635人	424人 (66.7%)	44人 (6.9%)	160人 (25.1%)

なお、全体として学年による差は見られなかった。また文学部の学科（英語英米文学科・日本語日本文学科）による差も見られなかった。

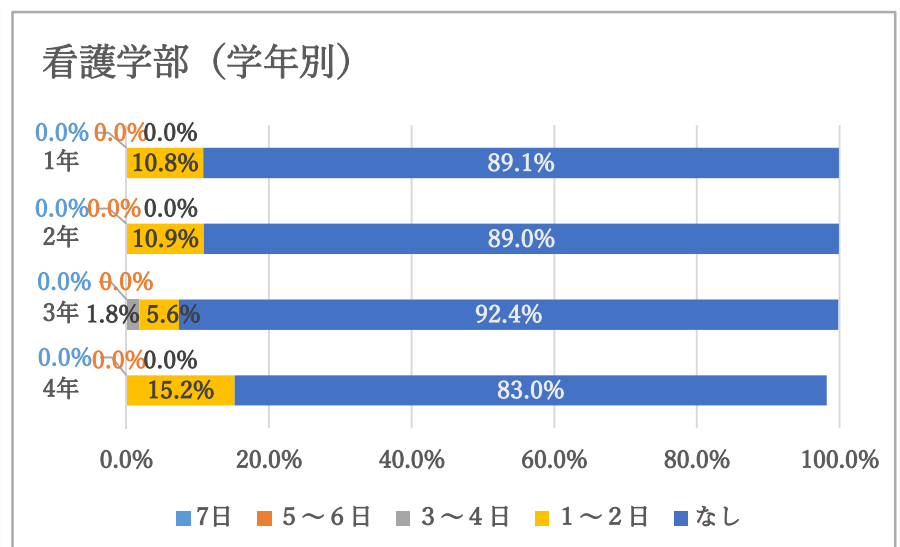
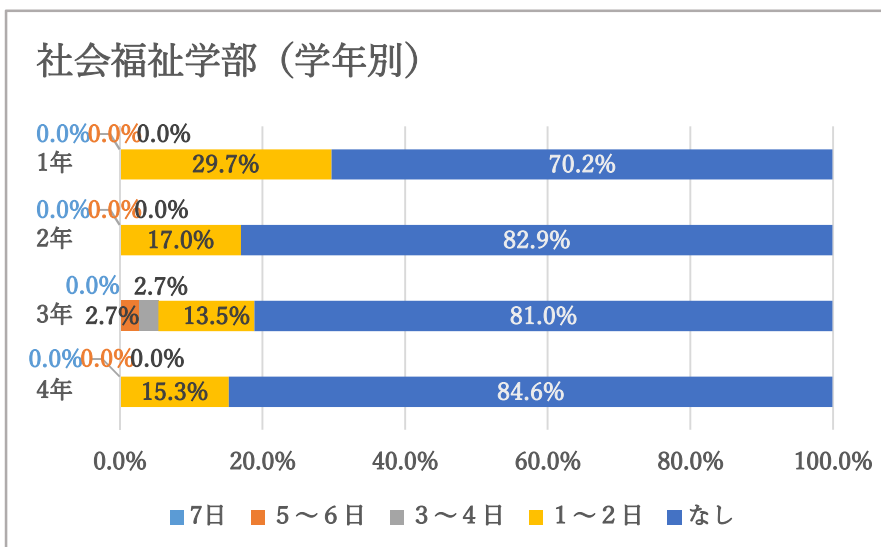
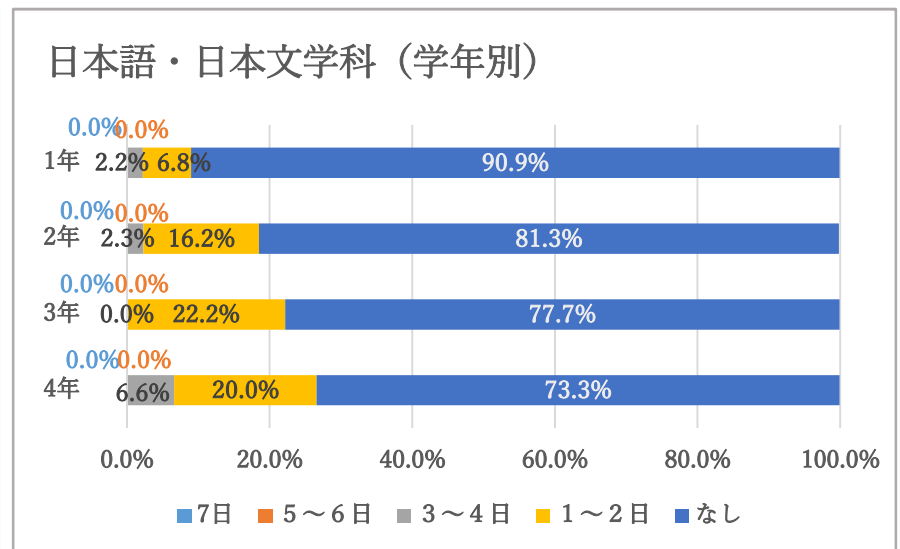
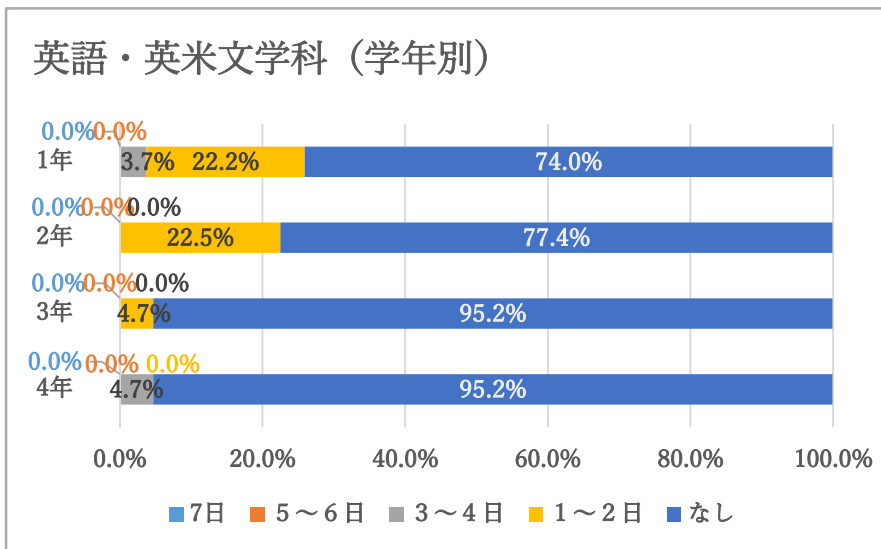
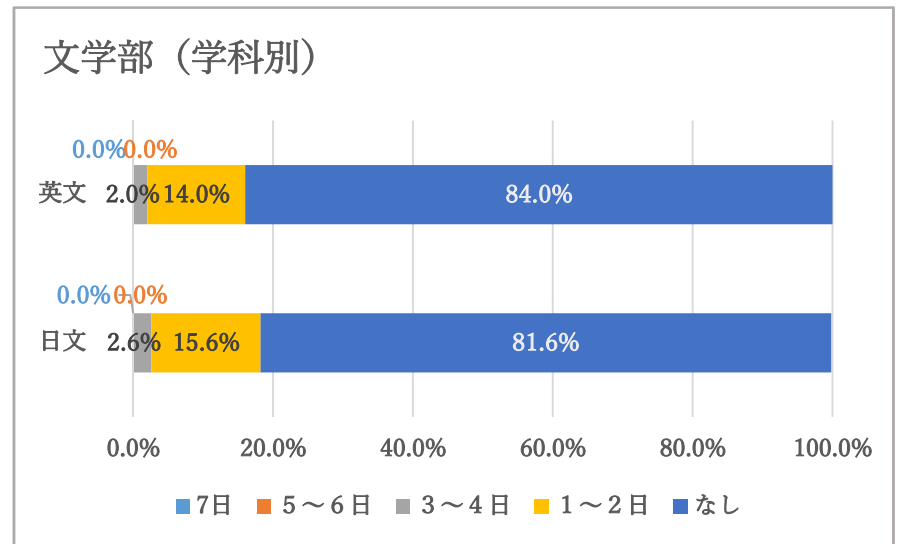
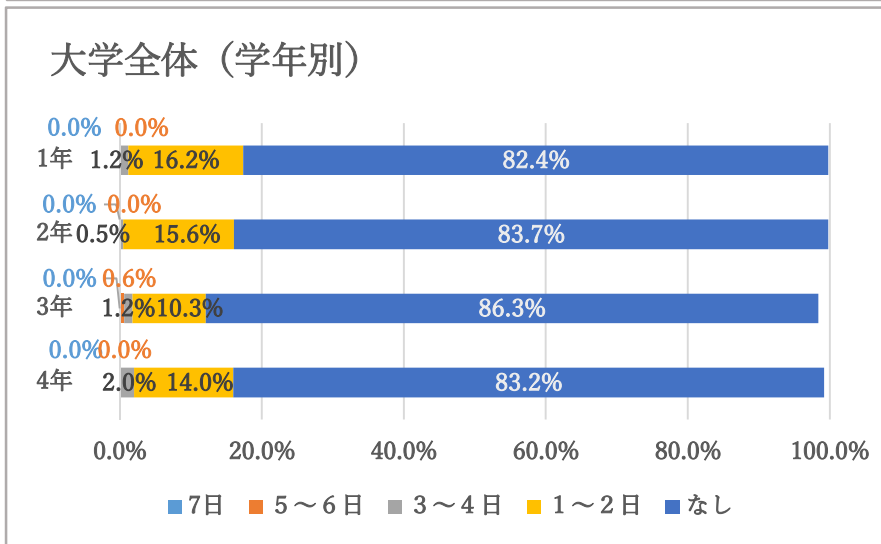
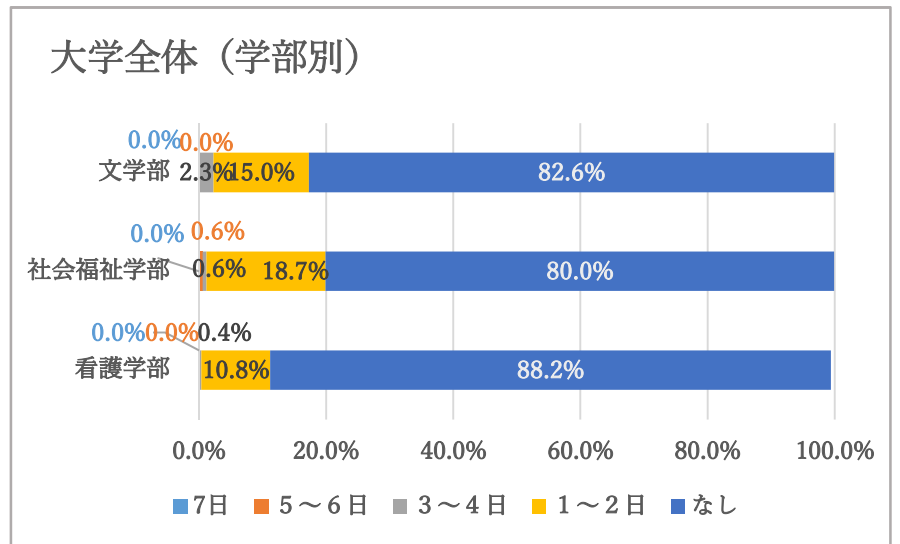
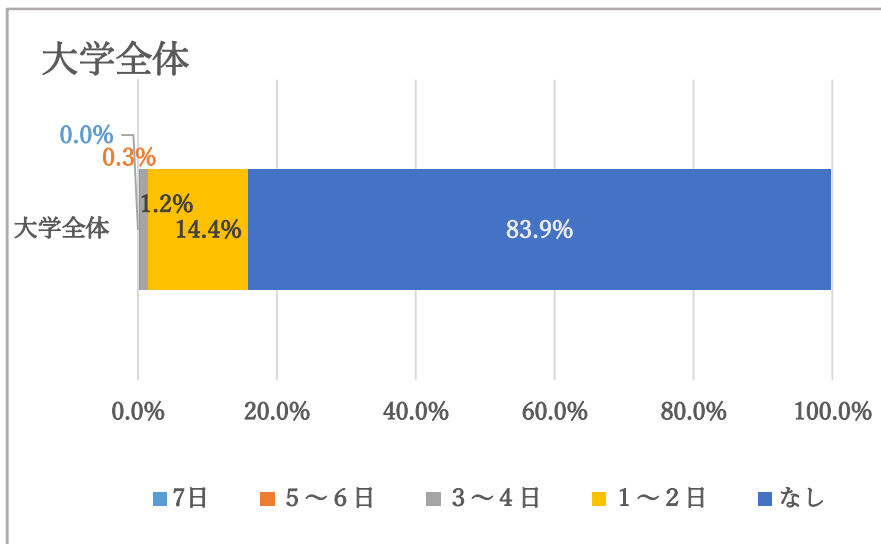
0 I 学修行動（問3～問20 グラフ）

1. 授業以外の諸活動

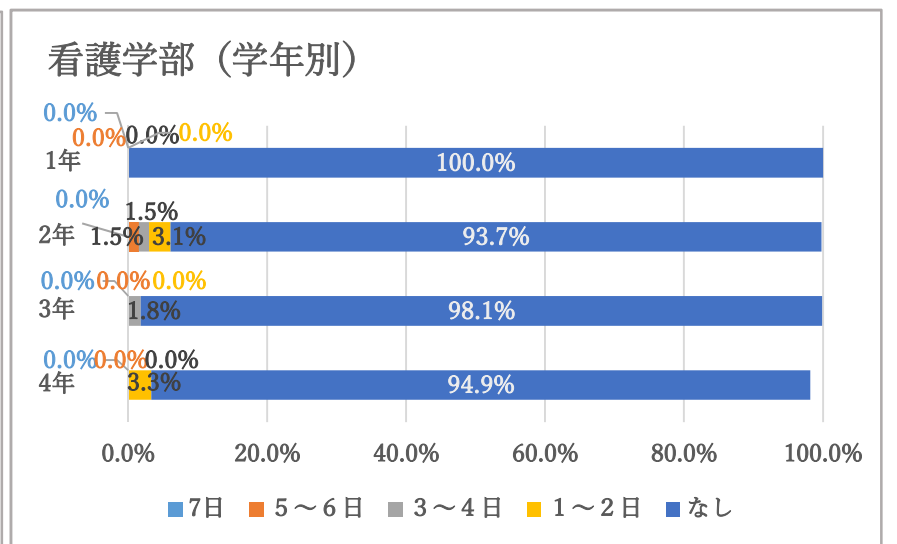
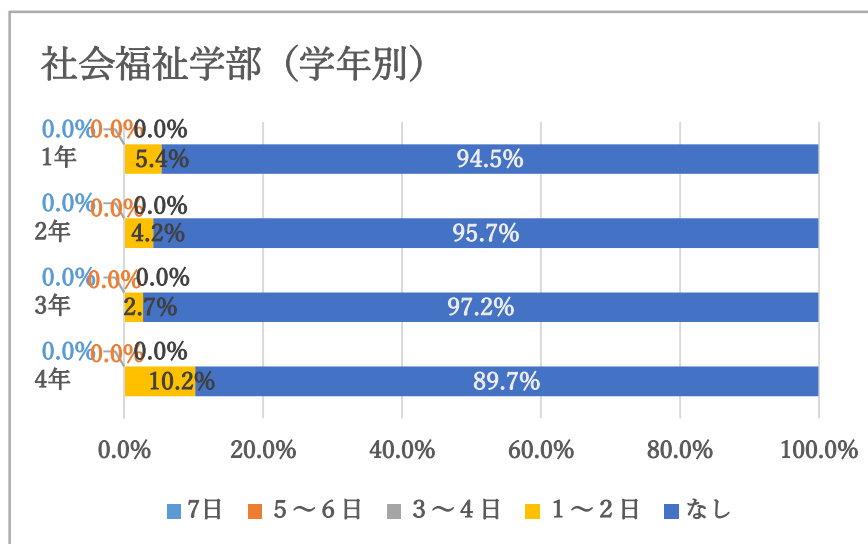
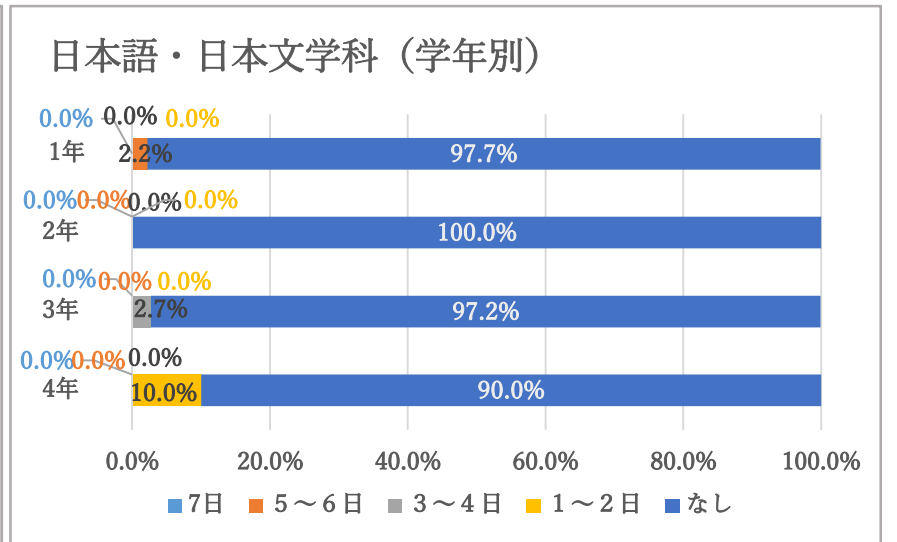
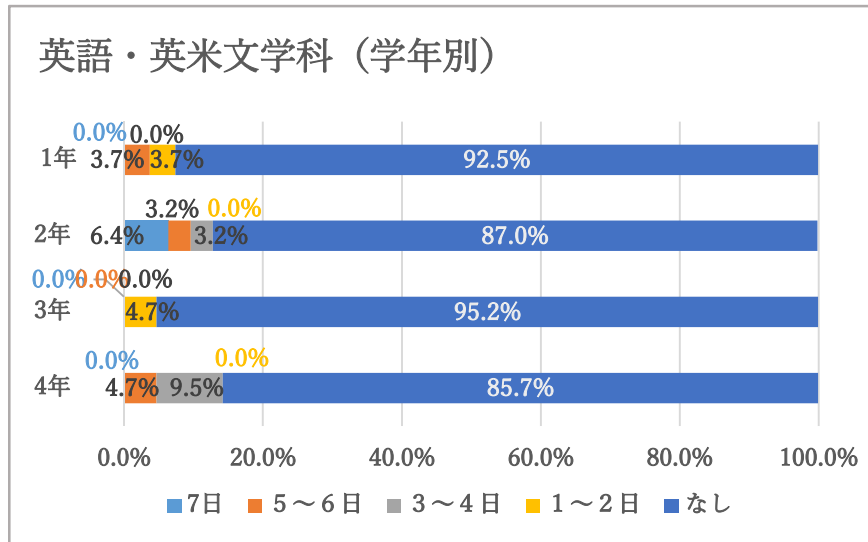
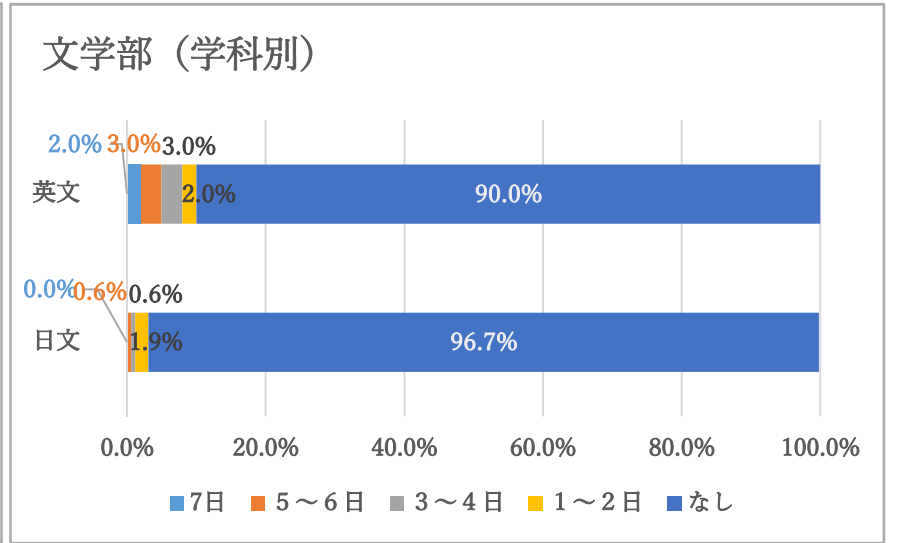
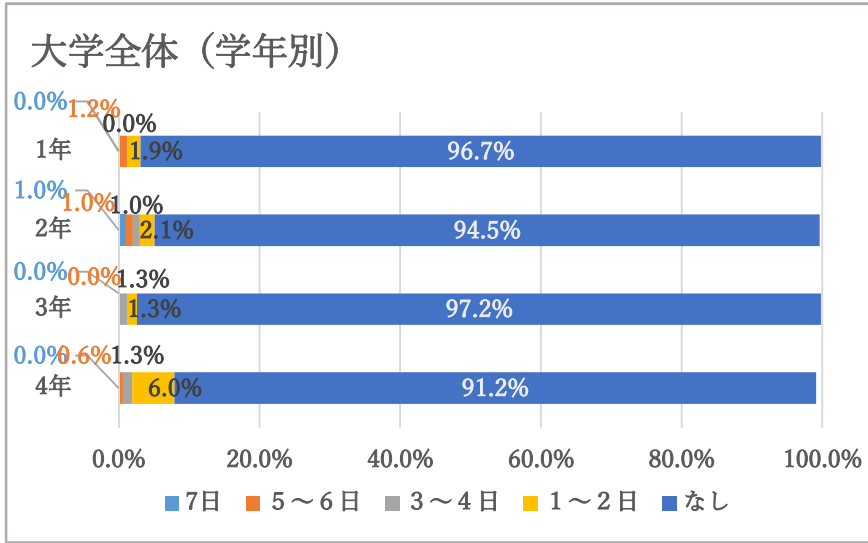
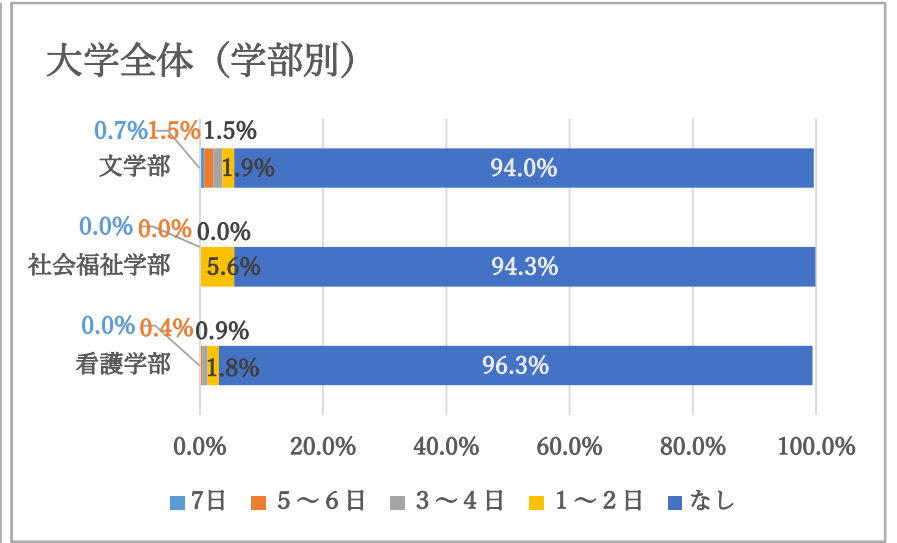
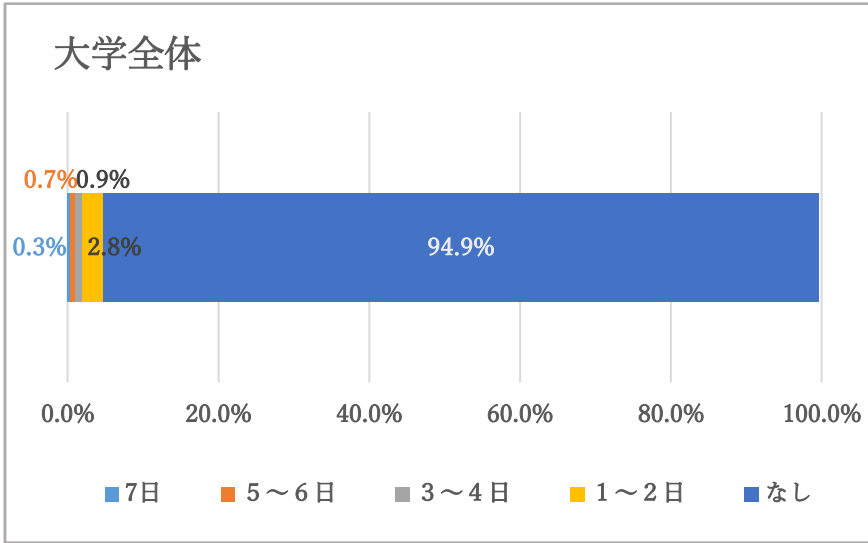
問03 アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。



問04 部活、サークル活動（1週間あたり）をどのくらいやっていますか。



問05 ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

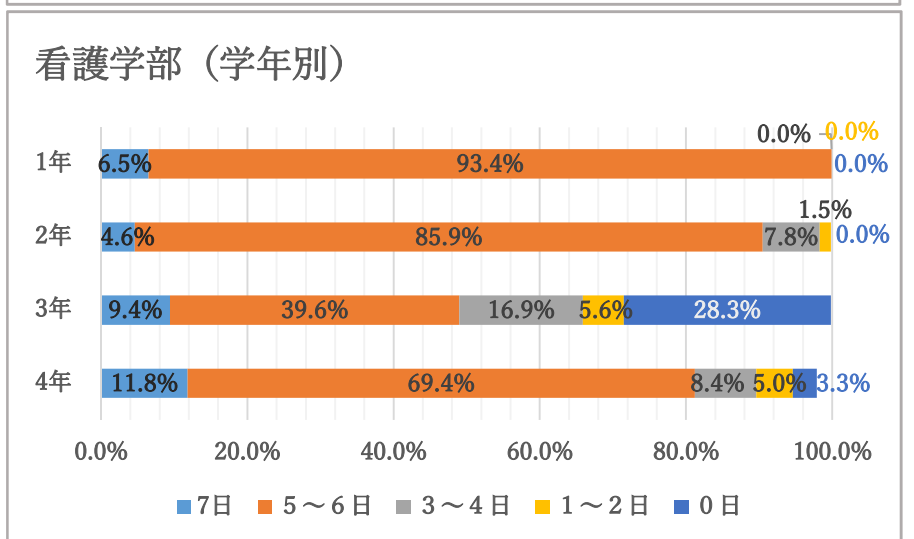
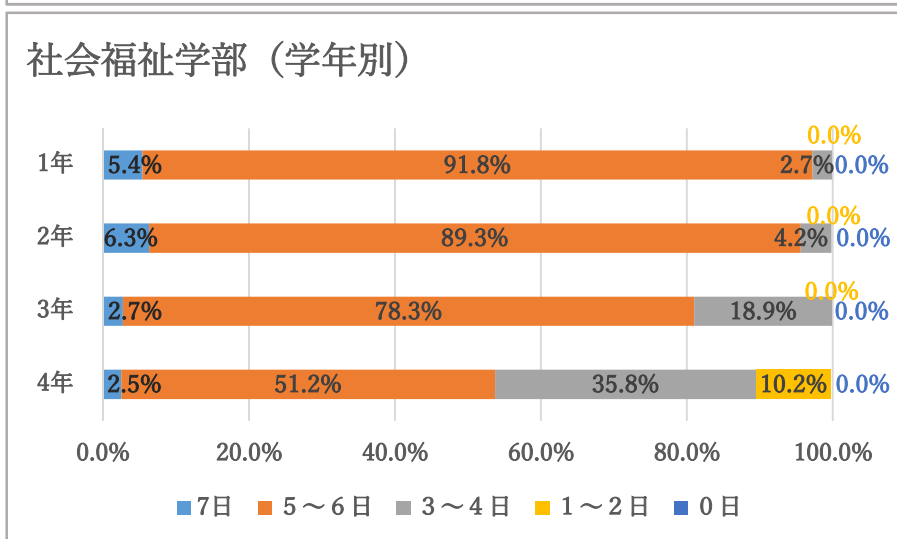
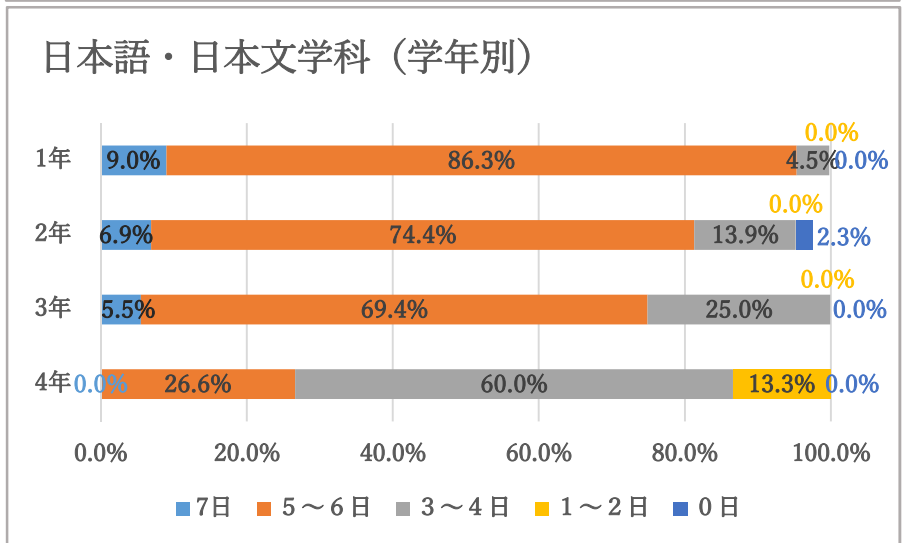
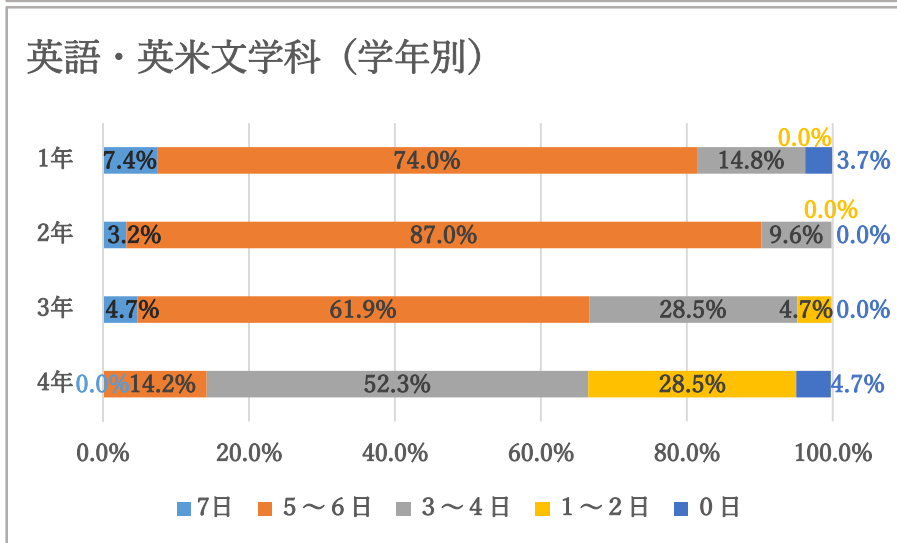
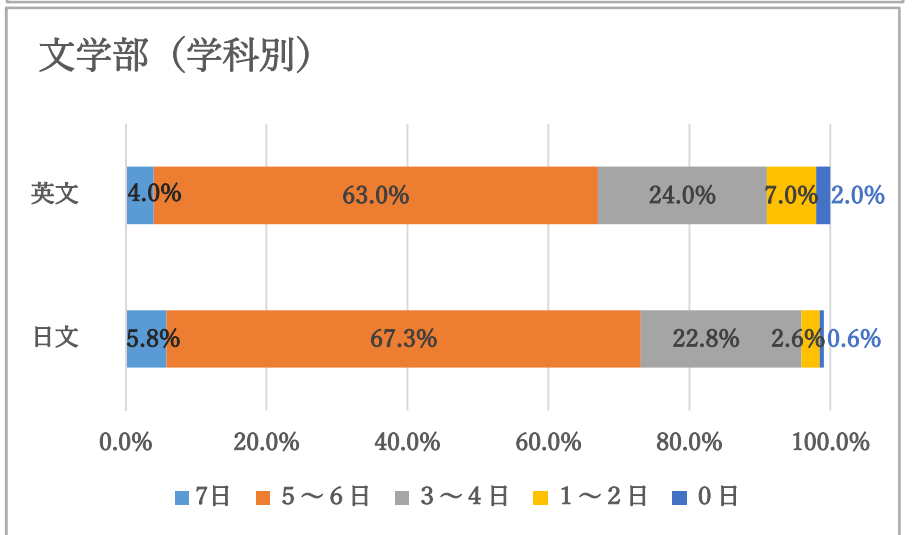
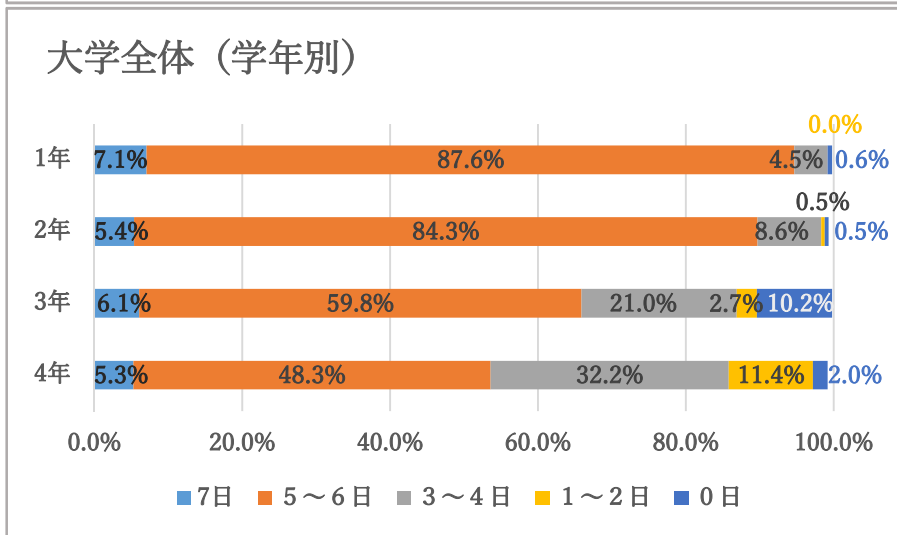
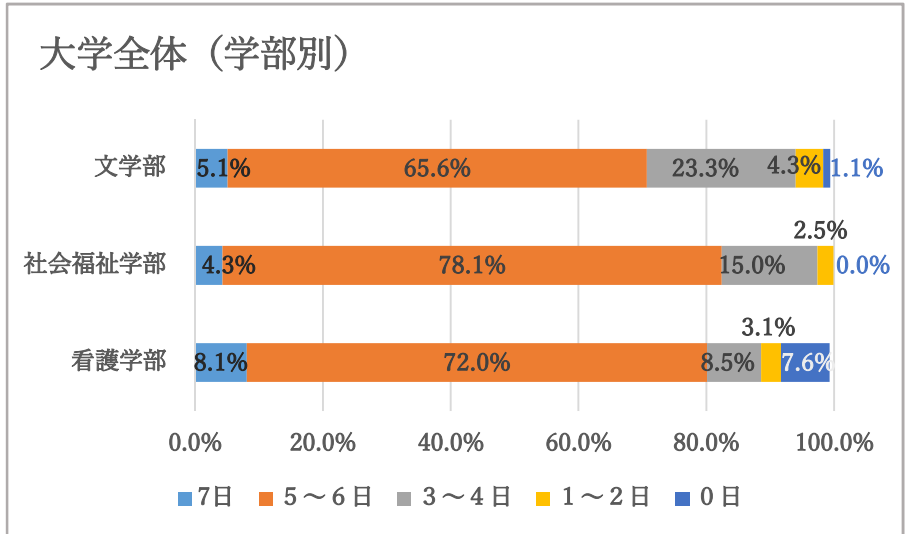
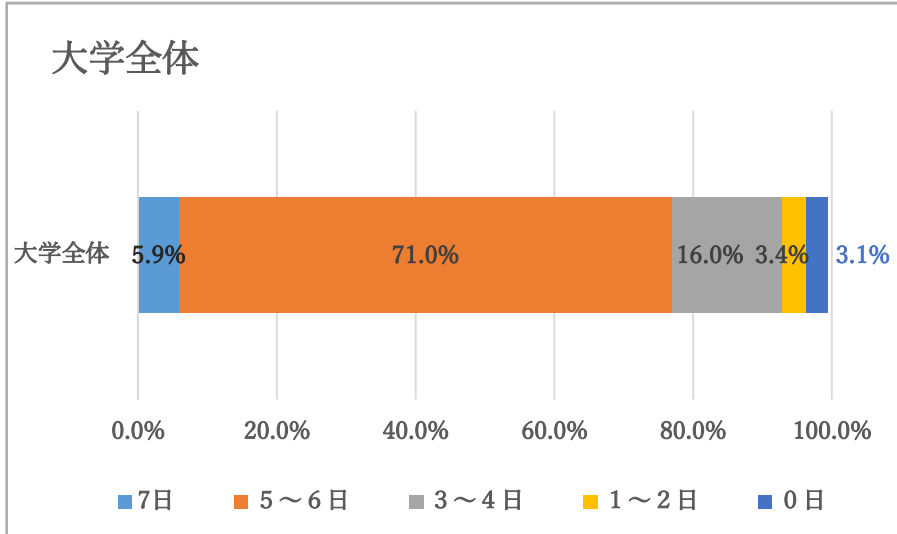




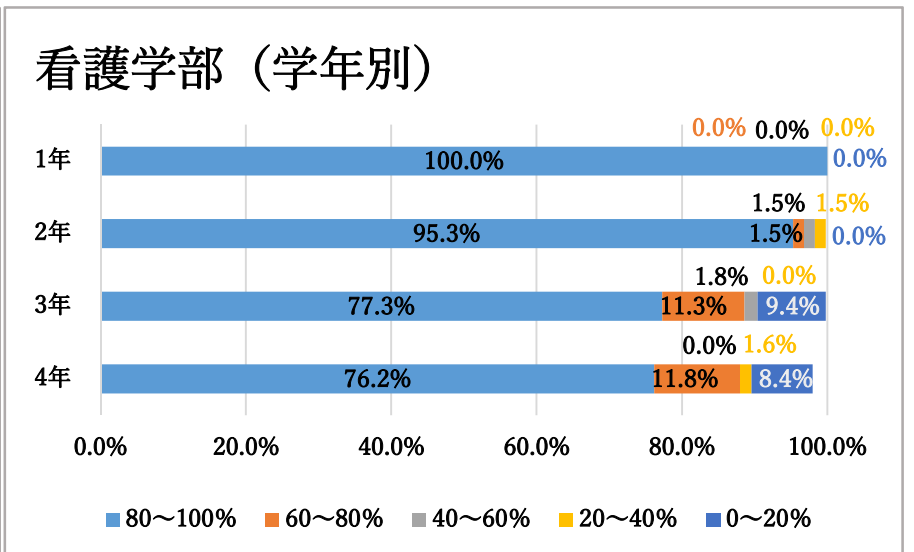
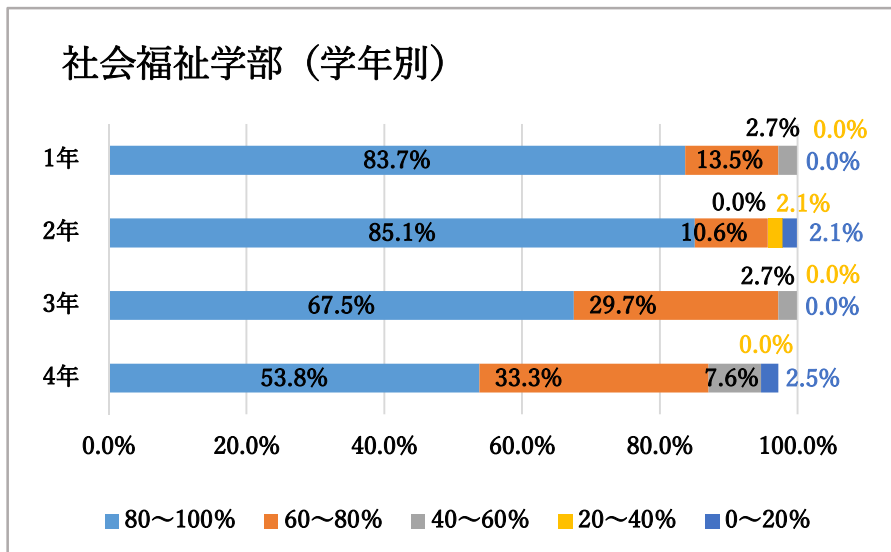
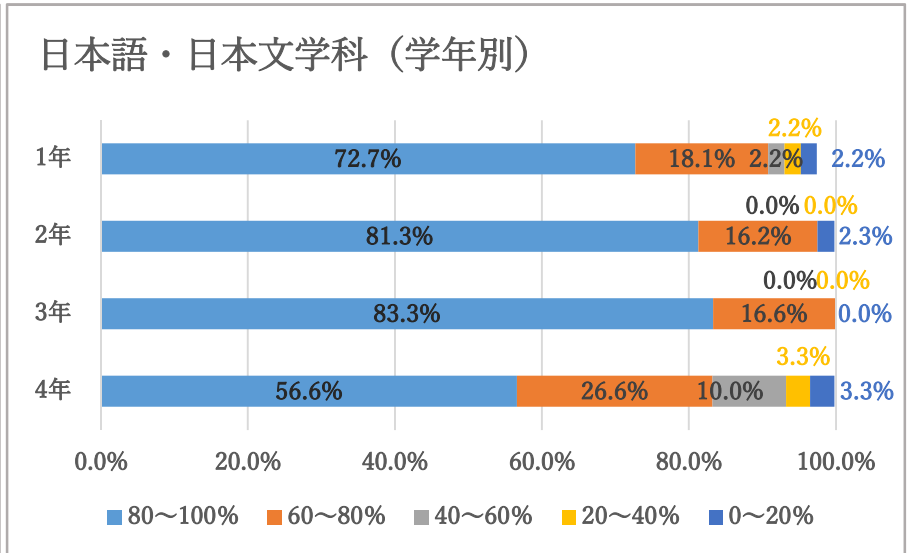
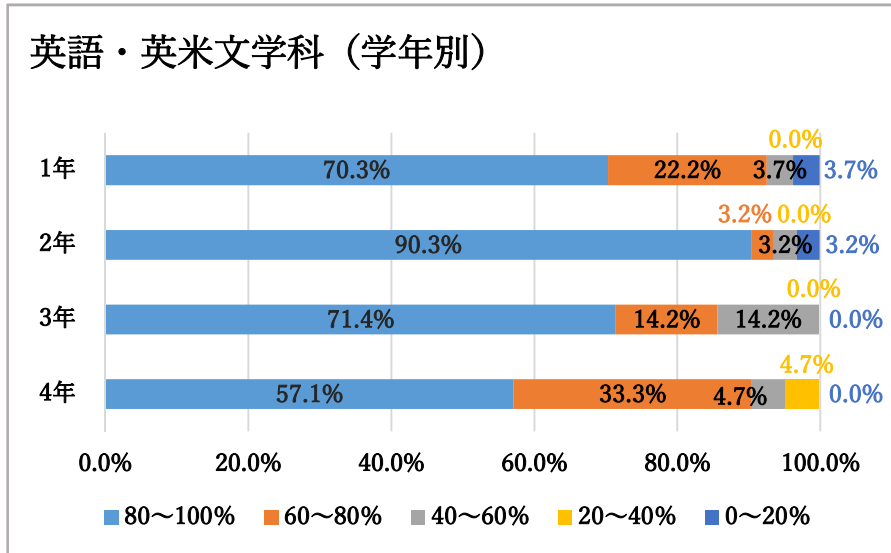
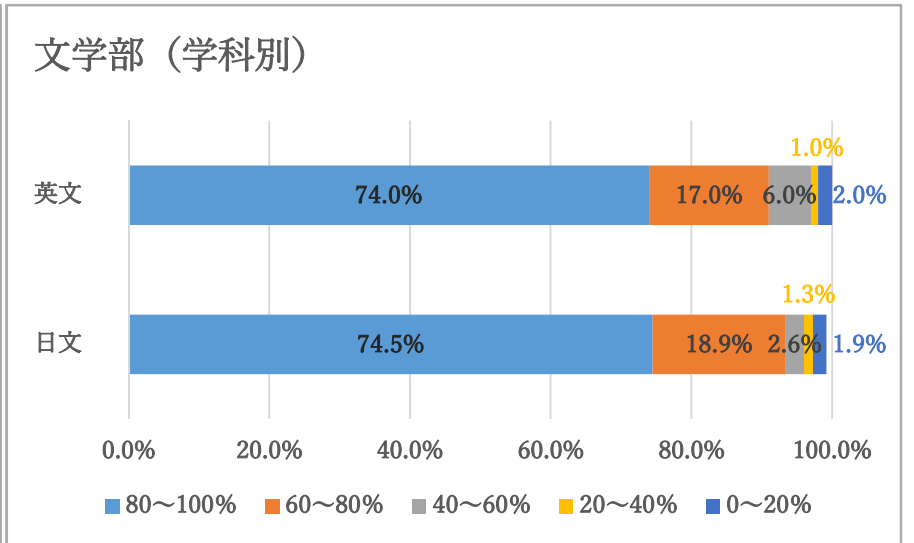
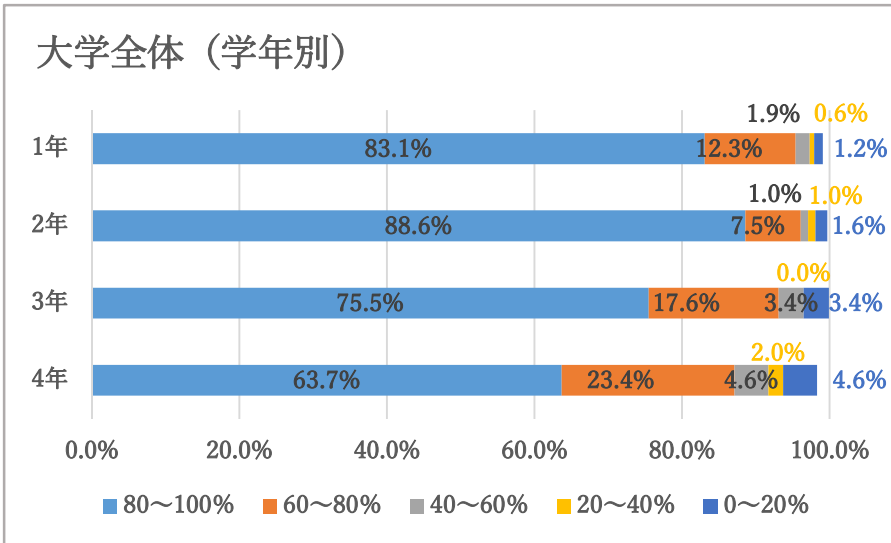
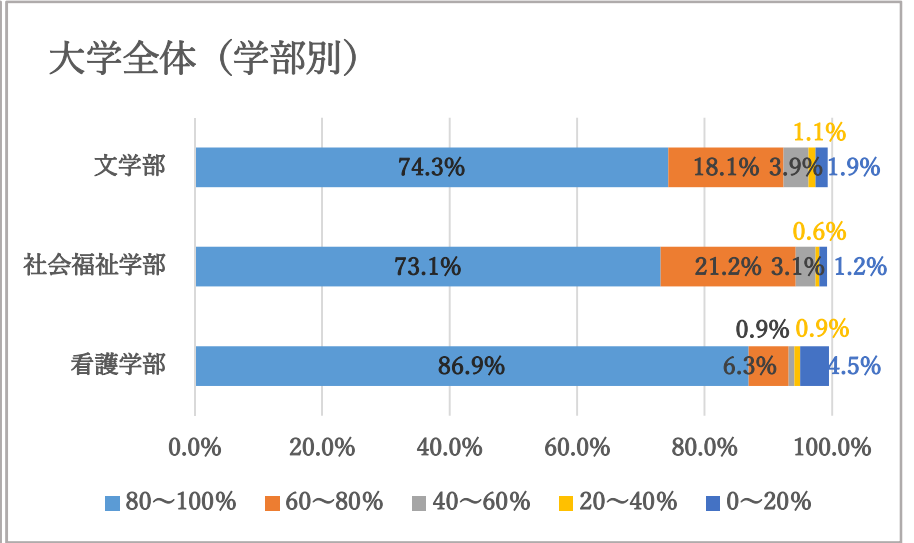
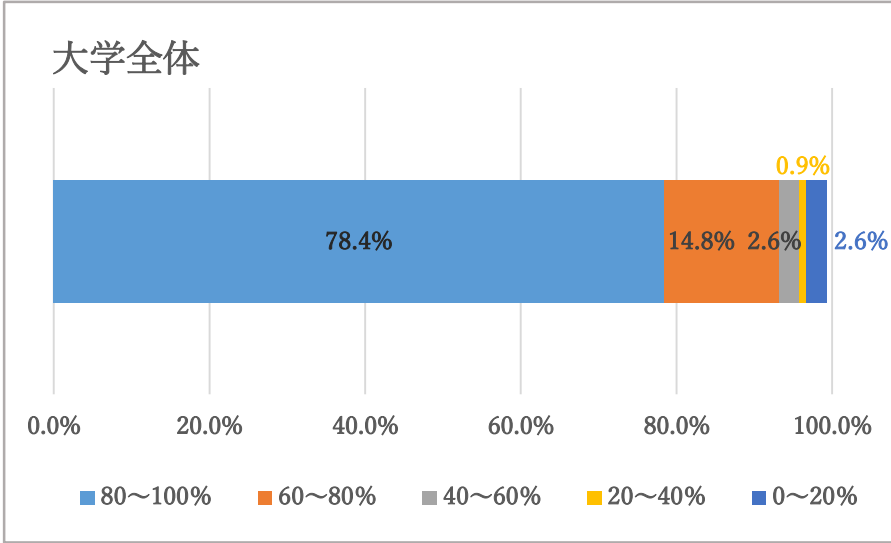
2. 勉学状況

(1) 登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修

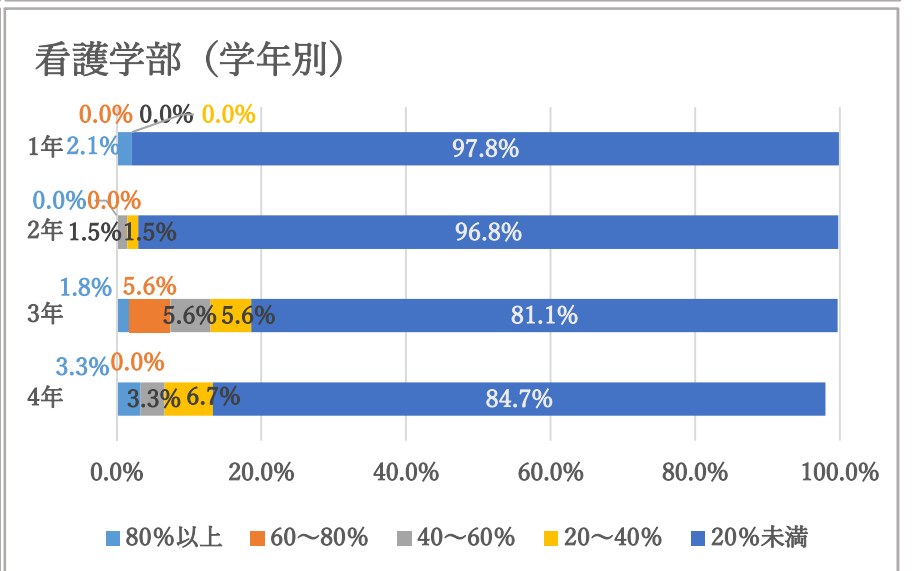
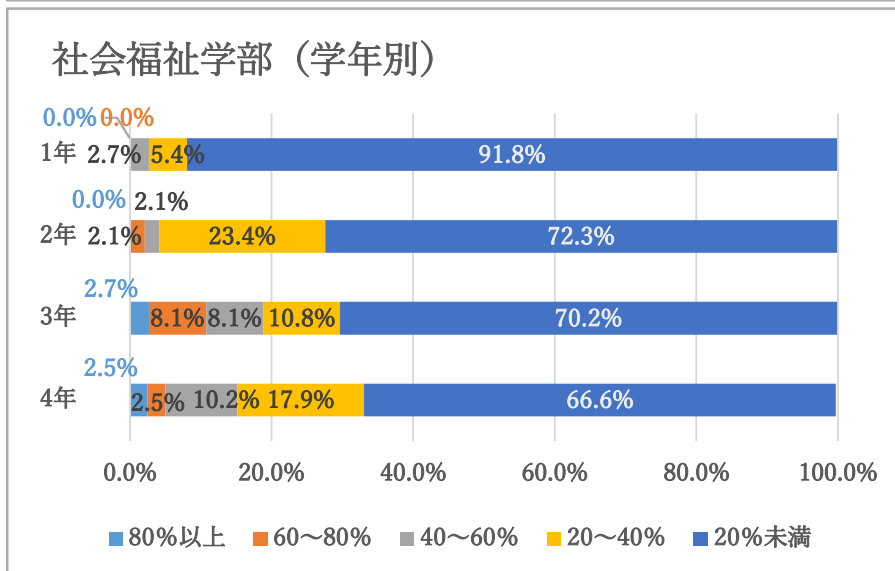
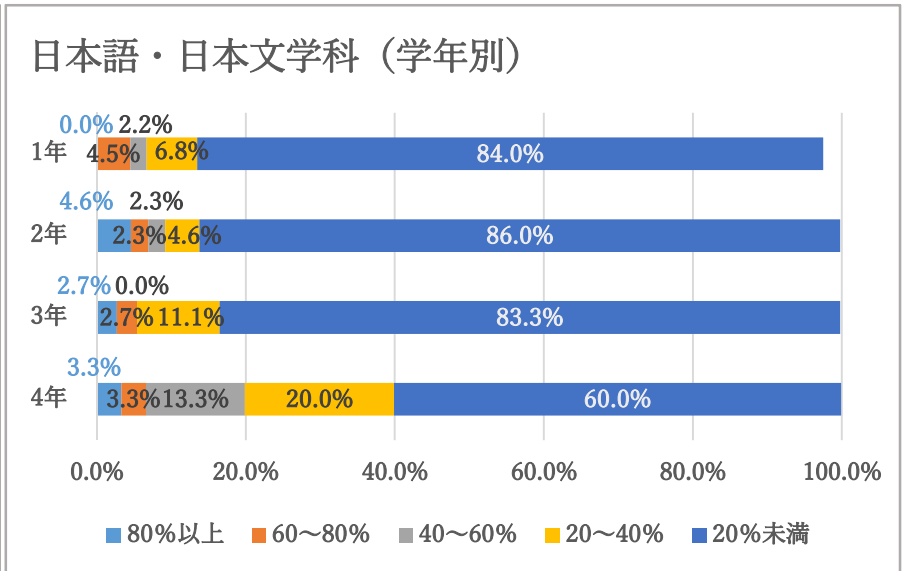
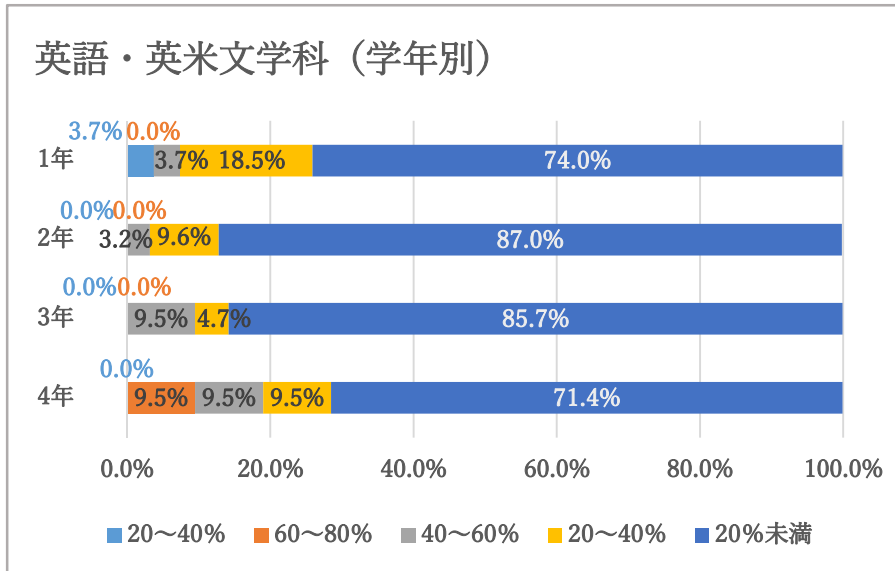
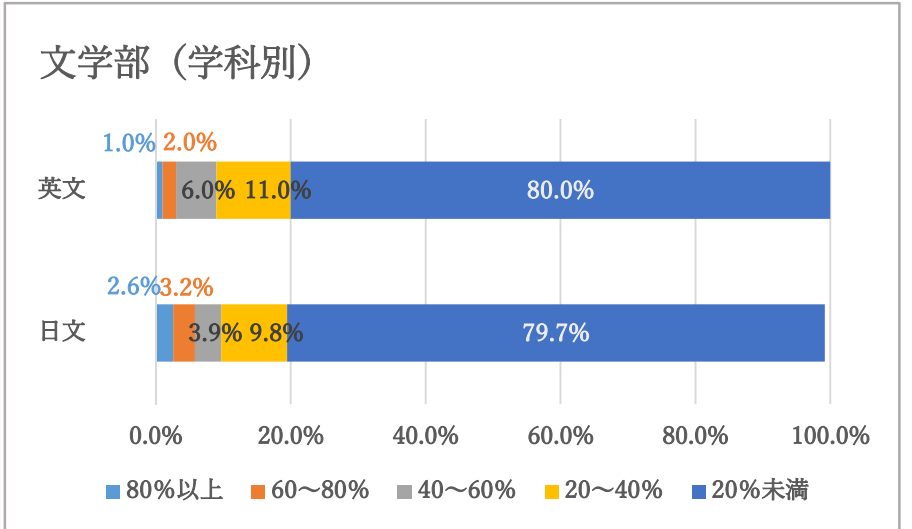
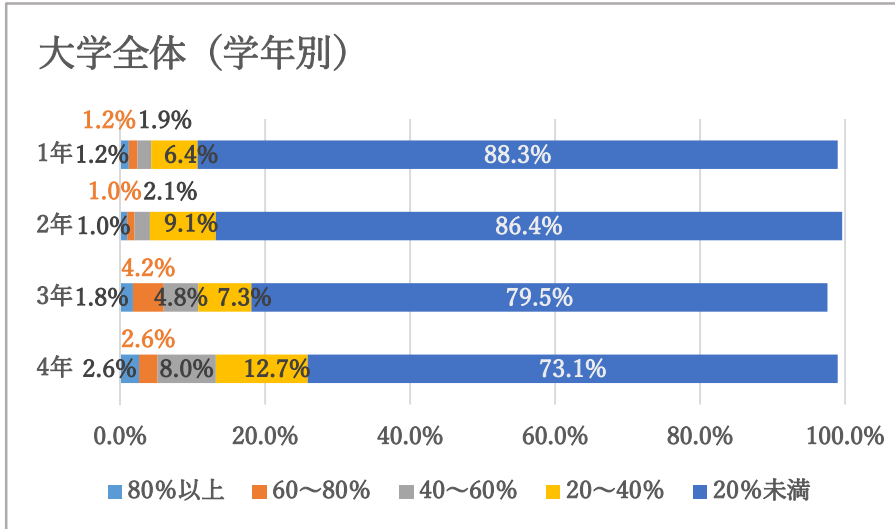
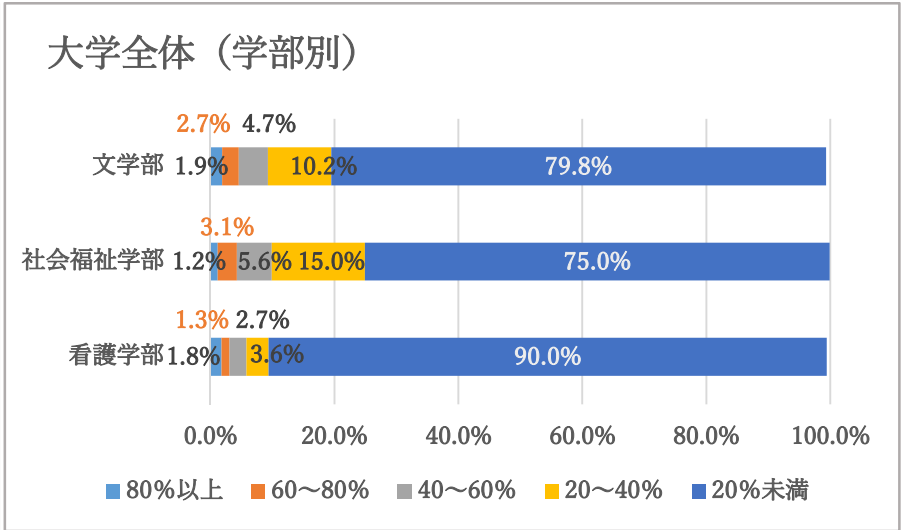
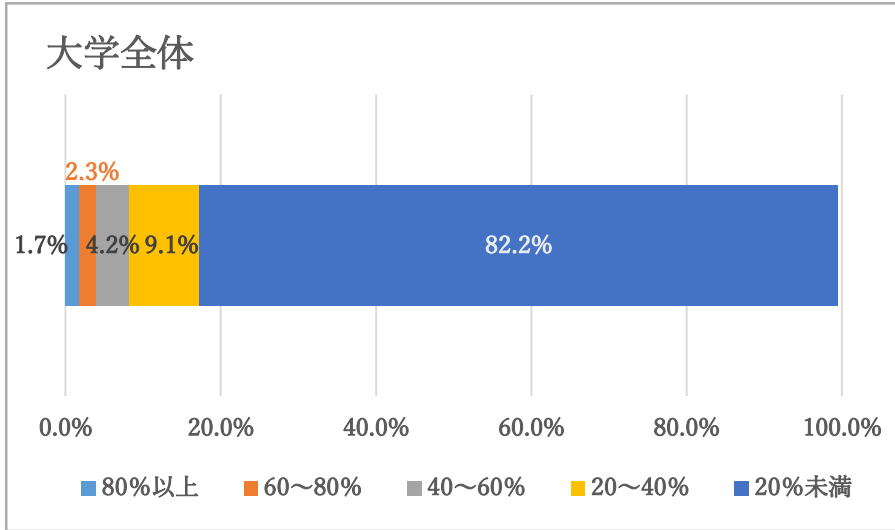
問06 大学に何日登校しましたか。



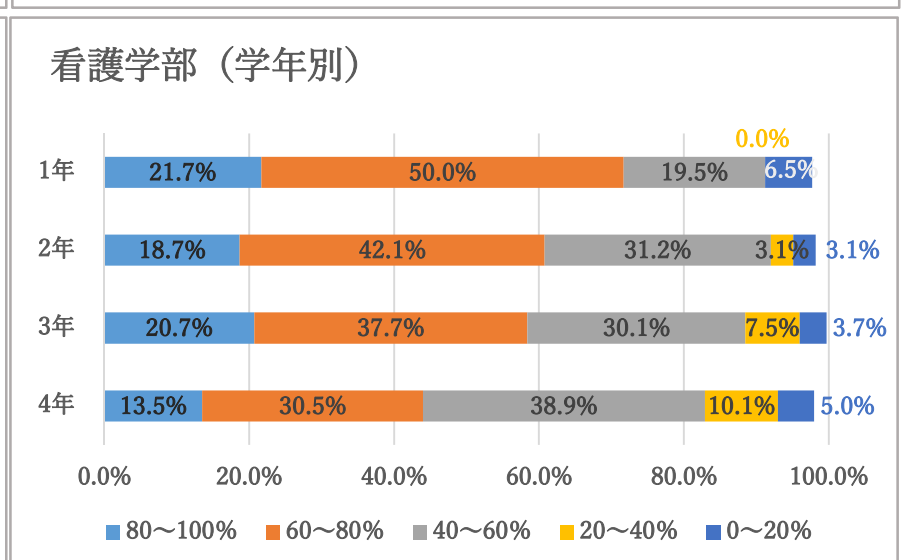
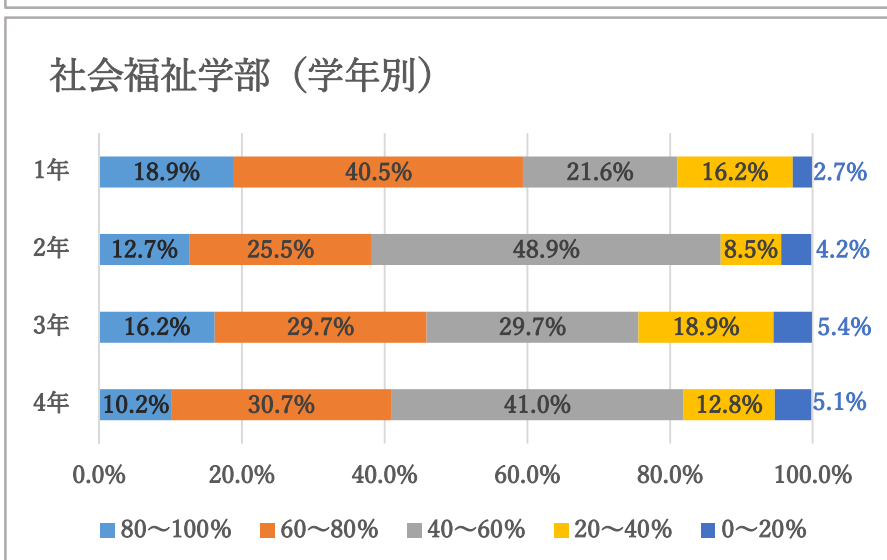
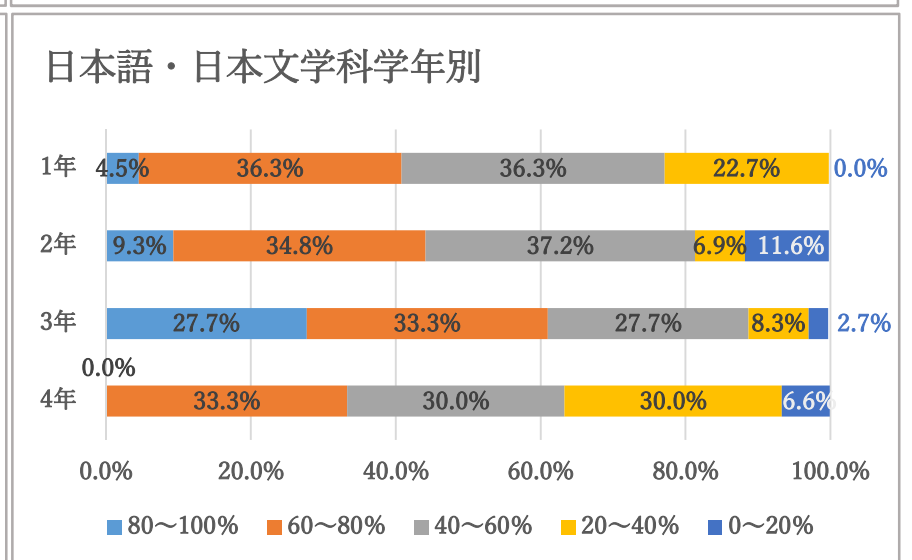
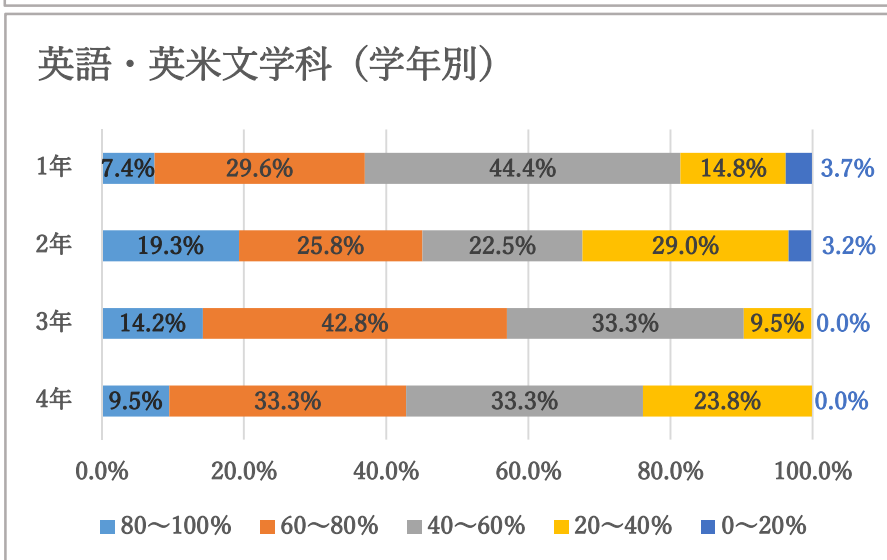
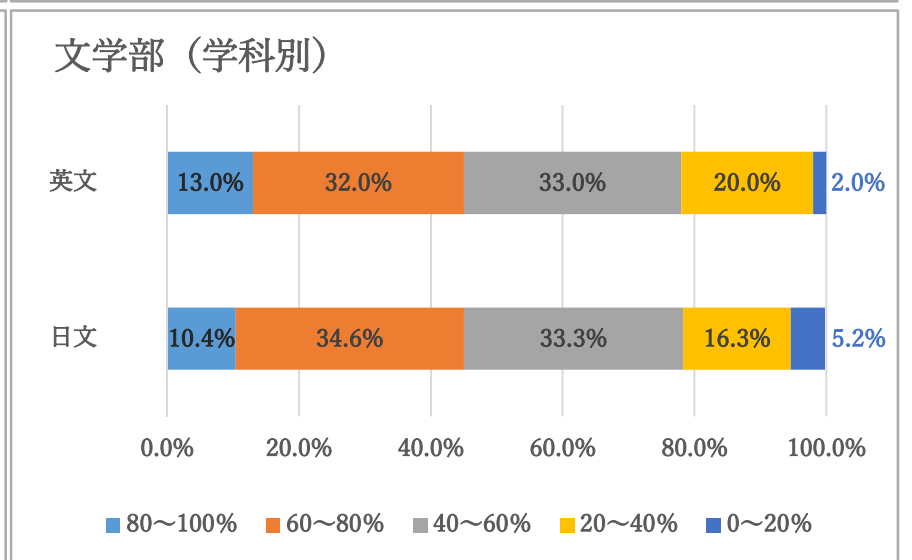
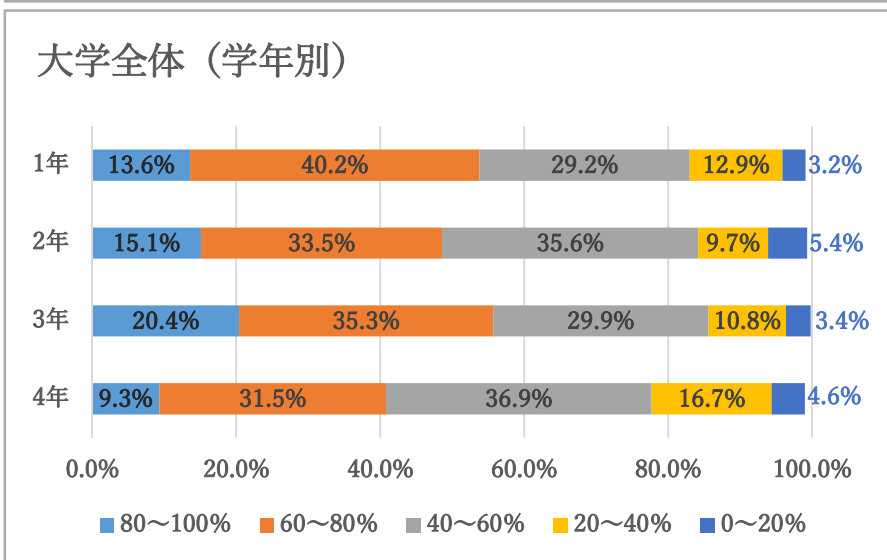
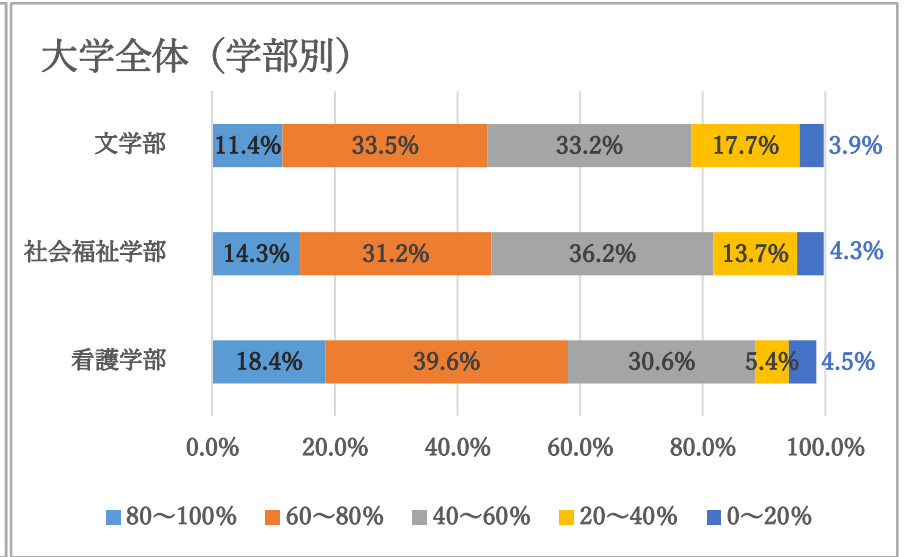
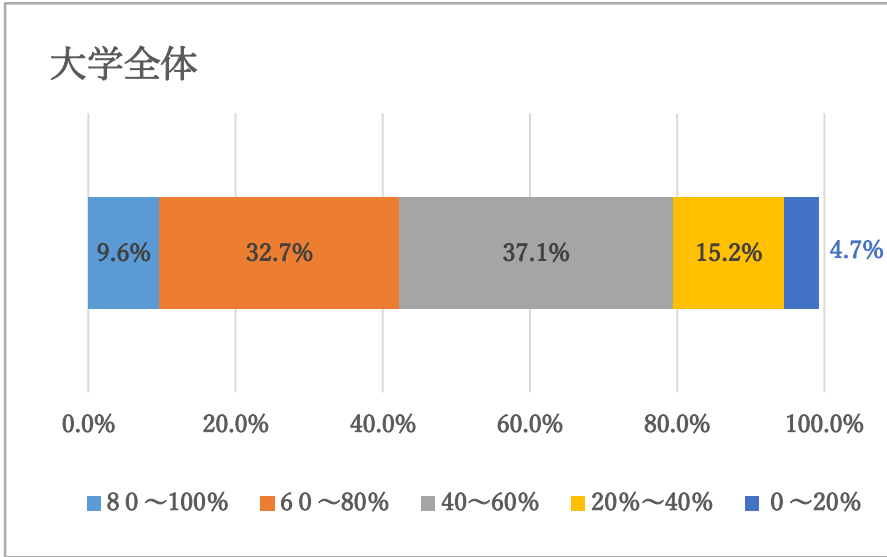
問07 授業に出席した割合はどのくらいですか。



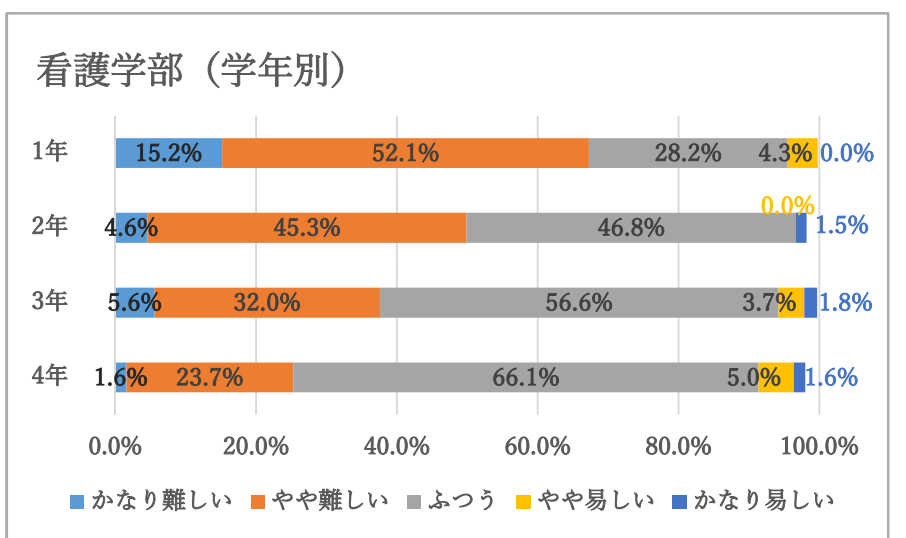
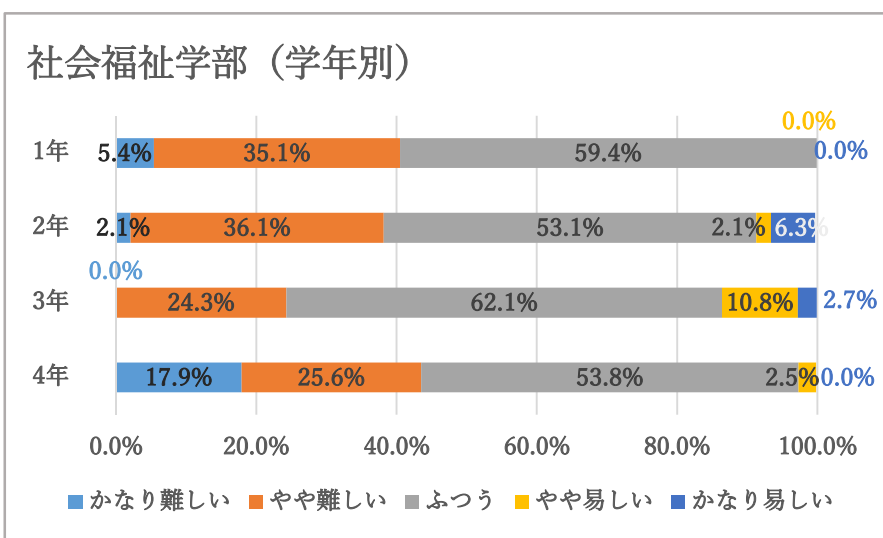
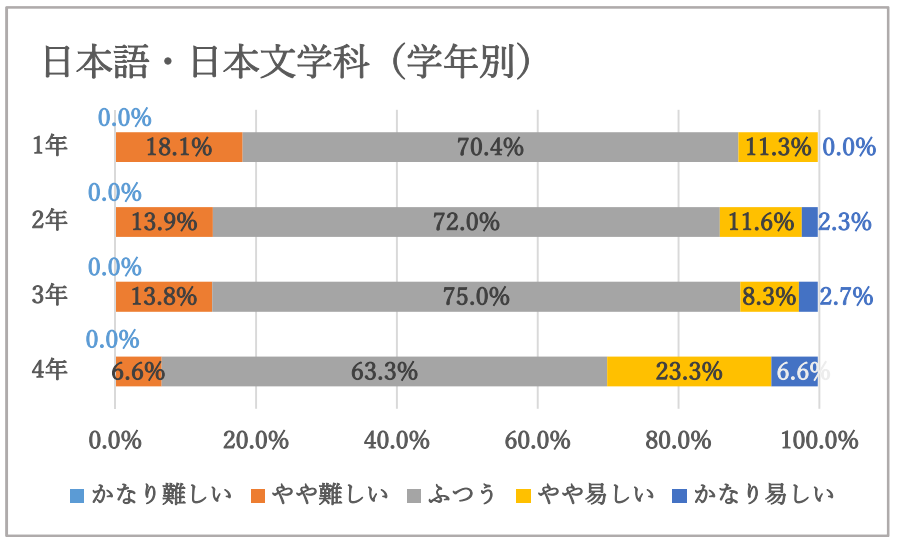
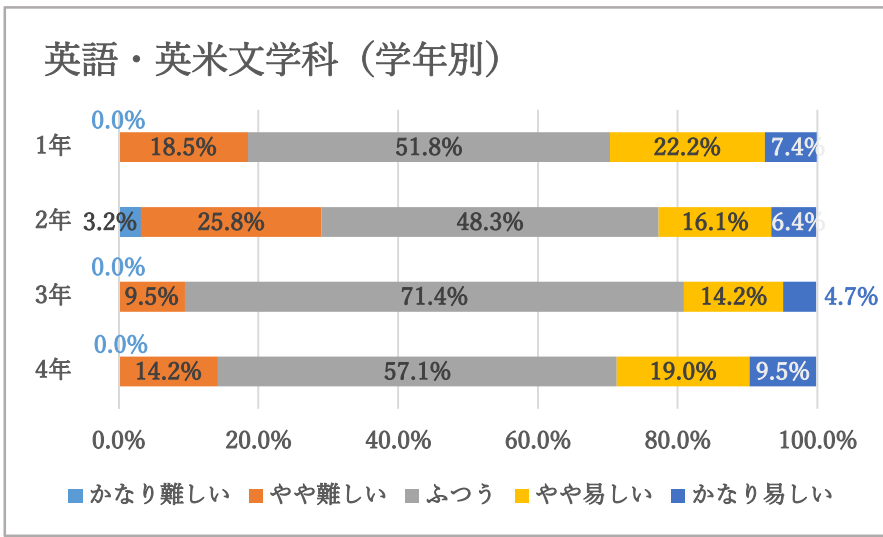
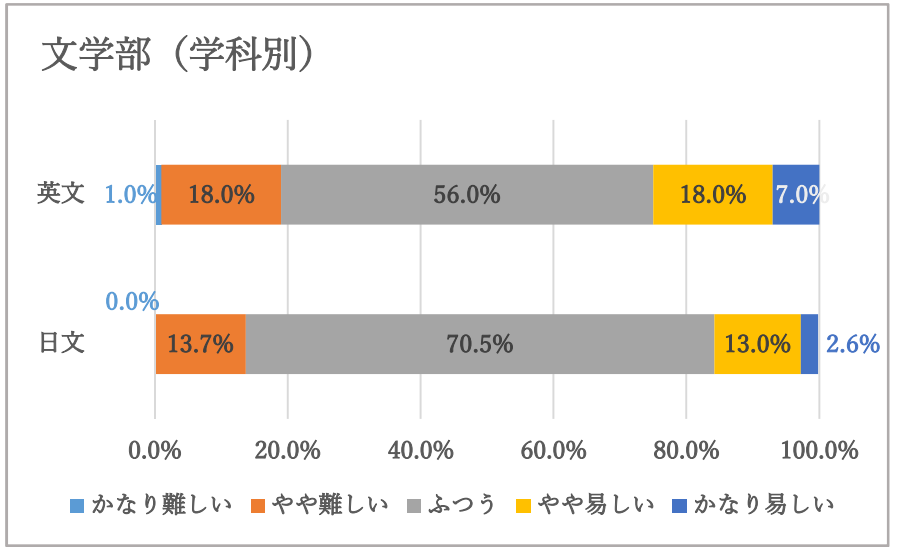
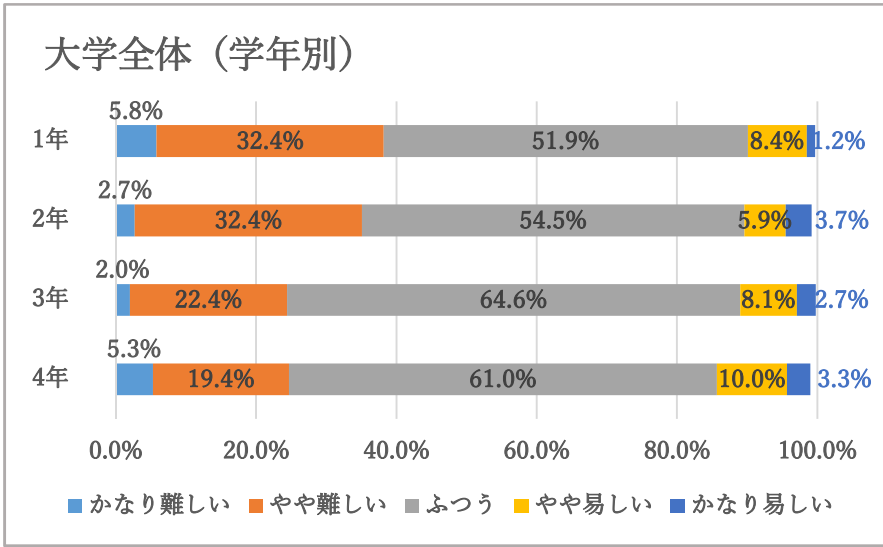
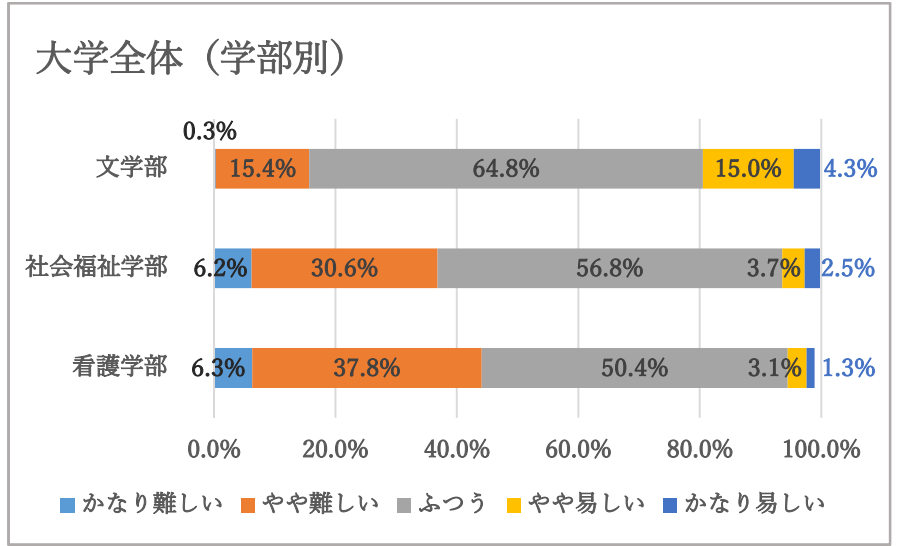
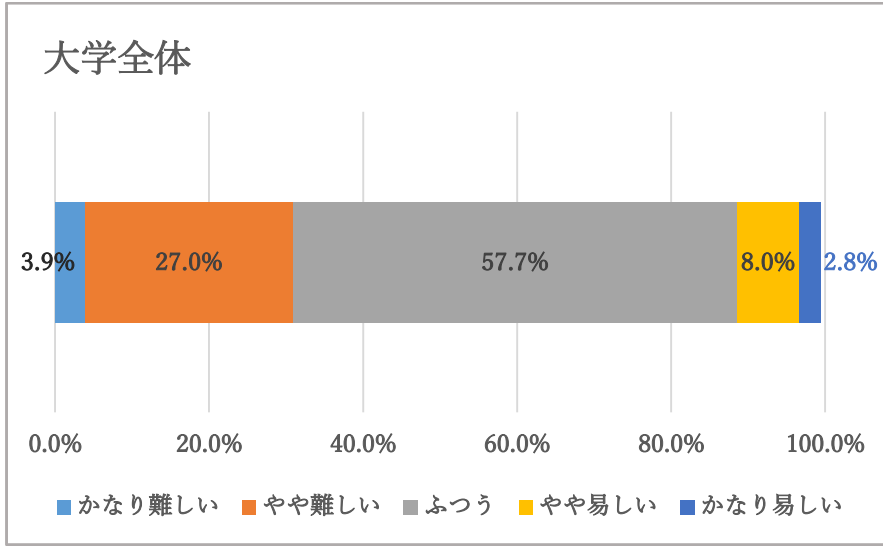
問08 しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。



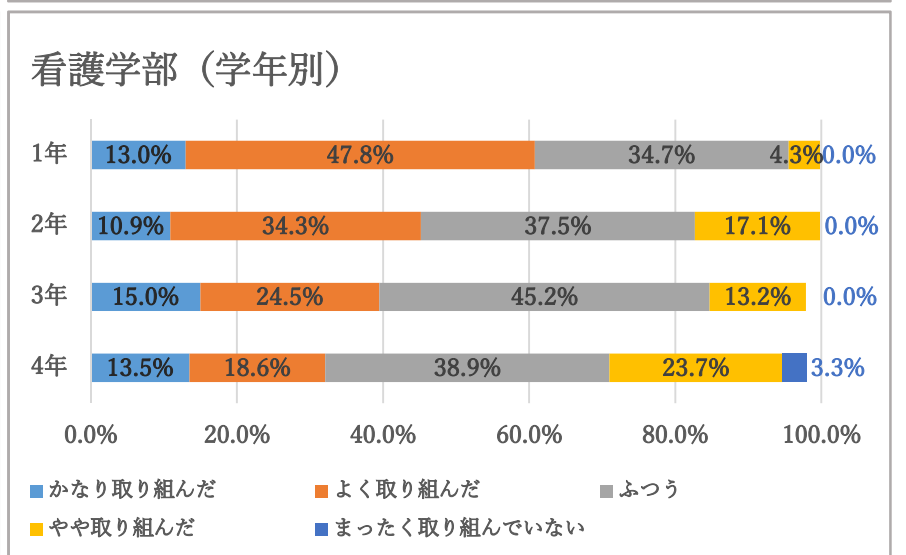
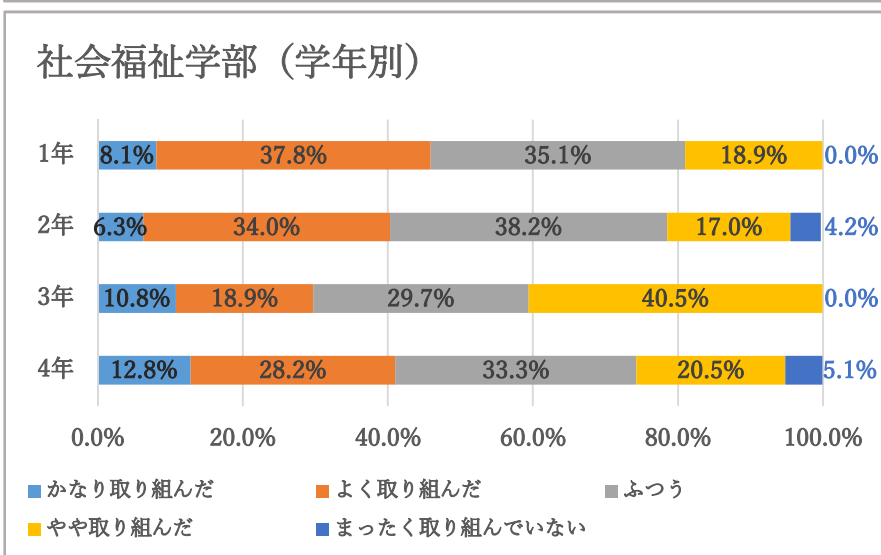
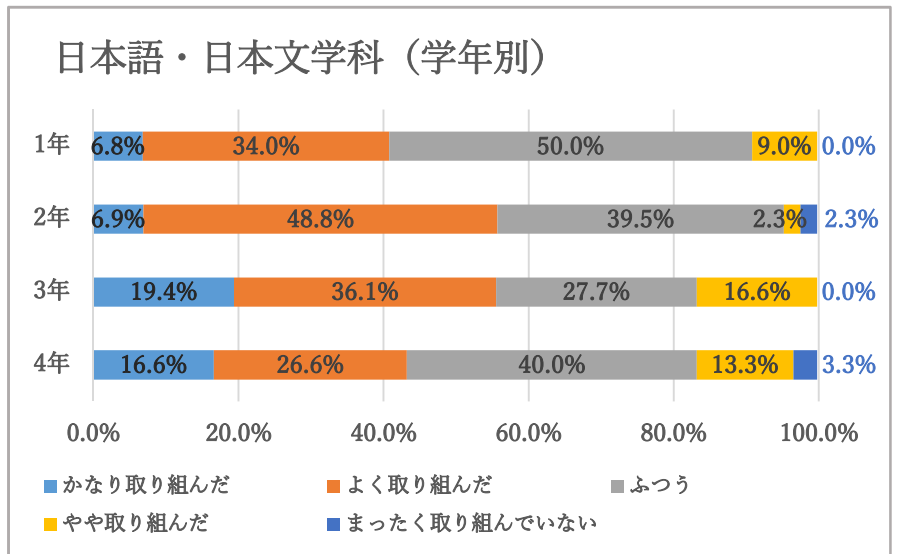
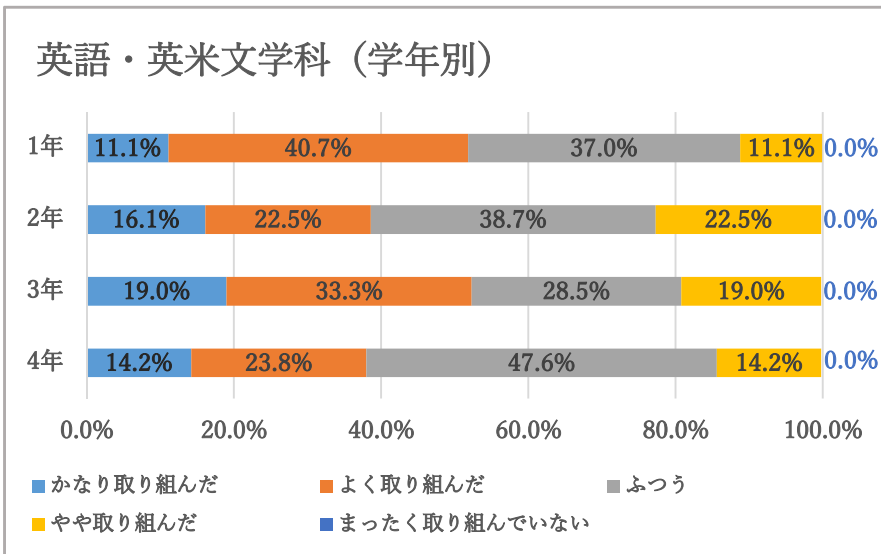
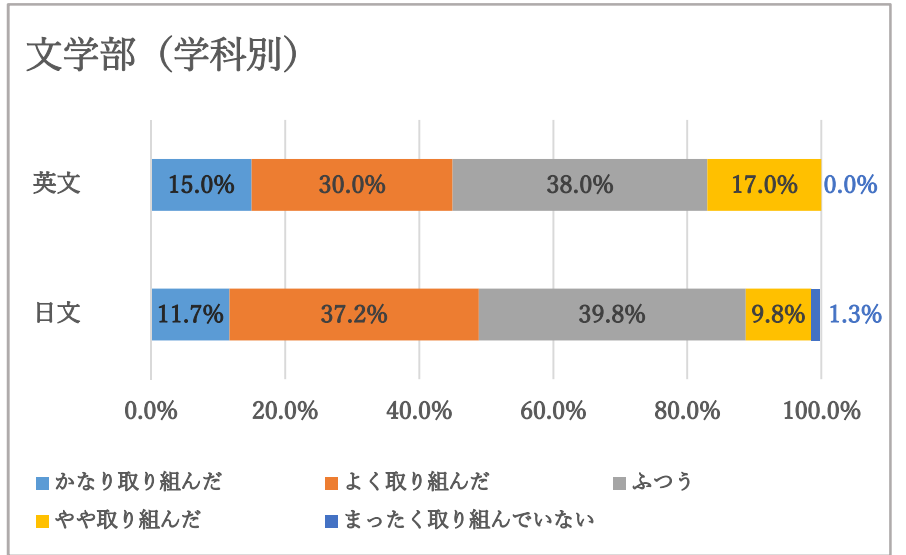
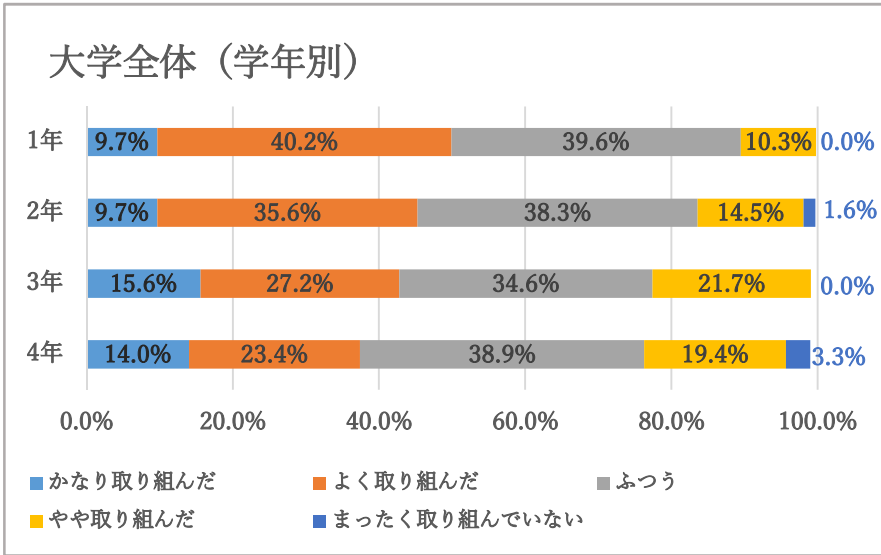
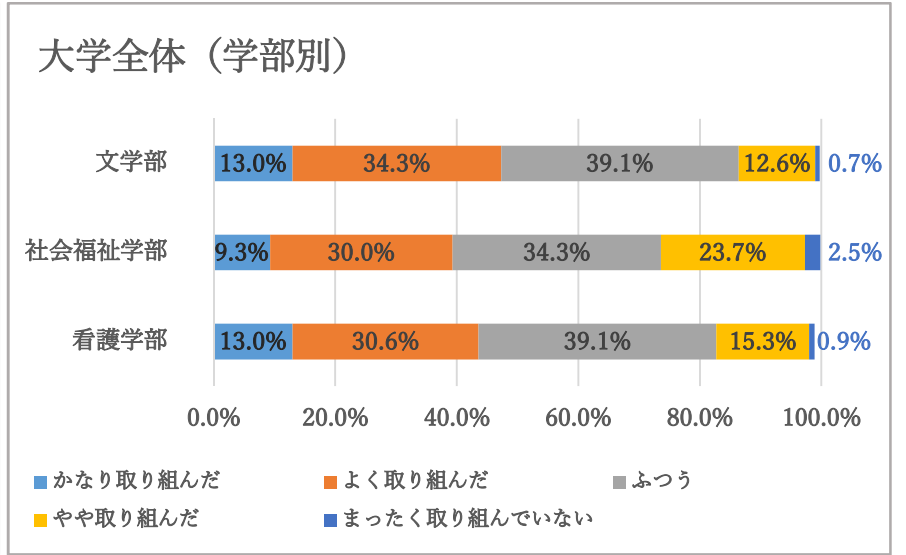
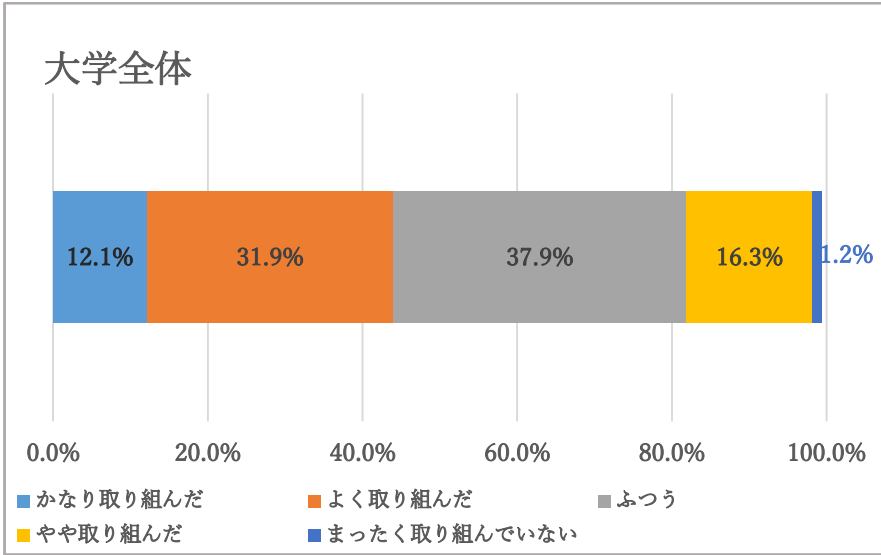
問9 興味・関心のある授業はどのくらいありますか。



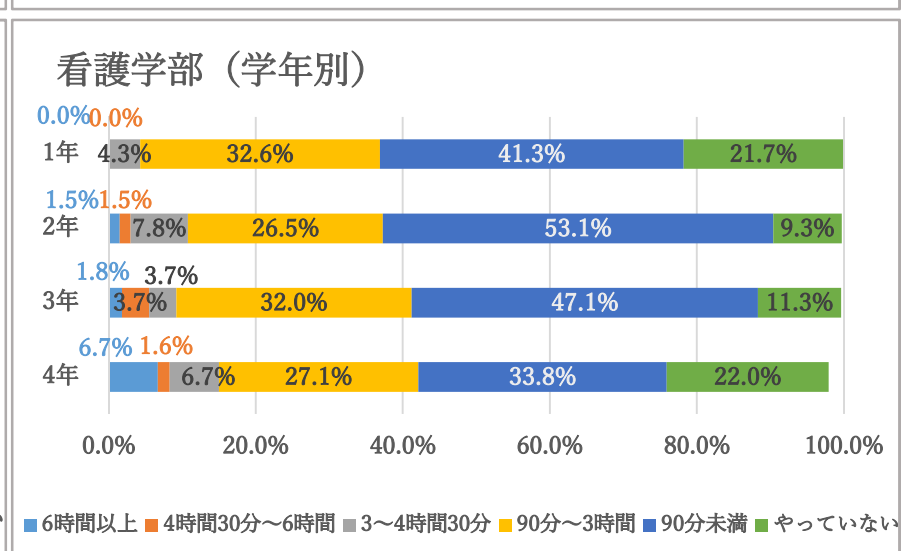
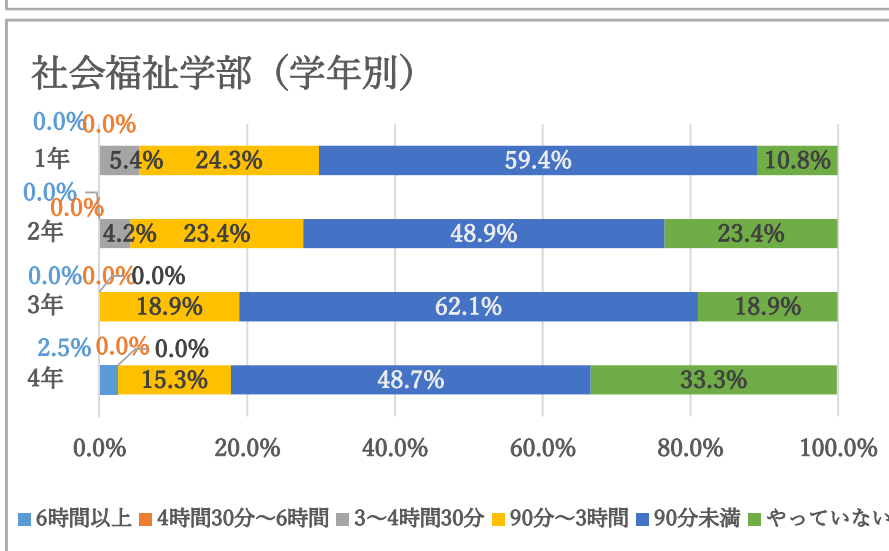
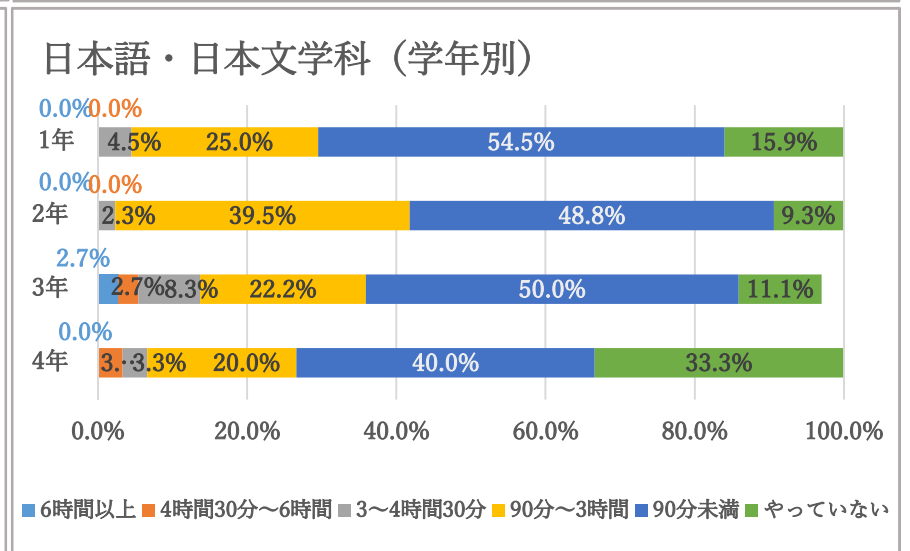
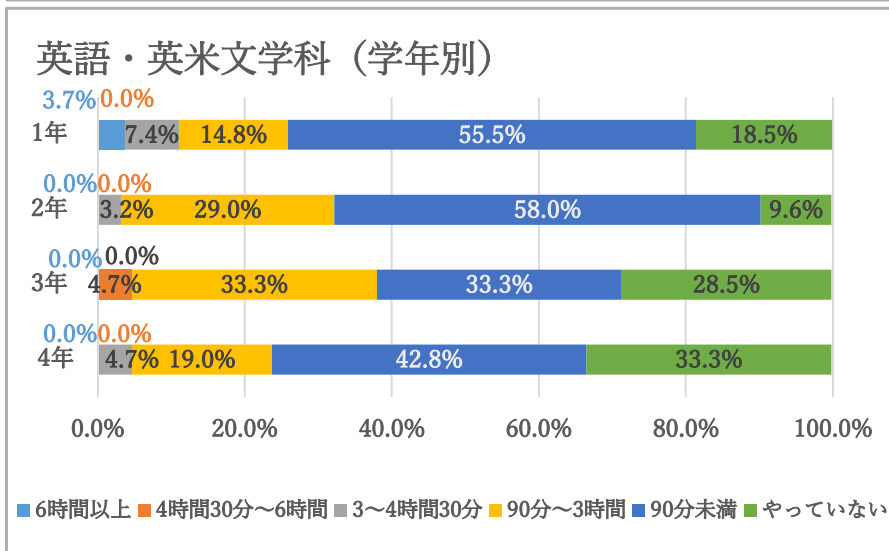
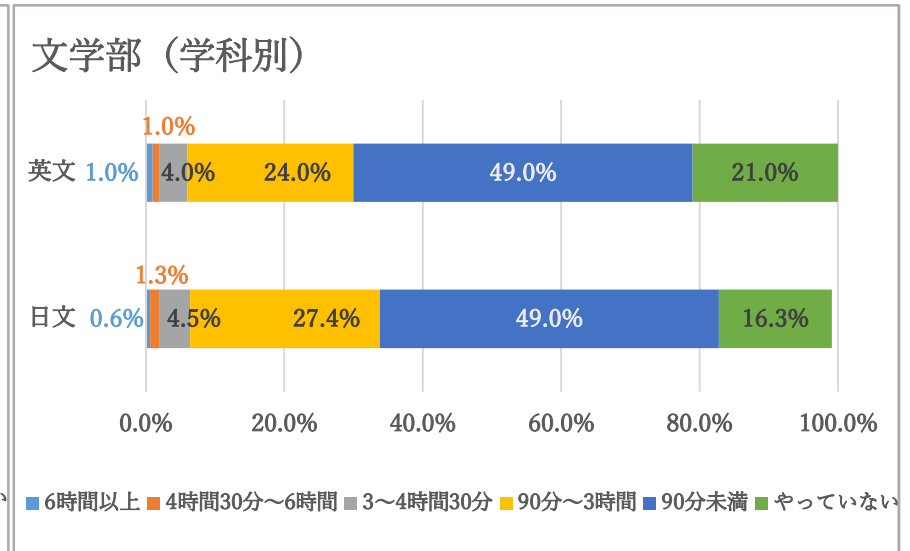
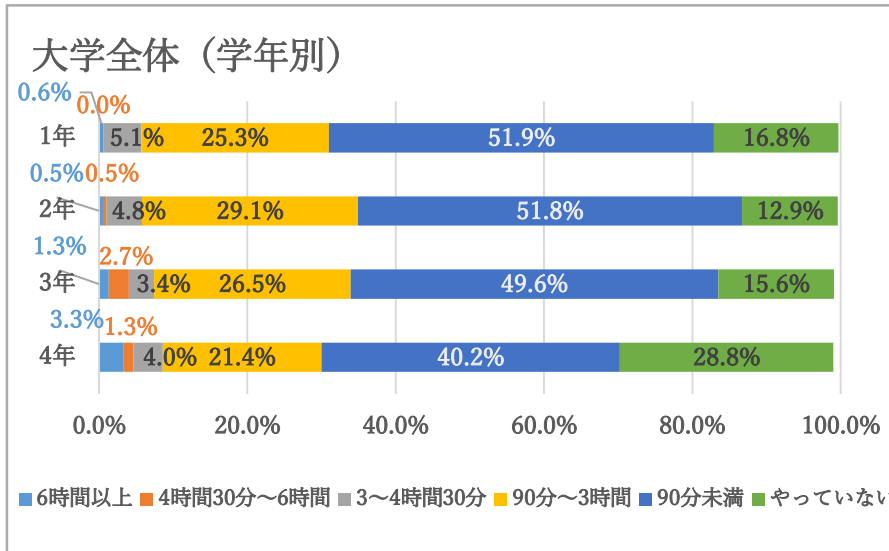
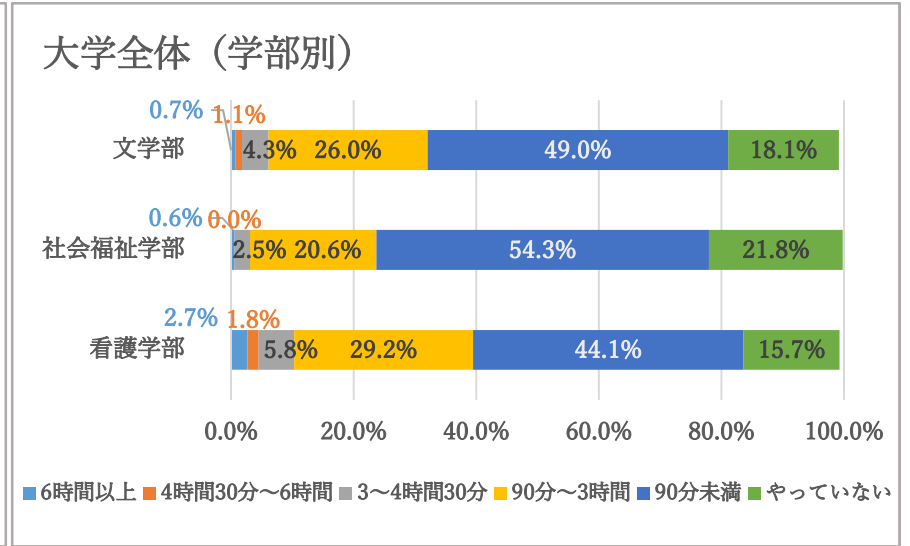
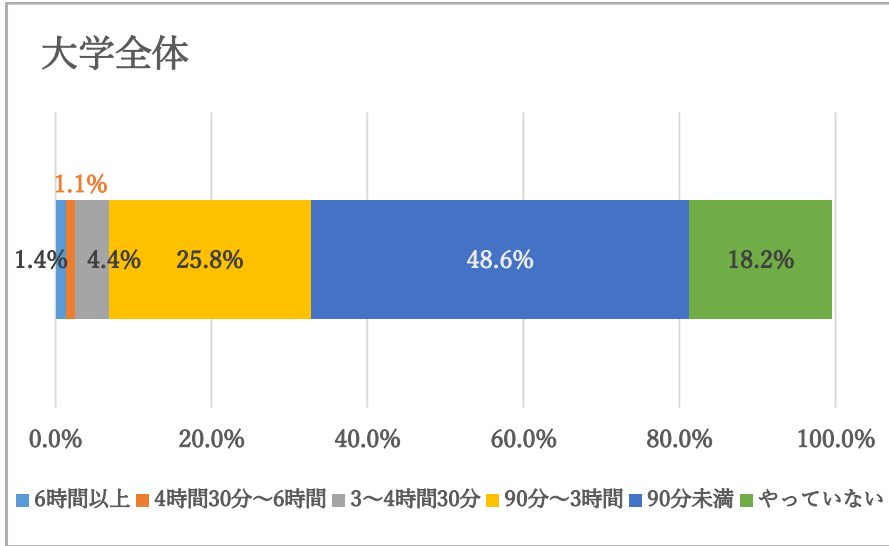
問10 授業の難易度について、総合的にどのように感じていますか。



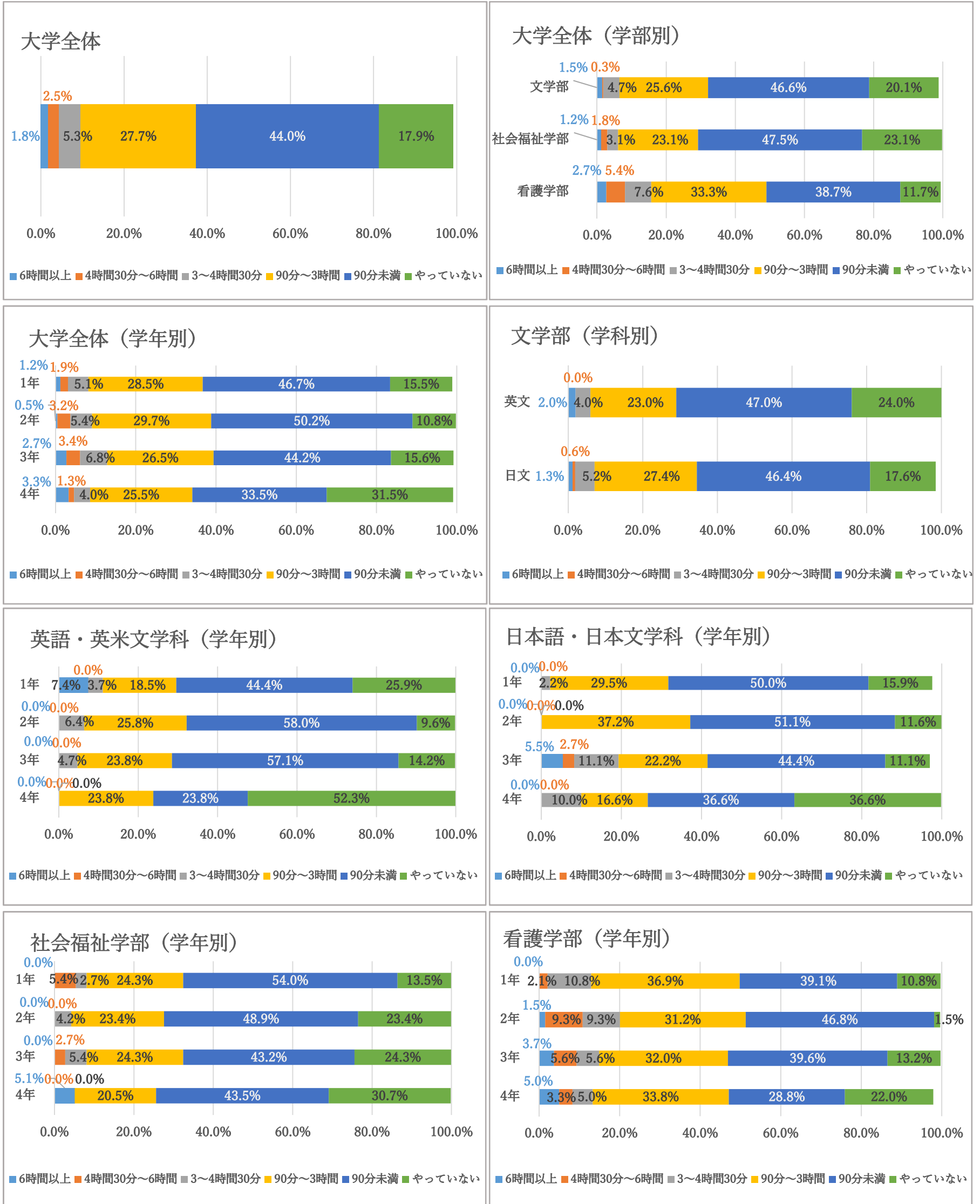
問11 授業に対して、積極的に取り組みましたか。



問12 授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。

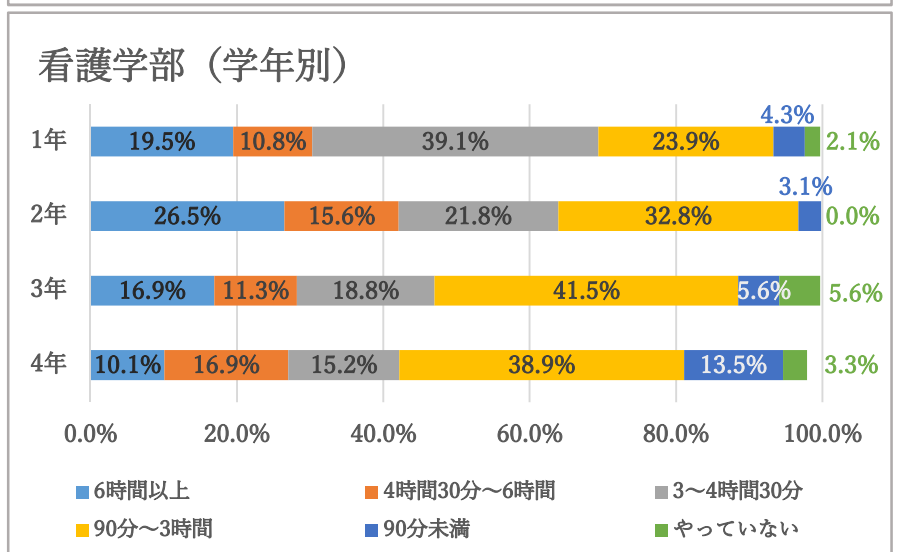
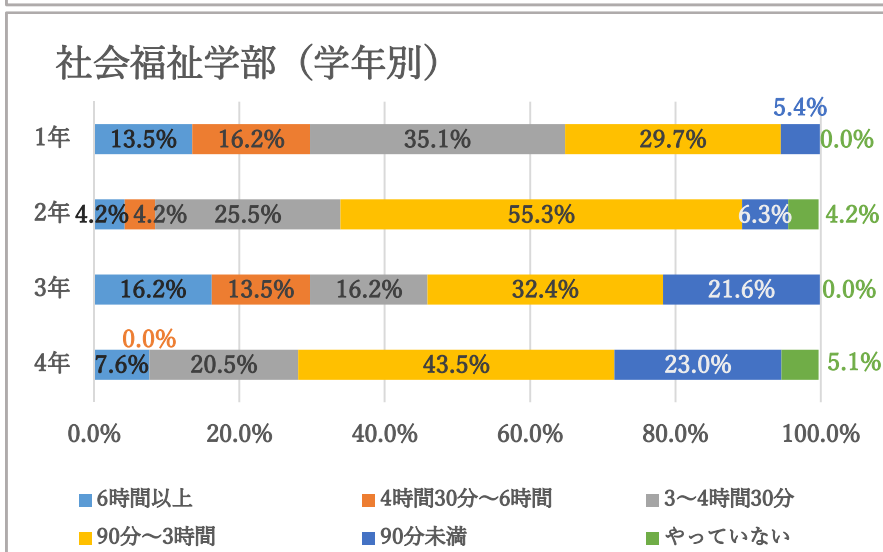
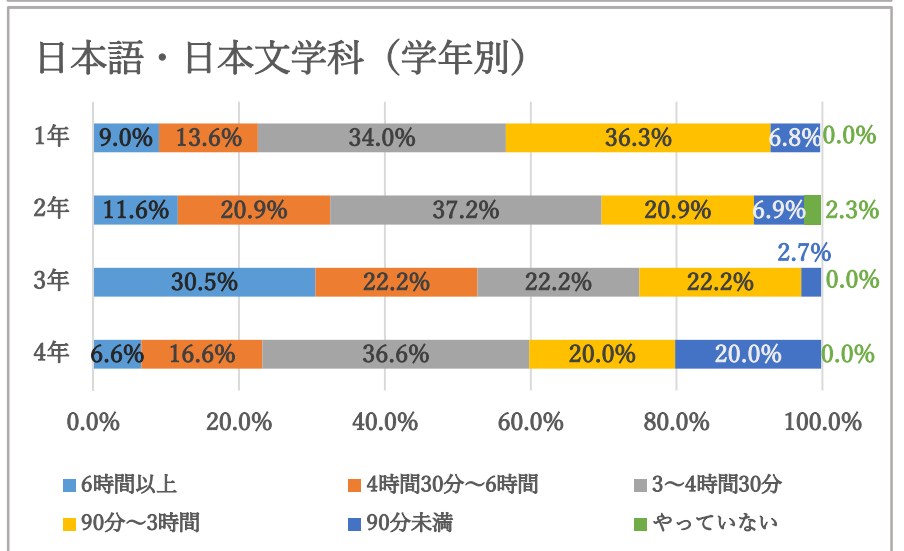
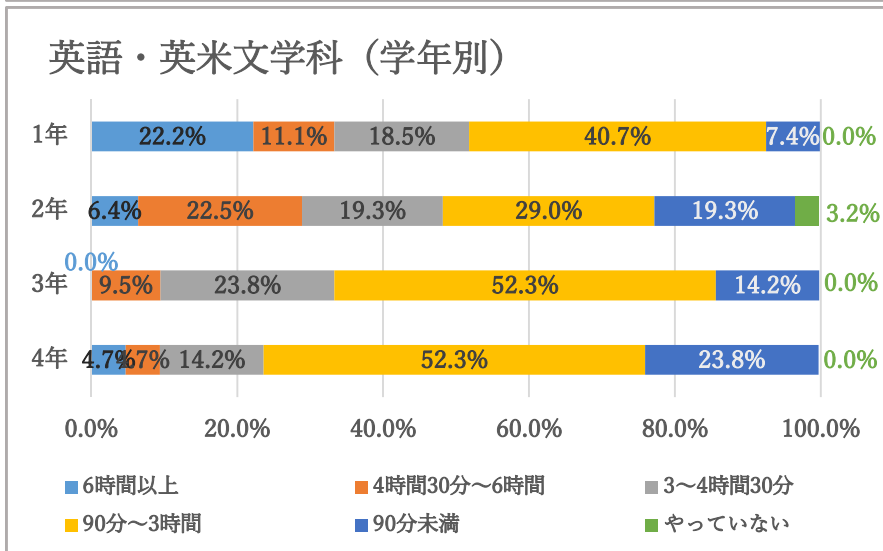
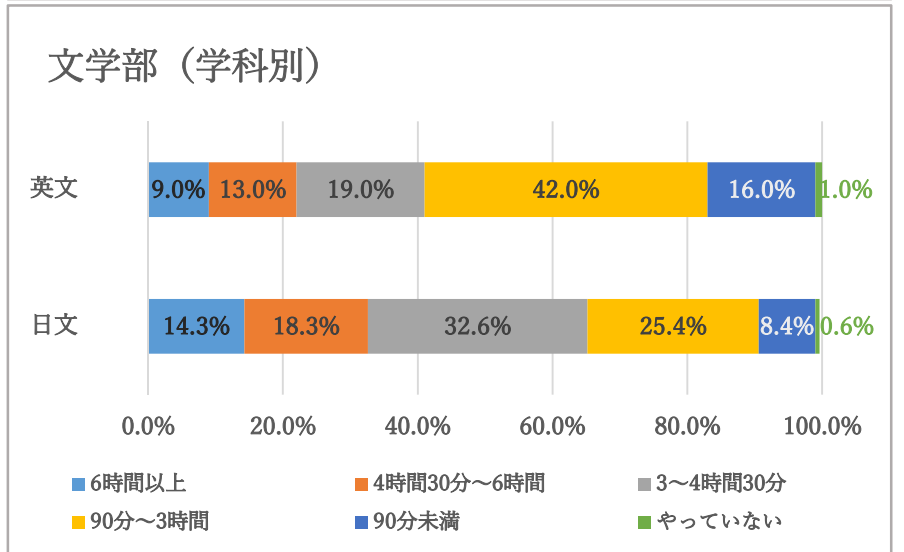
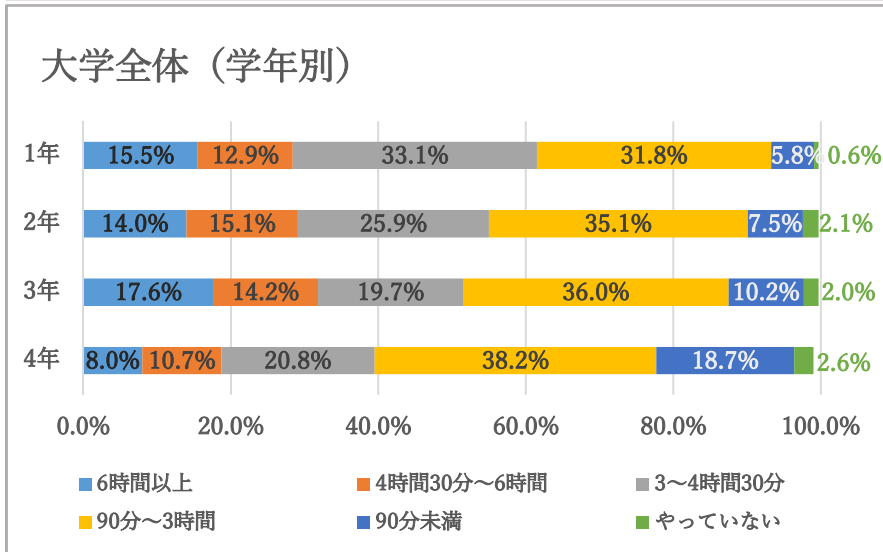
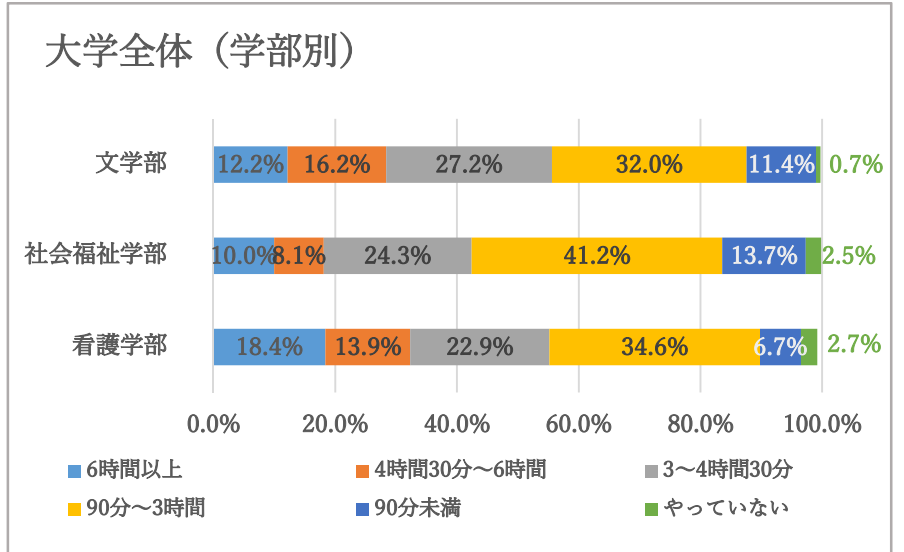
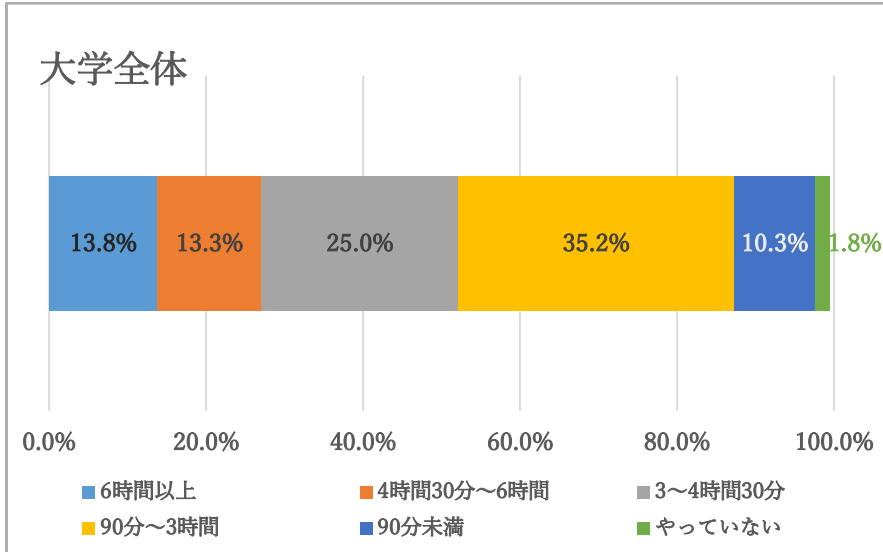


問13 授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。



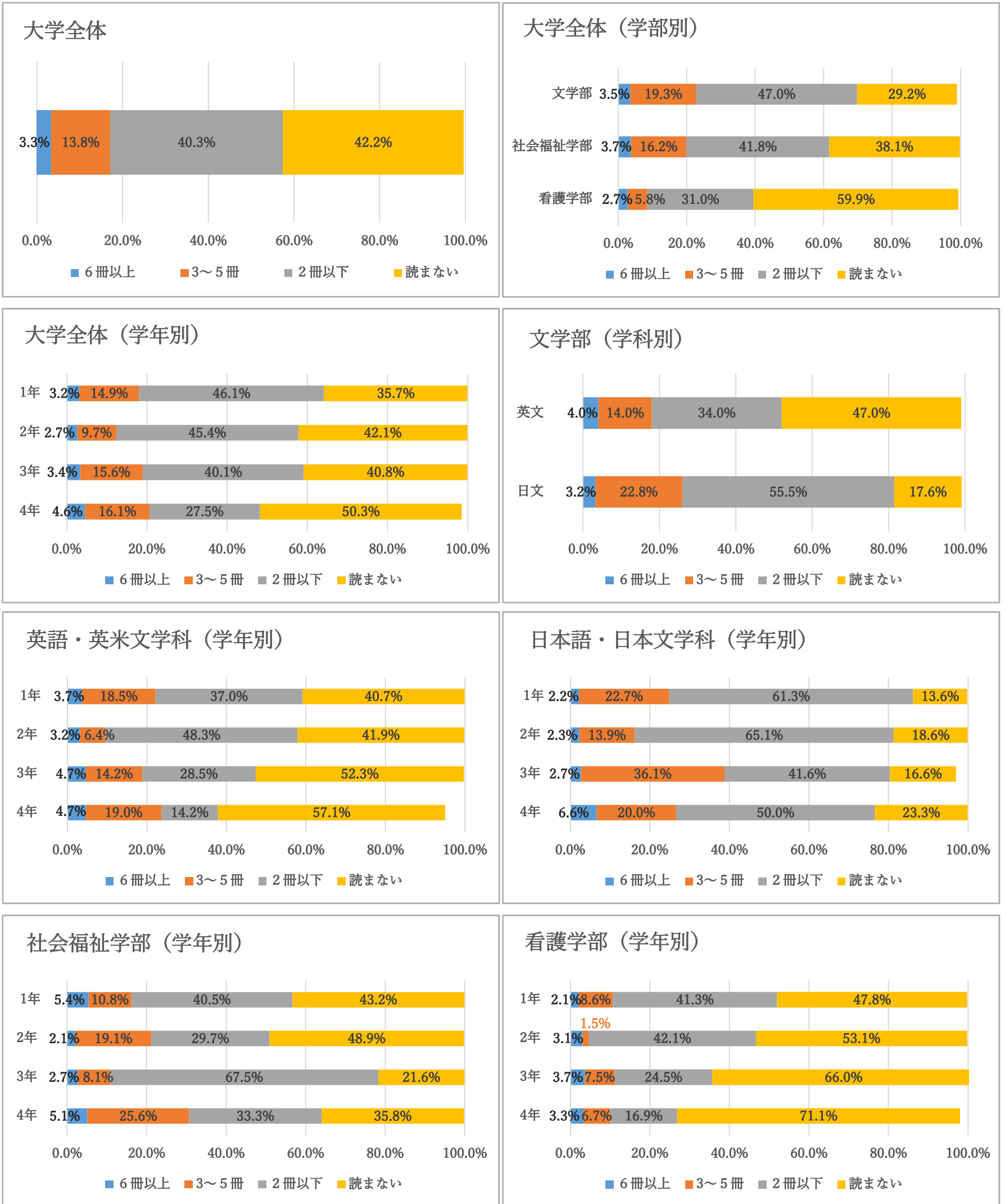


問14 授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でのどのくらいですか。

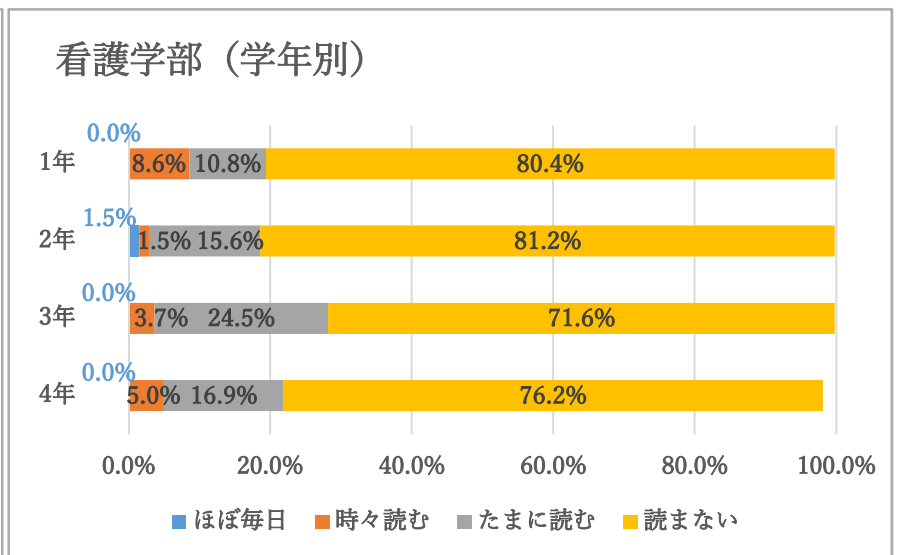
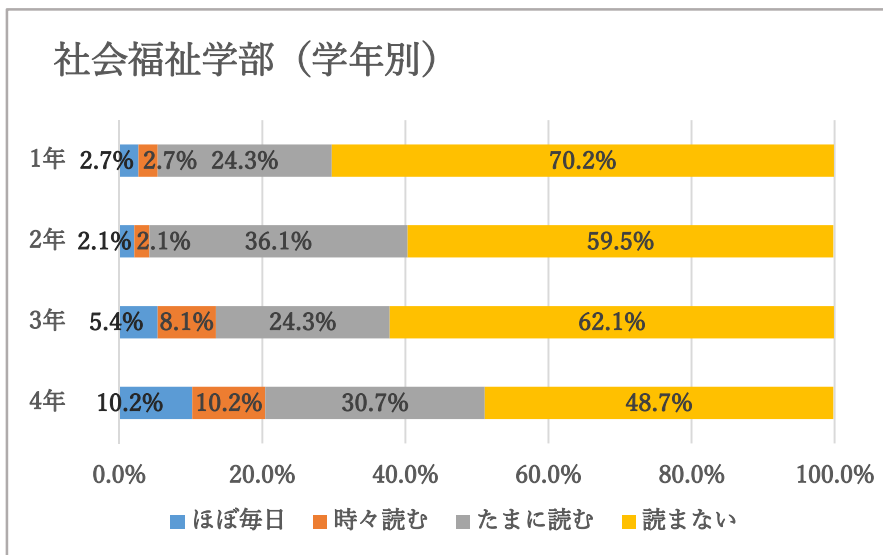
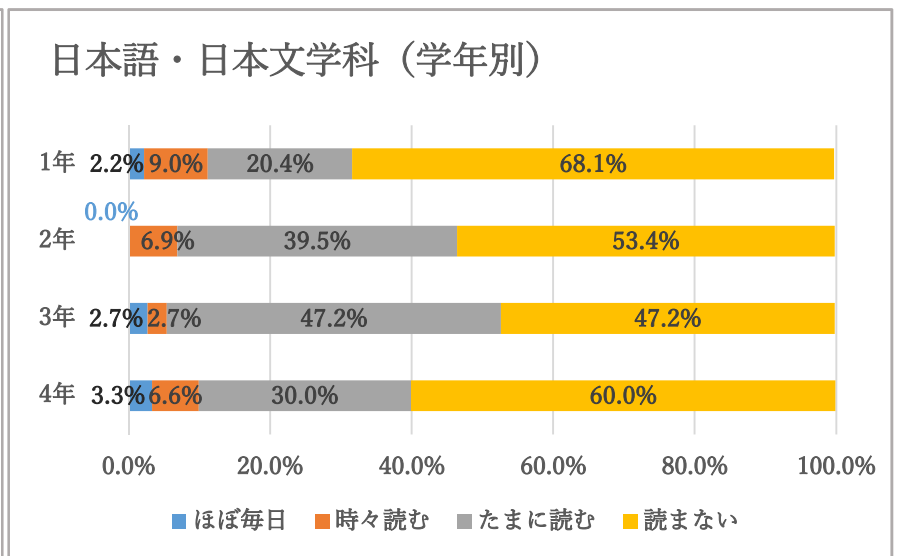
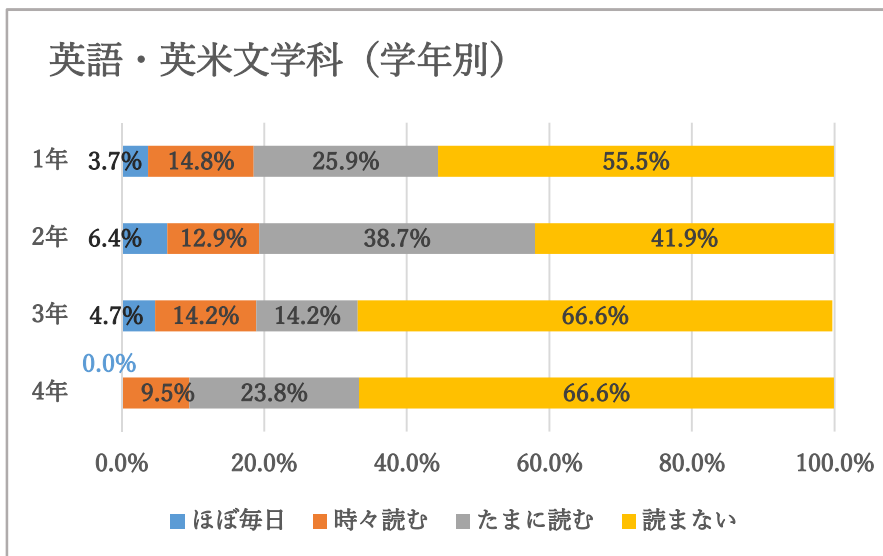
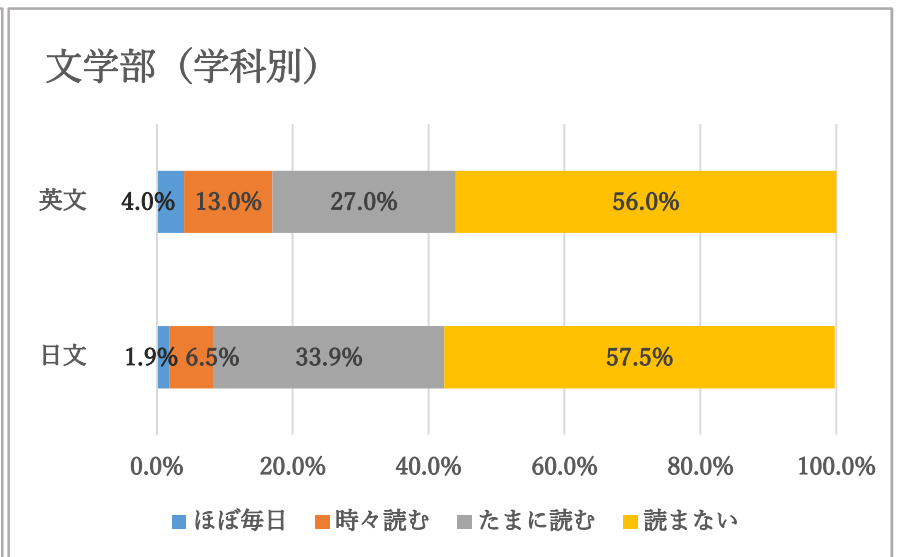
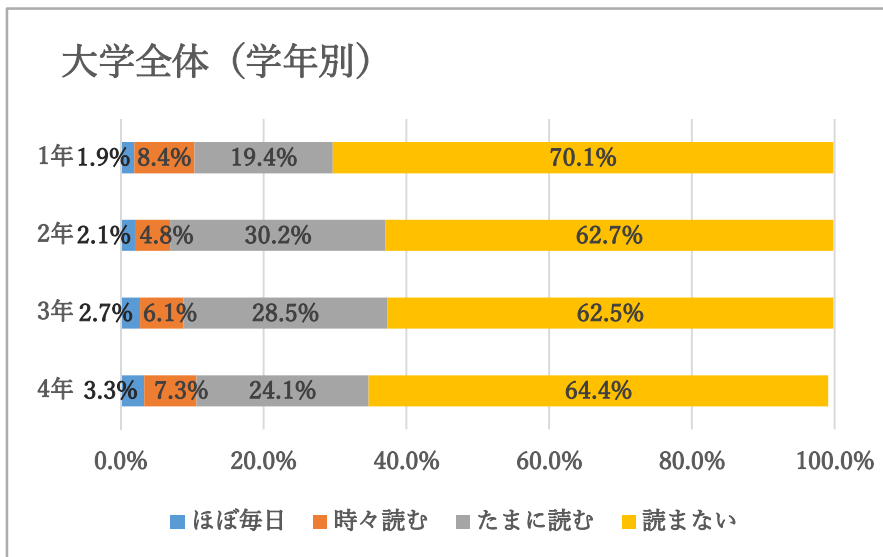
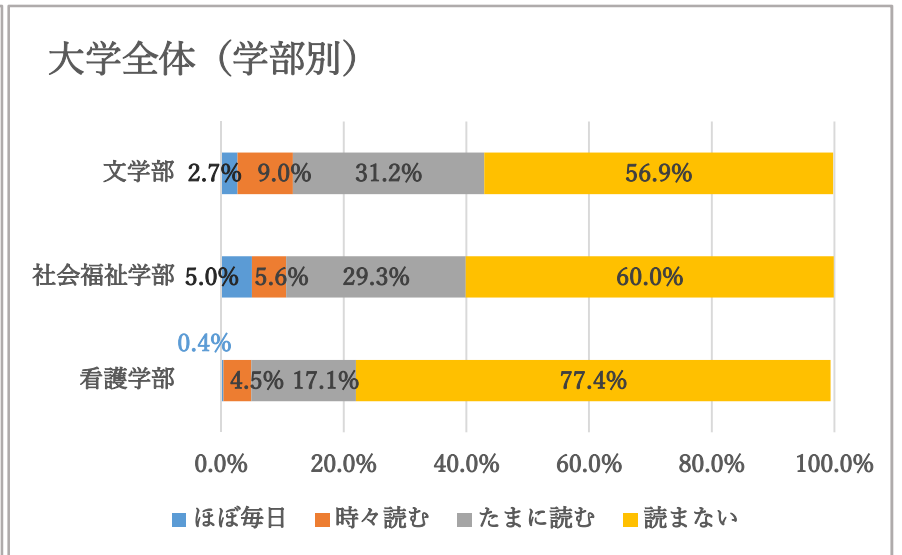
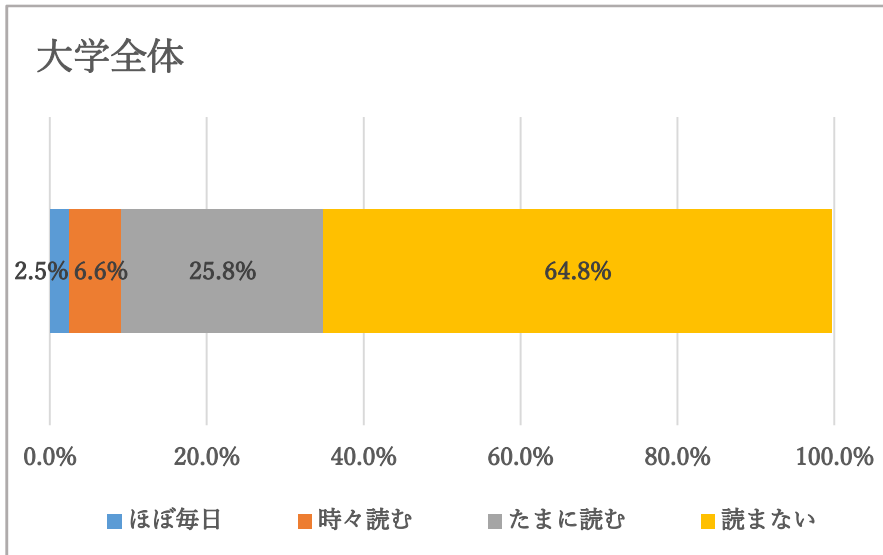


(2)授業以外の学修行動、ふだんの行動

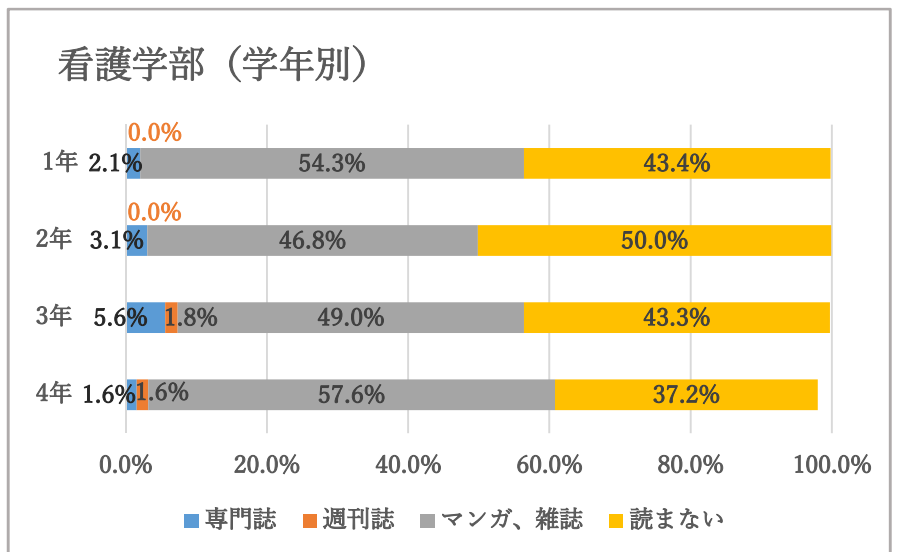
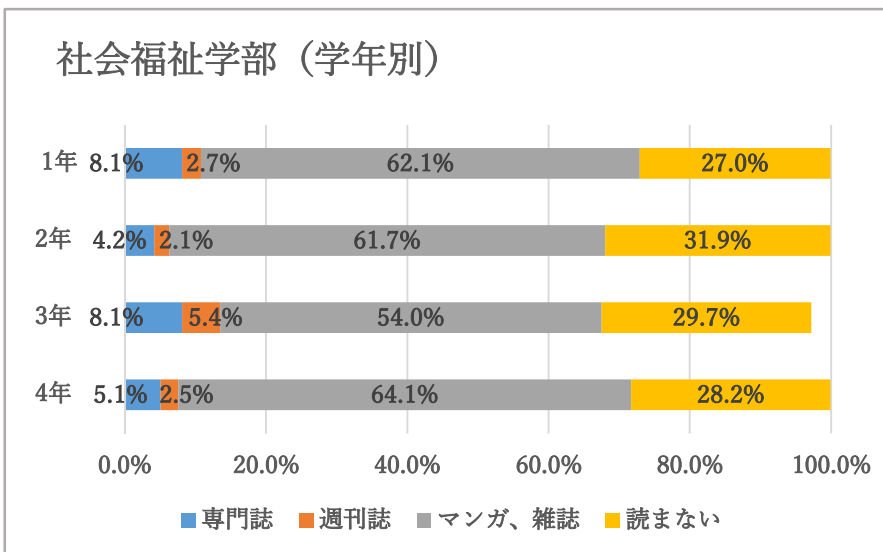
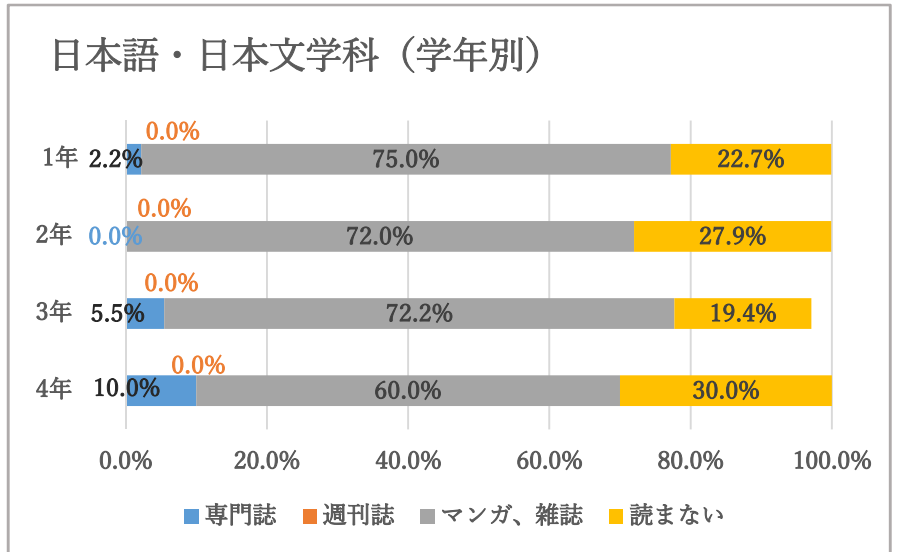
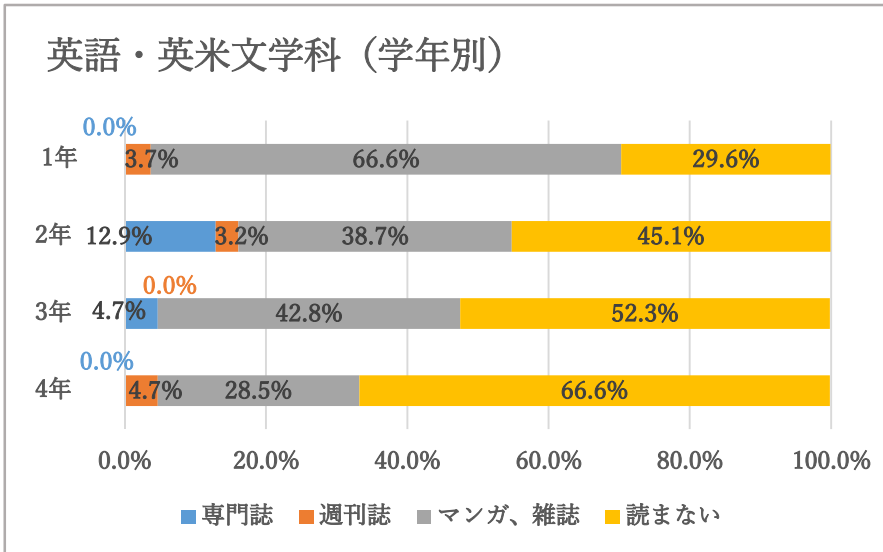
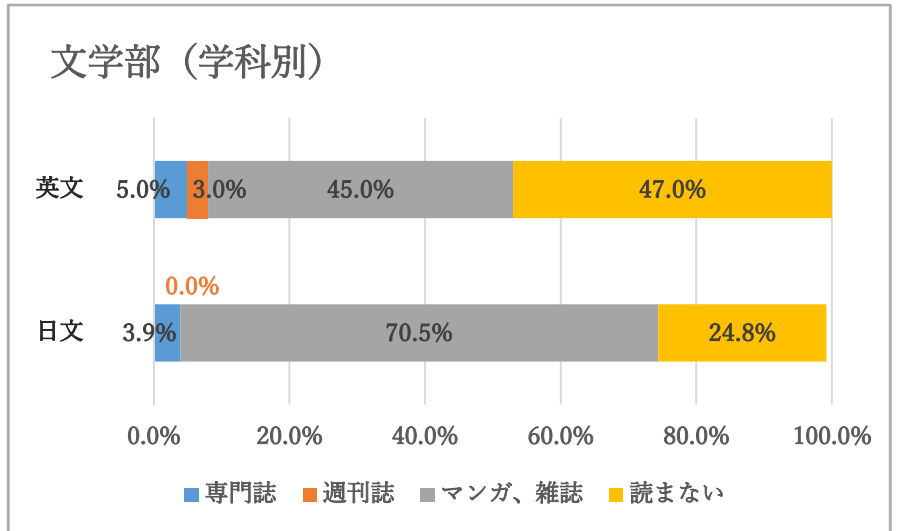
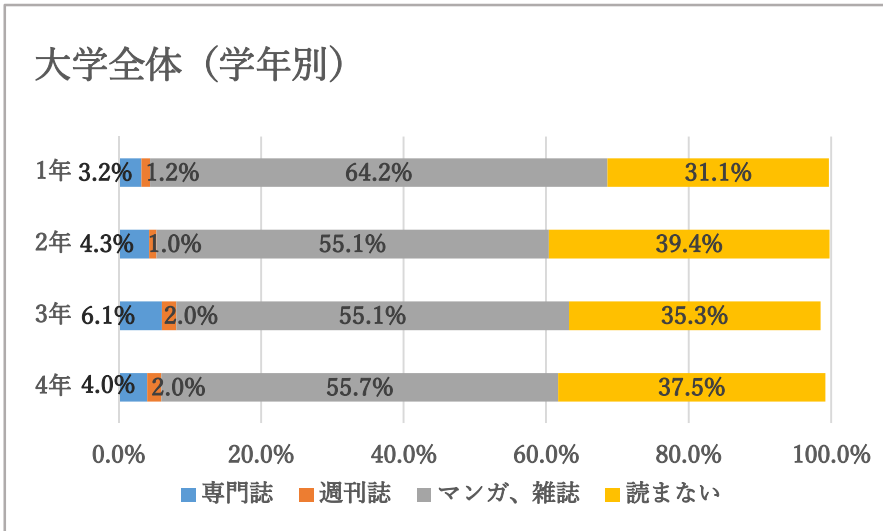
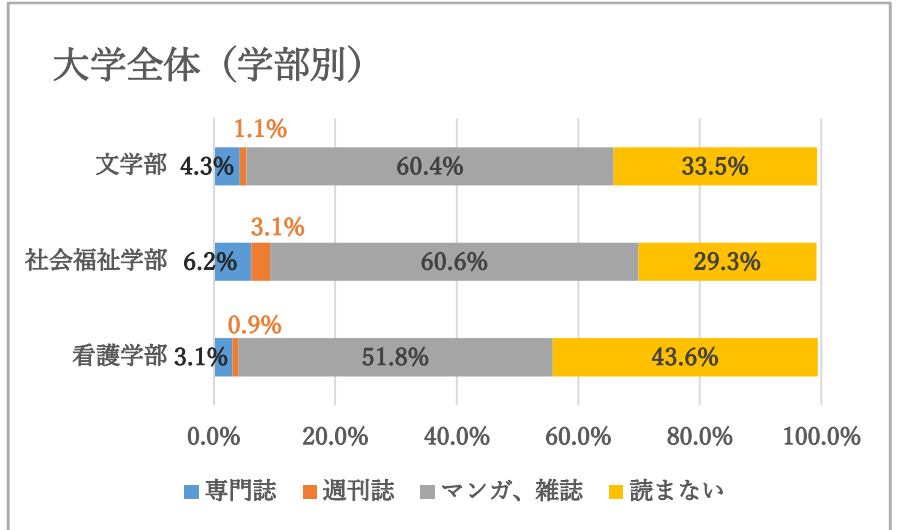
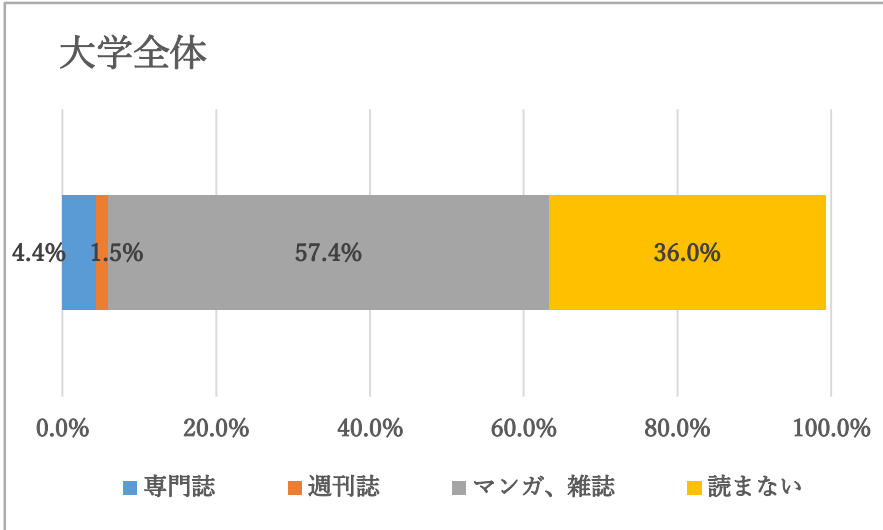
問15 本を、月にどのくらい読んでいますか。



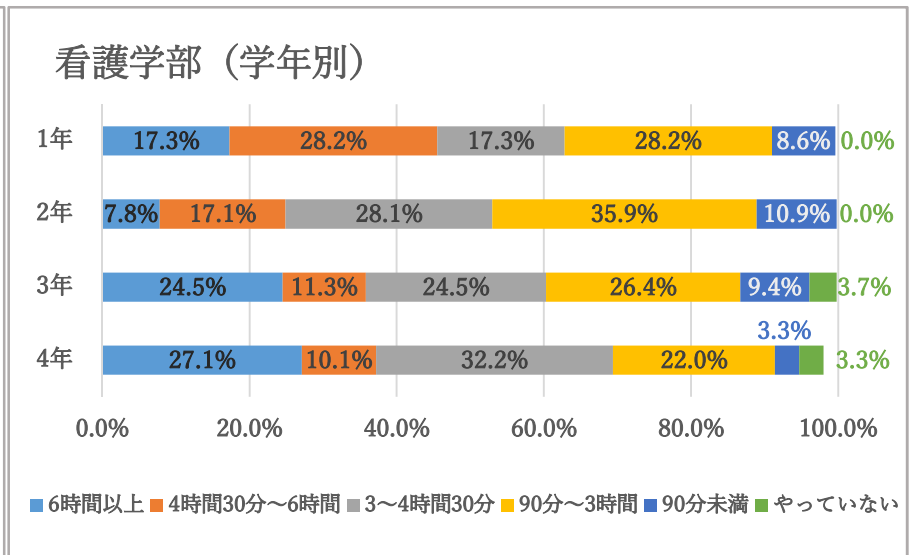
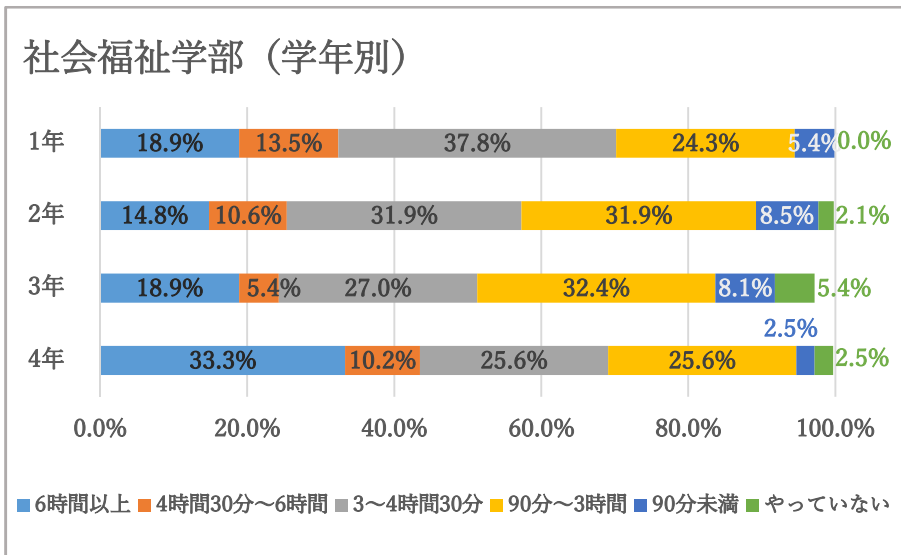
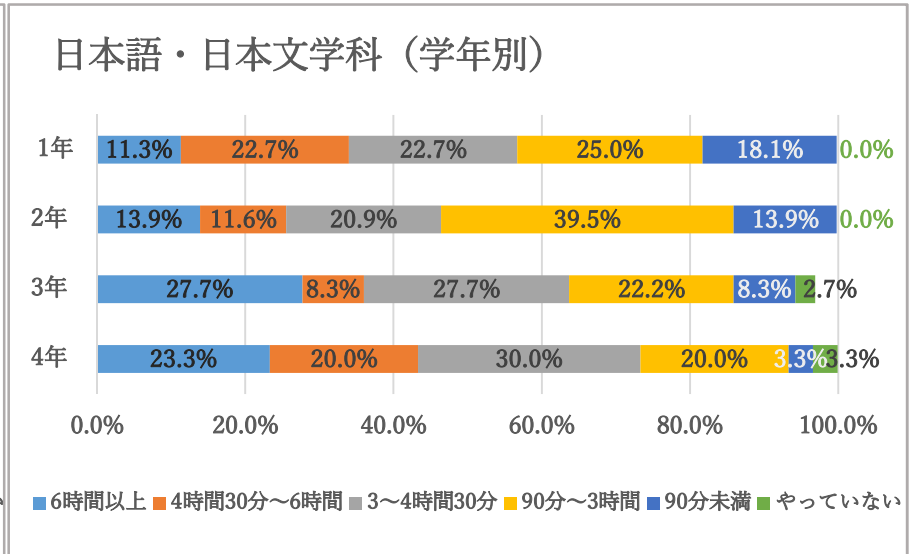
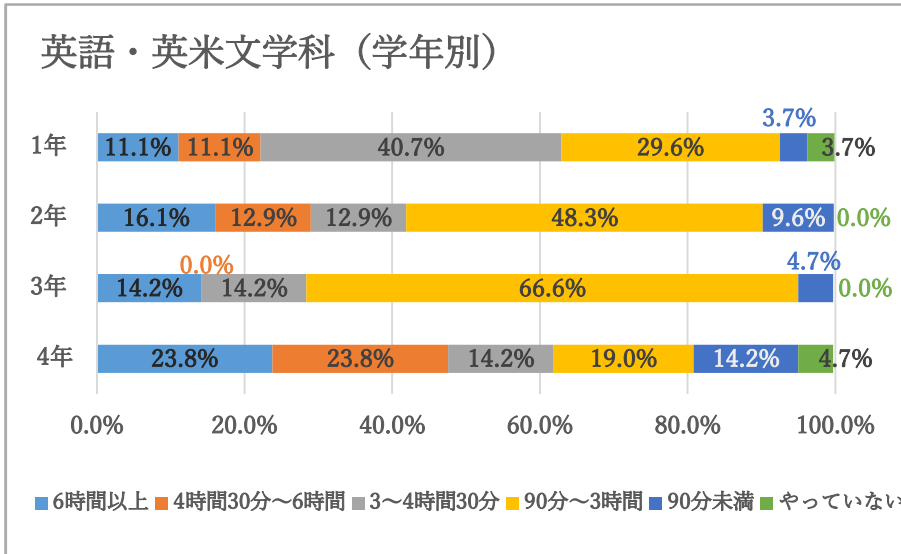
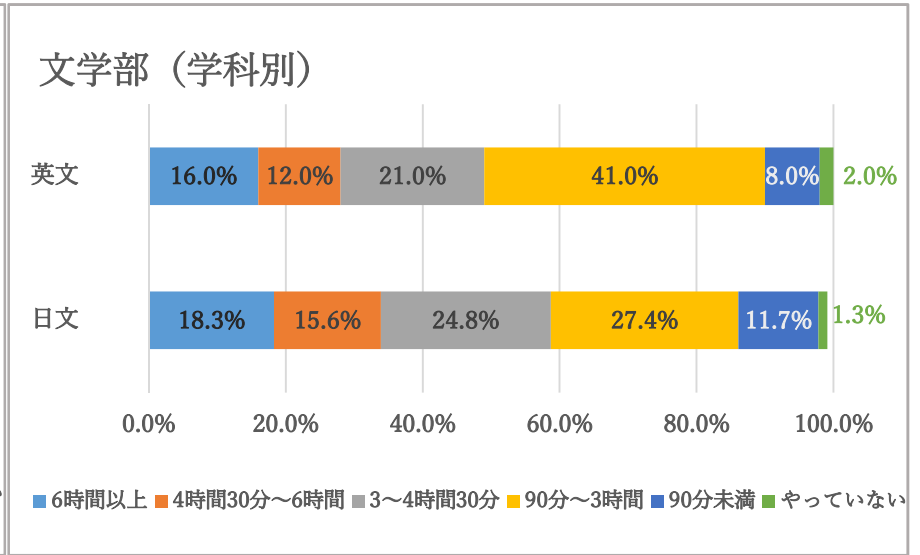
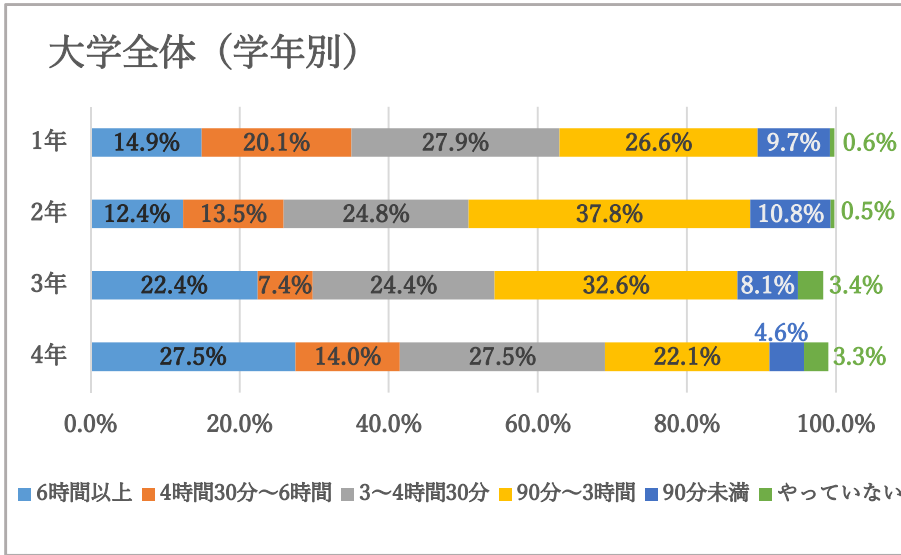
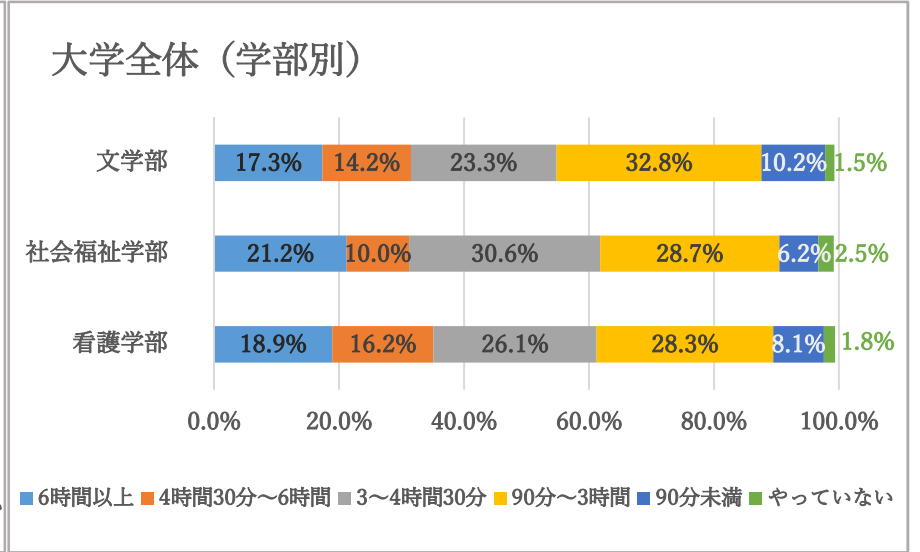
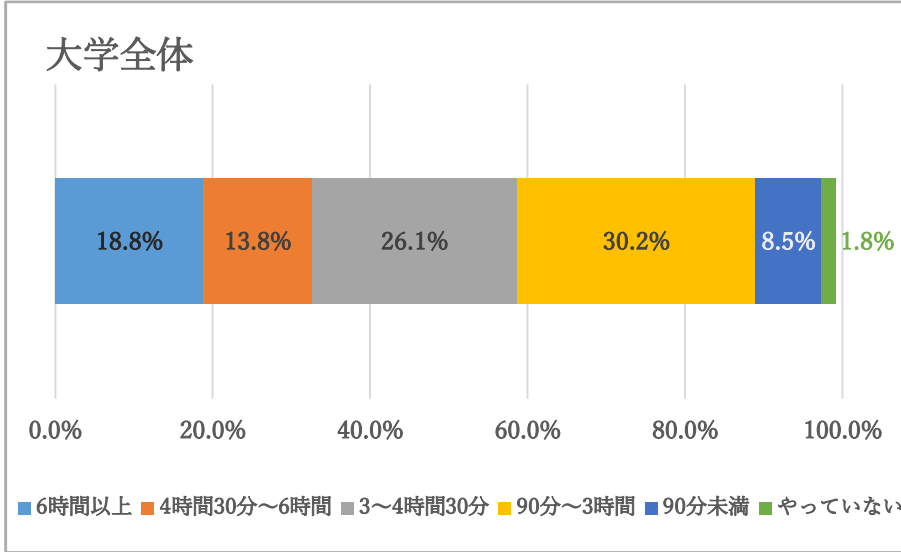
問16 新聞を読んでいますか。



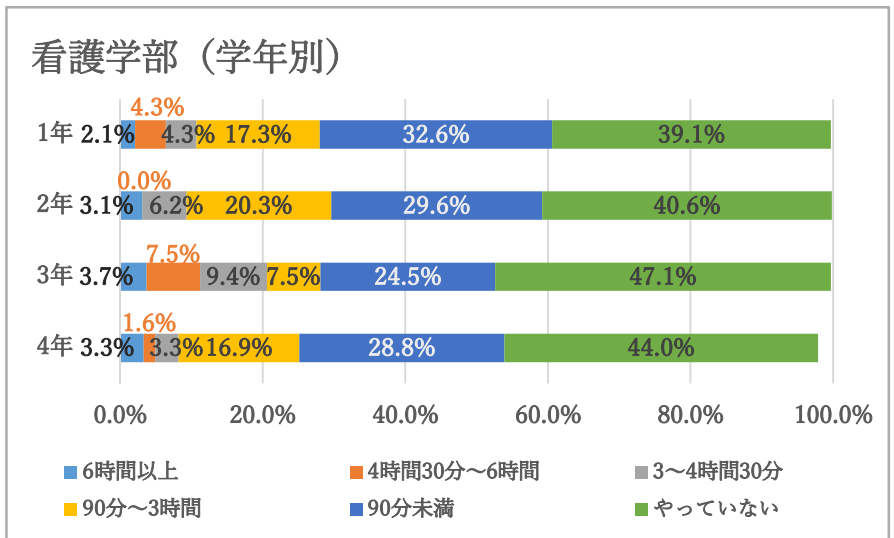
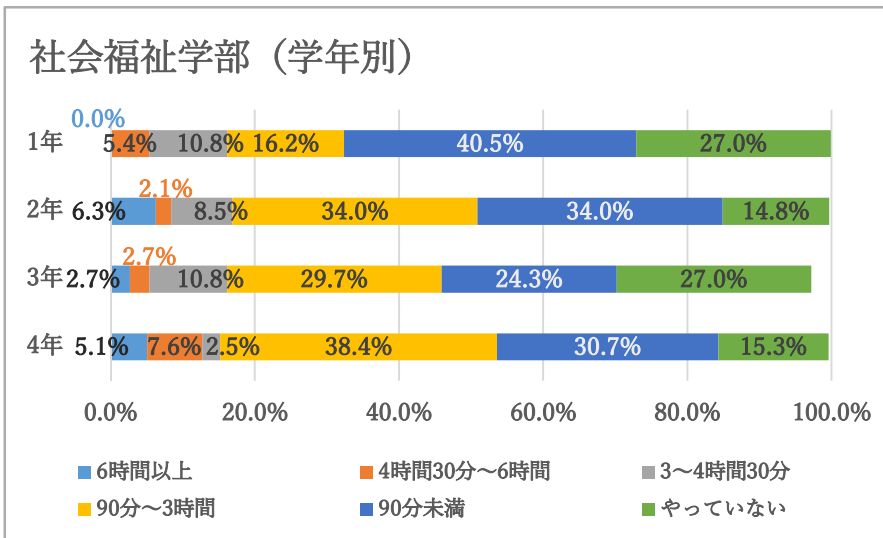
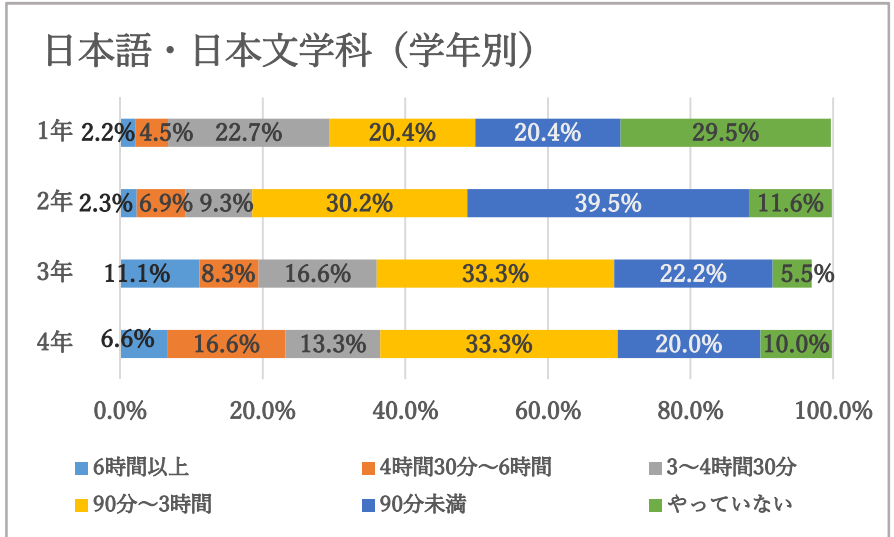
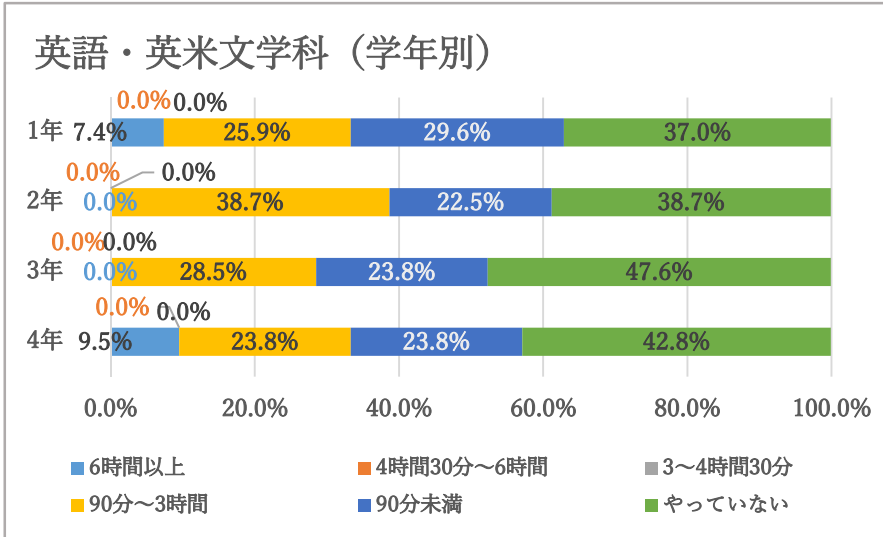
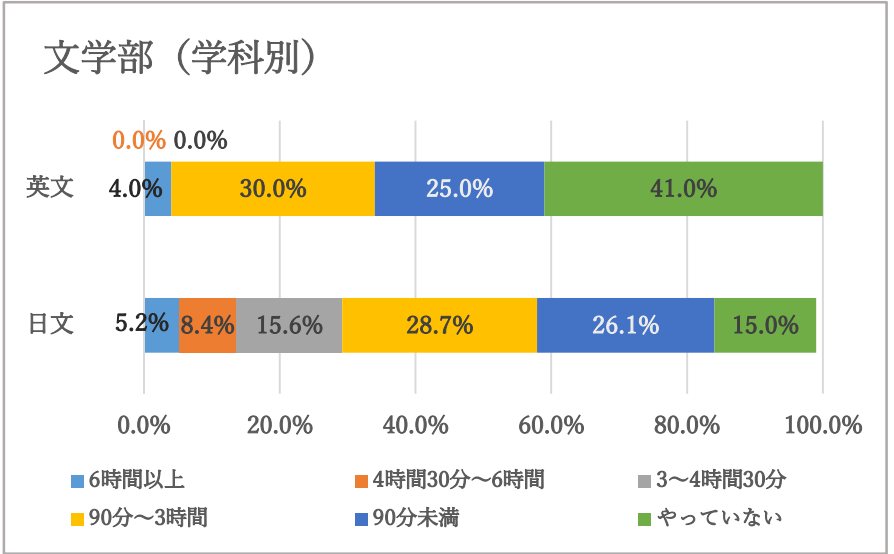
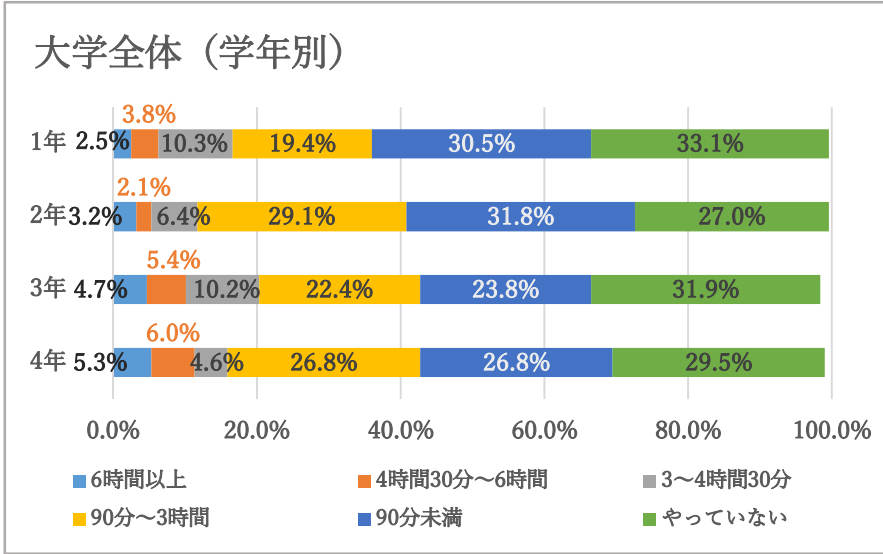
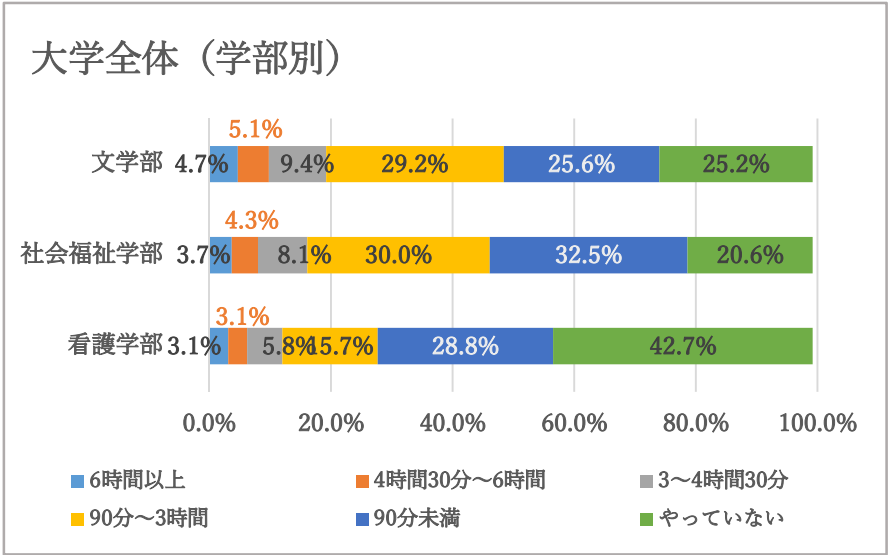
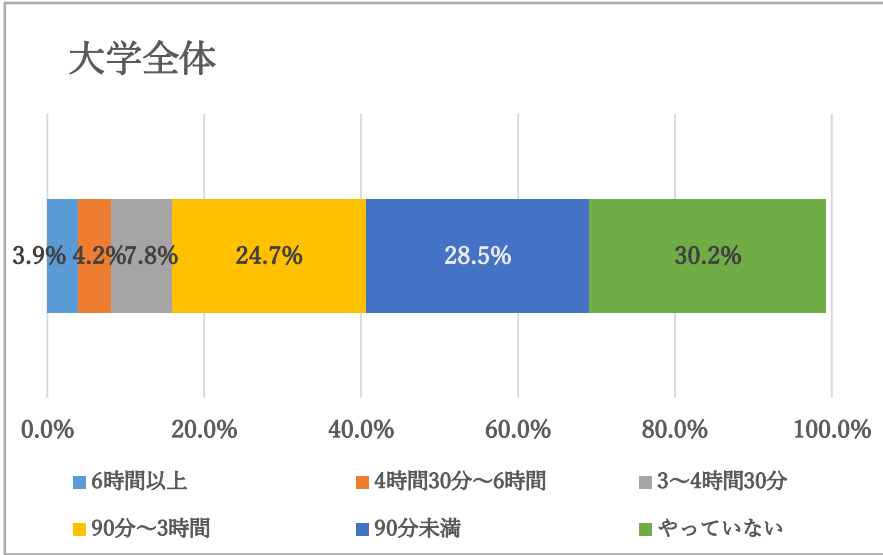
問17 定期的に取り組んでいるものは何ですか。



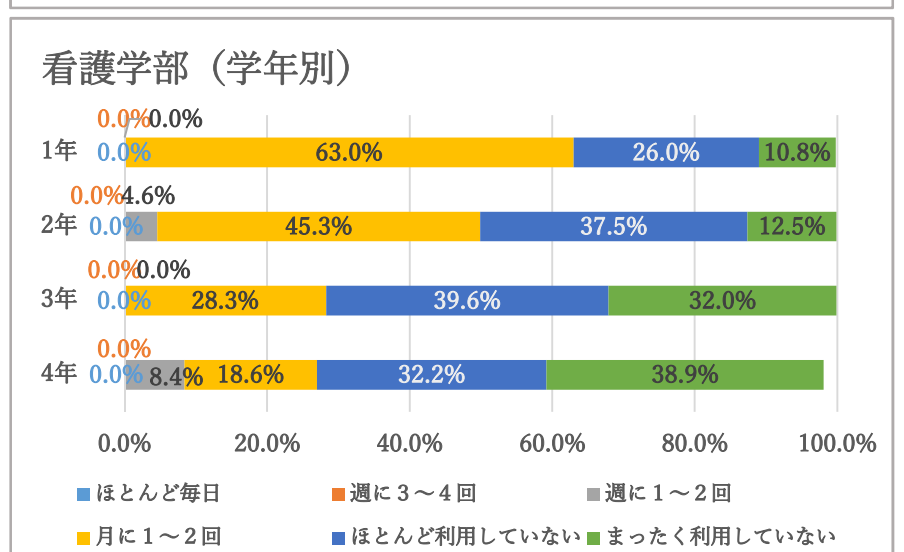
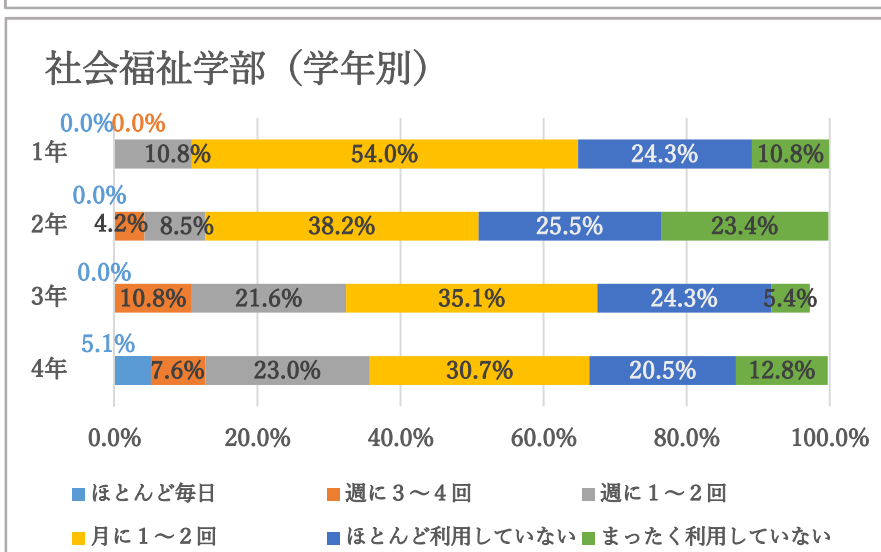
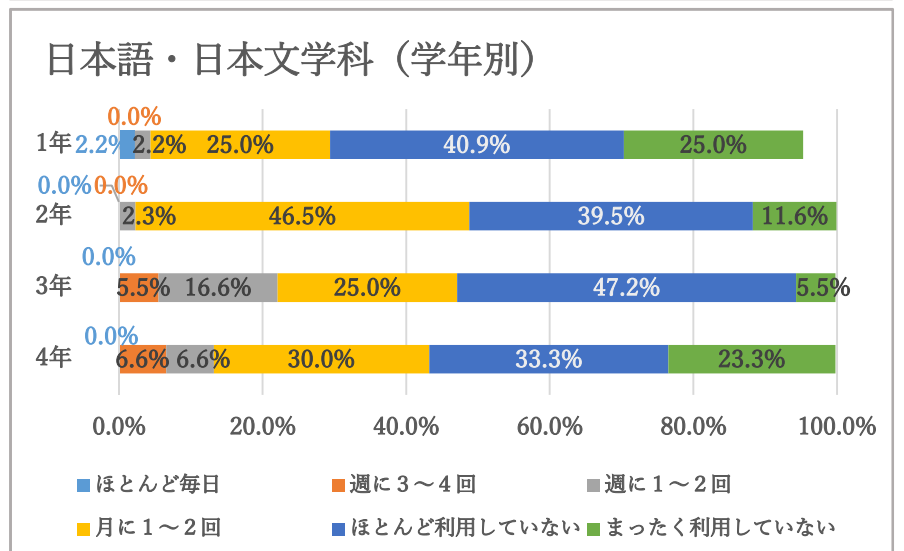
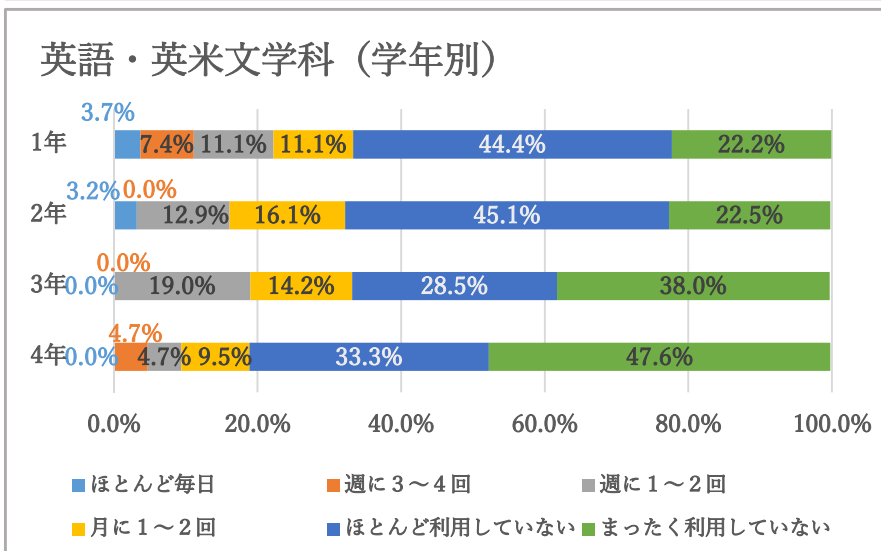
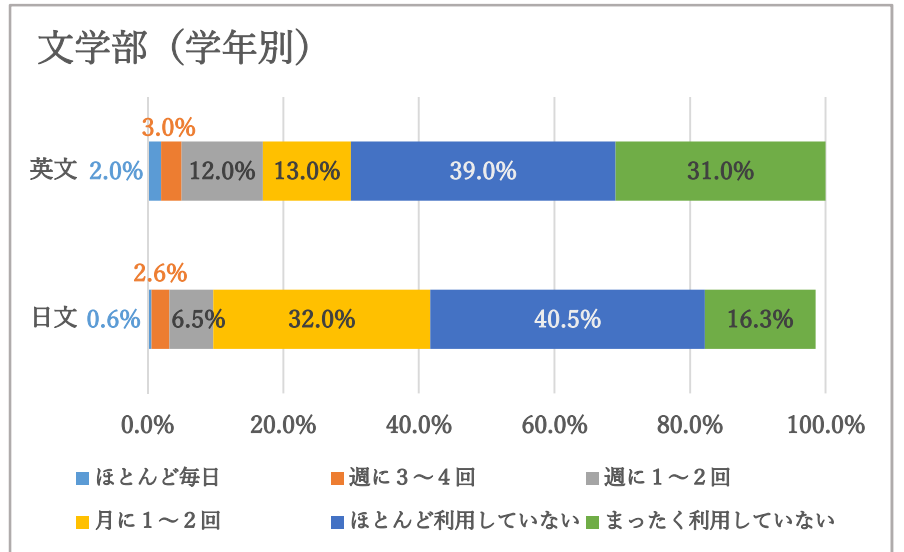
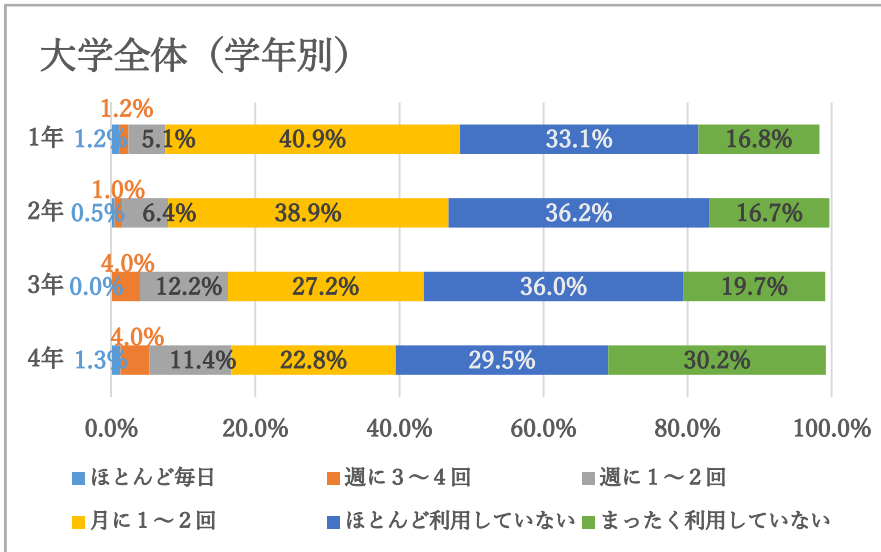
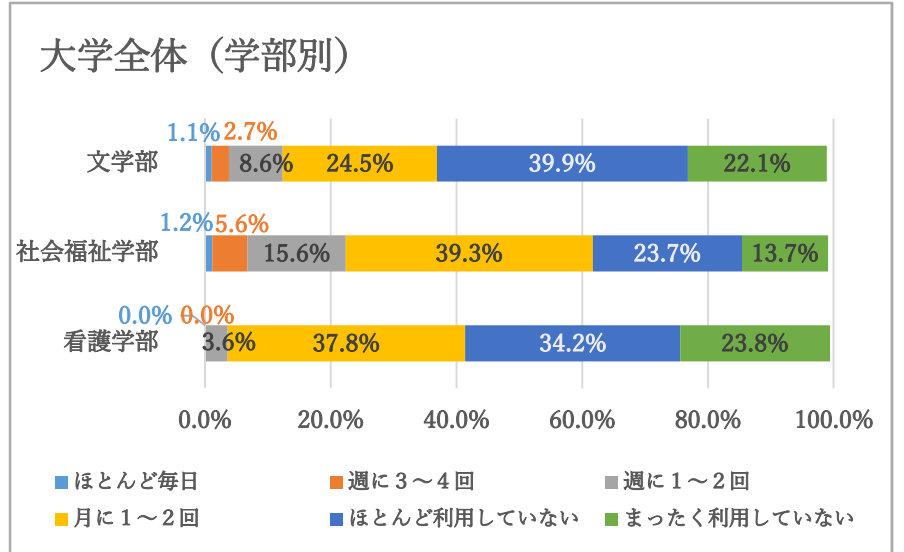
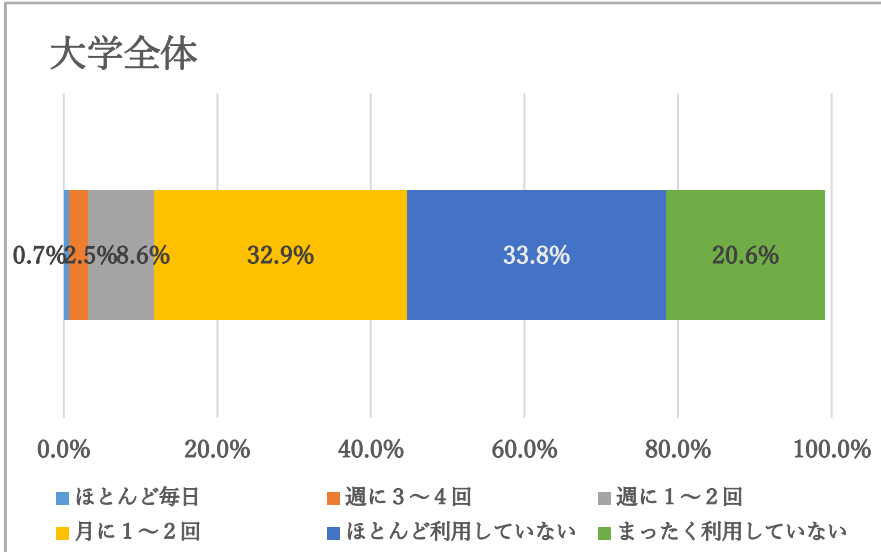
問18 インターネット（LINE、SNSなども含む）を、1日どのくらい使っていますか。



問19 ゲーム（オンラインゲームも含む）を、1日どのくらい使っていますか。



問20 図書館をどのくらい利用していますか。



## A 学修行動

A「学修行動」の問3～問20の図表・グラフ(4-21 ページ)を参照されたい。

### 1. 授業以外の諸活動(週当たり)

授業以外の諸活動として、アルバイト、部活、サークル活動、ボランティア活動について尋ねた。

#### 問3 アルバイトの平均就労時間/週

本学全体のアルバイト就労率は58.2%(昨年度57.2%)である。全国大学生活協同組合連合会の「第56回回生生活実態調査」(2020年調査)(以下、生協連と略す)によれば72.4%なので、本学はやや低い。

また就労時間は、本学全体では「5～10時間」約15%、「10～15時間」約13%、「15～20時間」が約11%で、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の「平成30年度学生生活調査」(以下、支援機構と略す)では、週平均13.9時間であり、また生協連では、週平均12.6時間である。単純に比較はできないが本学はおおむねこれらの平均に近いと思われる。

#### 問4 部活、サークル活動

全体では「なし」が83.9%(昨年度82.6%)。以下カッコ内は昨年度の数値)で最も多く、活動している場合でも「1～2日」が14.4%(14.5%)であり若干下がっている。学年の進行と活動割合にはとくに関連がないようである。支援機構では、「0時間」が48.0%で最も多く、次いで「1～5時間」が26.3%である。

#### 問5 ボランティア活動

全体では「なし」が昨年と同じ94.9%で最も多く、活動している場合でも「1～2日」の2.8%(2.9%)である。それでも学年が上がると若干活動割合が上がっている中で、学部別では社会福祉学部が「1～2日」が5.6%(5.7%)の活動割合であり、前年度と同様、全学の中では高い。

### 2. 勉学状況

ここでは授業関係について尋ねた。

(1)登校・出席状況、授業を中心とした学修状況について。

#### 問6 登校日数

全体では「7日」と「5～6日」と合わせて、ほとんど毎日登校が76.9%(81.0%)で最も多く、次いで「3～4日」が16.3%(10.7%)となっている。学年が上がると登校日数が下がる傾向は文学部と社会福祉学部にみられるが、看護学部では逆に高いのは前年度と同様である。



### 問7 授業出席割合

全体では、出席率「80～100%」が78.4%（75.7%）と昨年度より高い。学部別では看護学部が最も高いのはカリキュラムの特性ゆえであろう。8割以上の出席日数は、全体として、学年が上がると下がる傾向が見られるが、学部によって異なり、看護学部は学年を通して高い。

### 問8 授業欠席割合

理由のない欠席を尋ねたが、全体としては「20%未満」が81.881.1%（81.1%）であり、中でも看護学部は9割で欠席率は低い。

### 問9 授業への興味・関心度

全体では、最も多いのが「60～80%」の35.1%（32.7%）で、次いで「40～60%」の33.0%（37.1%）である。6割以上の授業に興味・関心があるのは、全体としては49.7%（42.3%）であるが、学部別では、文学部44.9%（32.8%）、社会福祉学部45.5%（44.2%）、看護学部58%（51.1%）であり、看護学部が最も多い。なお学年による傾向ははっきりしない。

### 問10 授業の難易度

全体では「ふつう」が57.7%（57.1%）で最も多い。「ふつう」と「やや易しい」8.0%（7.8%）と「かなり易しい」2.8%（2.7%）とを合わせると68.5%（67.6%）で、約7割の学生はそれほど難しいとは感じていない。学年が上がると「やや難しい・かなり難しい」の割合が減少するようである。

### 問11 授業取り組み度

全体では「ふつう」が37.9%（34.1%）で最も多い。「ふつう」と「よく取り組んだ」31.9%（31.4%）と「かなり取り組んだ」12.1%（12.7%）とを合わせると81.9%（78.2%）で、8割の学生はそれなりに取り組んだという自己評価であり、全体の取り組み度は悪くないと思われる。学年別では積極的な取り組み度は1年次において高い。

### 問12 授業の予習

「やっていない」が18.2%（23.9%）であり、やっている場合でも、「90分未満」が48.6%（43%）を占める。この2つを合わせると昨年度と同じく約67%（76.8%）、約7割が取り組んでいないことになる。

### 問13 授業の復習

「やっていない」が全体の17.9%（19%）を占め、「90分未満」の44%（45%）と合わせると61.9%（64%）となり、前年度よりは減じたとはいうものの、6割以上が復習にも取り組んでいないということになる。

支援機構では、設問「大学の授業の予習・復習など」では予習と復習とを一括したものになっているが、「0時間」が17.5%、「1～5時間」が54.0%、「6～10時間」が16.6%となっている。これと比べて本学は「やっていない」がかなり多い。

問12の予習と問13の復習は、事前・事後学修を定めた「単位の実質化」に関わる課題であり、この達成が求められているわけであるが、現状はそれとはかなり距離がある。

#### 問14 授業に関わる発表、レポート、課題への取り組み時間

全体では、「90分～3時間」が35.2%（40.0%）で最も多く、「3時間～4時間30分」25%（20.8%）がこれに次ぐ。「90分～3時間」と「90分未満」10.3%（10.2%）と「やっていない」1.8%（1.2%）とを合わせて47.3%（51.4%）となり、4割7分が3時間未満ということになる。

### (2) 授業以外の学修行動、ふだんの行動

読書、新聞、定期的に読むもの、インターネット、ゲーム、図書館利用率などを尋ねた。

#### 問15 読書量

設問では読むものの種類やジャンルなどをとくに限定していないが、全体では「読まない」が42.2%（44.5%）を占め、「2冊以下」が40.3%（37.6%）となり、読む割合が微増している。学部別では、看護学部、社会福祉学部、文学部の順に冊数が増えているが、学年による傾向は全体的にははっきりみられないようである。

#### 問16 新聞を読むか

新聞離れの傾向が昨年度より進んでいるが、全体では、「読まない」が64.8%（64.5%）で最も多い。「たまに読む」の25.8%（24.7%）と合わせると、90.6%（89.2%）がほとんど読まないということになる。学部別では、読む割合が多いのは文学部である。

#### 問17 定期的に読んでいるもの

全体では昨年度・一昨年度とほとんど変わっていない。「マンガ、雑誌」が57.4%（56.6%）で最も多い。次いで「読まない」も36.0%（35.9%）でかなり多い。設問を「定期的に」としたので、この条件を除けばさらに増えるかもしれない。

#### 問18 インターネット使用時間

全体では、「やっていない」1.8%（0.9%）以外の98.2%（99.1%）が使っている。時間帯では「90分～3時間」30.2%（35.3%）が最も多く、次いで「3～4時間30分」26.1%（21.9%）、「6時間以上」18.8%（16.1%）、「4時間30分～6時間」13.8%（14.4%）の順で前年度と変わらない。学部による相違はとくに見受けられないようである。

### 問19 ゲーム

「やっていない」が全体では30.2% (28.8%) で、次いで「90分未満」が28.5% (26.7%) になる。学年別の差はほとんどみられないようであるが、学部別にみると、看護学部、文学部、社会福祉学部の順に時間が増えているのは昨年度と同様の傾向である。

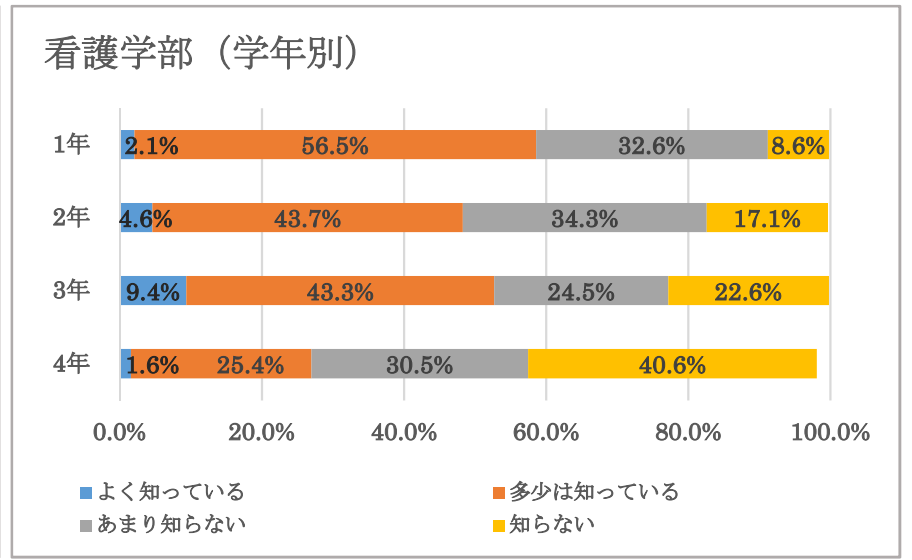
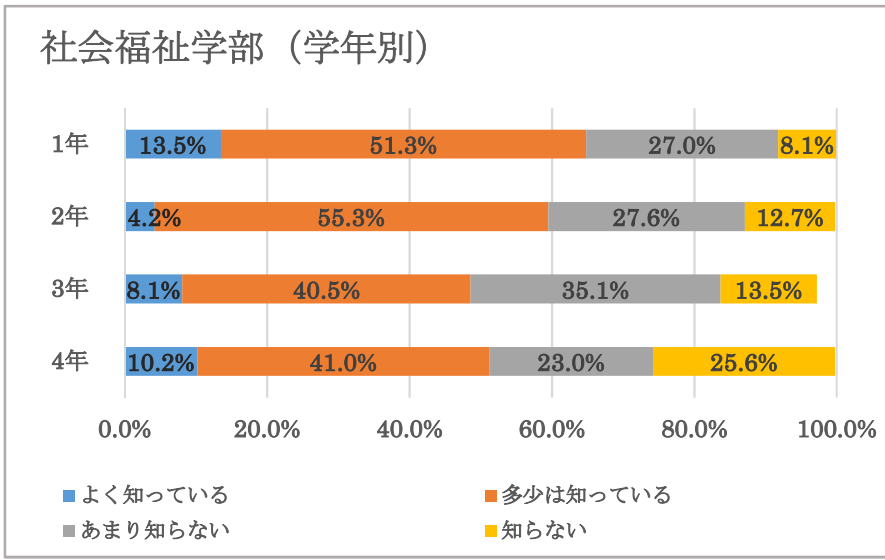
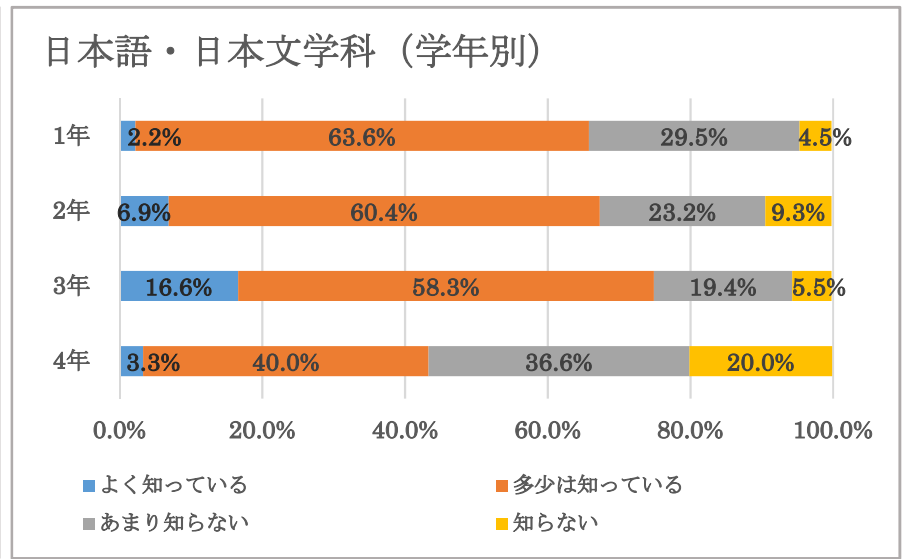
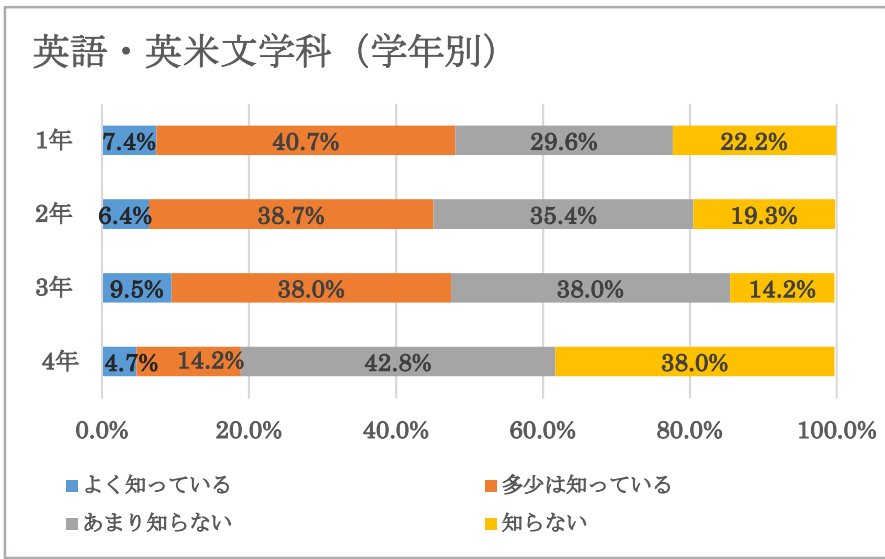
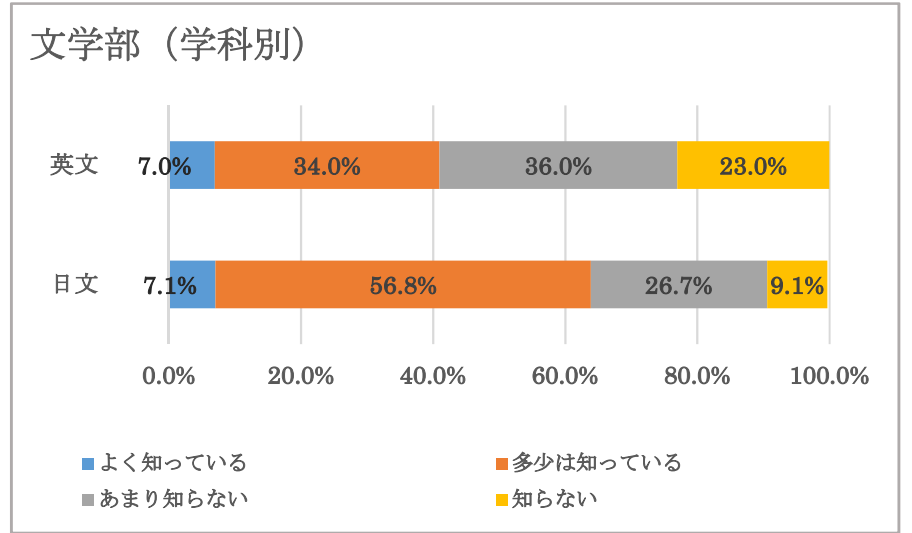
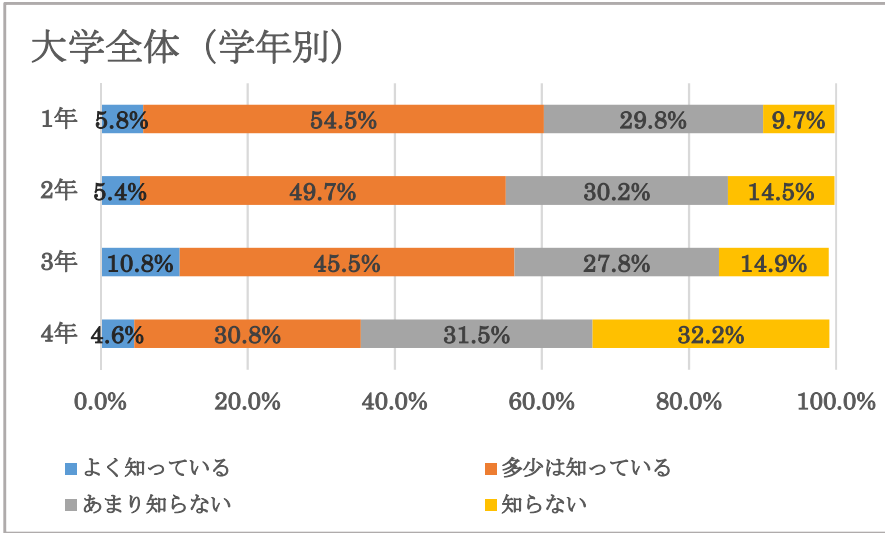
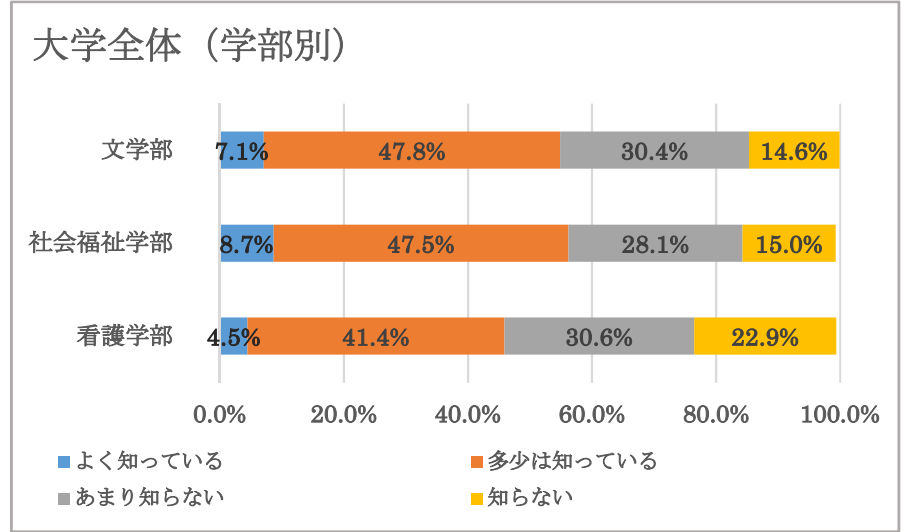
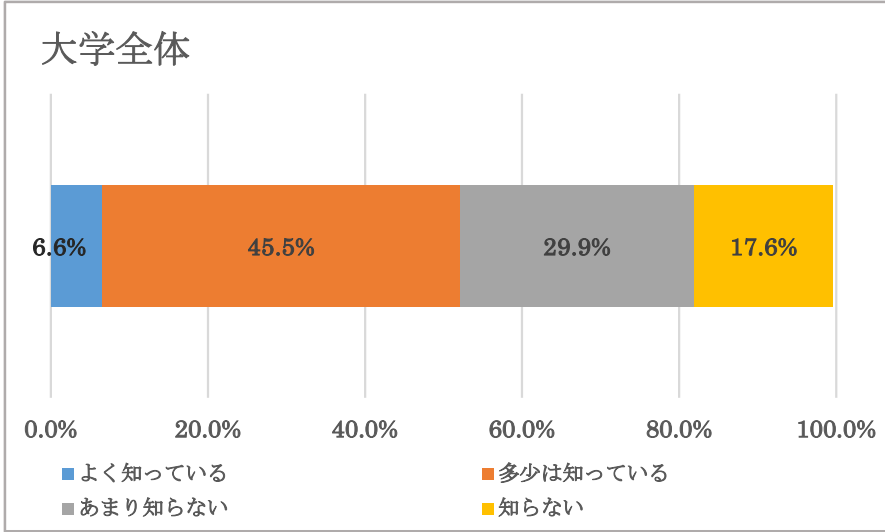
### 問20 図書館利用率

「まったく利用していない」20.6% (20.2%) と「ほとんど利用していない」33.8% (30.5%) とを合わせると、全体では5割4分 (昨年度5割7分) に達する。さらに「月に1~2回」32.9%を合わせると、8割7分 (昨年度8割3分) がほとんど足を運んでいないことになる。

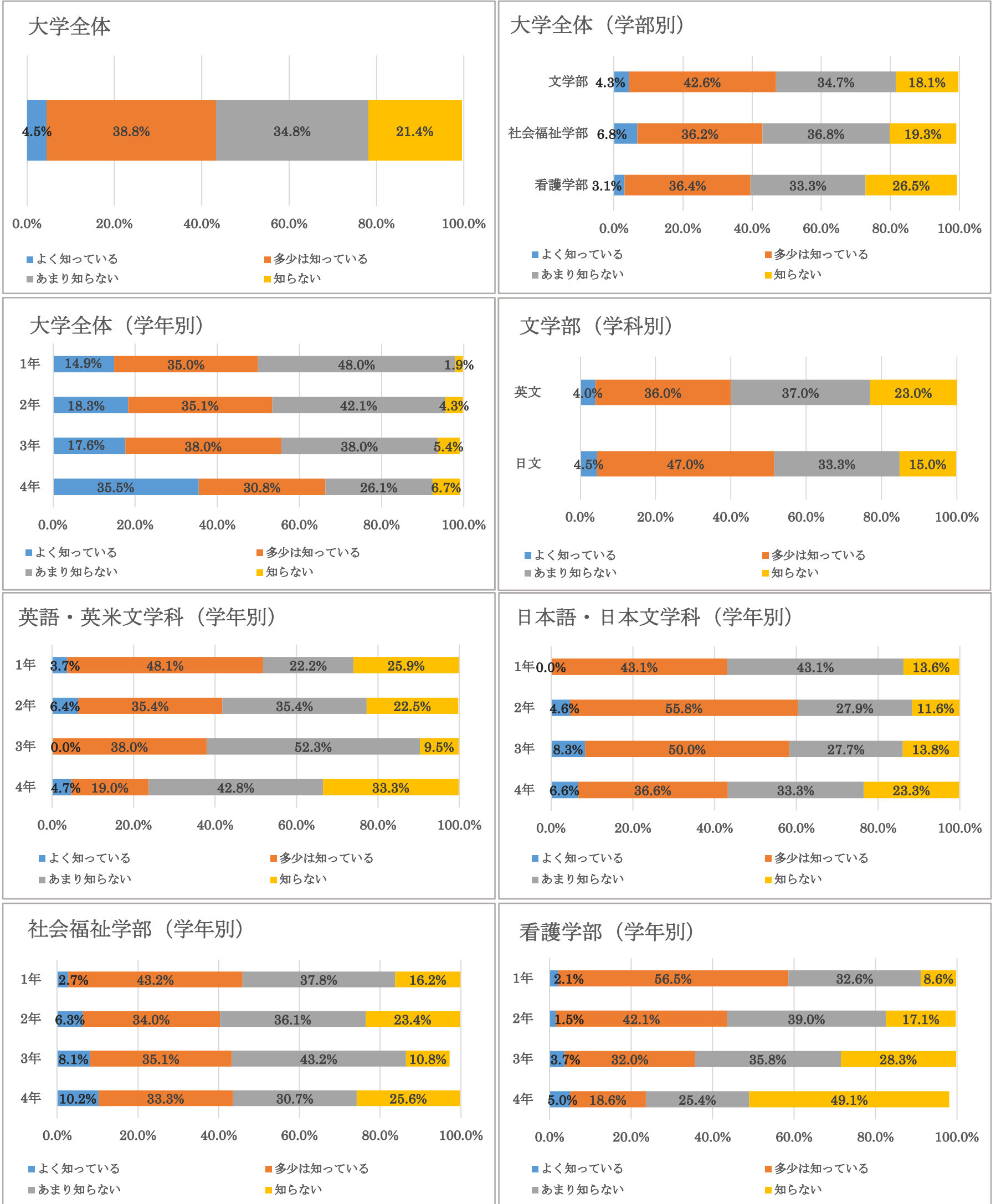
II 学修成果

1. 教育理念（建学精神）、C・P、D・P

問 21 本学の建学の精神について、知っていますか。

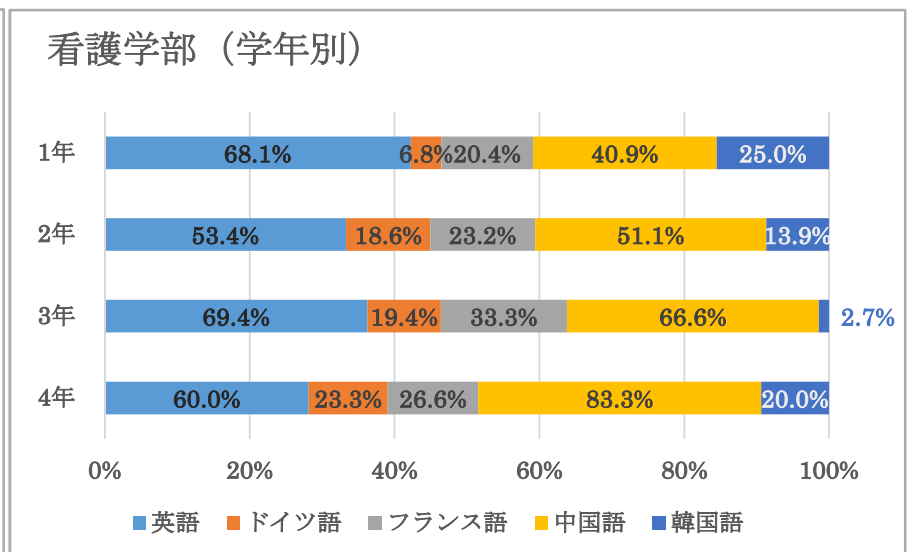
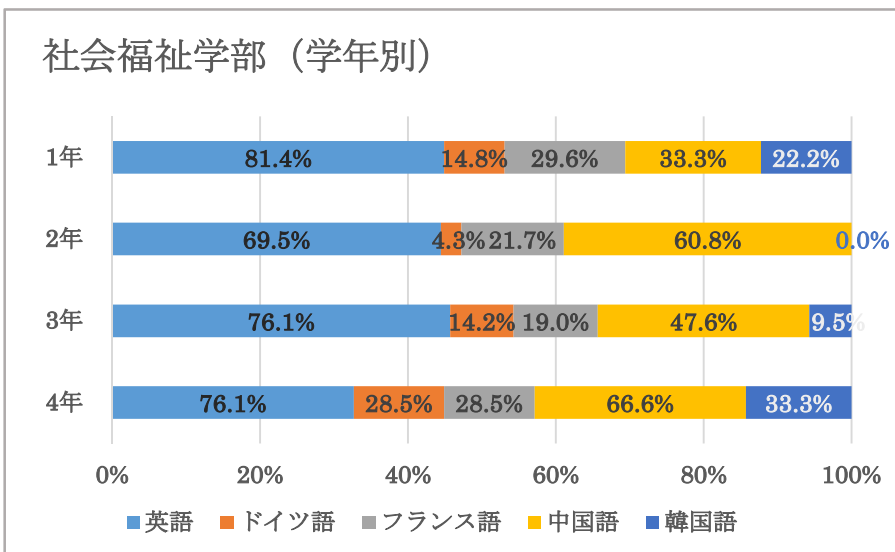
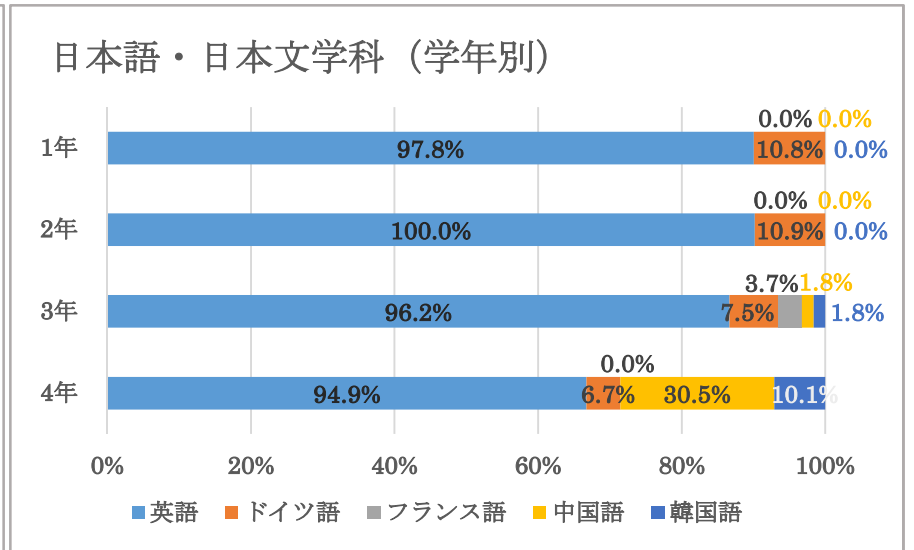
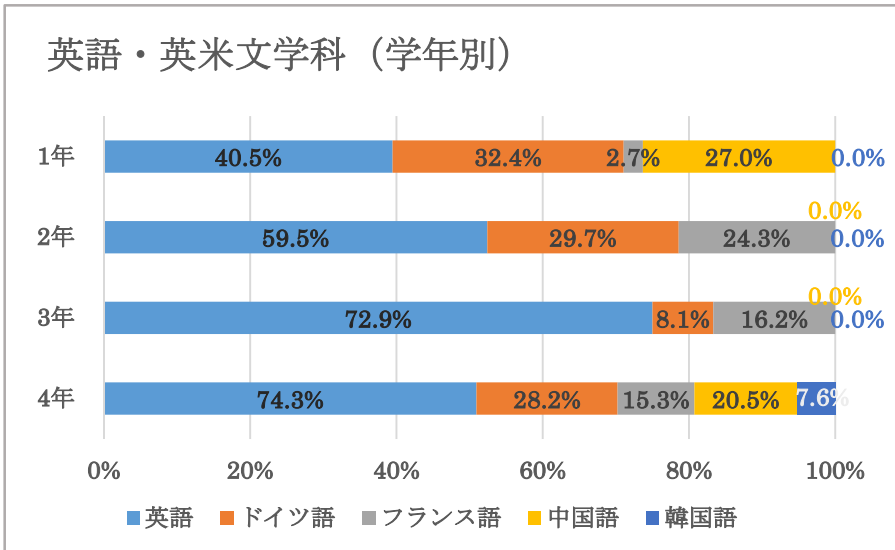
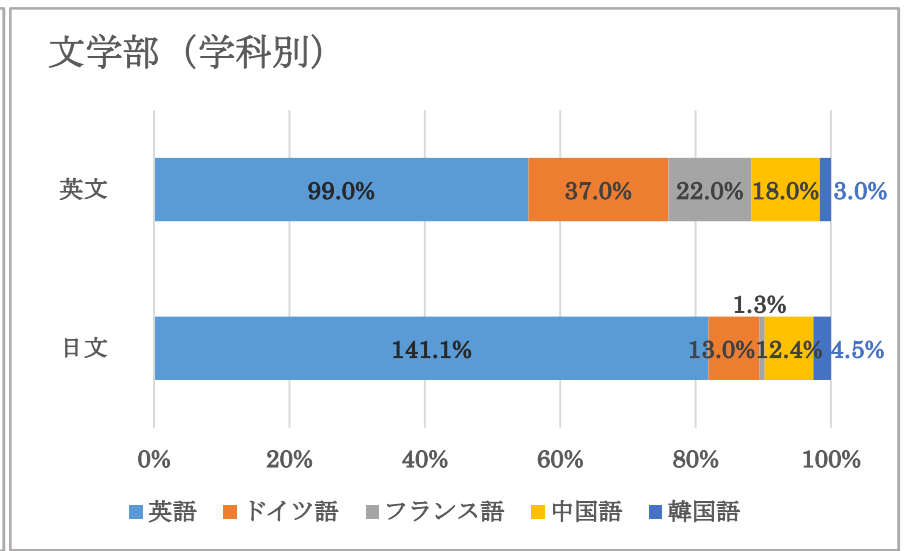
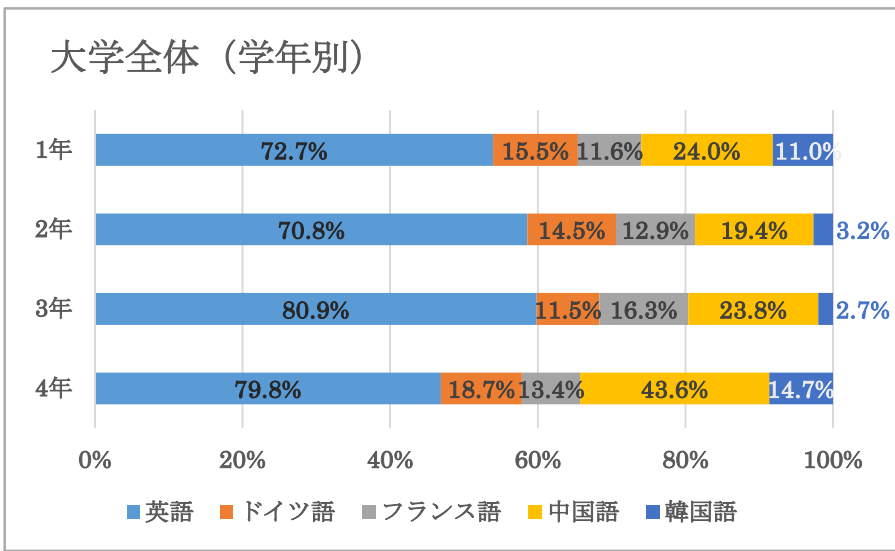
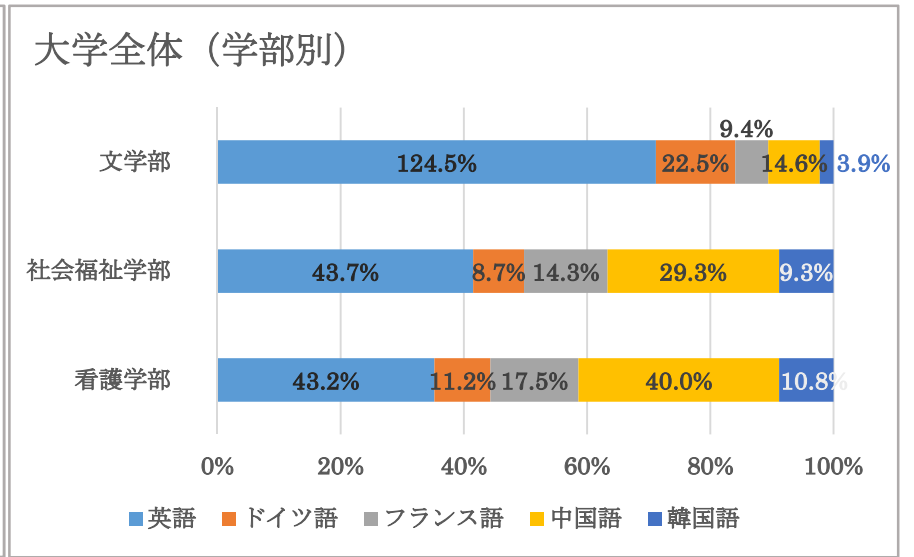
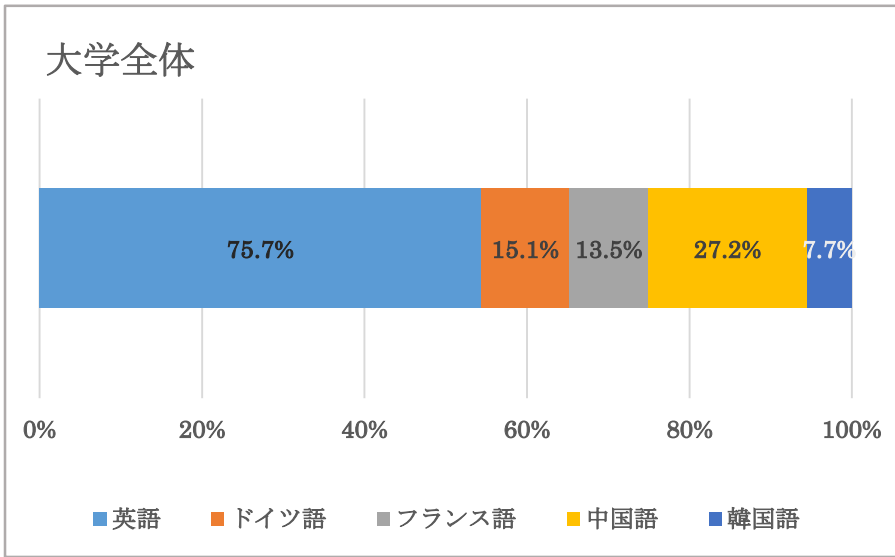


問 22 シラバスに記載されている C・P (カリキュラム・ポリシー)、D・P (ディプロマ・ポリシー) とは何か知っていますか。 (注) カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い、ディプロマ・ポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。

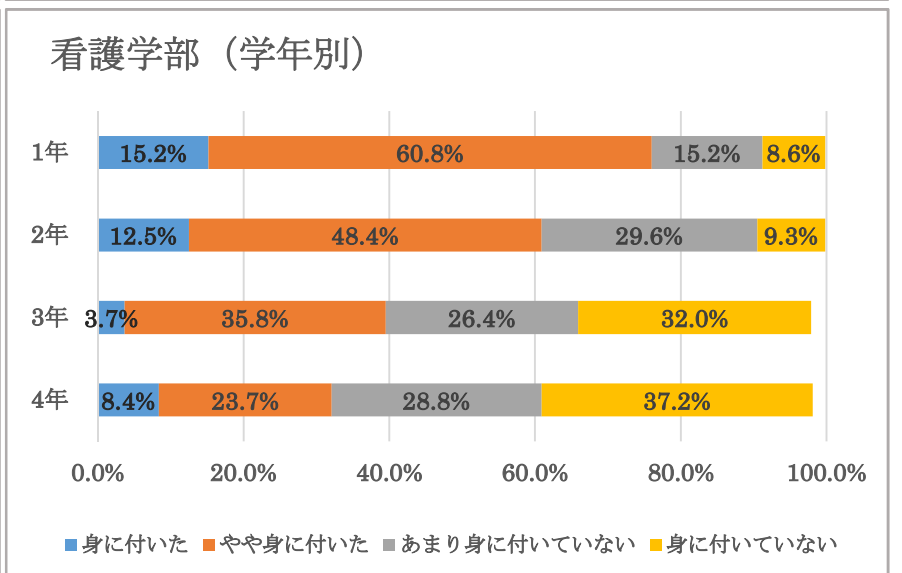
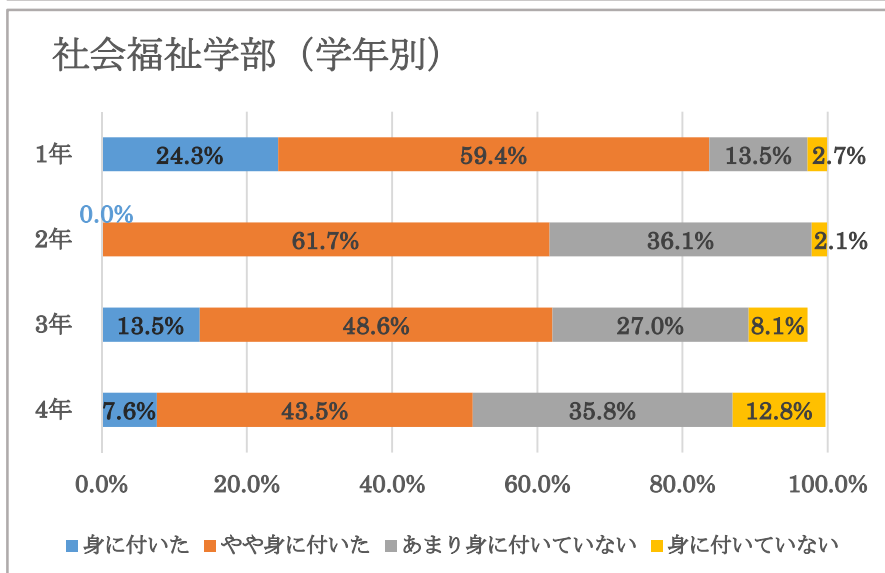
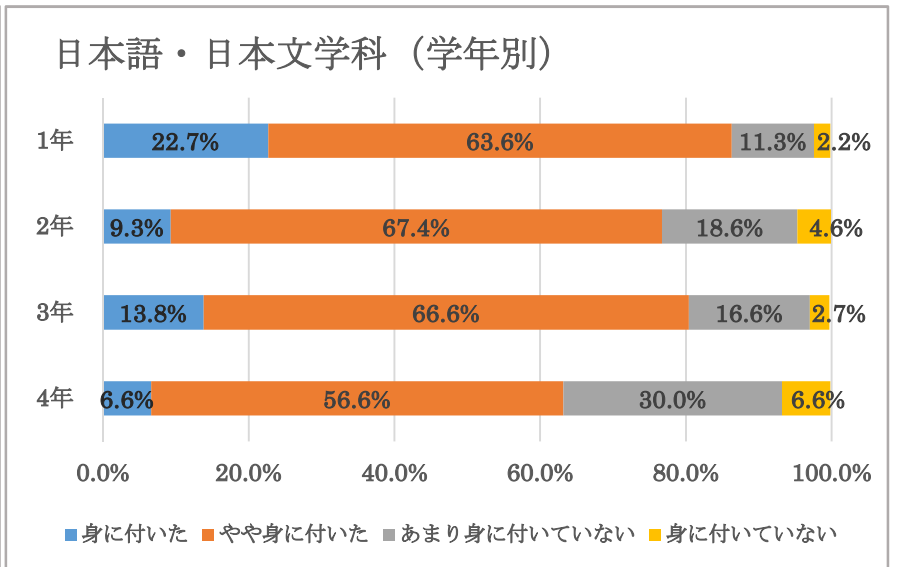
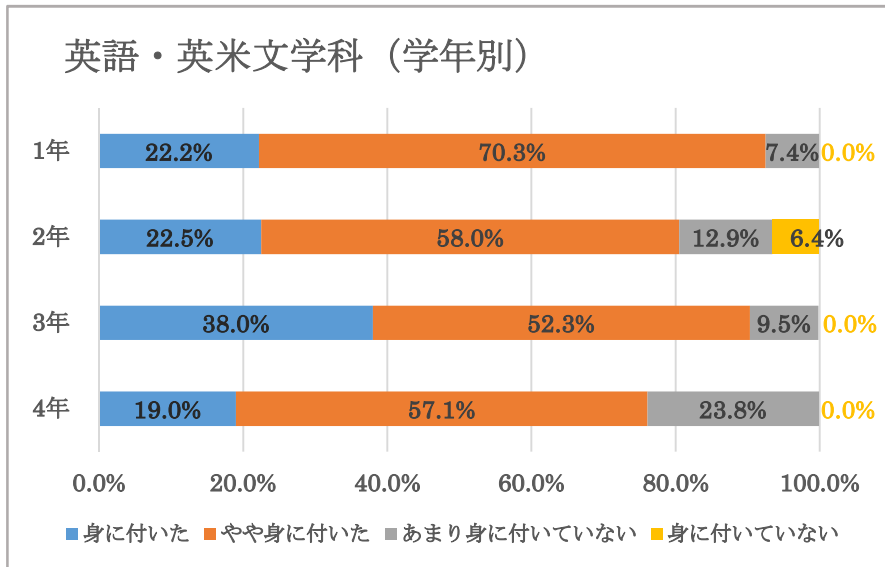
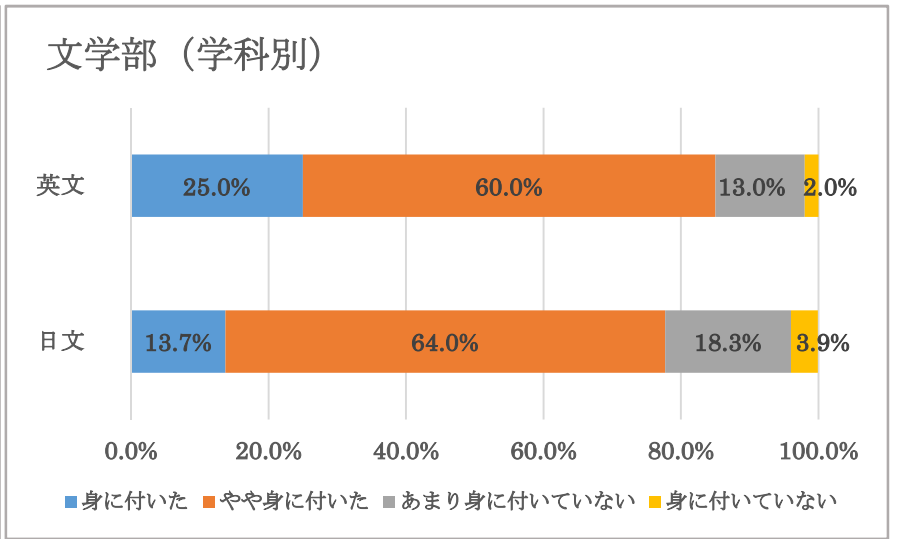
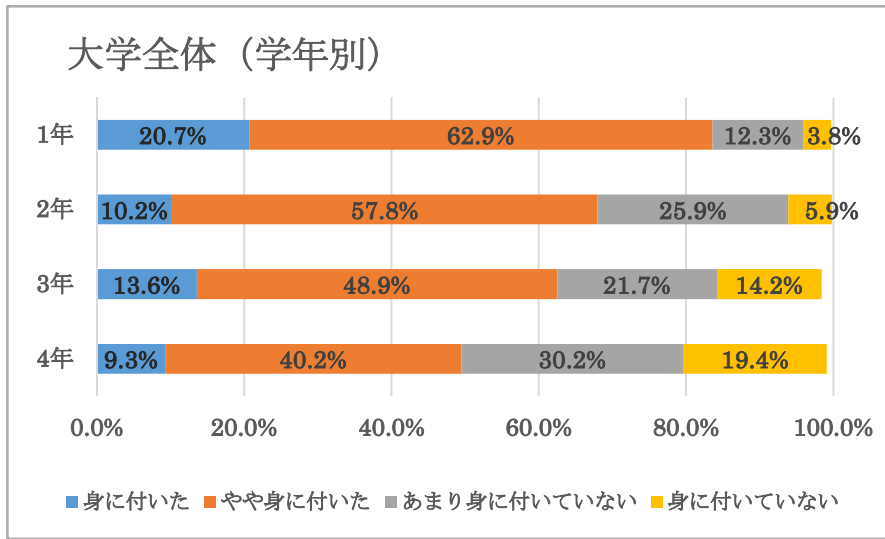
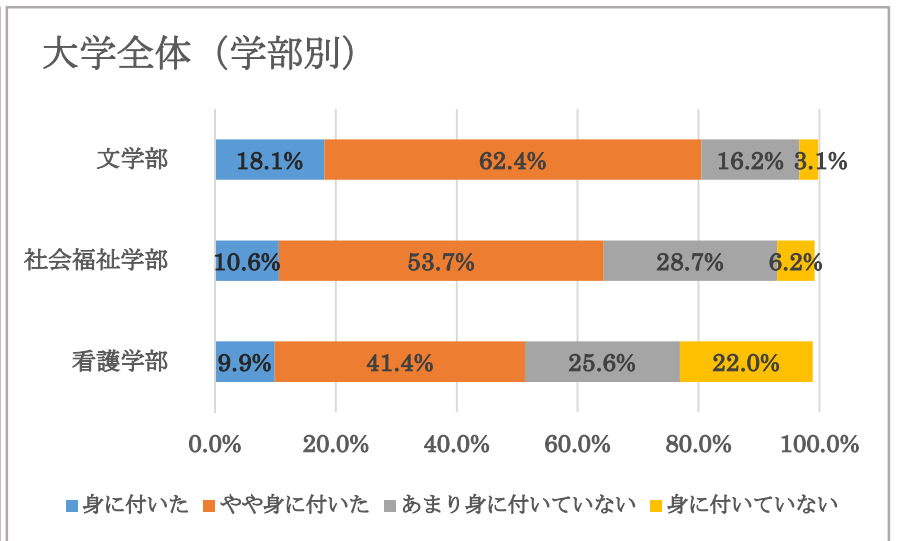
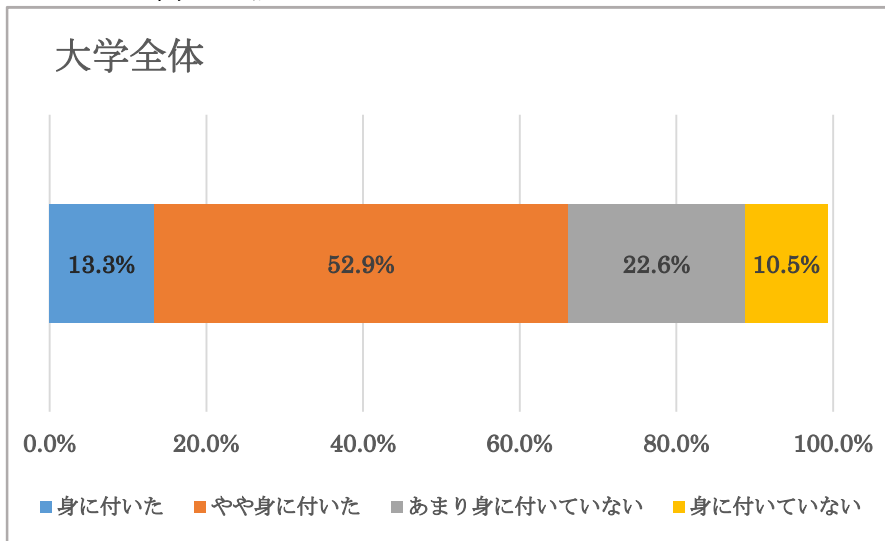


2. 外国語能力

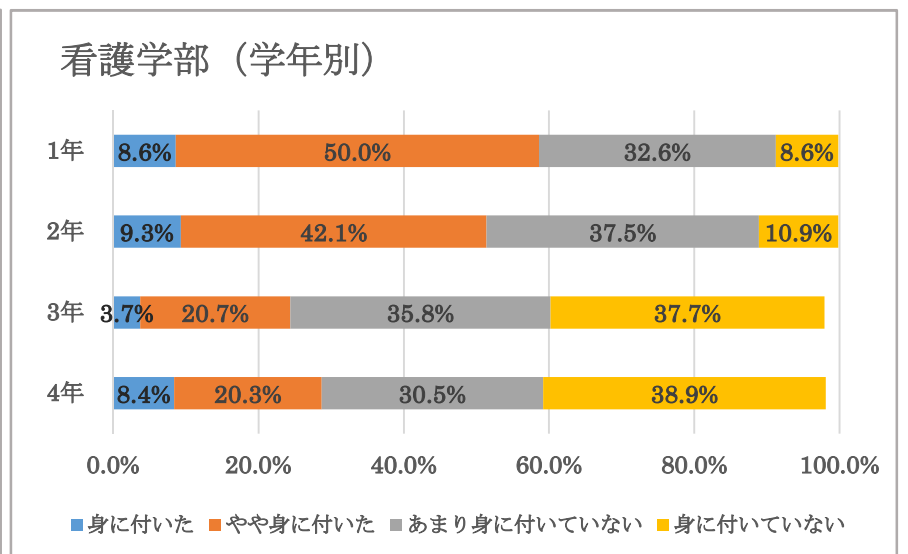
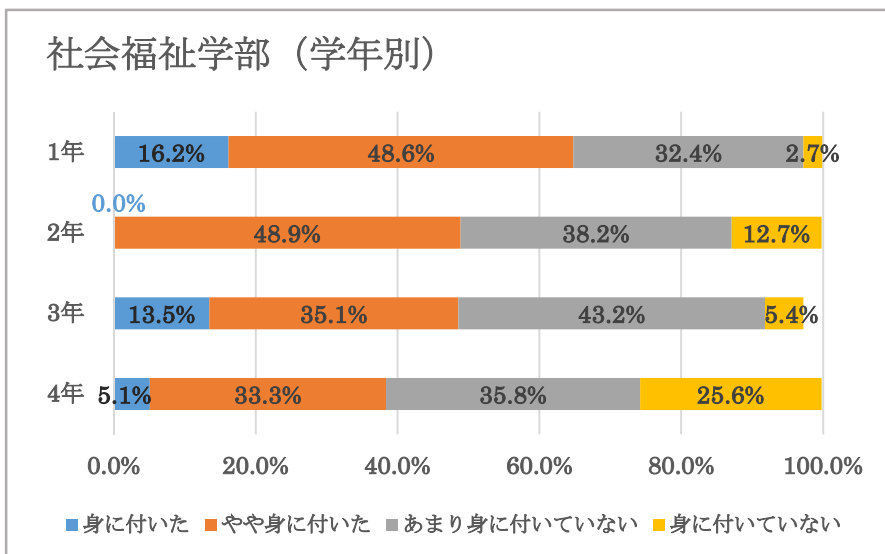
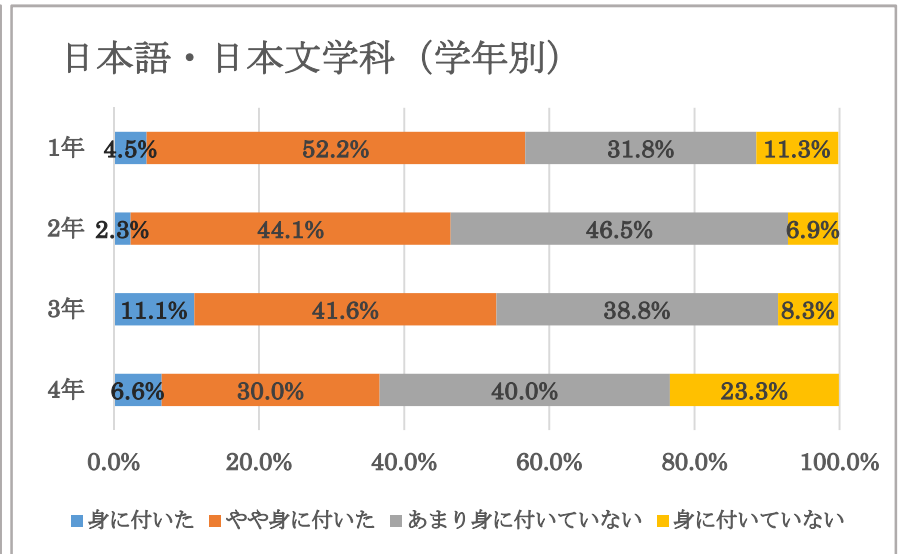
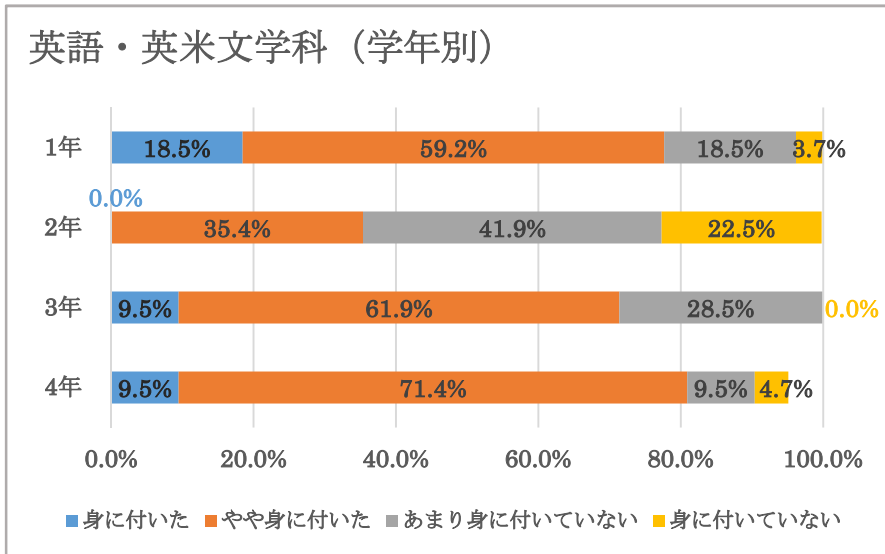
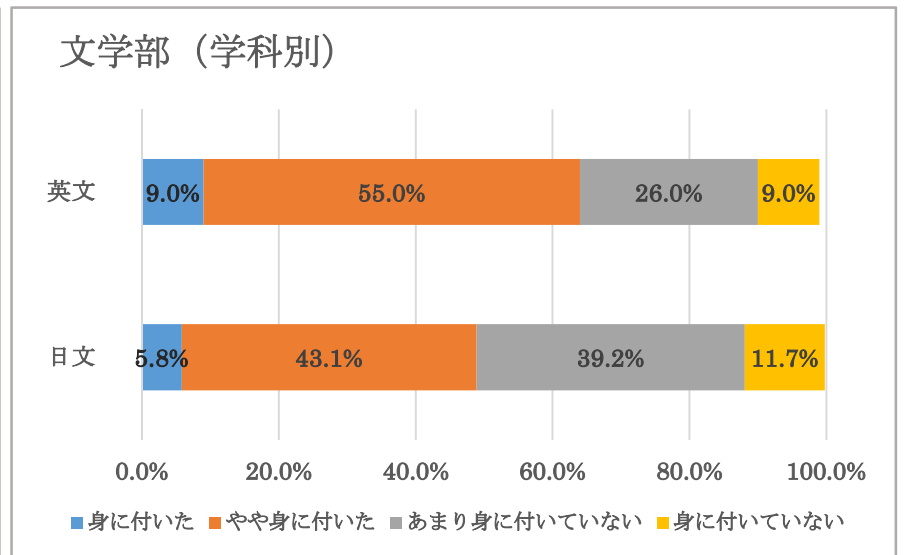
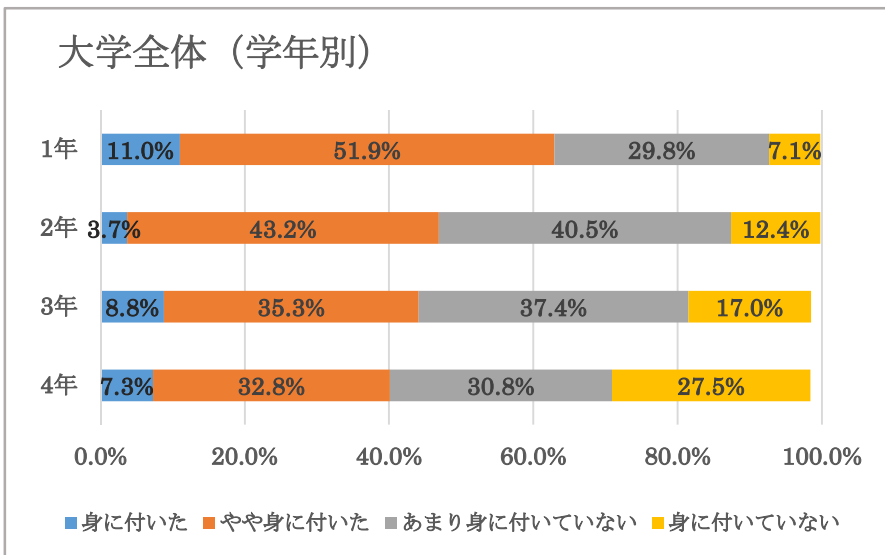
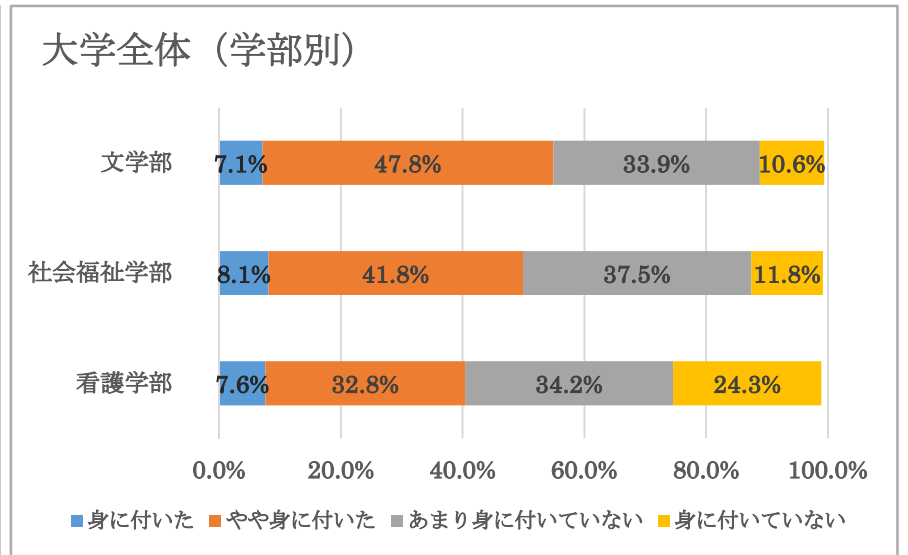
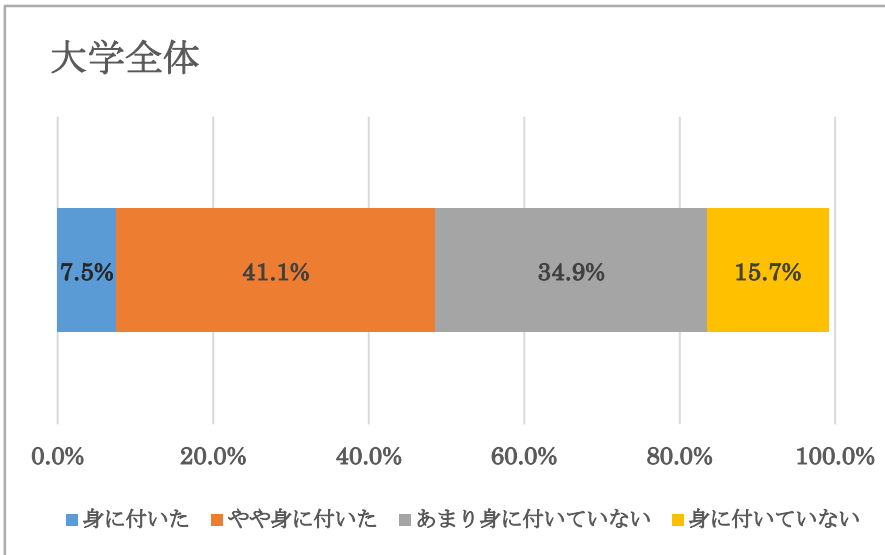
問 23 昨年度どんな外国語の授業を履修していましたか。



学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。  
問 24 読む力について

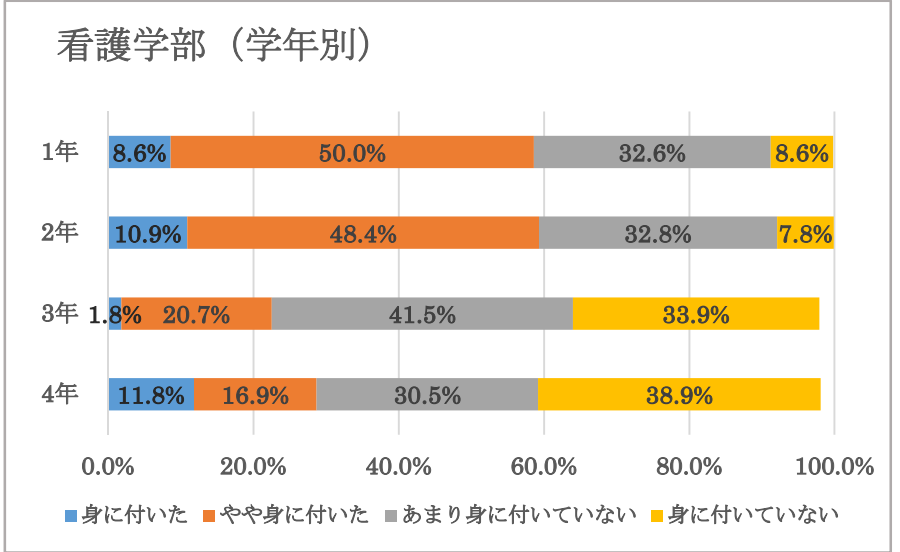
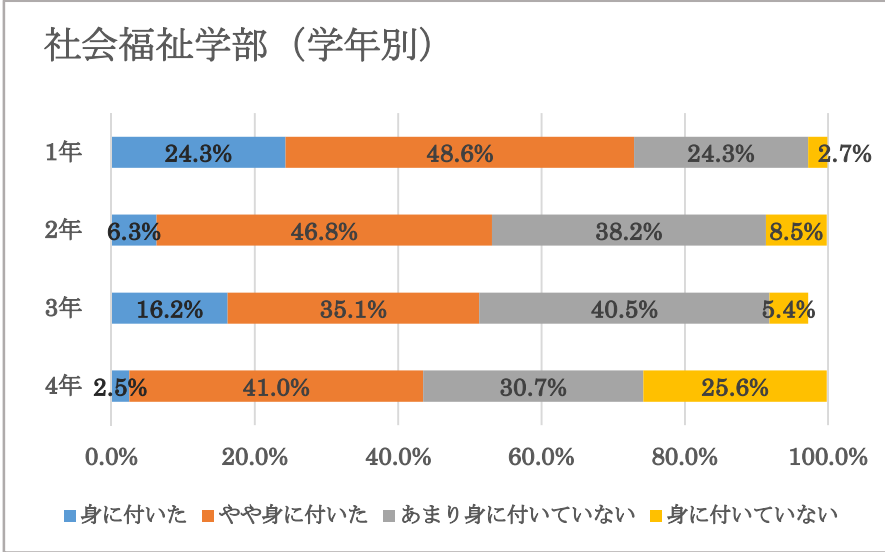
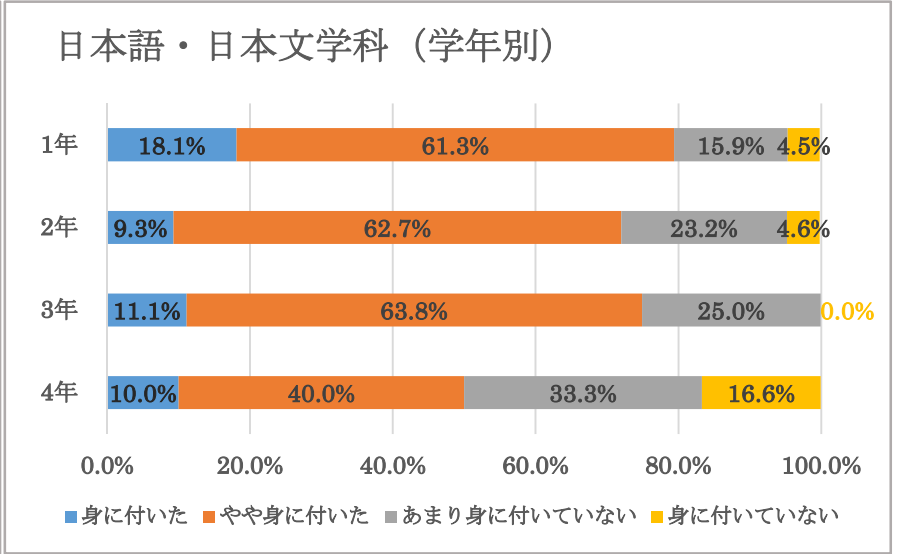
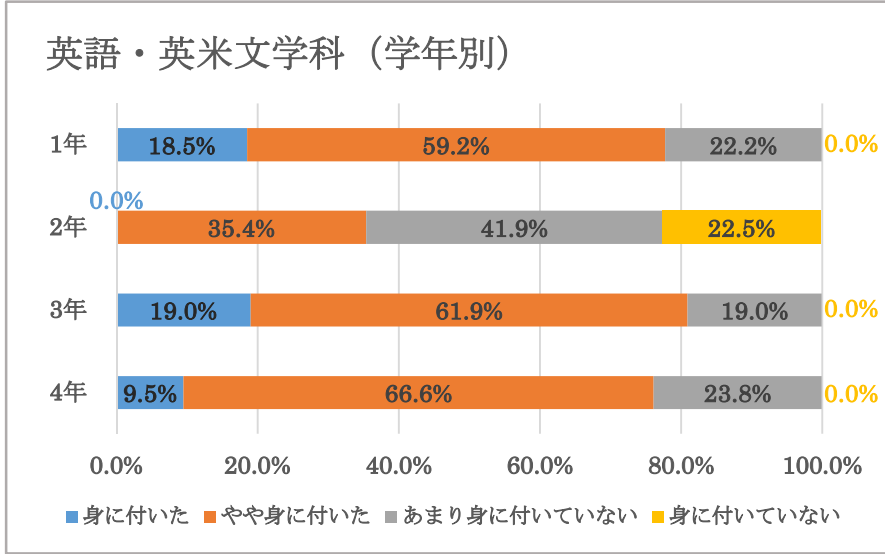
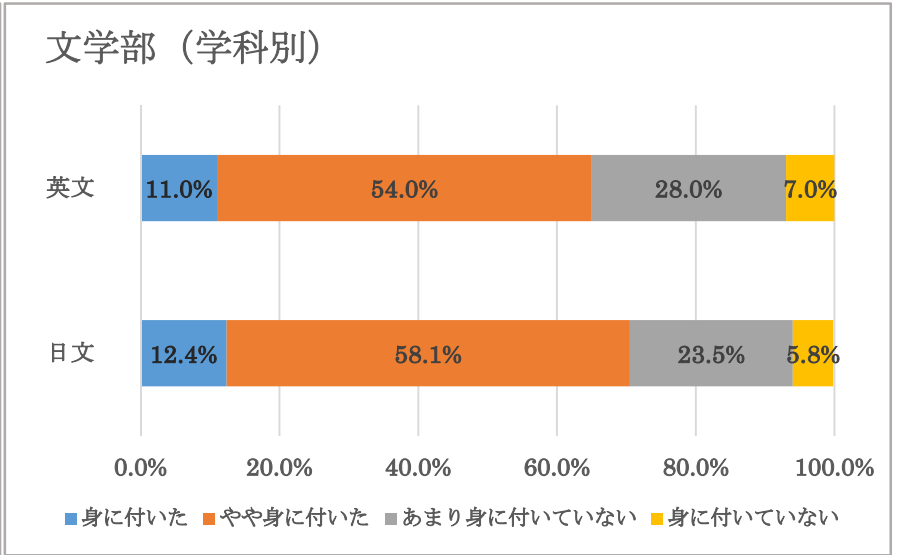
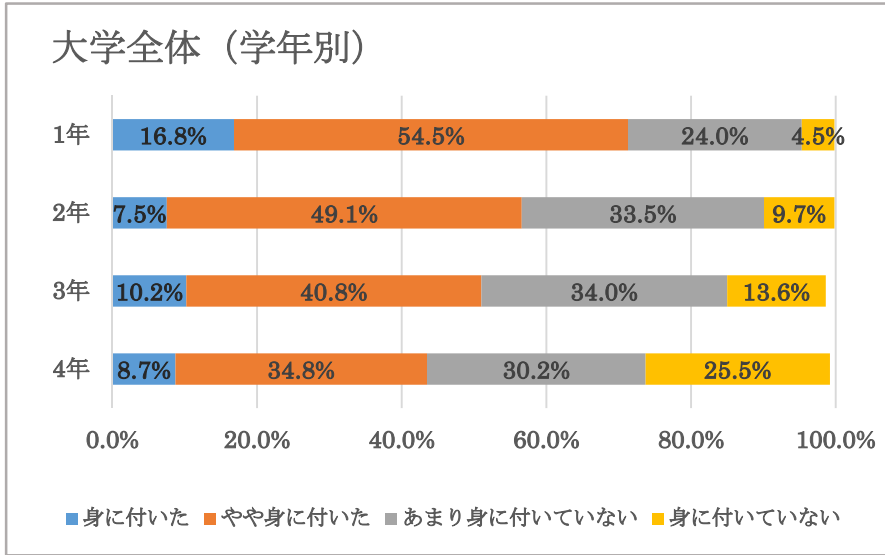
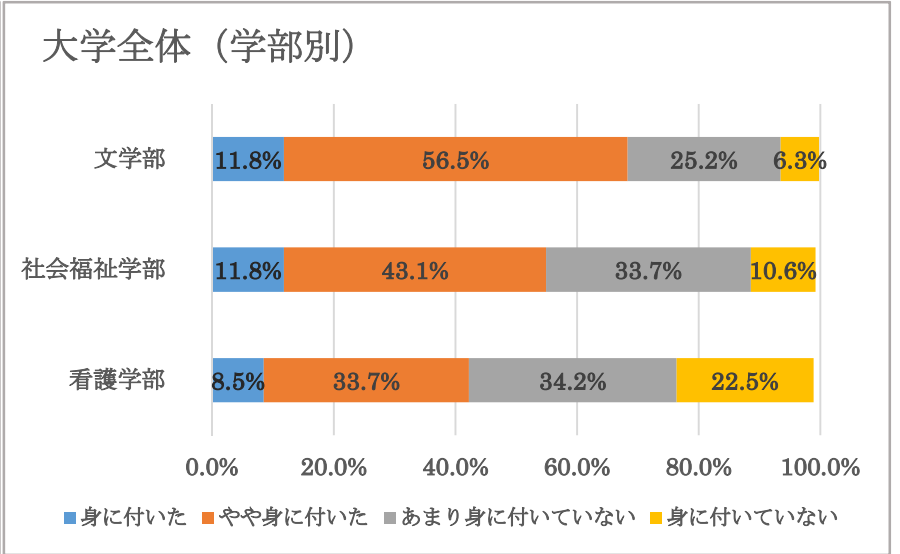
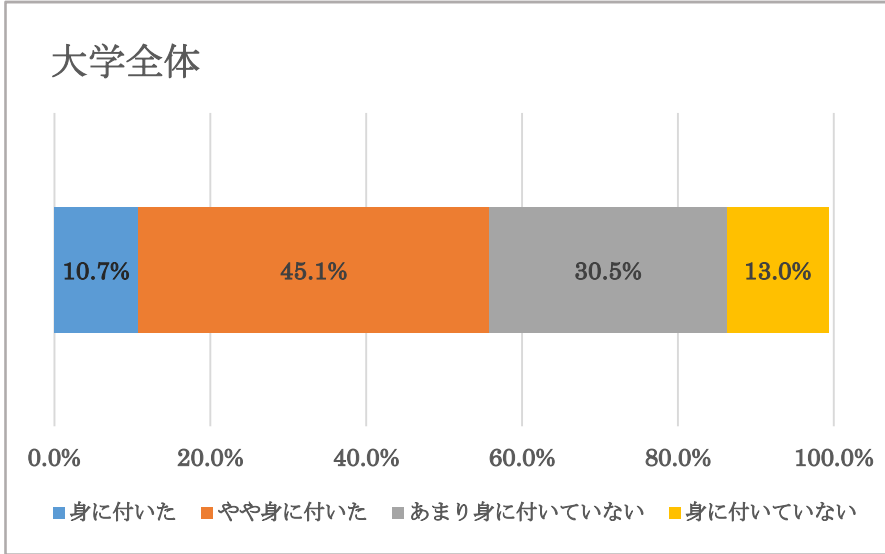


問 25 会話力について

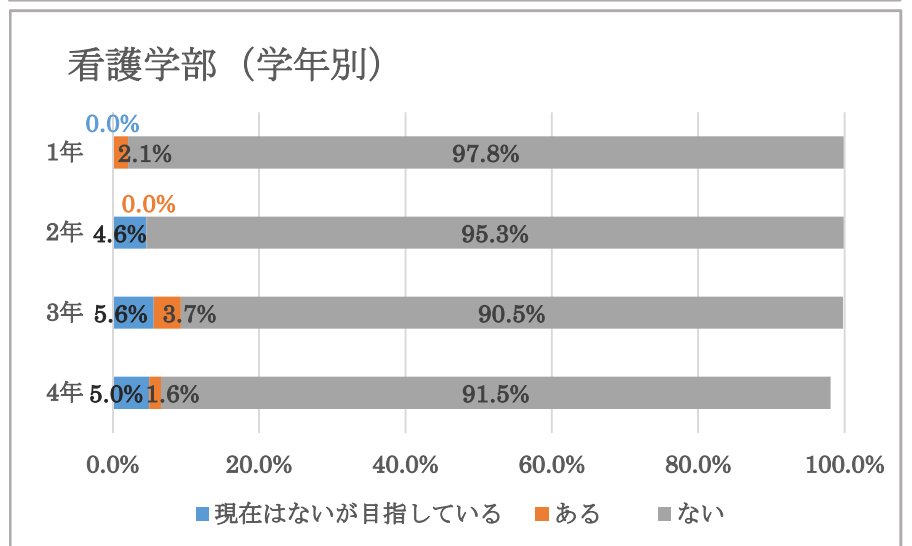
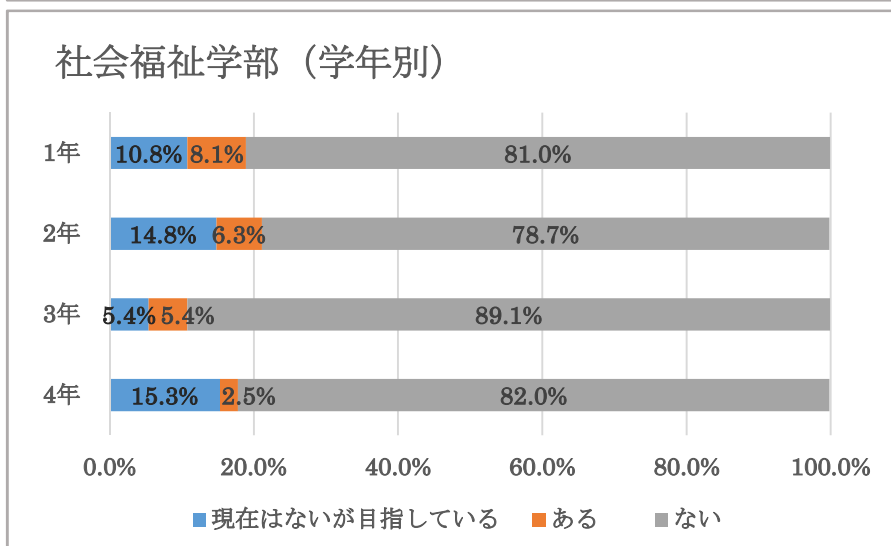
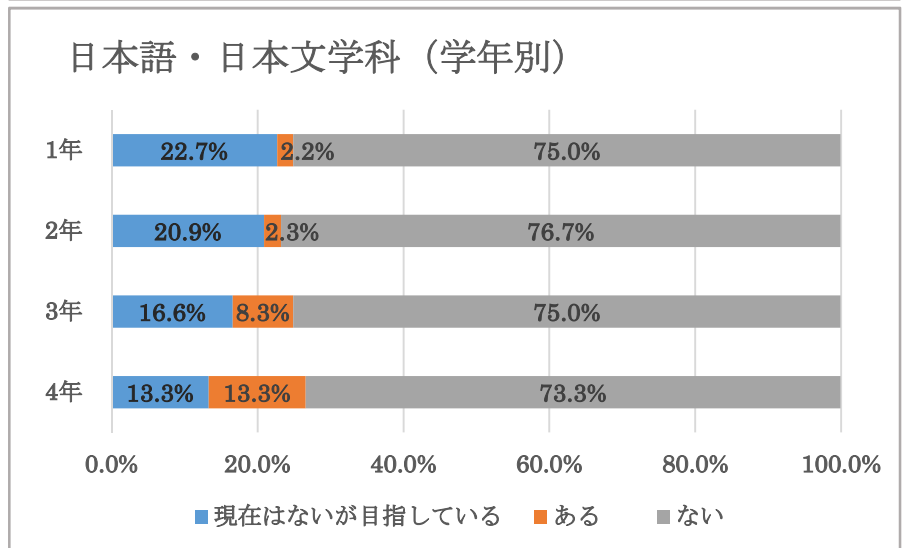
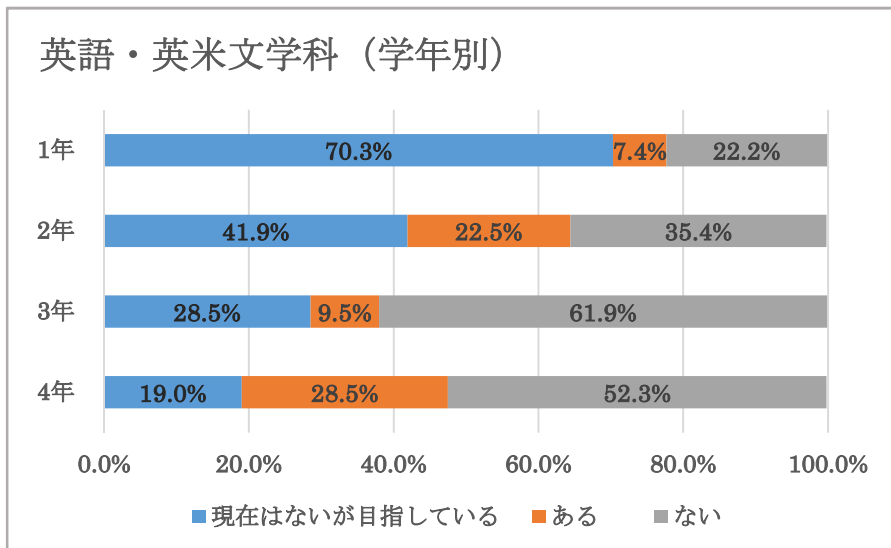
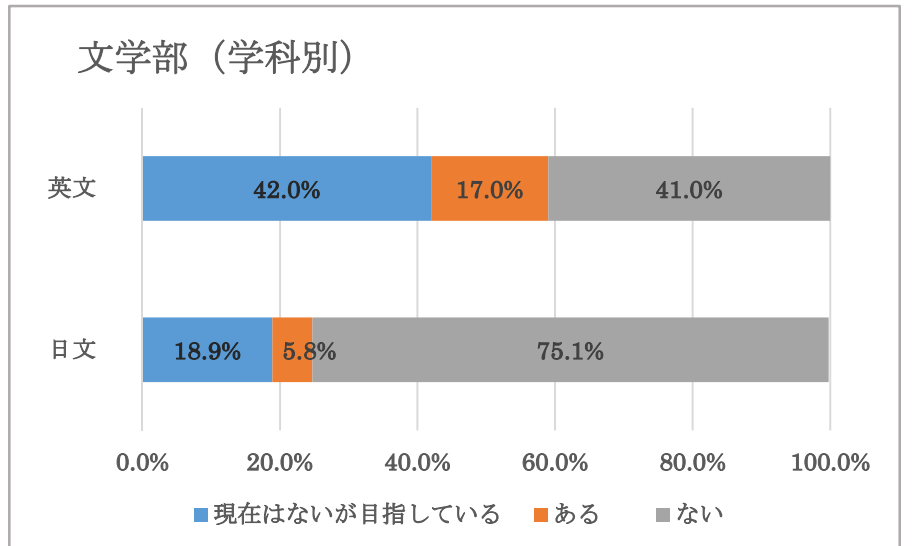
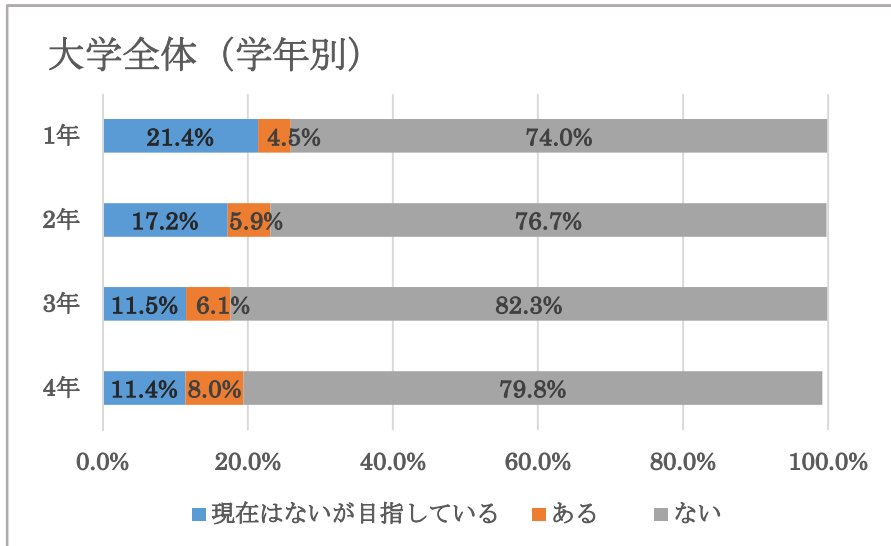
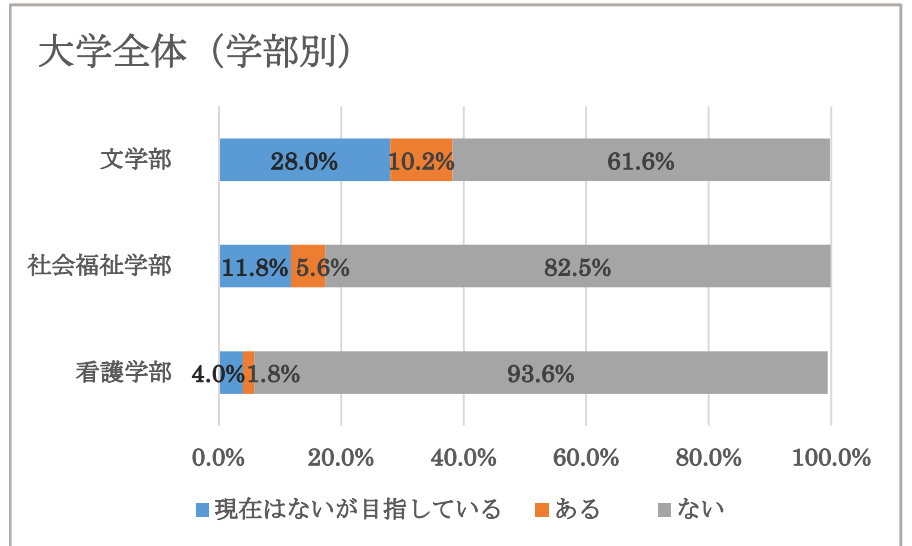
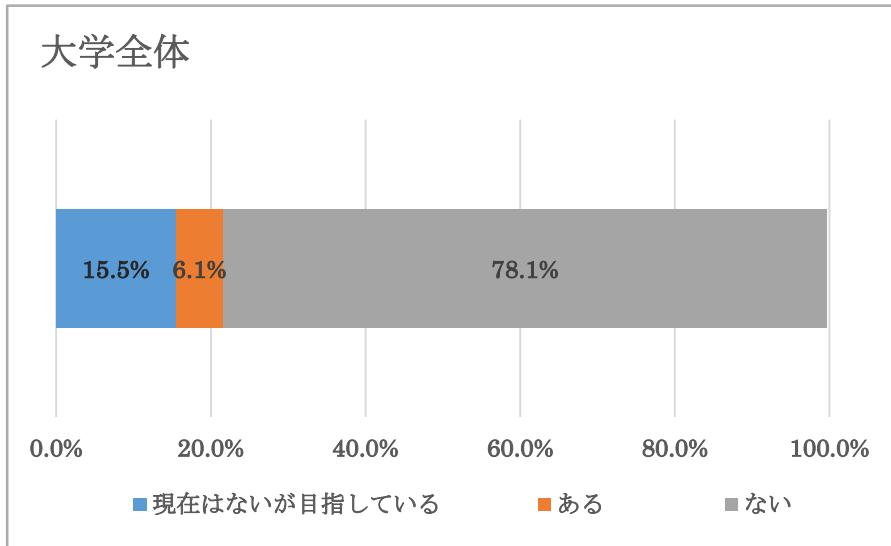




問 26 書く力について

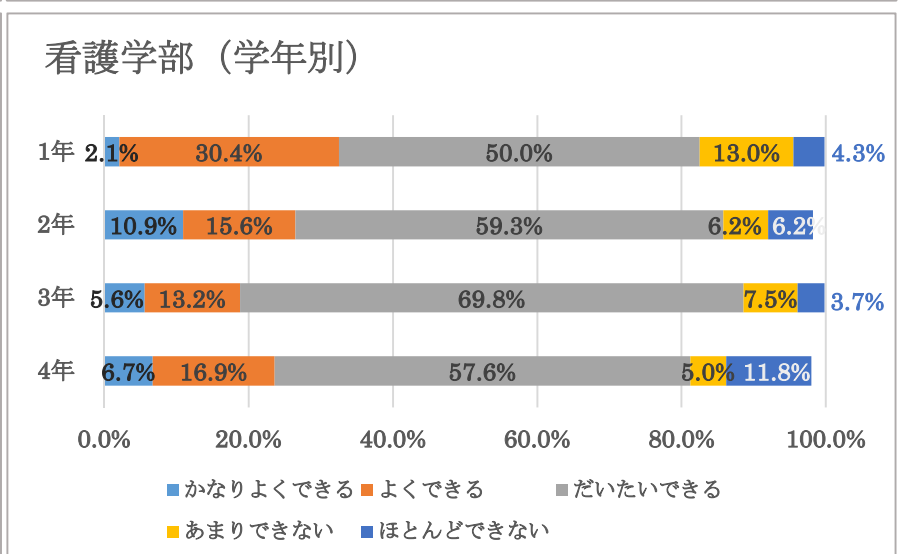
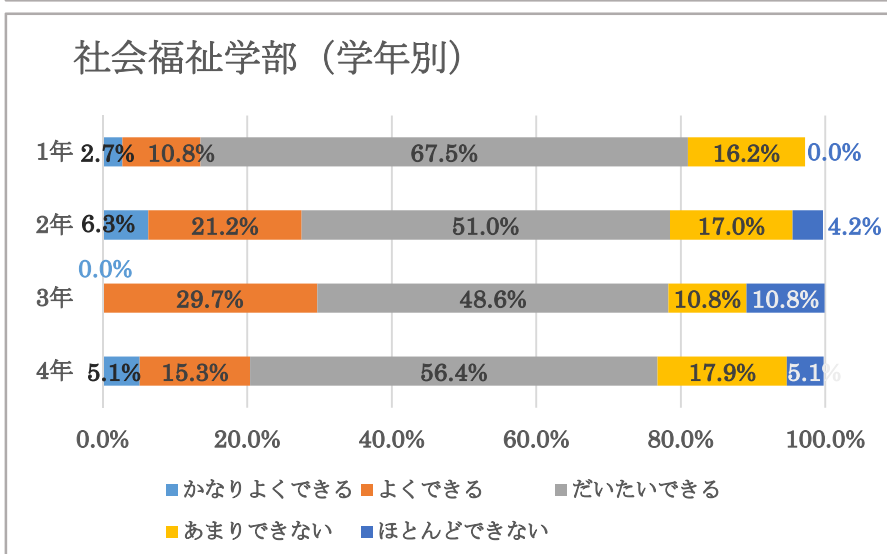
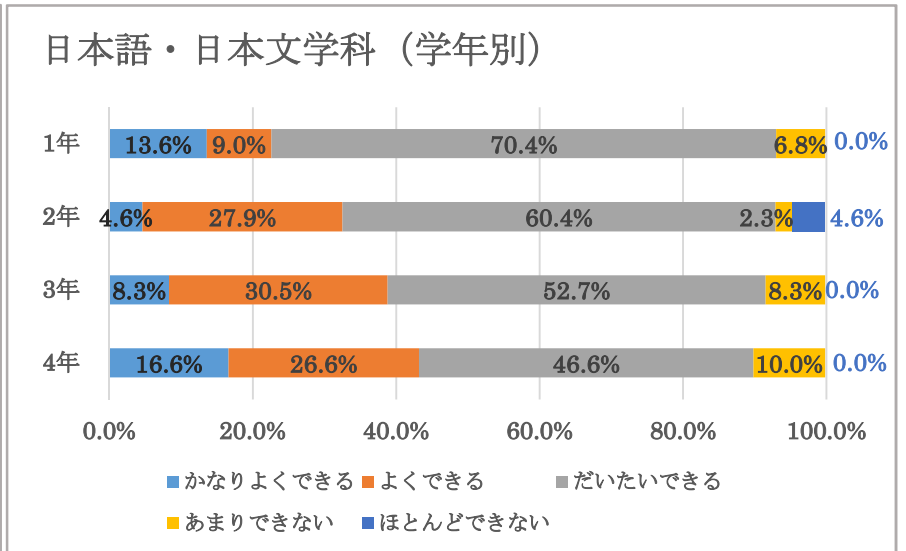
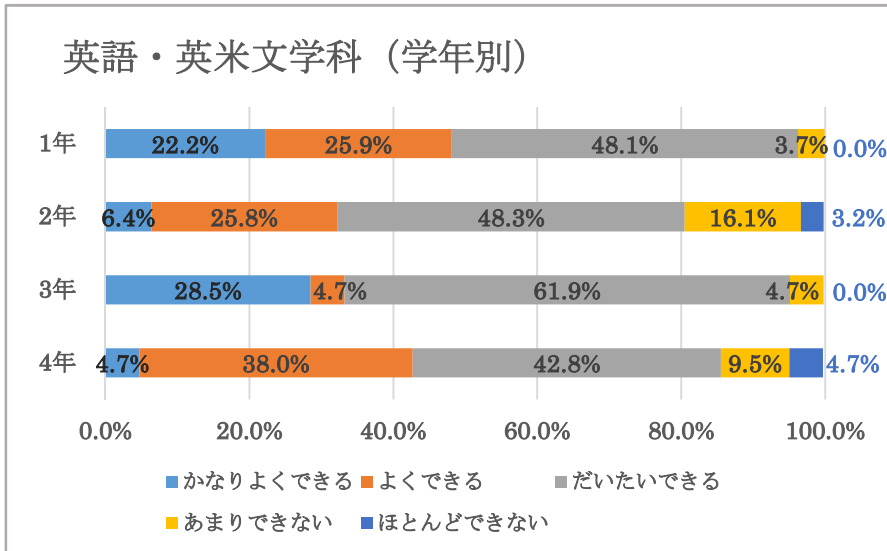
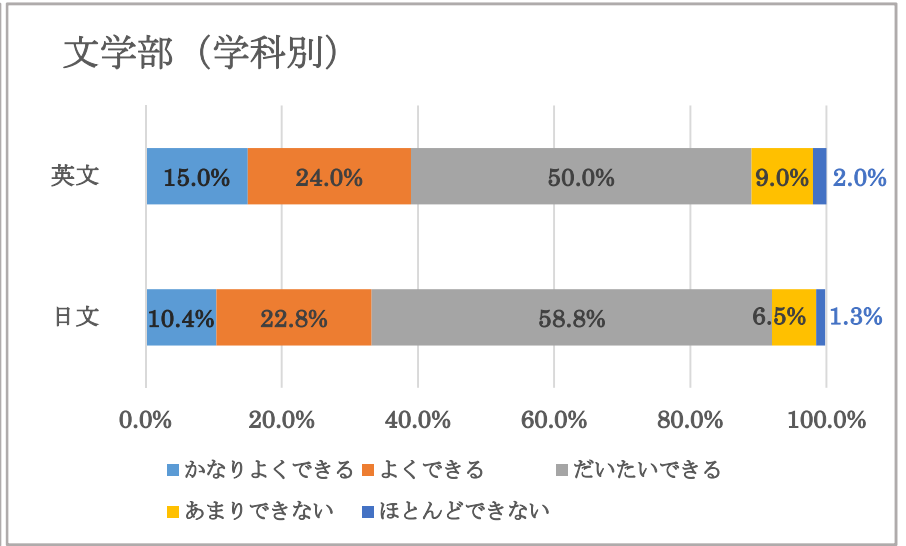
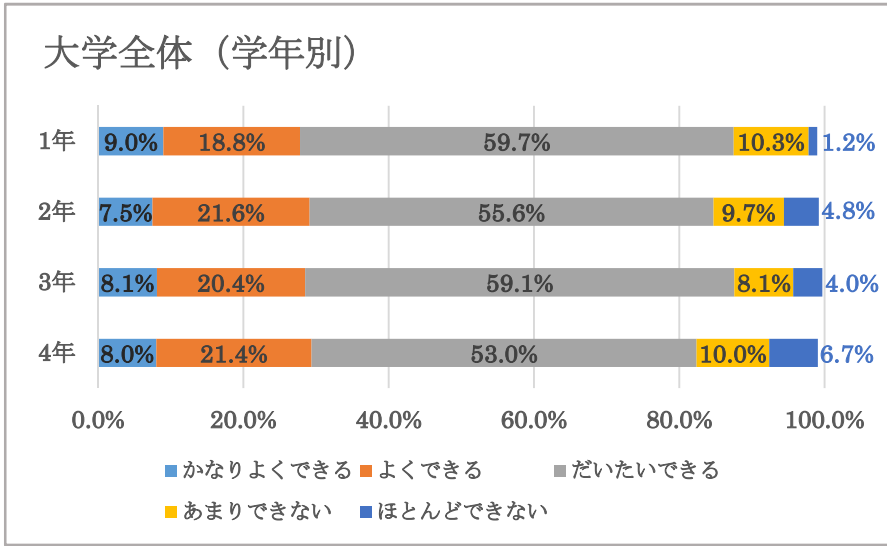
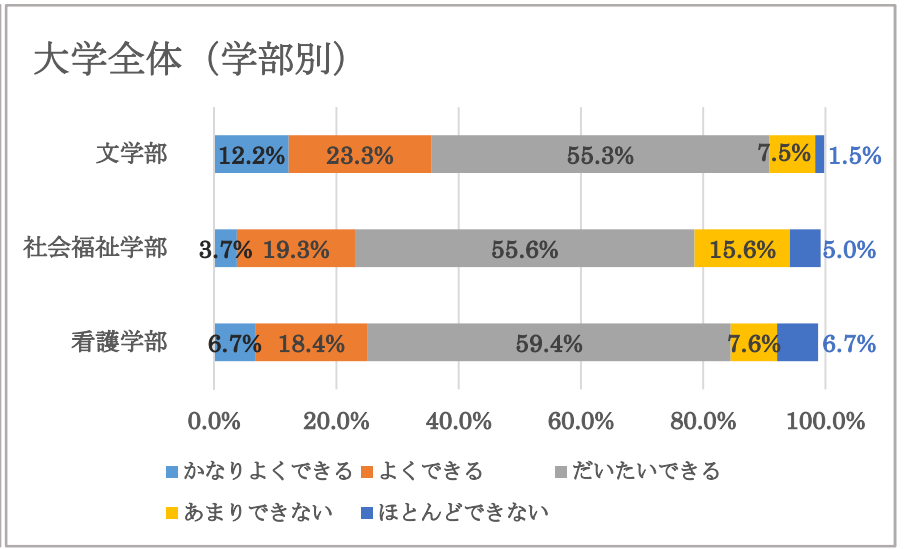
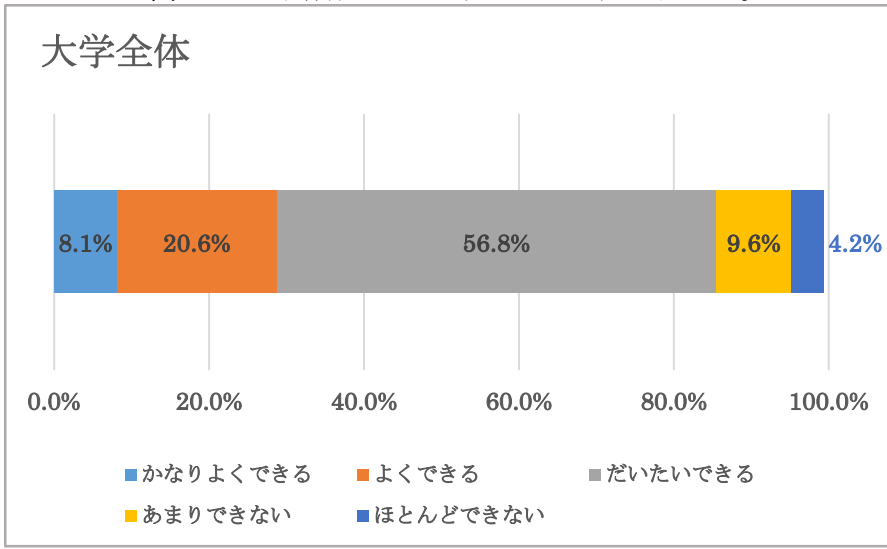


問 27 大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。  
 ※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。  
 → (例) 英検 1 級合格、TOEIC で 500 点、など

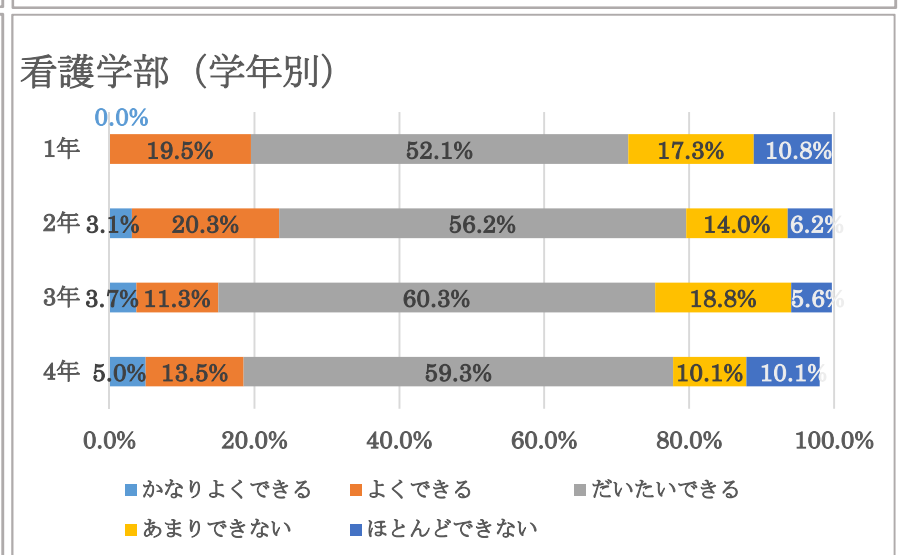
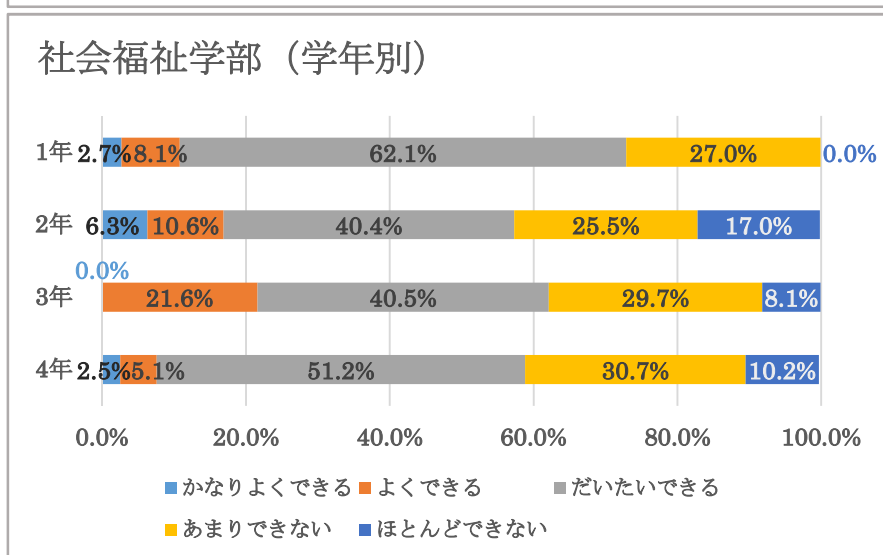
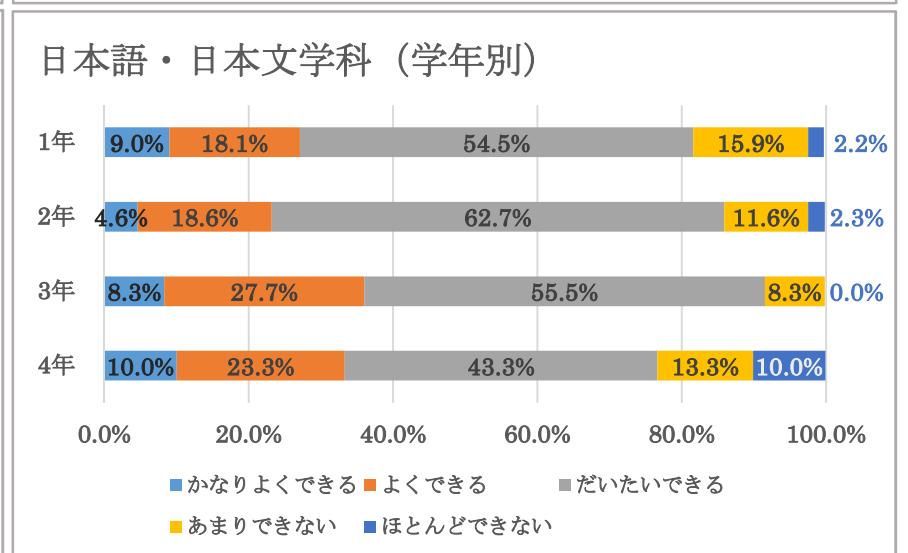
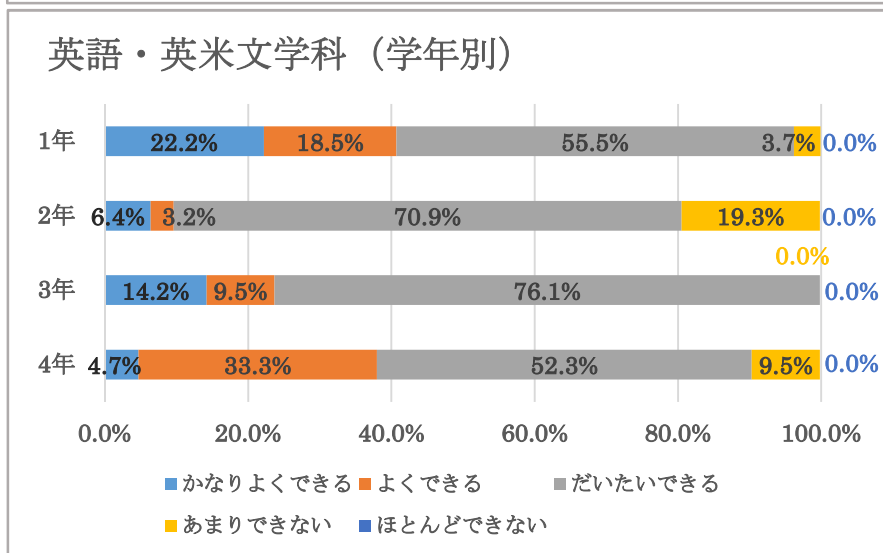
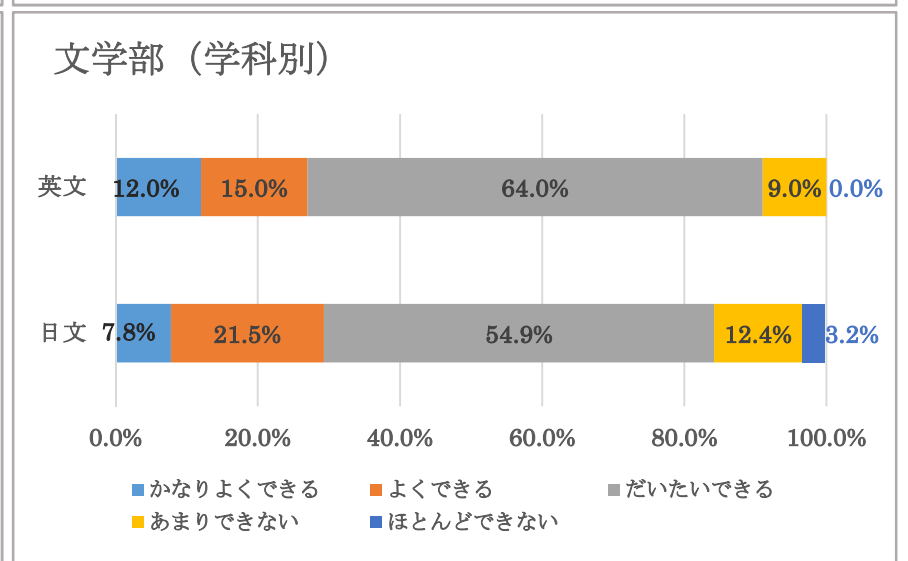
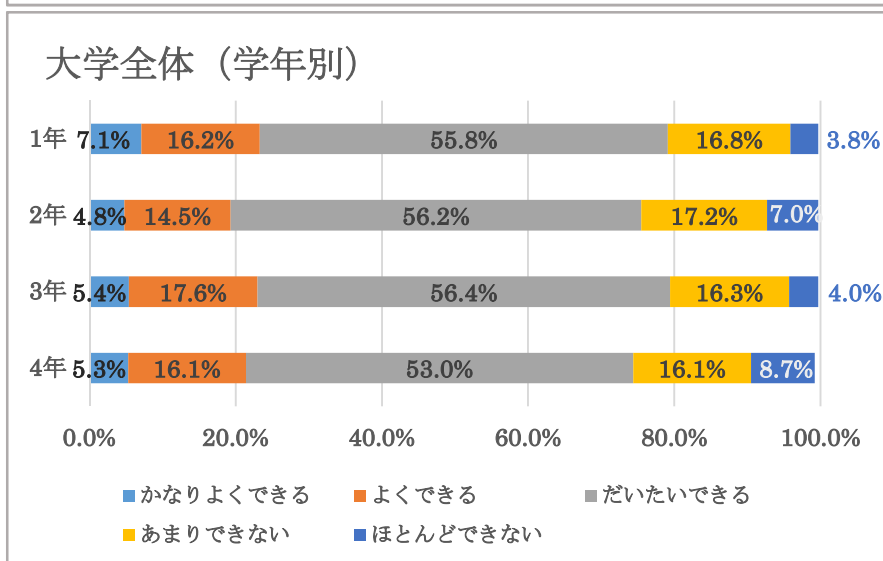
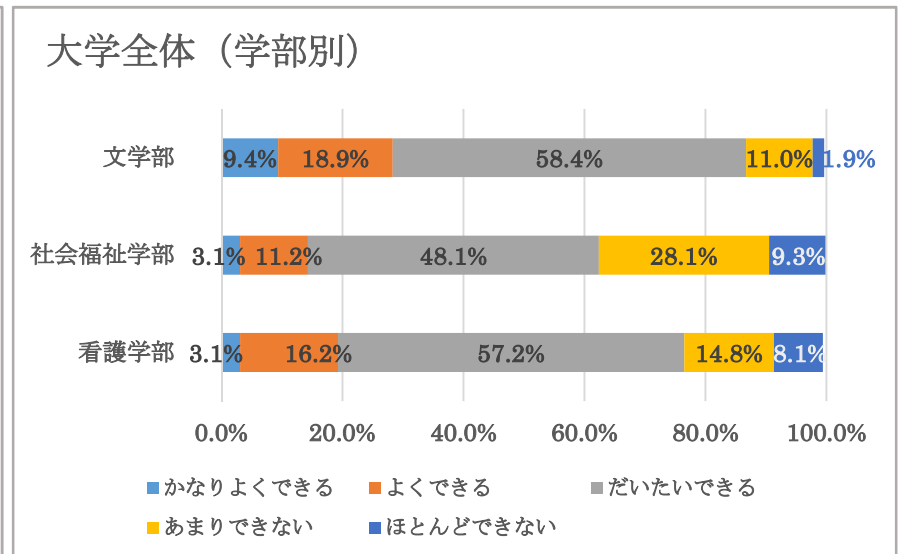
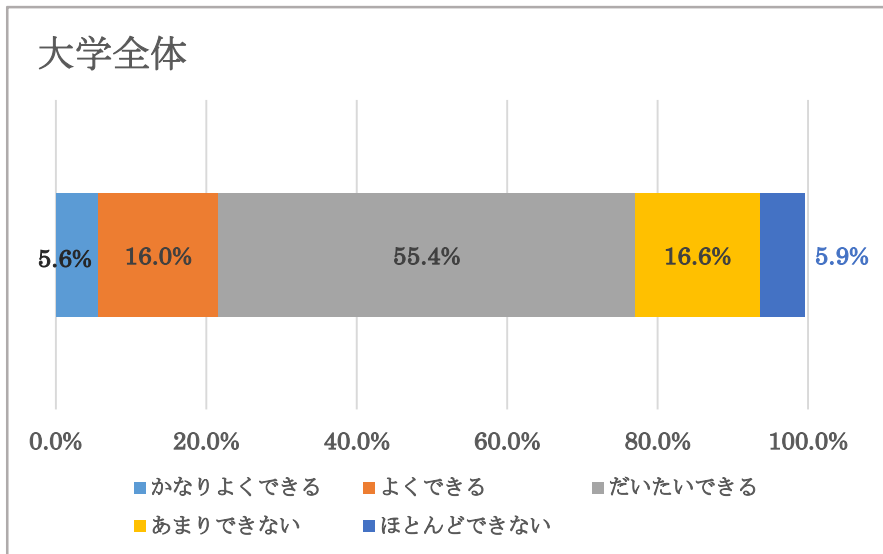


語学の資格を取ったことがある：英検準 1 級 (2)、英検 2 級 (3)、TOEIC (2)、TOEIC IP585、350 点、550 点、580 点、670 点、680 点 (2)、700 点など ( ) 内は人数

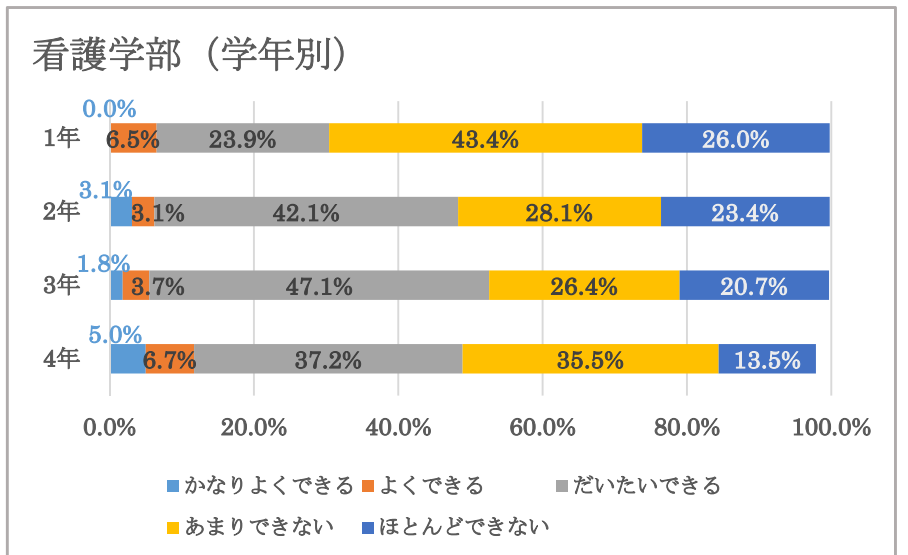
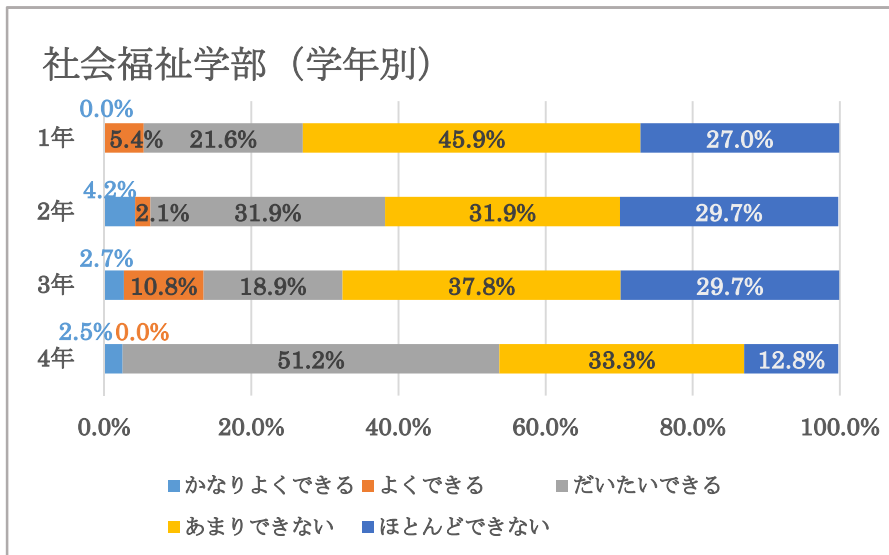
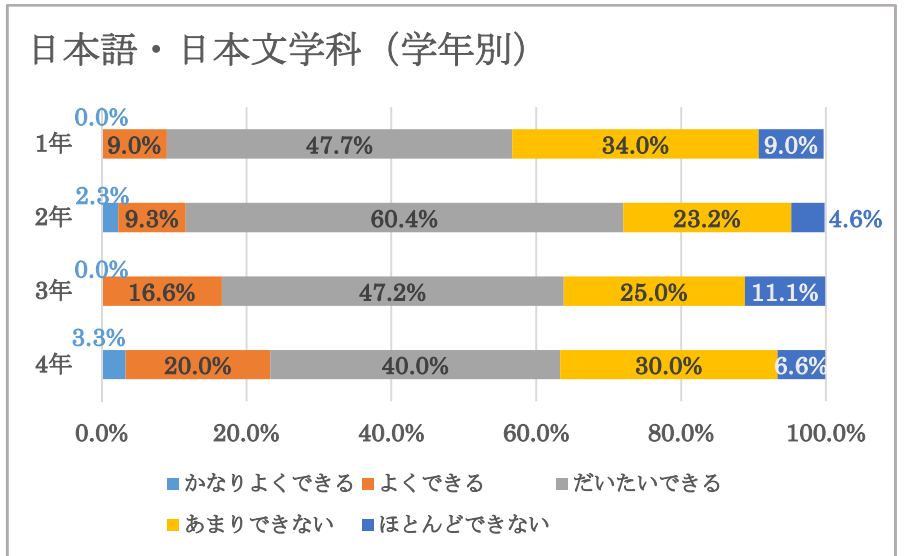
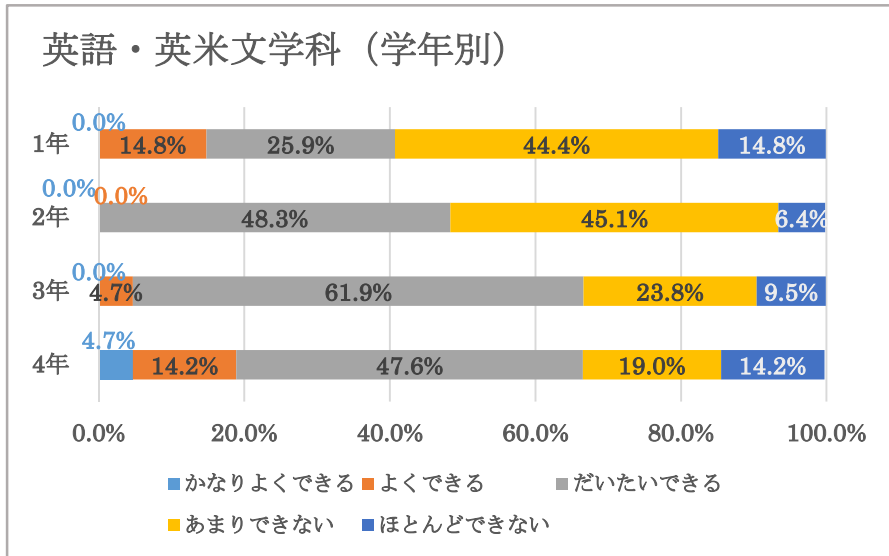
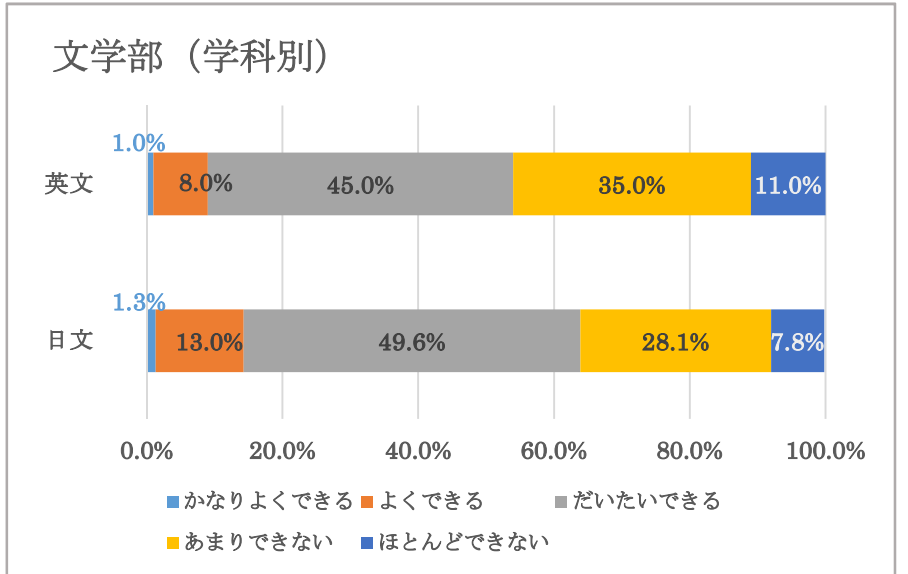
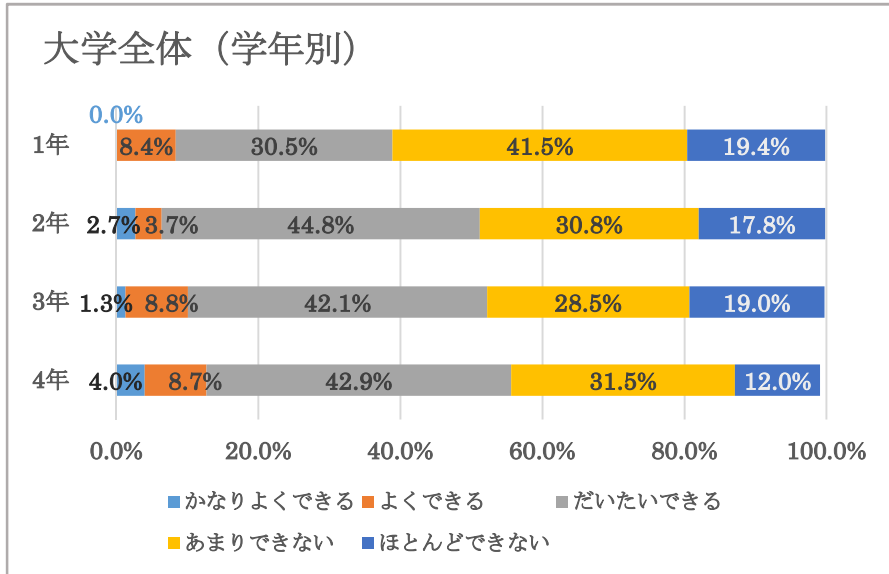
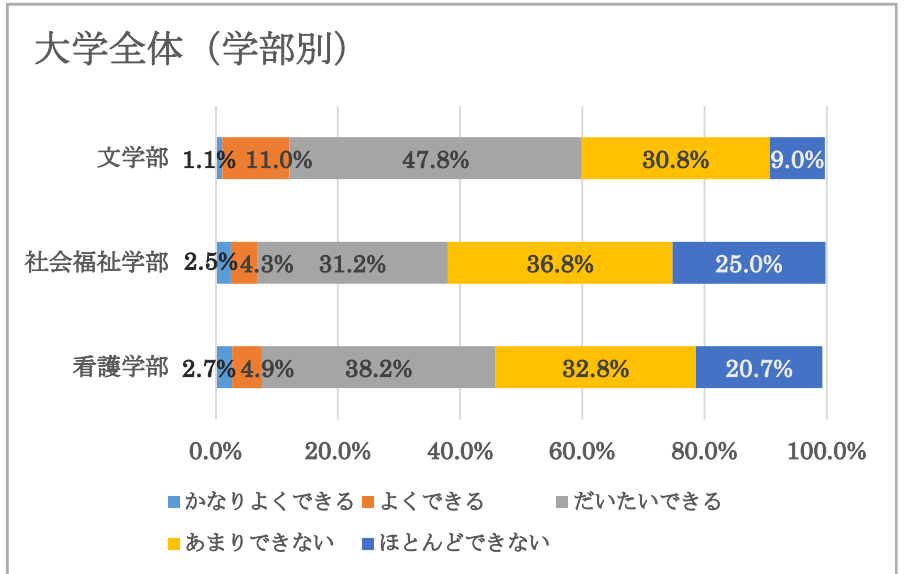
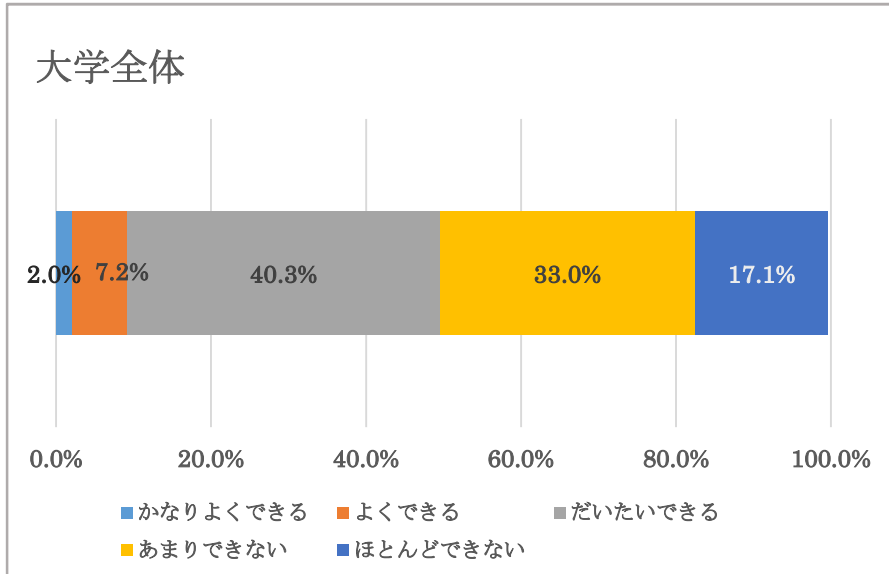
3. ICTリテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）について  
問28 文章作成ソフト（Wordなど）を使える。



問 29 プレゼンテーションソフト (PowerPoint など) を使える。



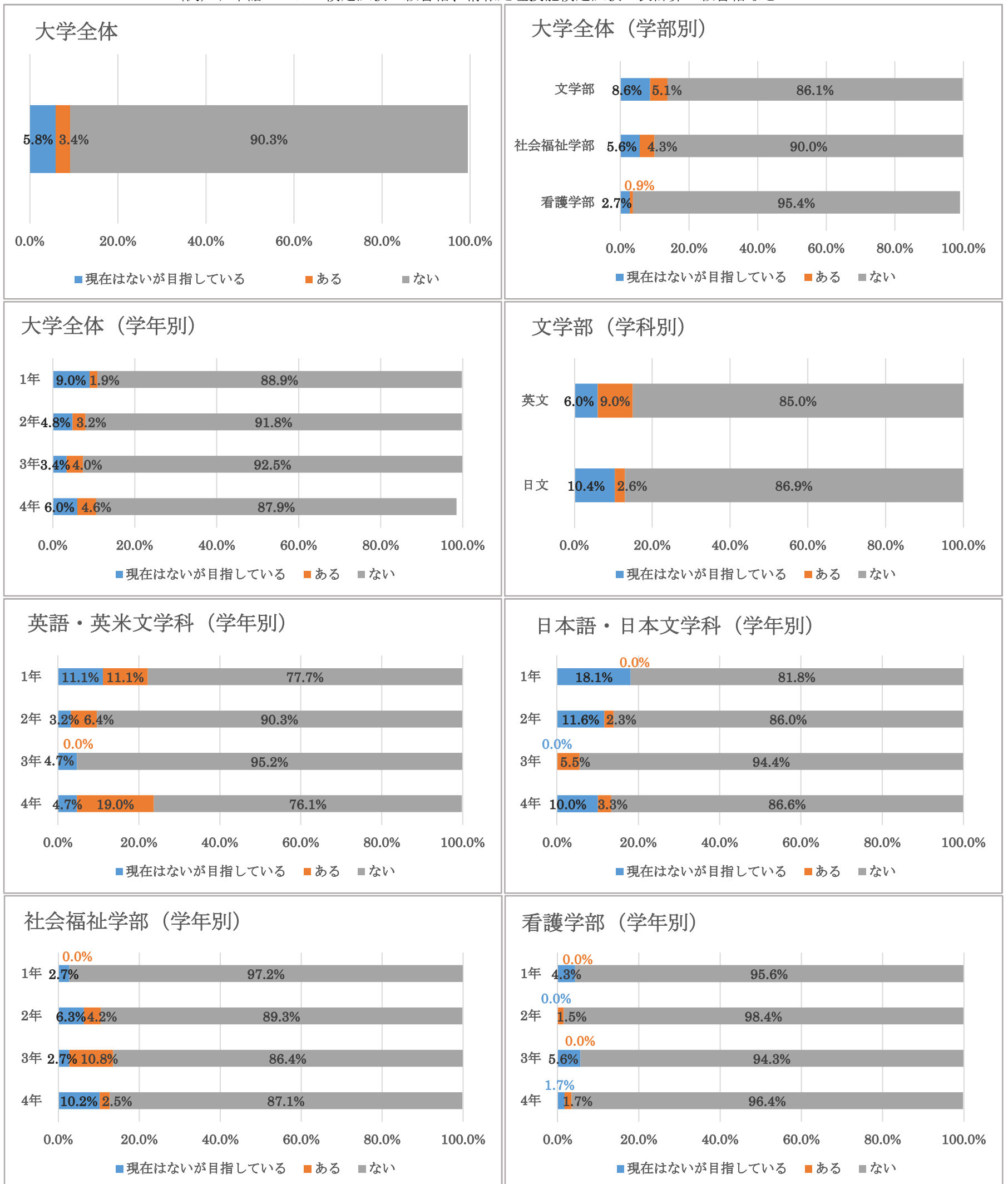
問 30 表ソフトを使うことができる。



問 31 大学入学後、取得した ICT 関連の資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

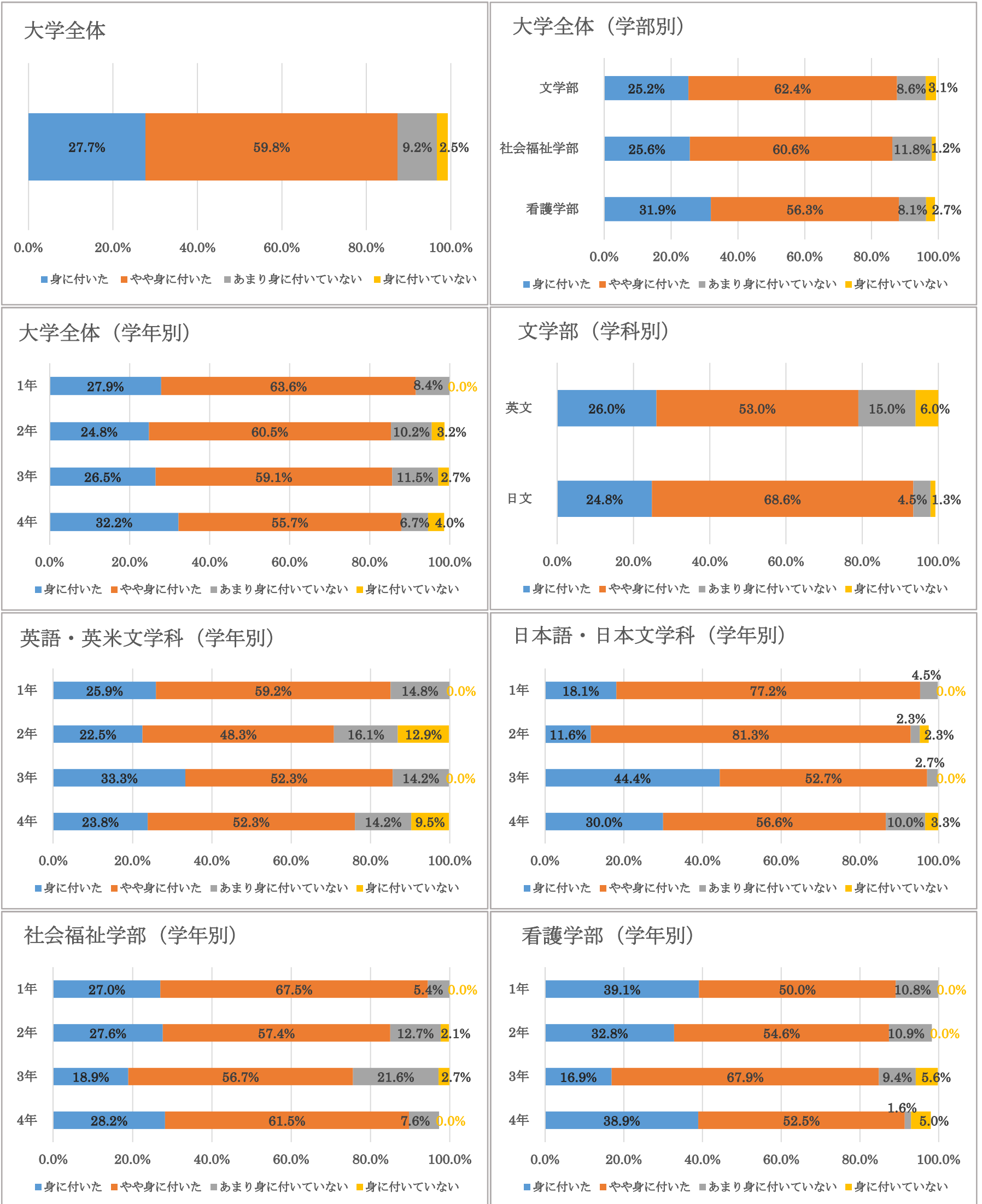
※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→ (例) 日本語ワープロ検定試験 1 級合格、情報処理技能検定試験 表計算 2 級合格など

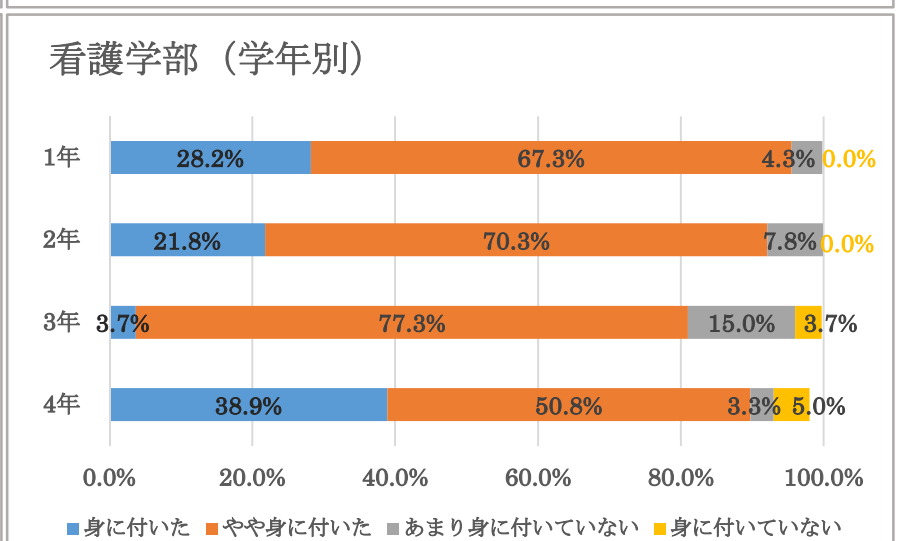
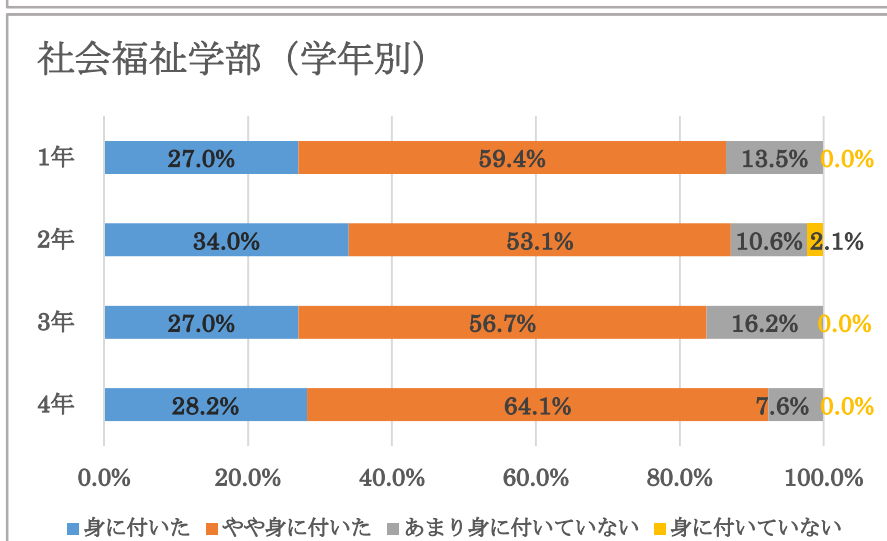
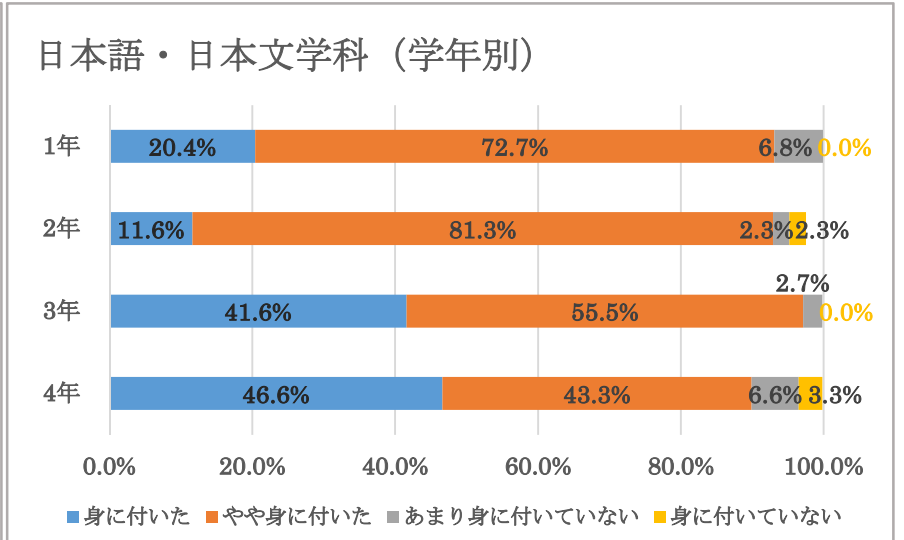
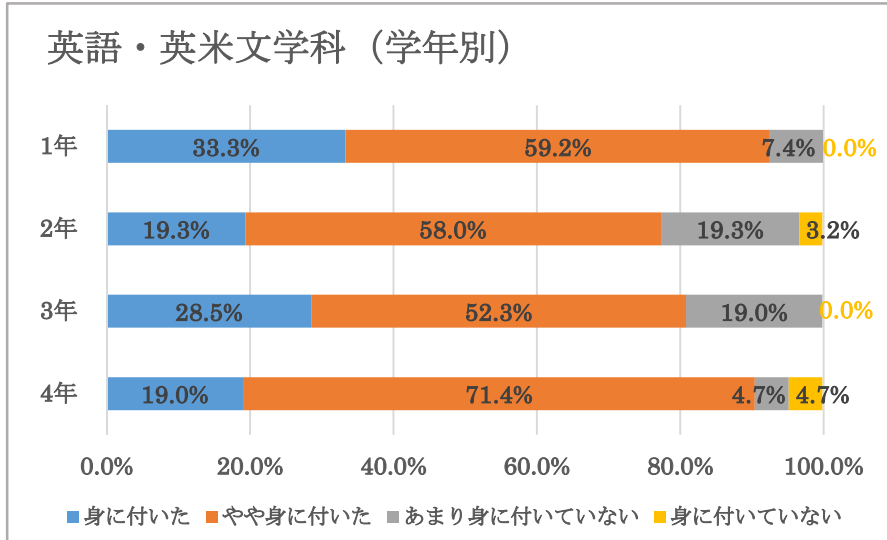
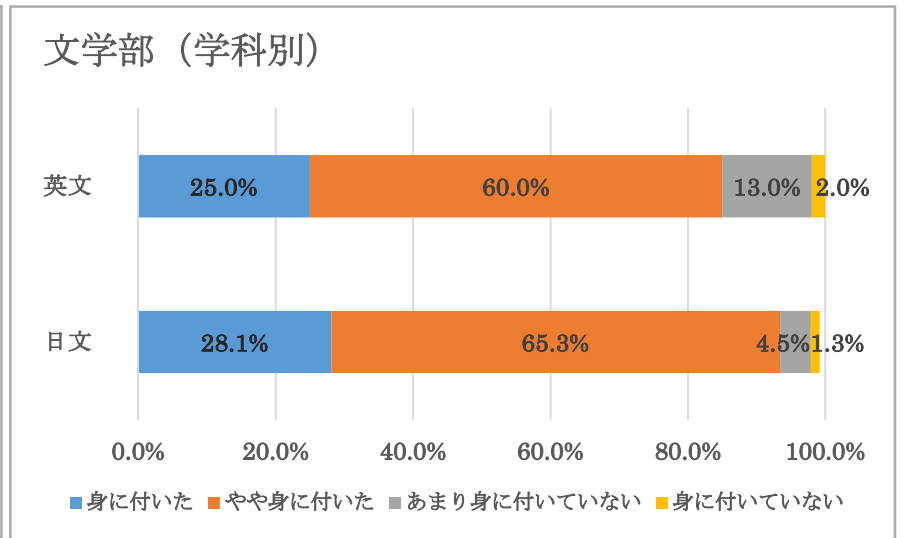
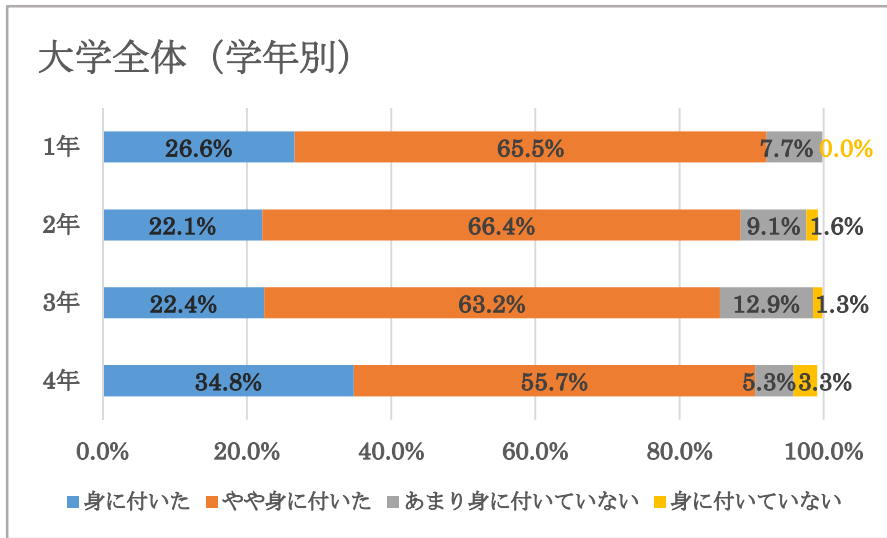
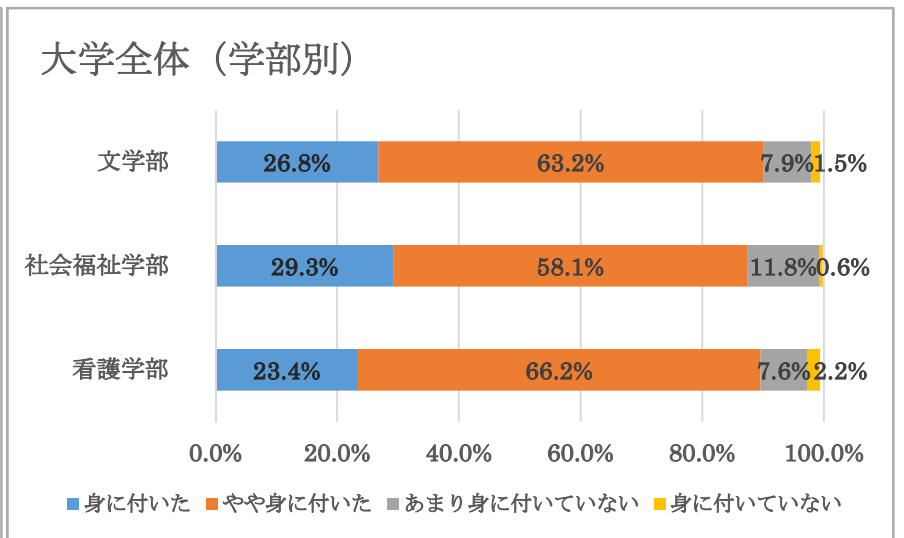
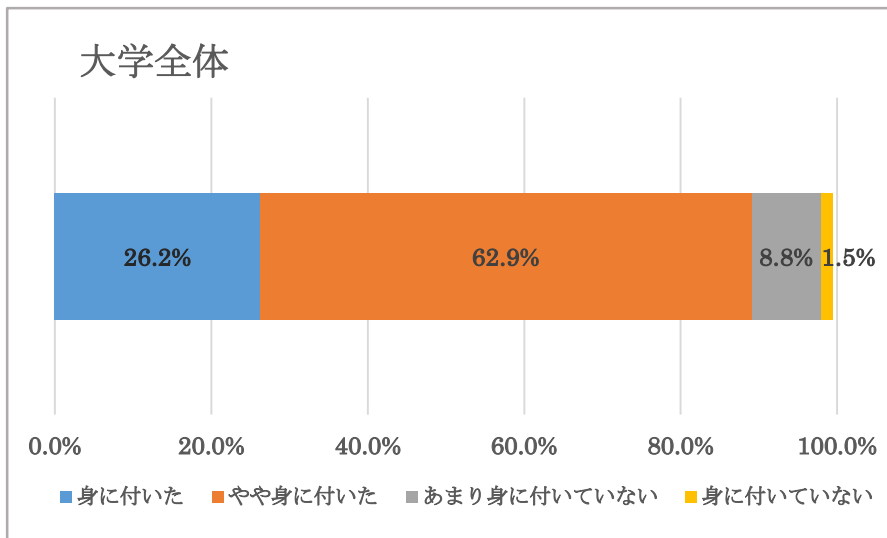


取得した ICT 関連の資格がある：IT パスポート、Word・Excel・表計算・データベース 1 級、日本ワープロ 2 級、Mos Excel・Word など

4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて  
 問 32 以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。

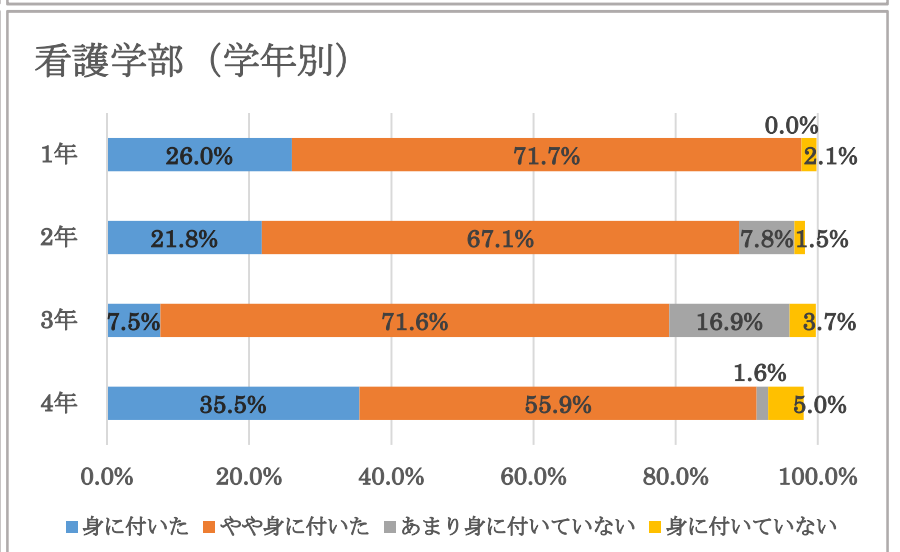
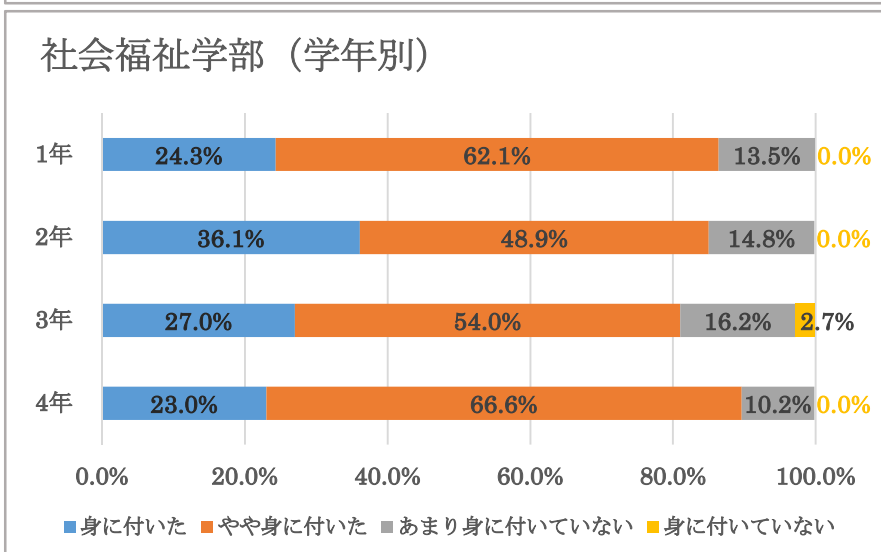
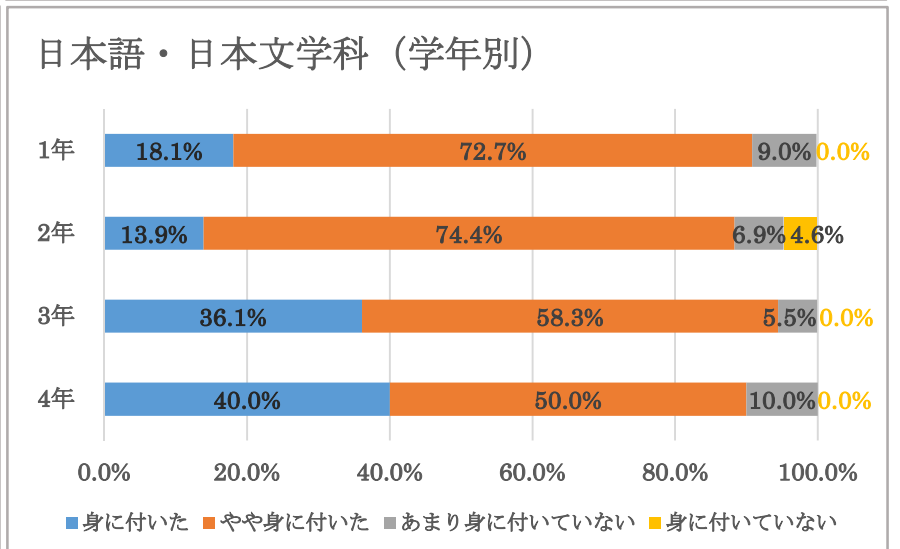
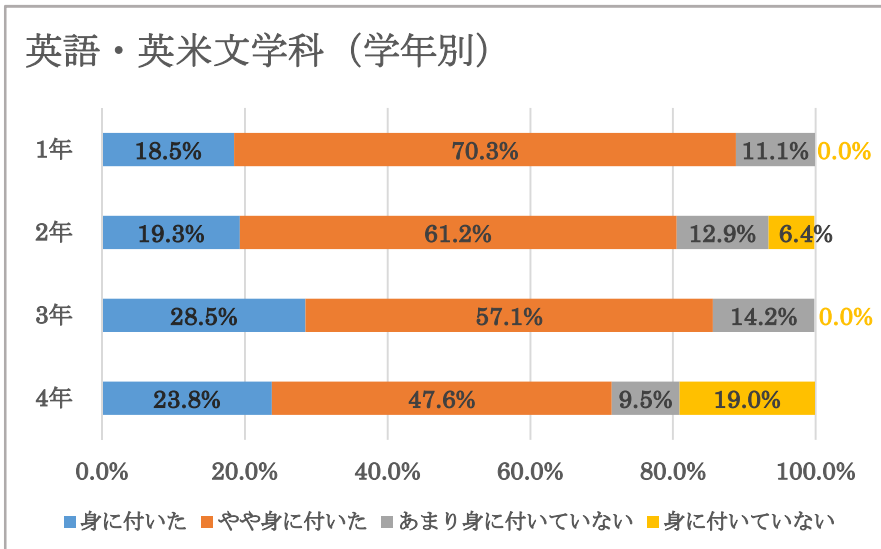
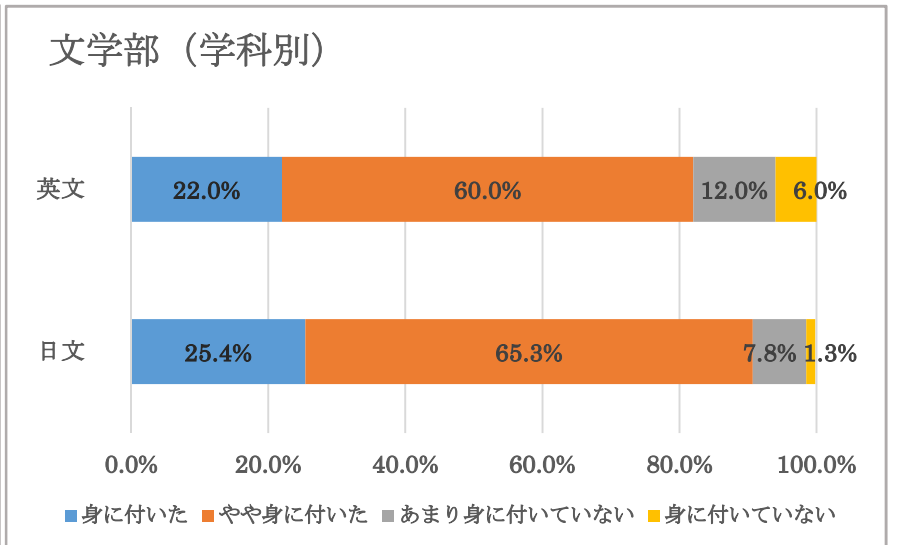
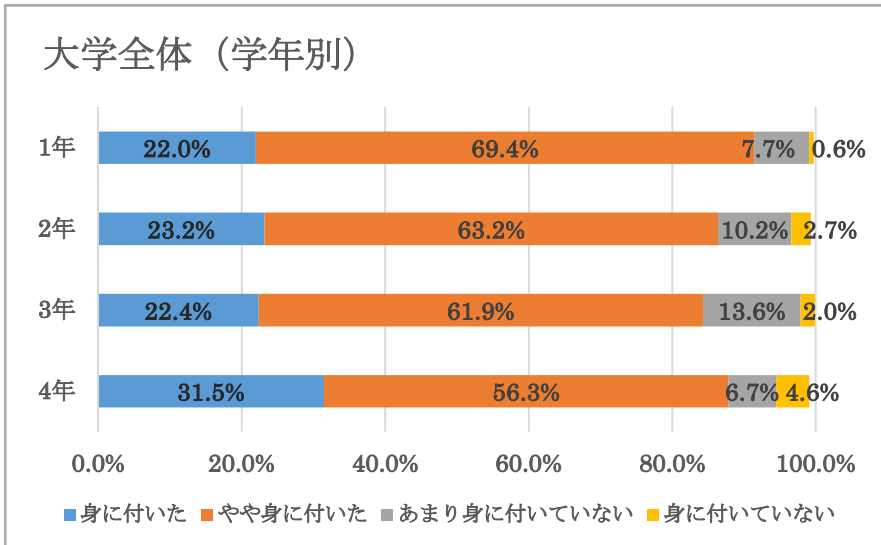
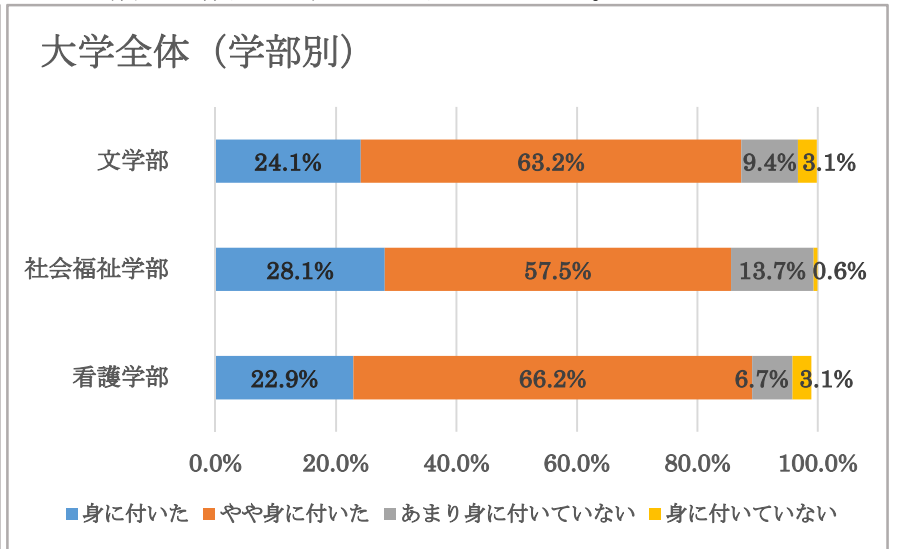
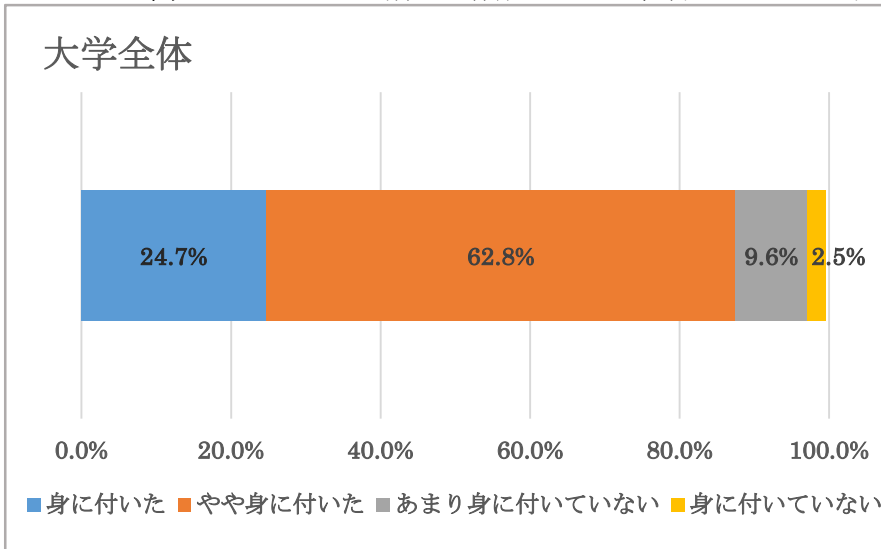


問 33 レポートや論文の作成について、必要な情報収集のスキル（文献、資料統計などの検索方法など）が身に付きましたか。

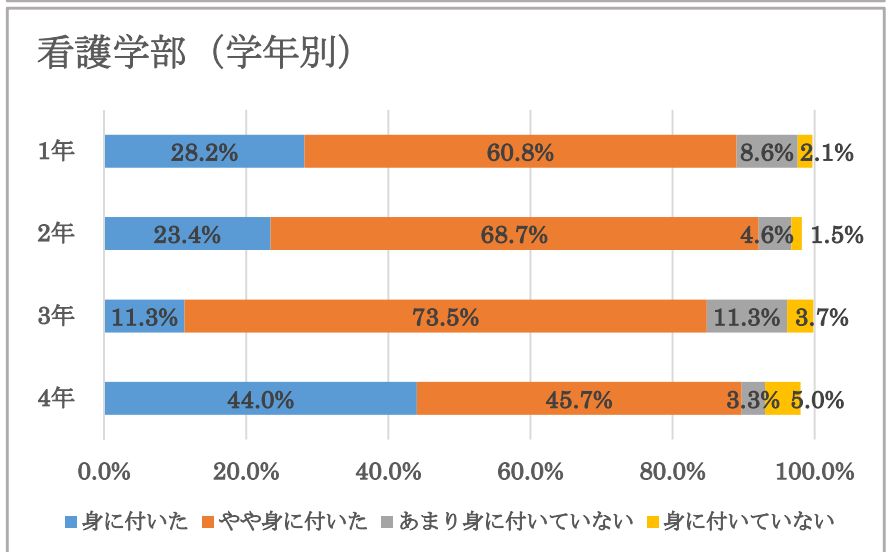
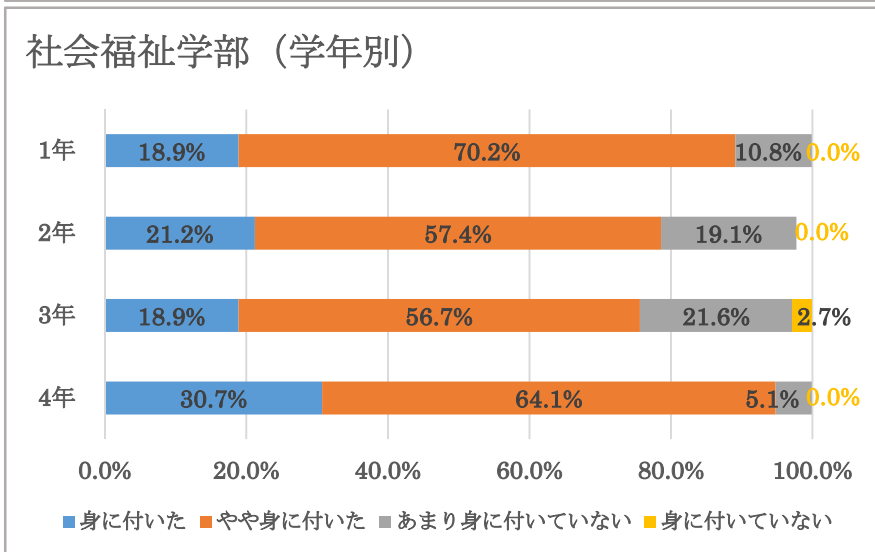
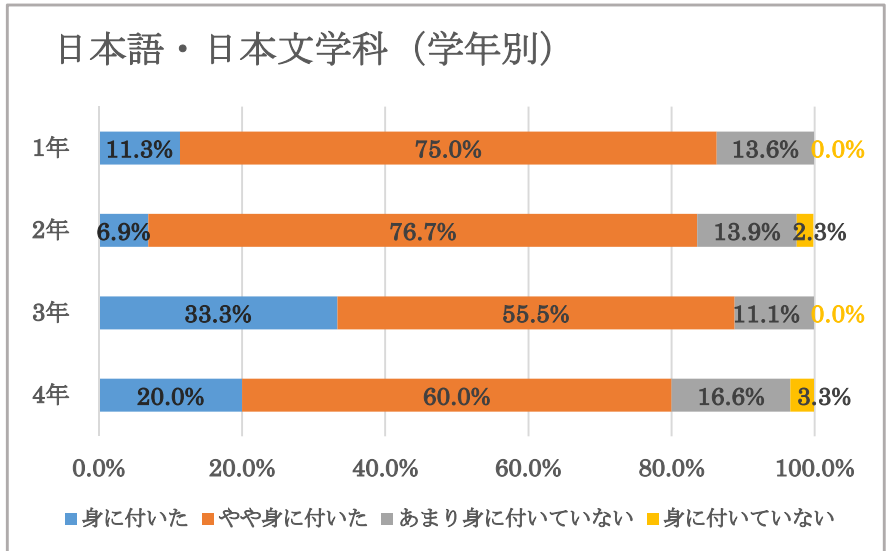
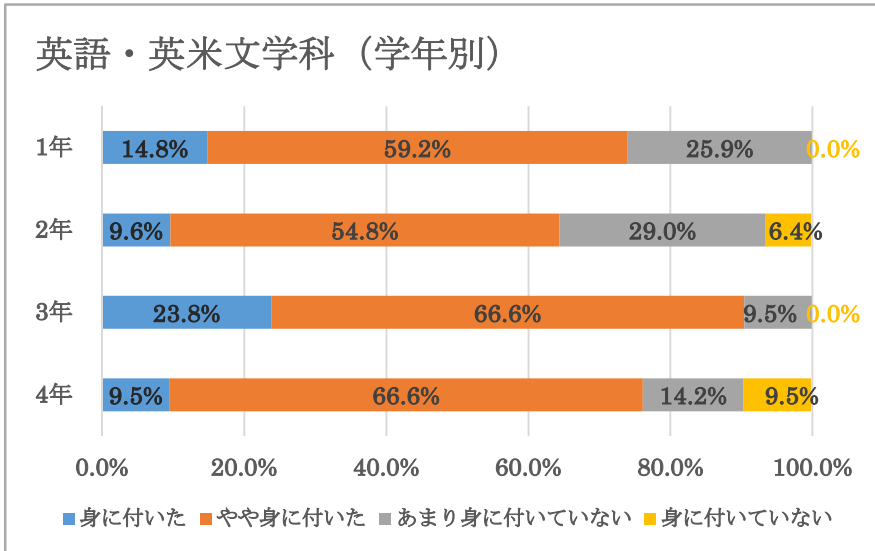
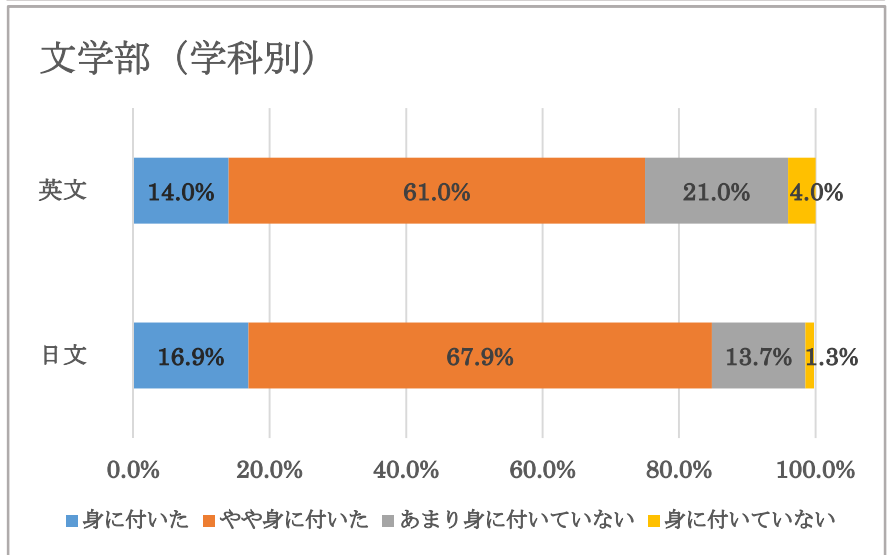
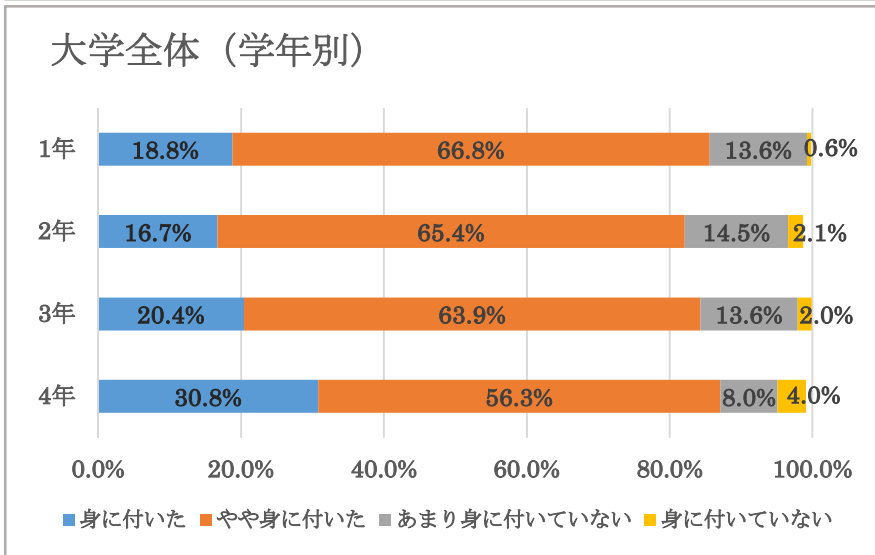
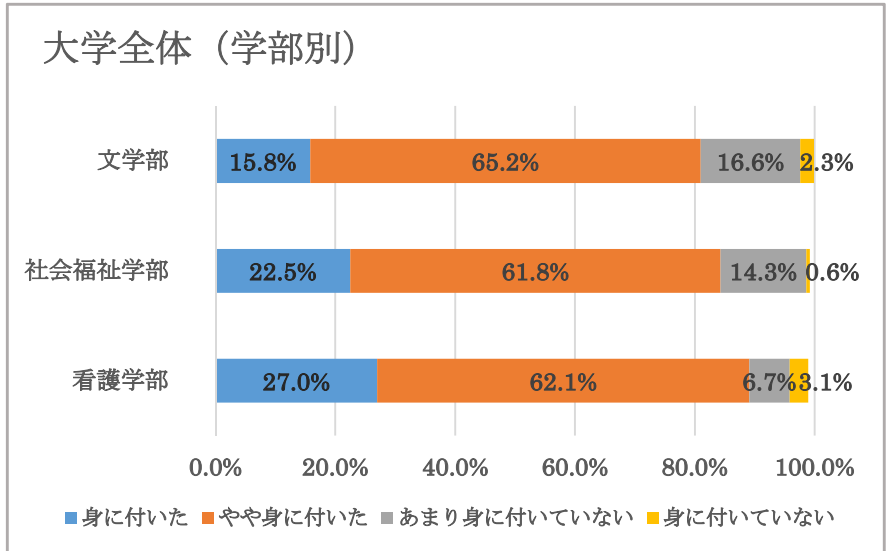
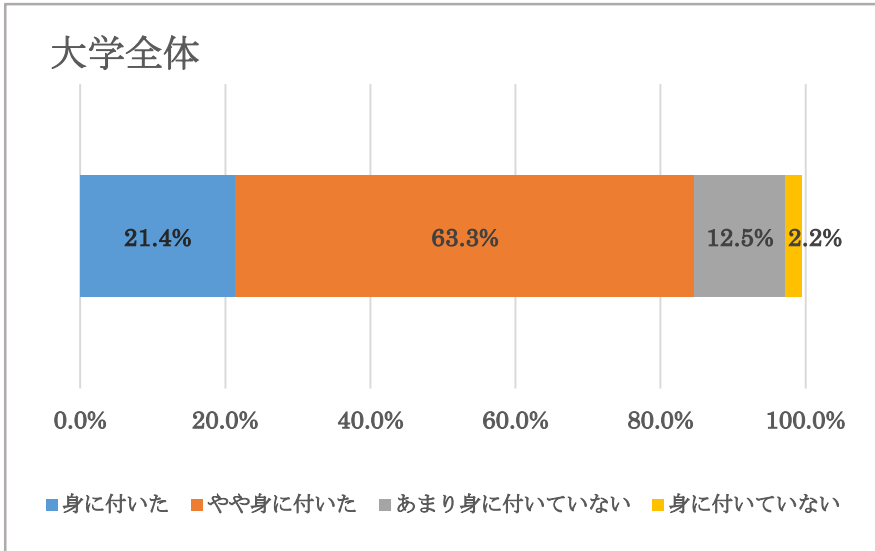




問 34 レポートや論文の作成について、書くために必要なスキル（書式や作法など）が身に付きましたか。



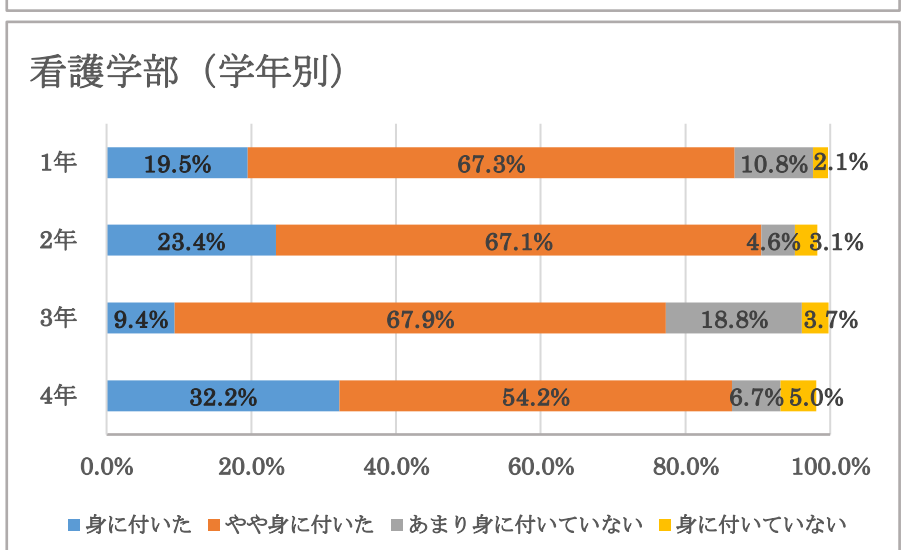
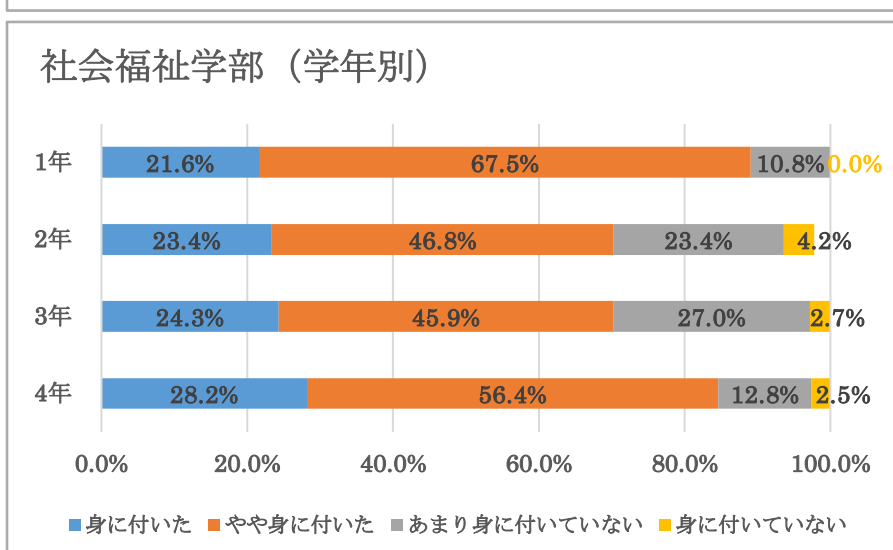
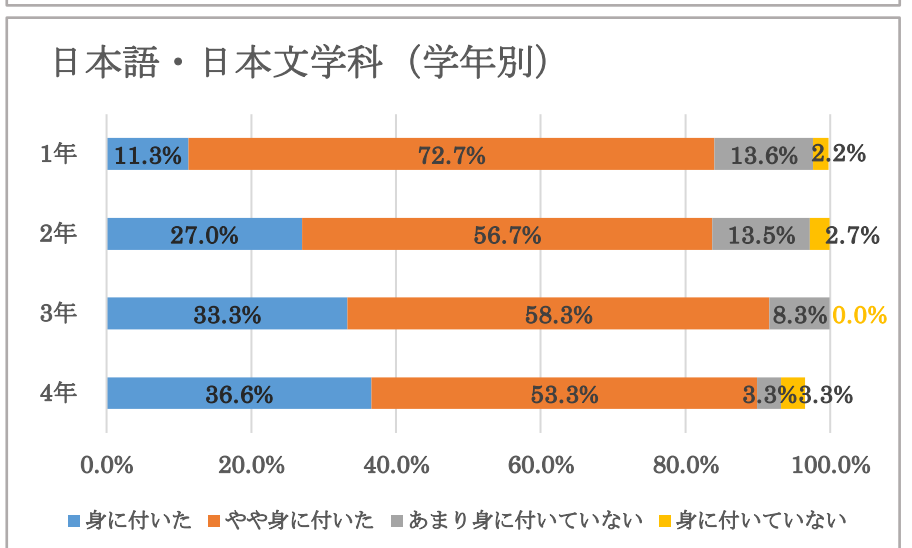
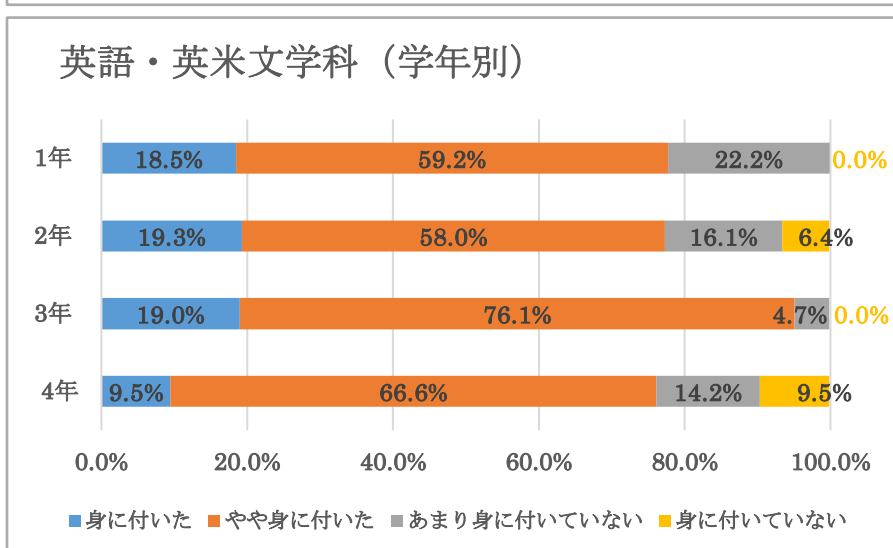
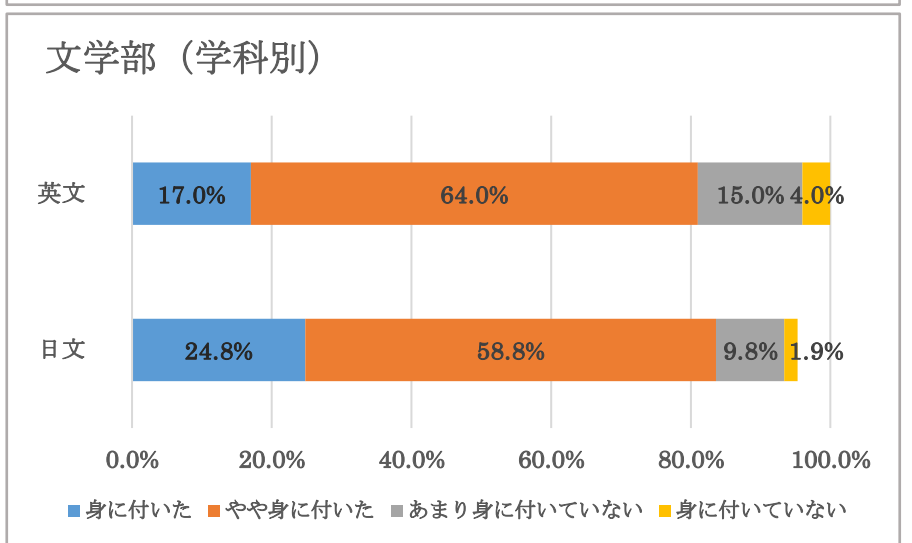
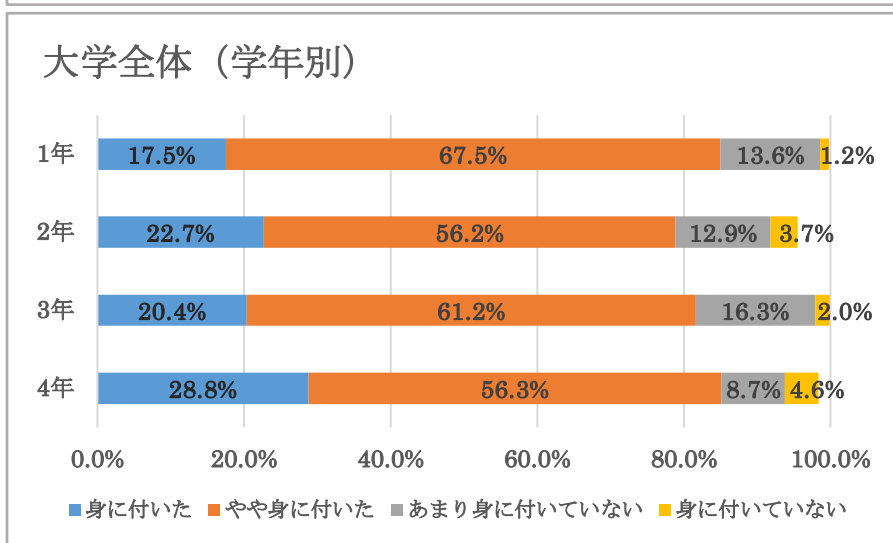
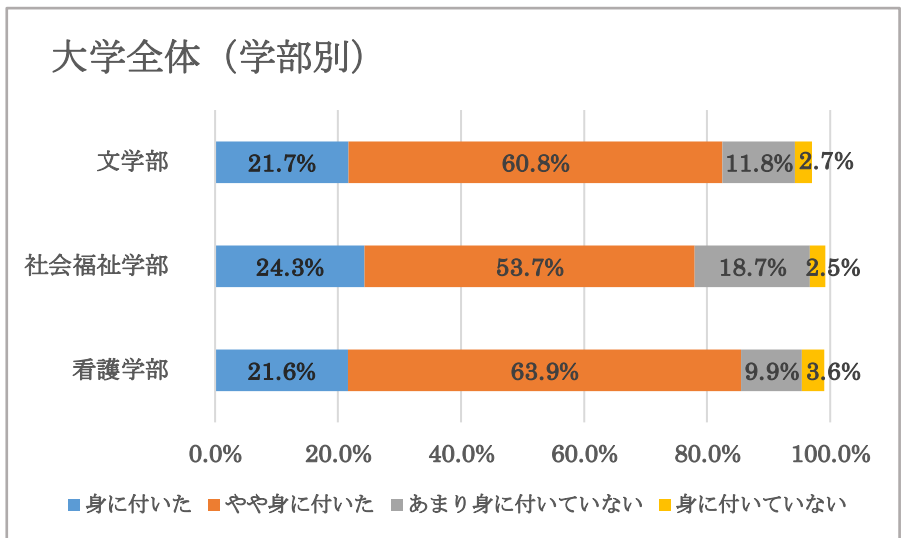
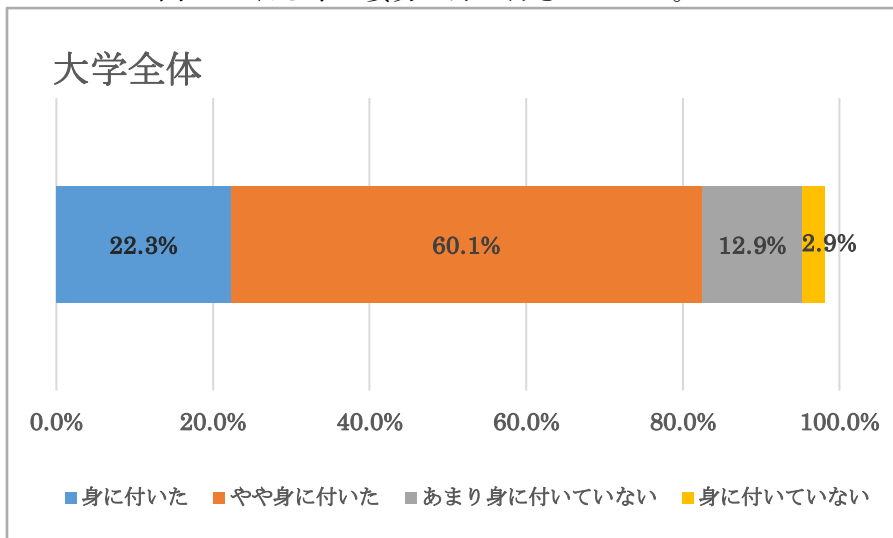
問 35 専門的な知識やスキルが身に付きましたか。



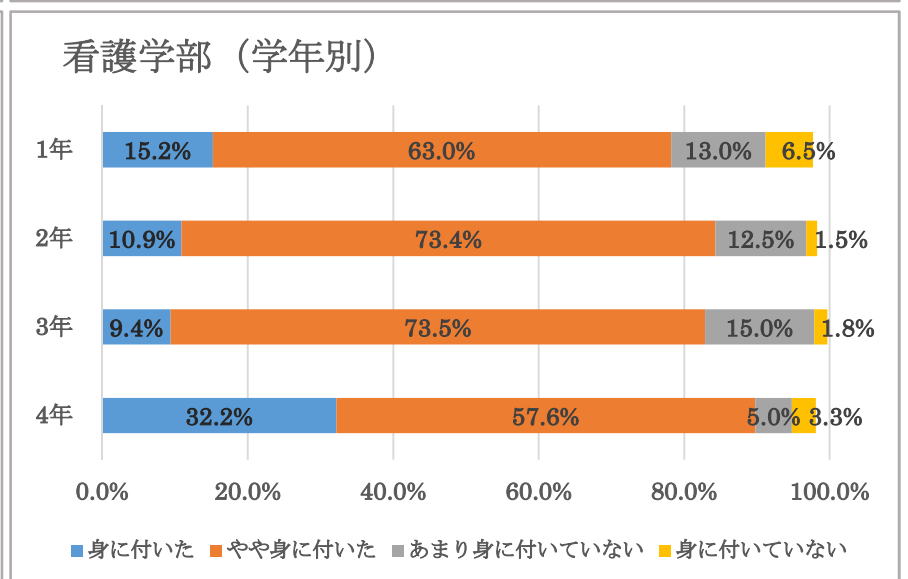
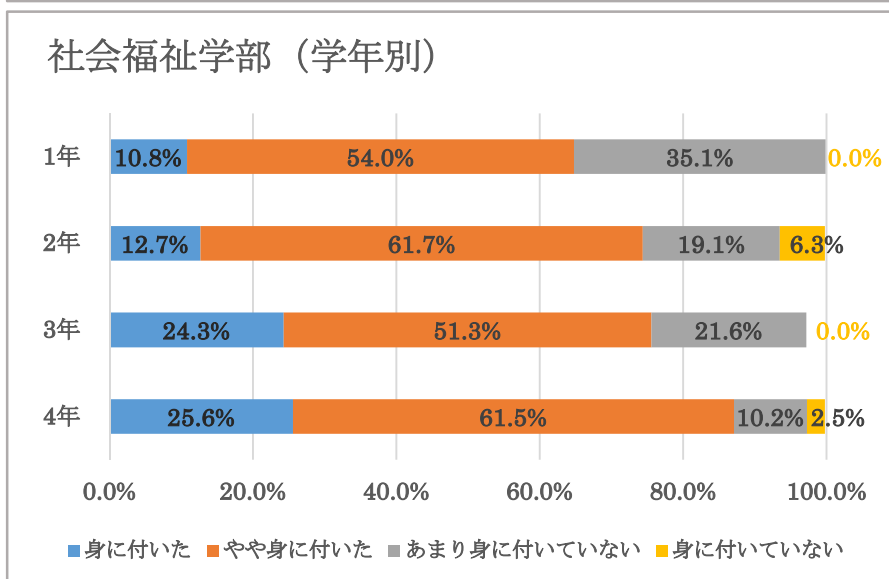
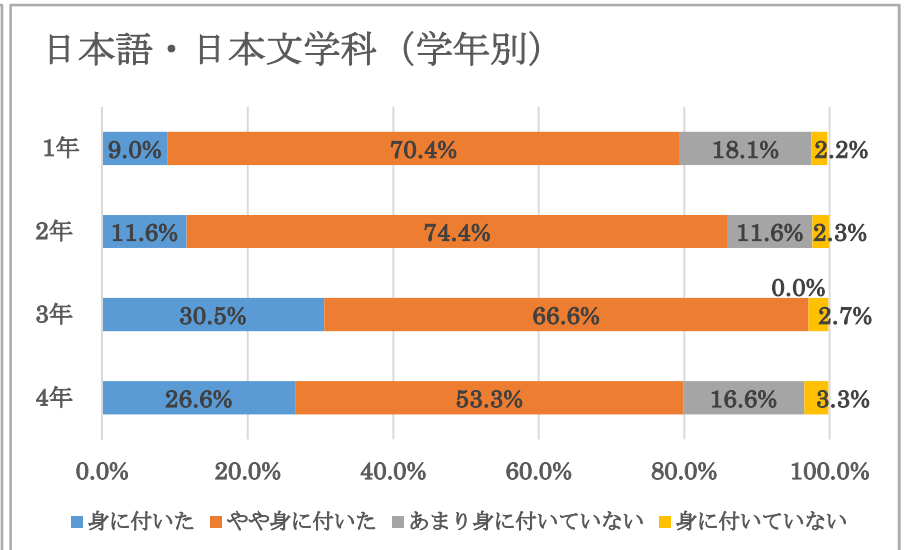
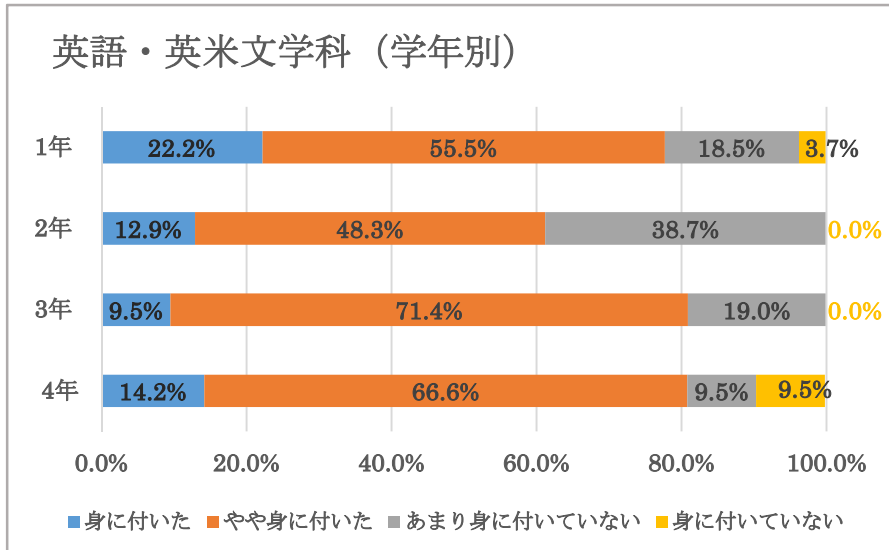
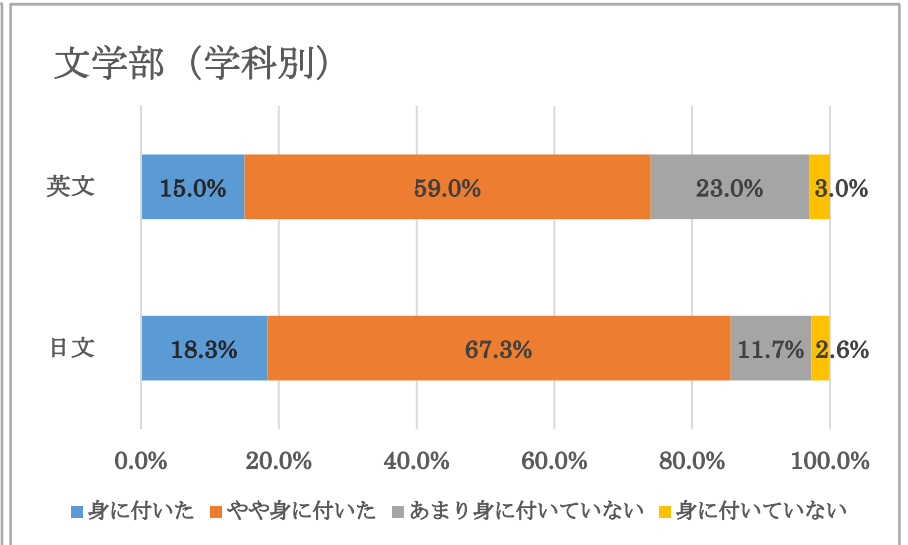
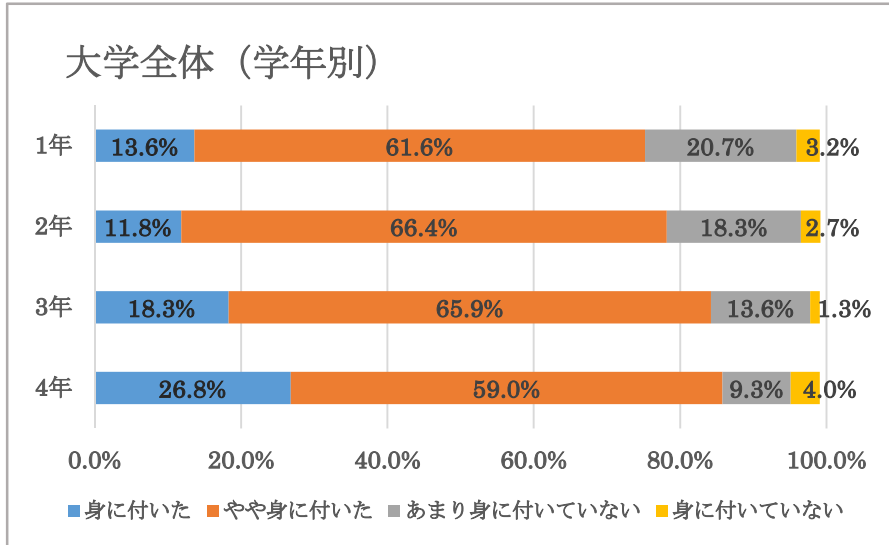
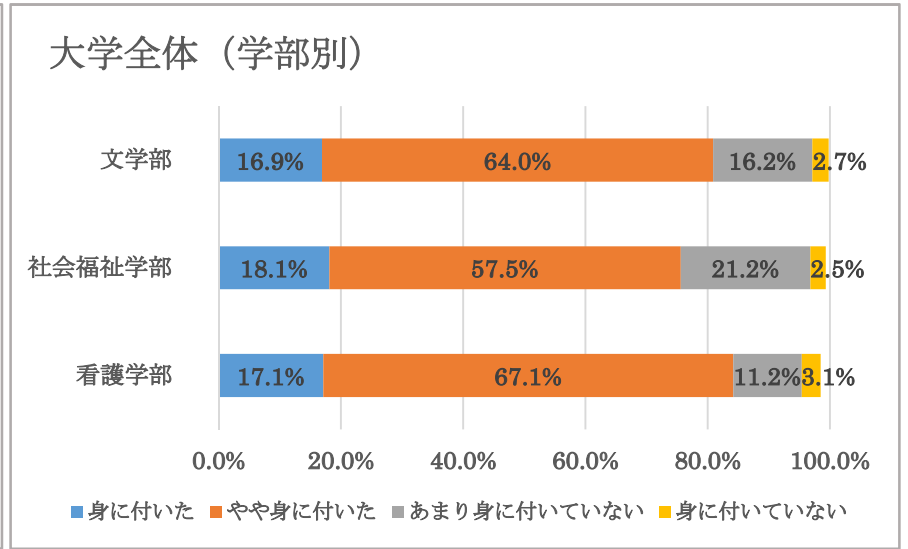
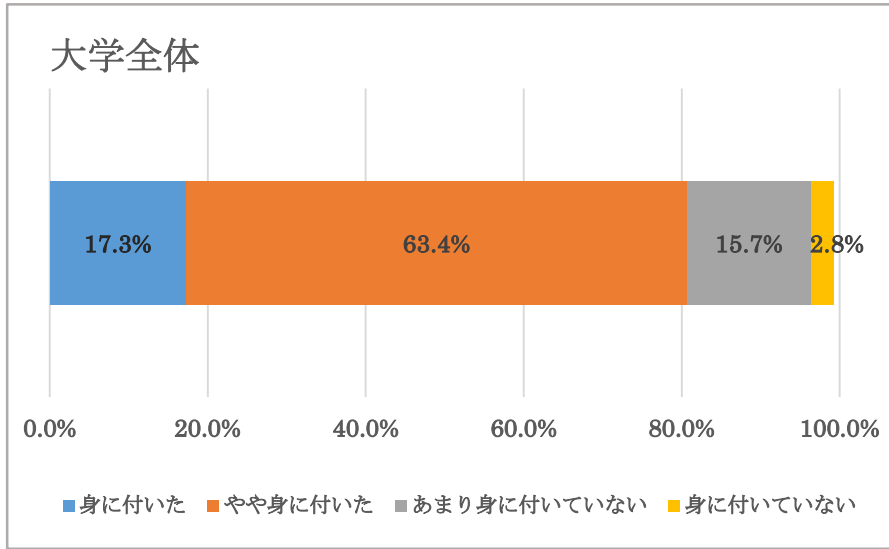
5. 総合的な力

(1) 自己の資質・能力の変化、向上について

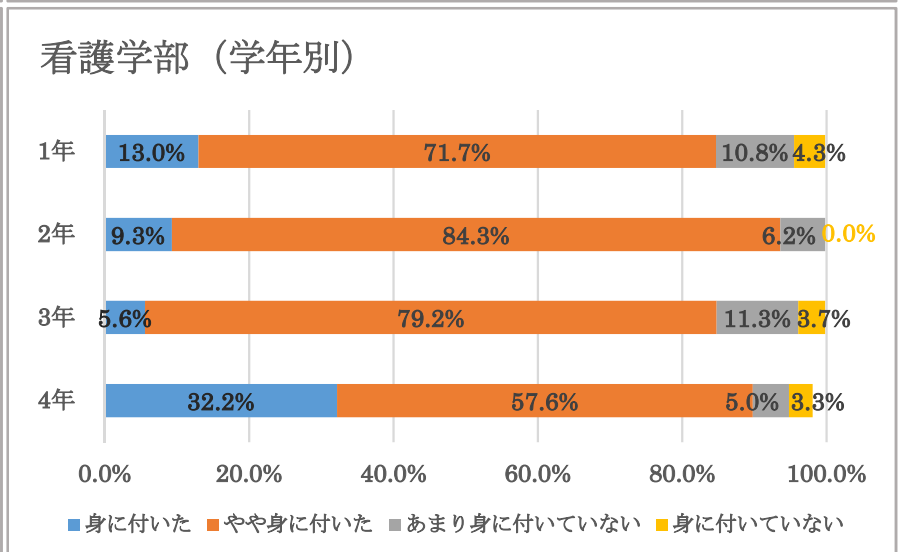
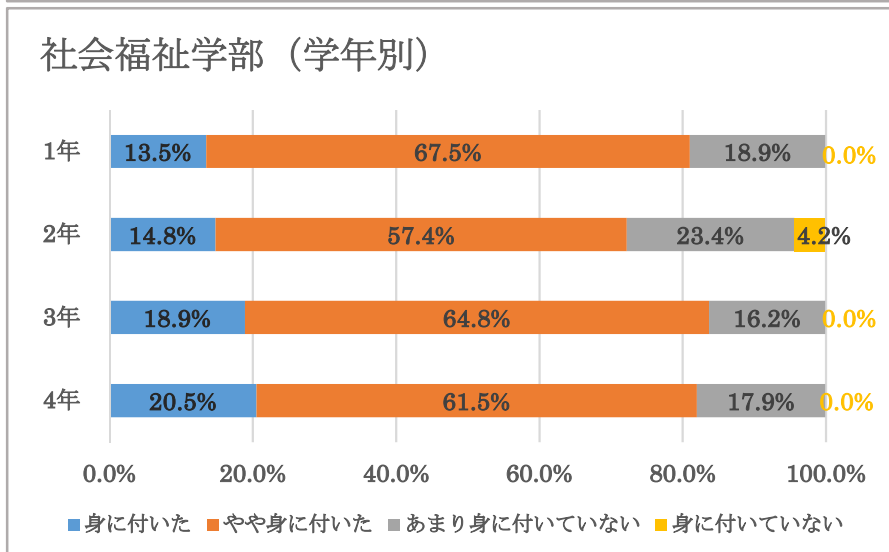
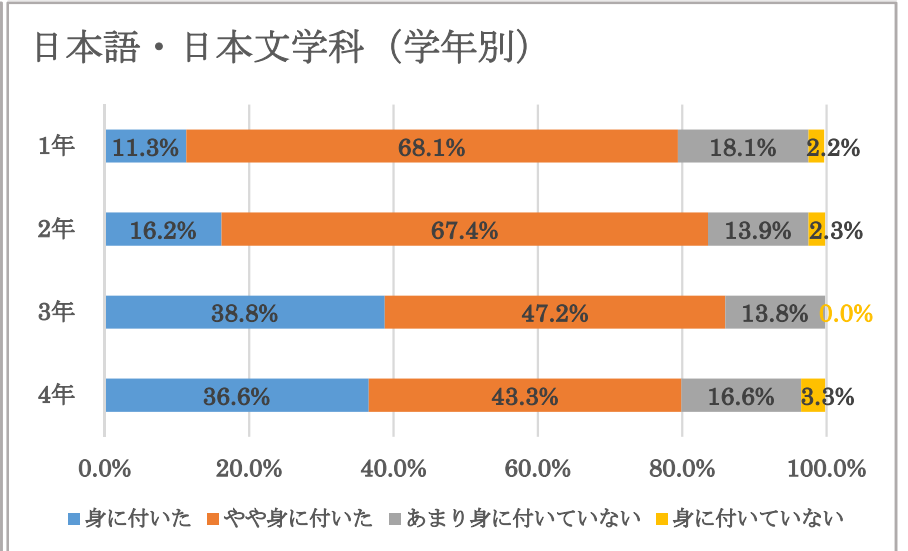
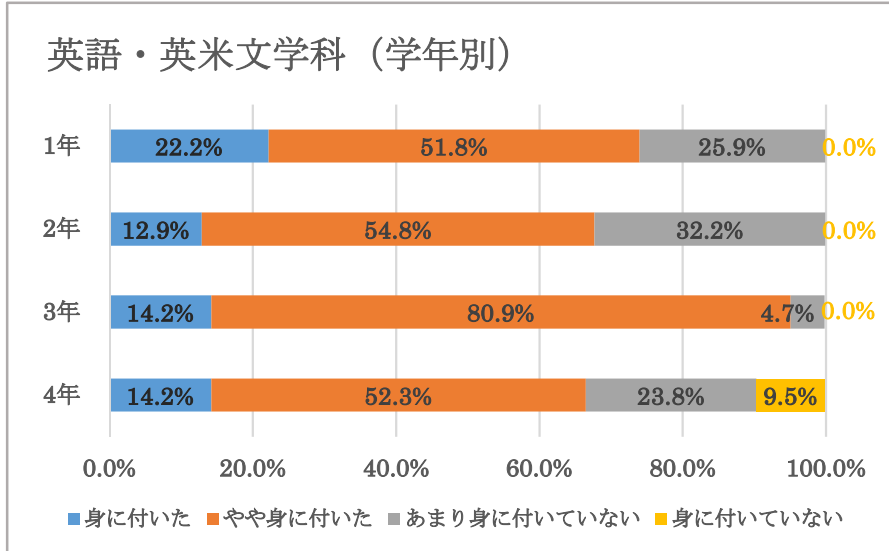
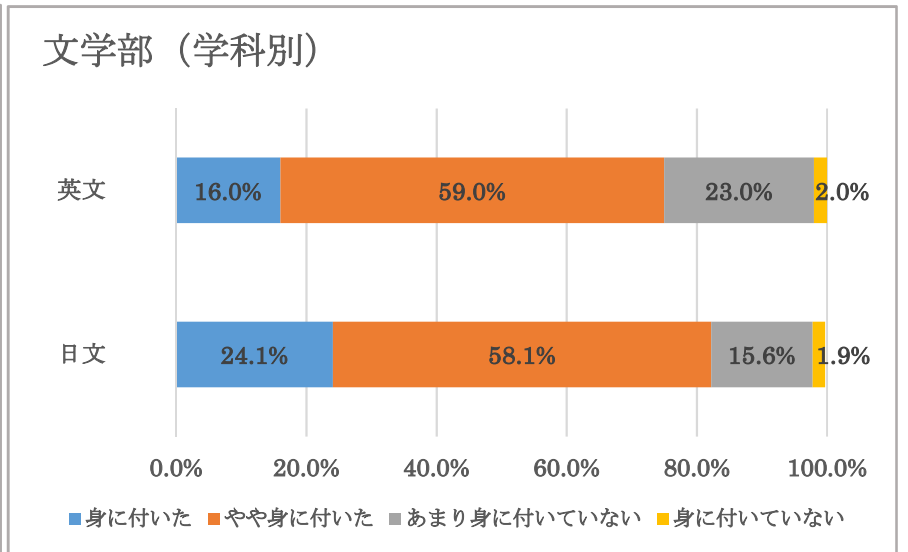
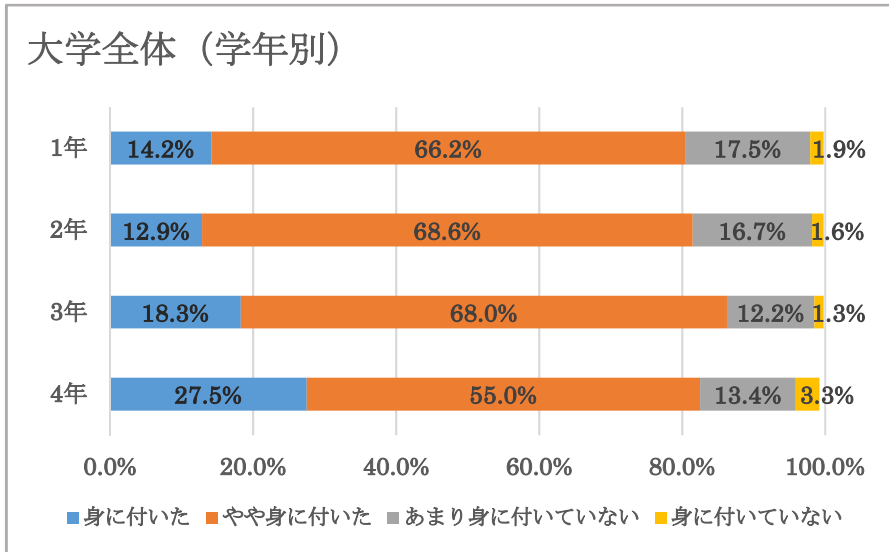
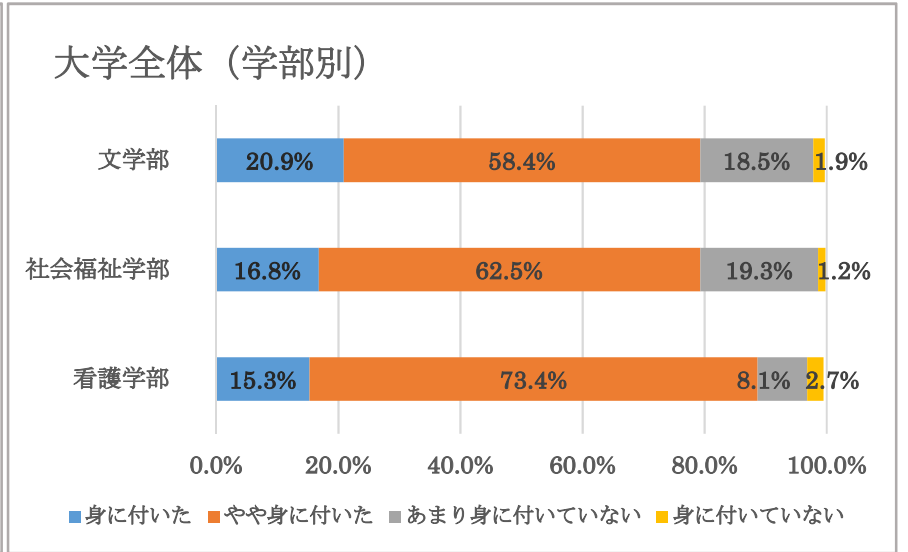
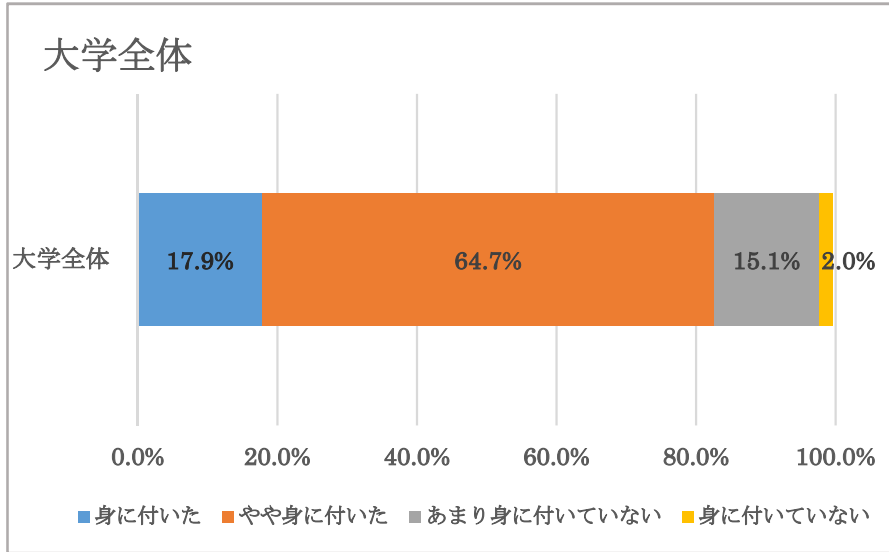
問 36 自ら学ぶ姿勢が身に付き了吗か。



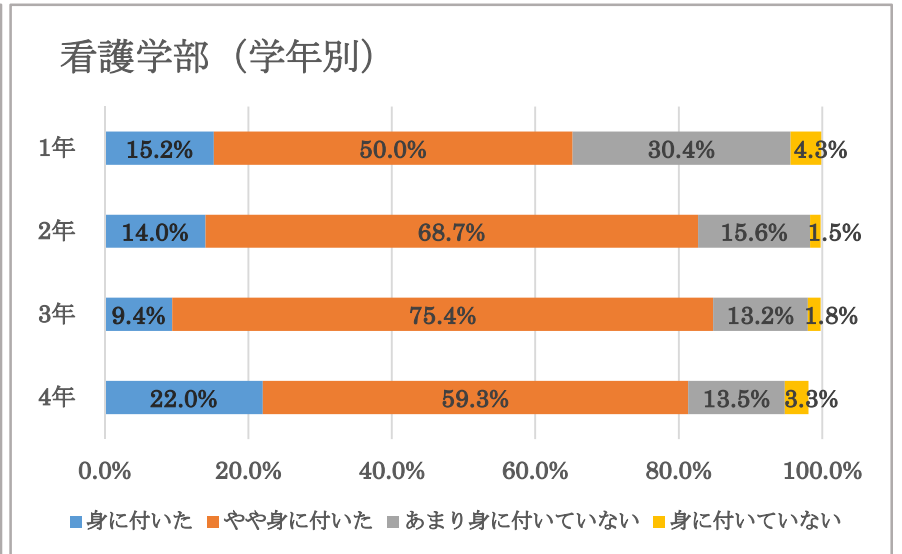
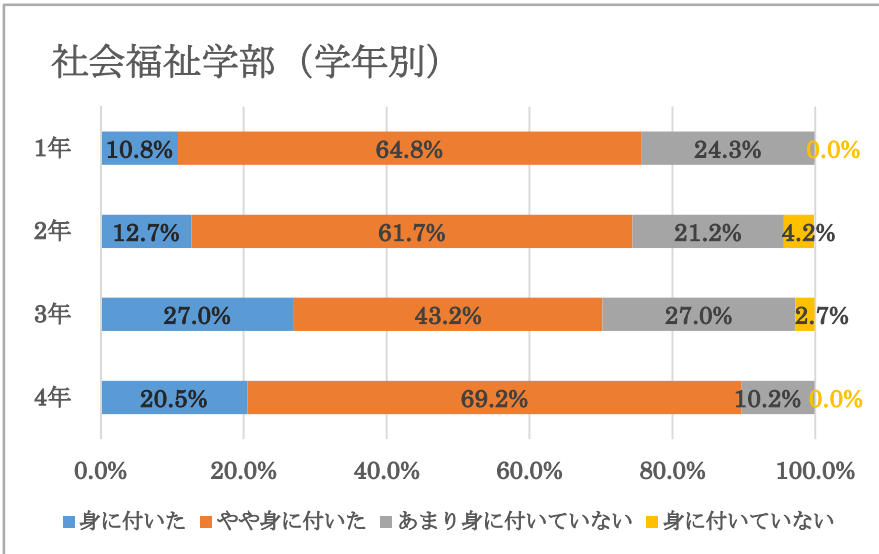
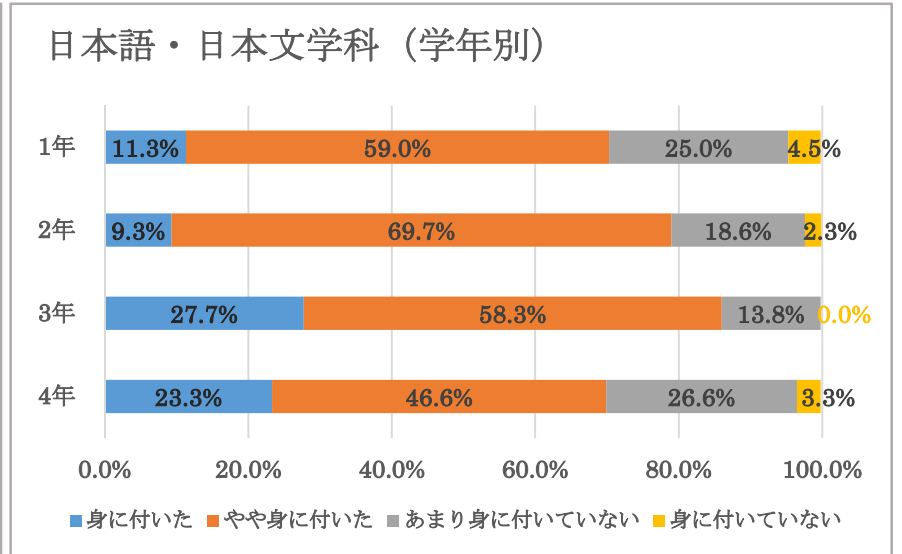
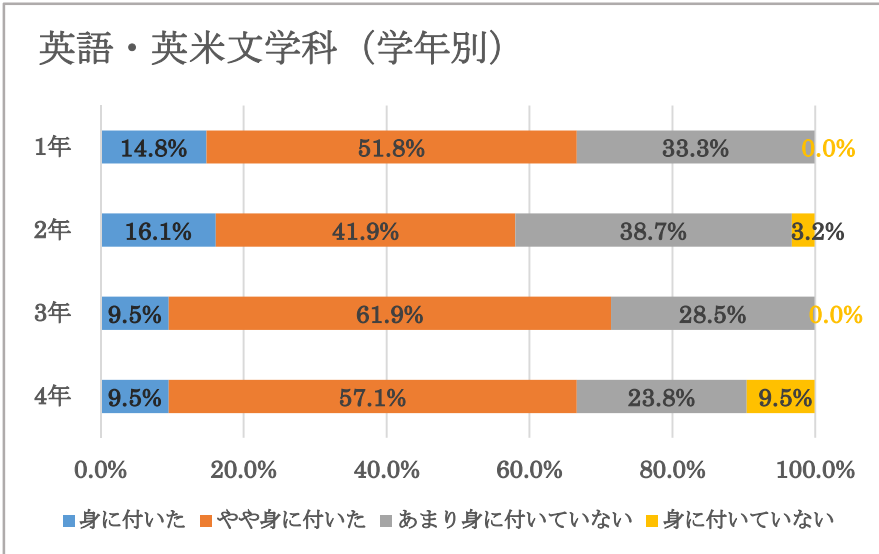
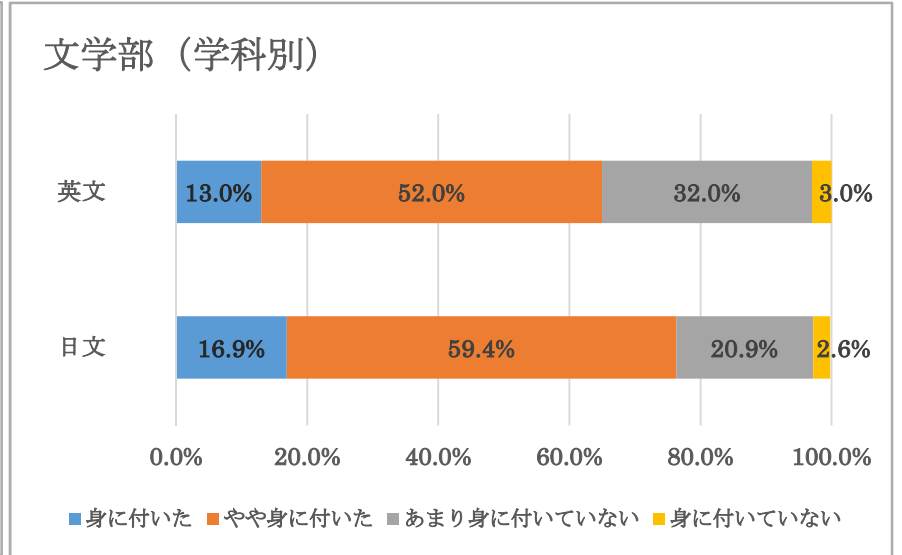
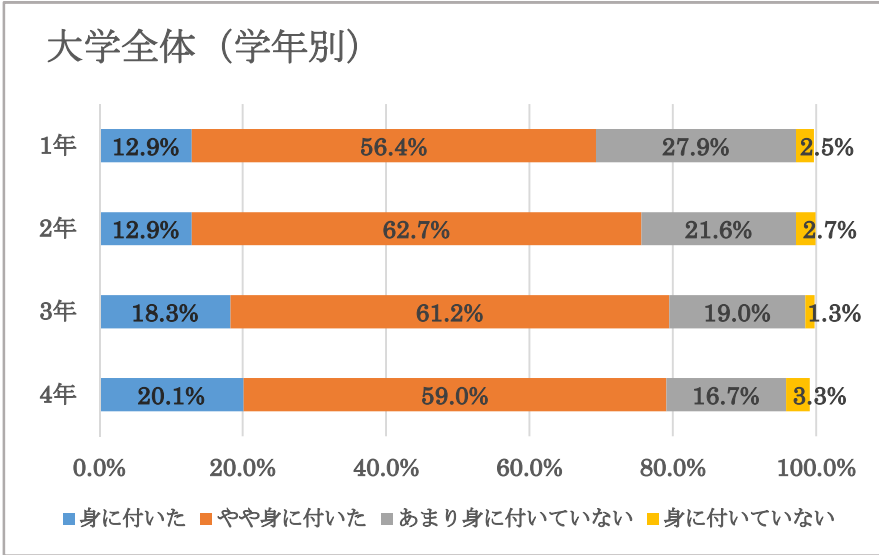
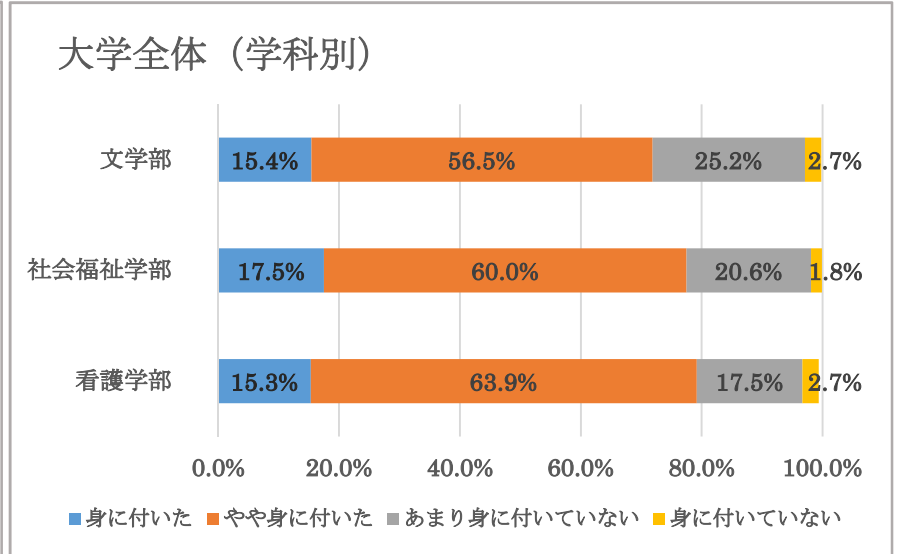
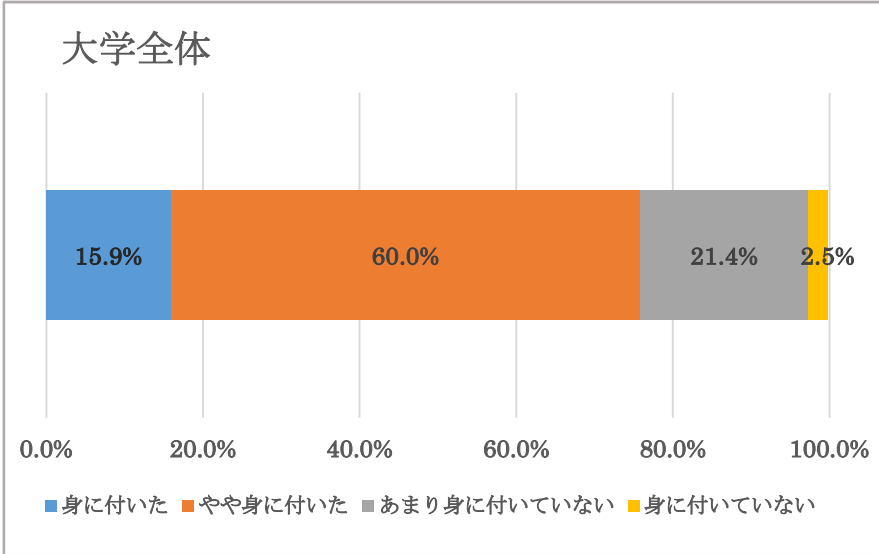
問 37 論理的に考える力が身に付きましたか。



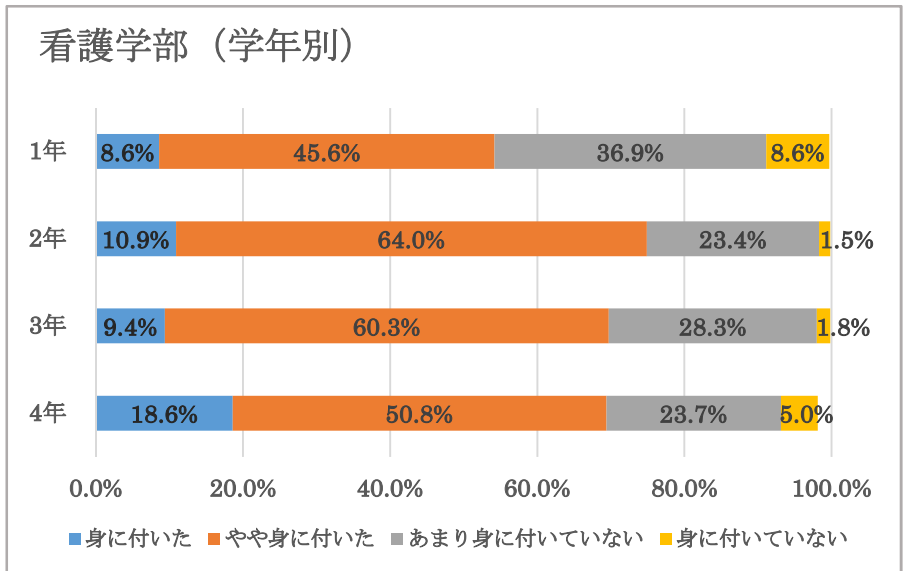
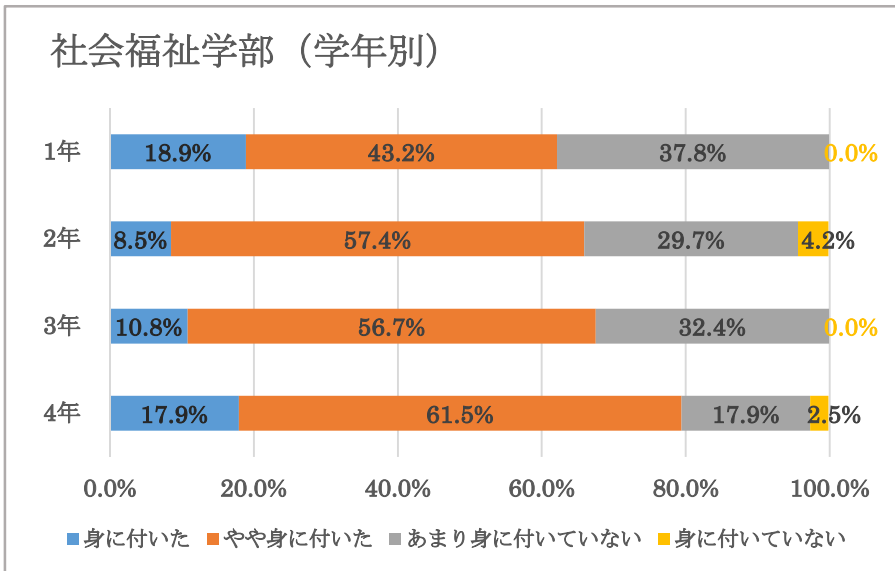
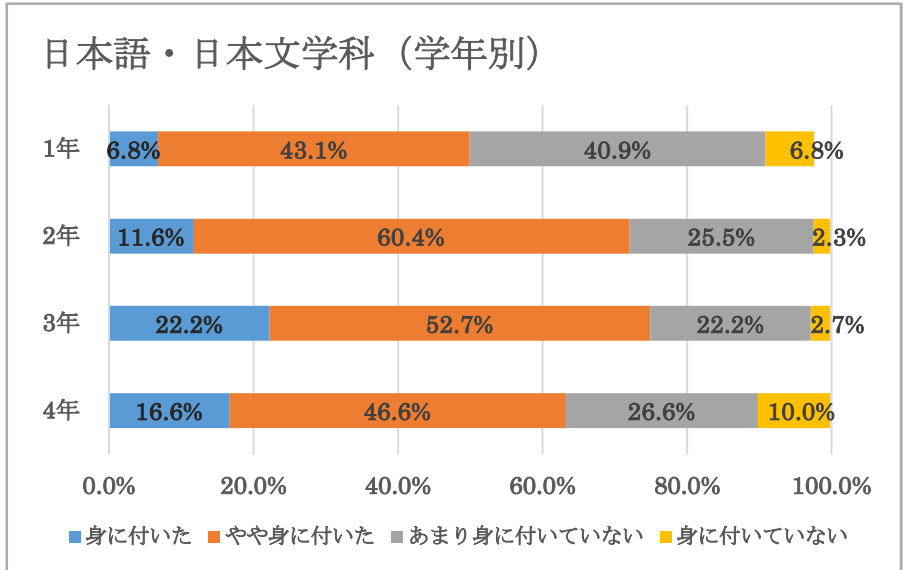
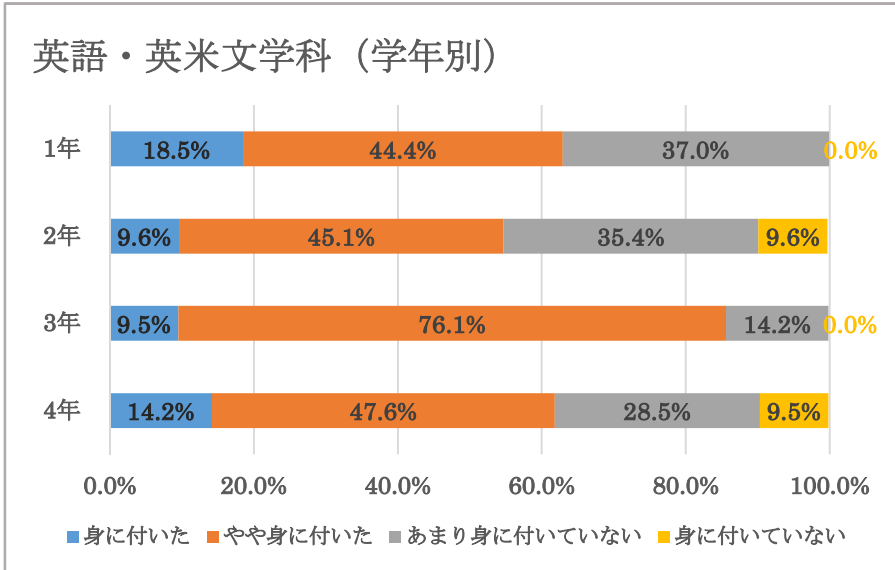
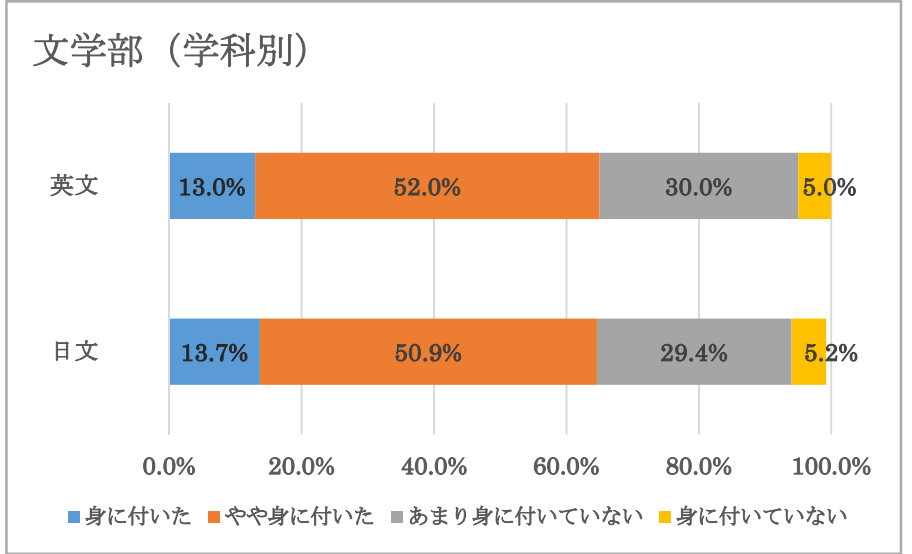
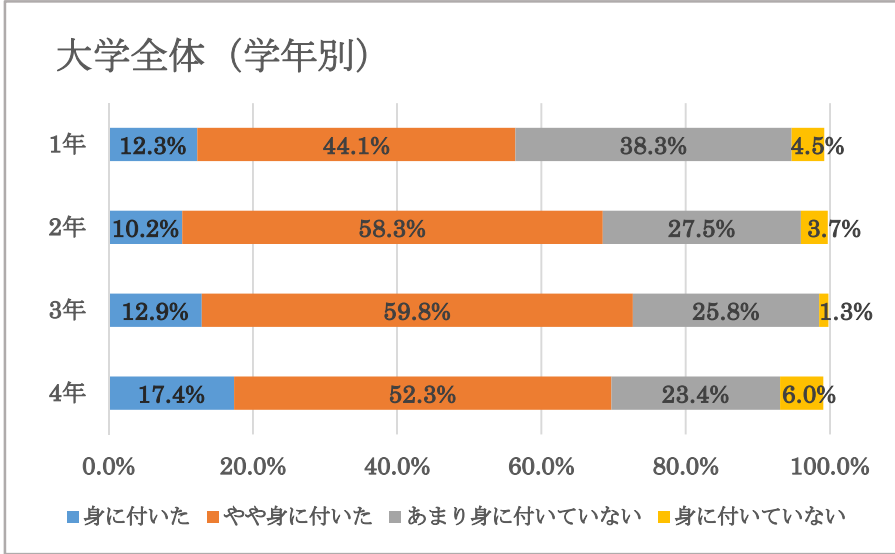
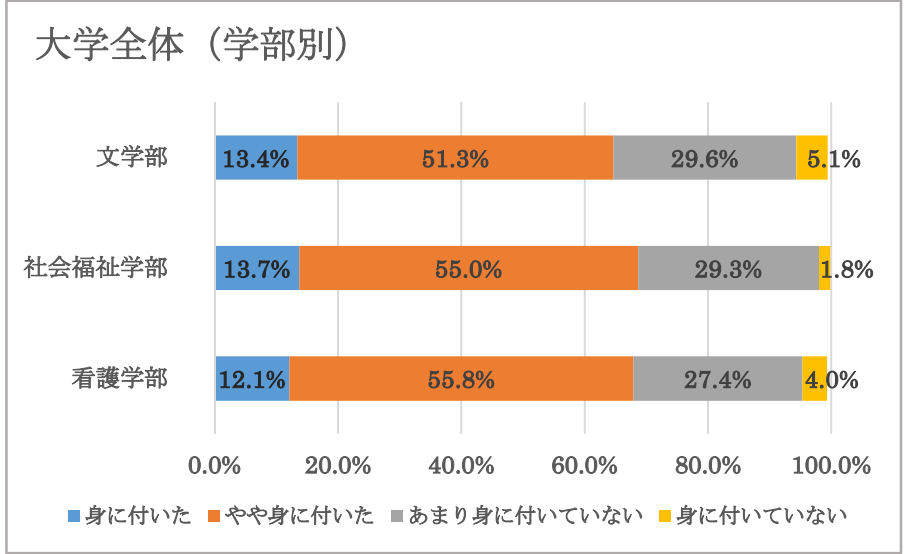
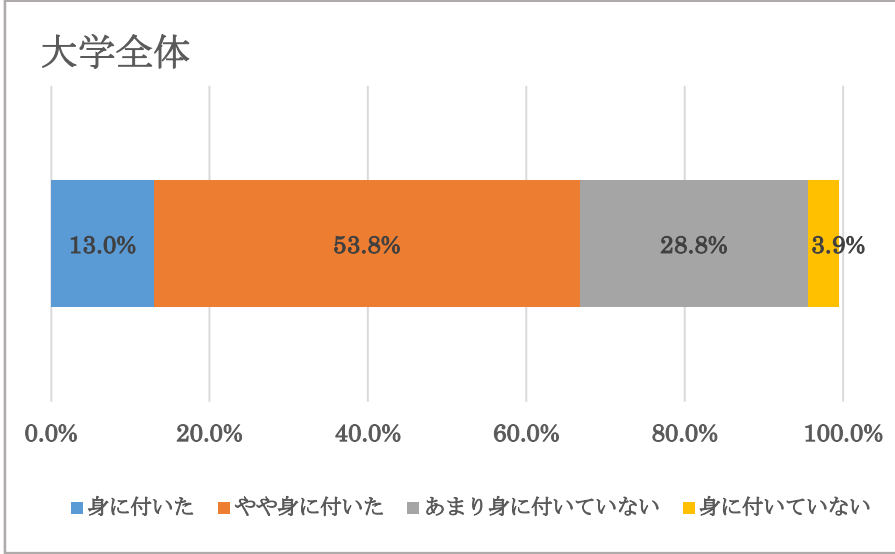
問 38 分析力、課題解決能力が身に付きましたか。



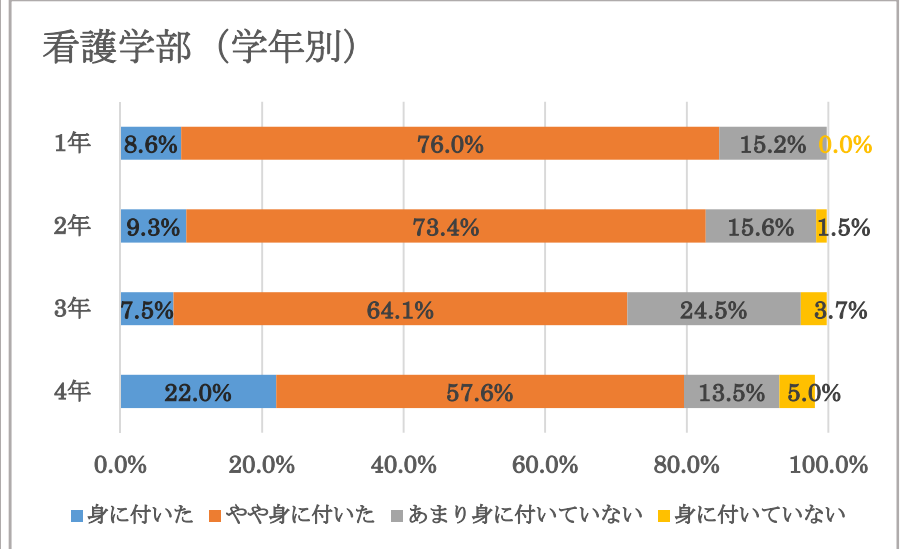
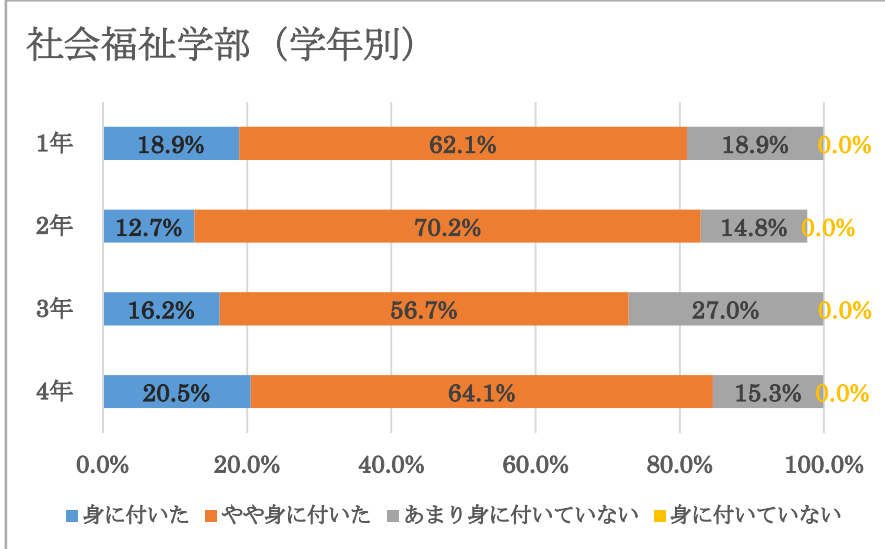
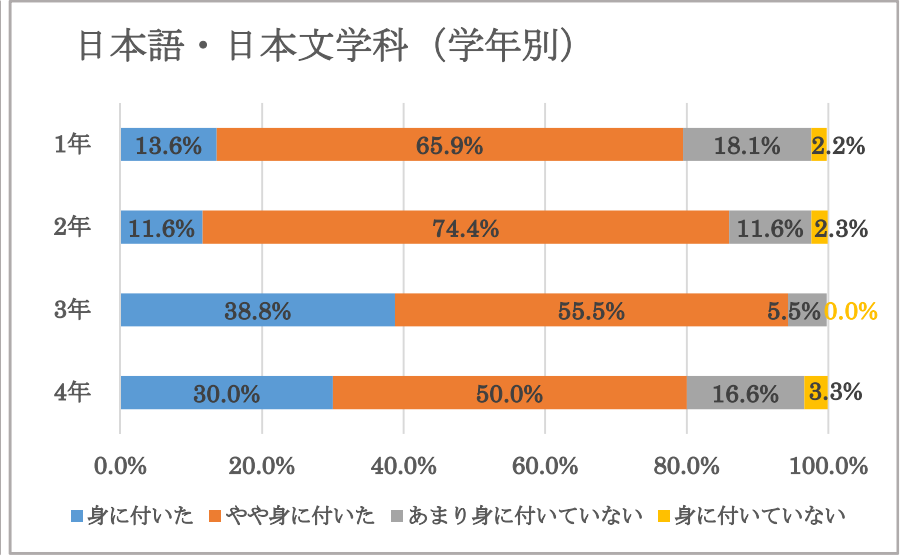
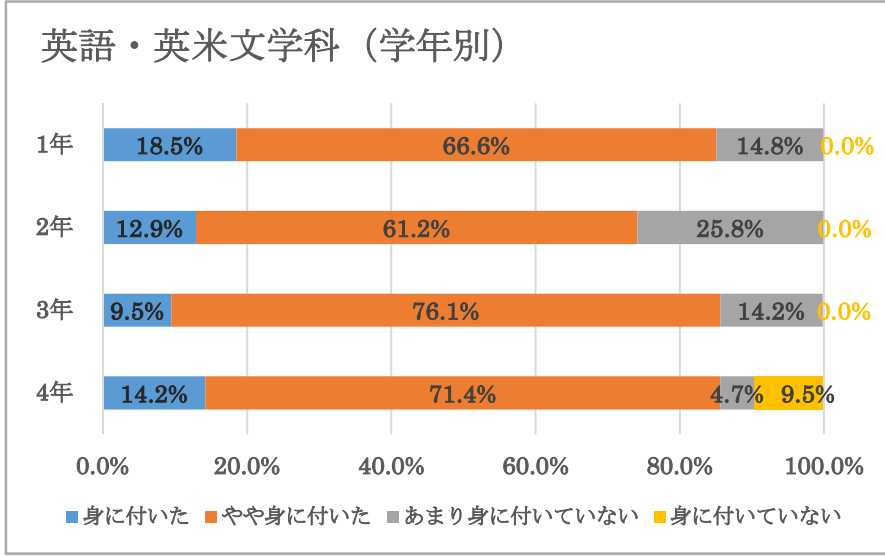
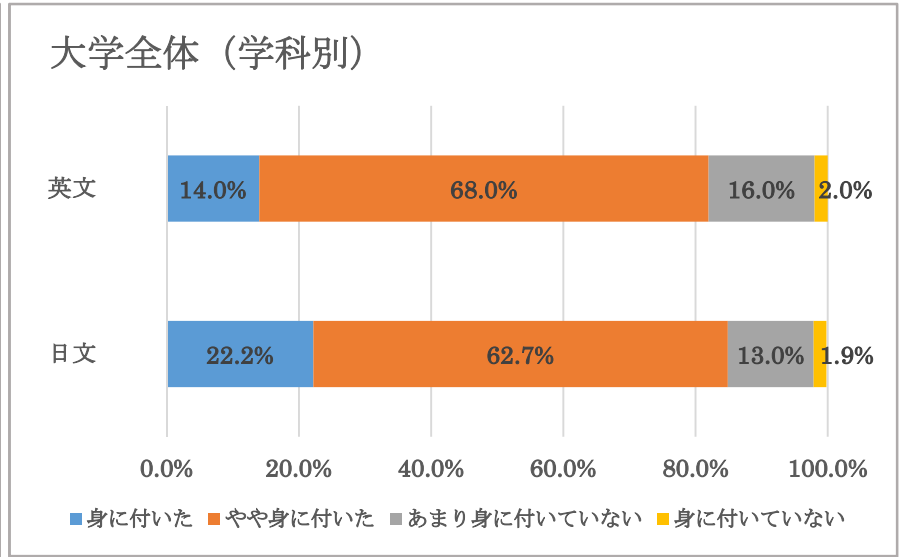
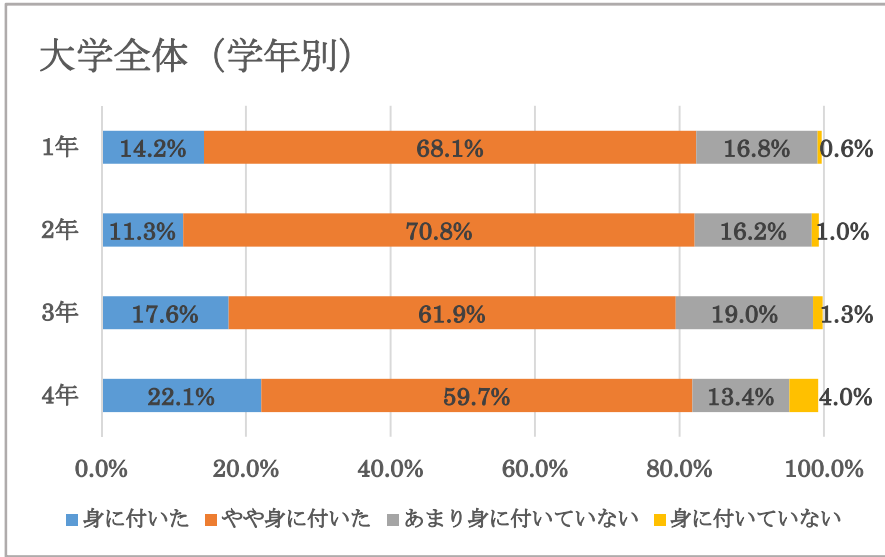
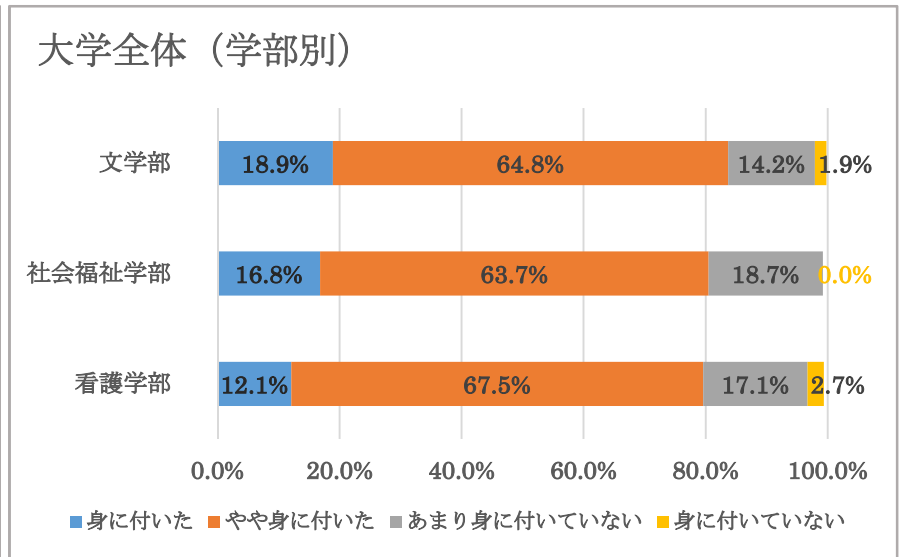
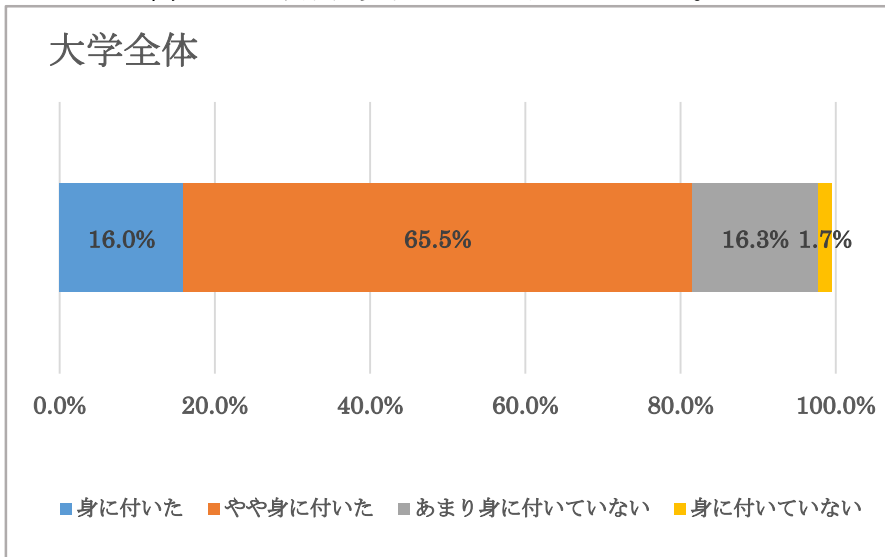
問 39 批判的に考える力が身に付きましたか。



問 40 企画・アイデアなどの創造力が身に付きましたか。



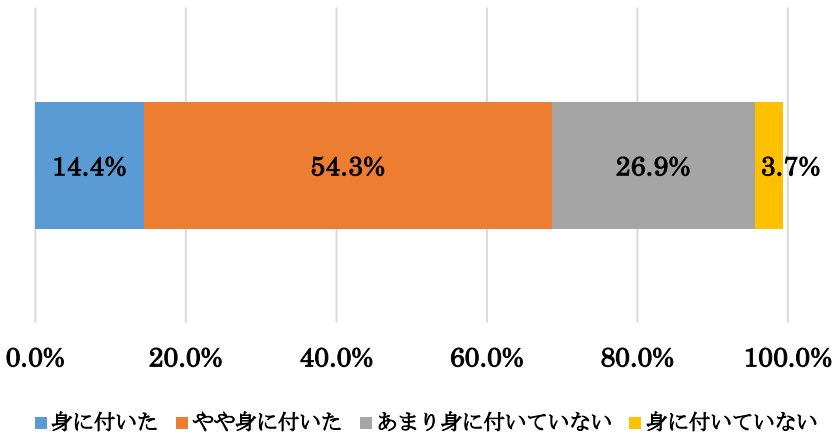
(2) 表現する力の変化、向上について  
問 41 日本語表現能力が身に付きましたか。



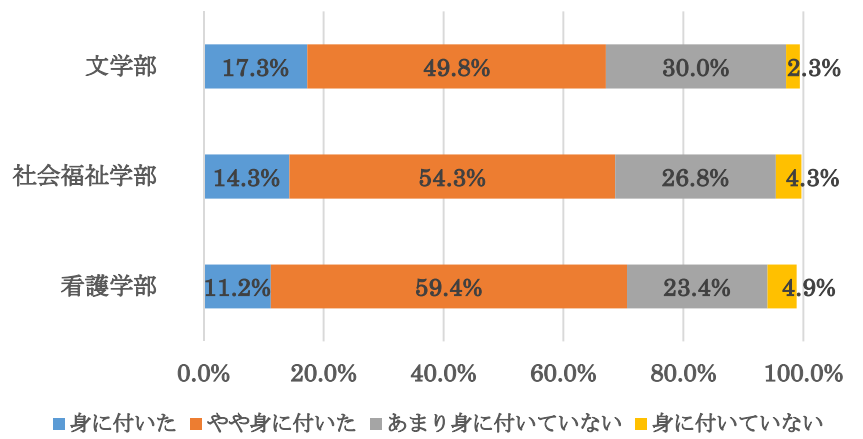


問 42 プレゼンテーション能力が身に付きましたか。

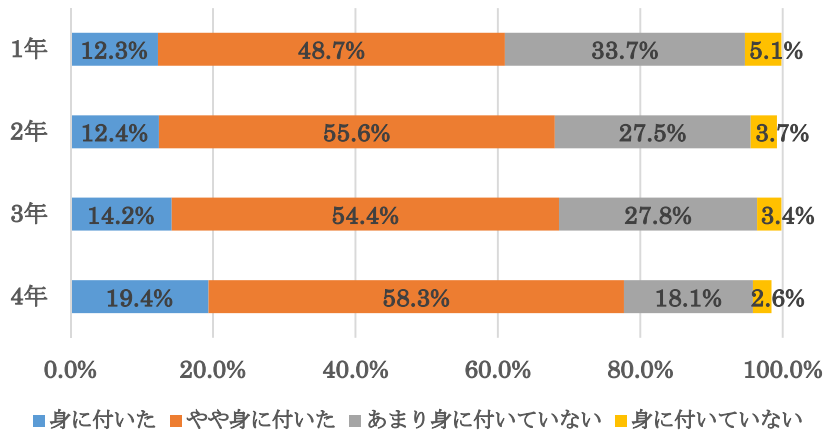
大学全体



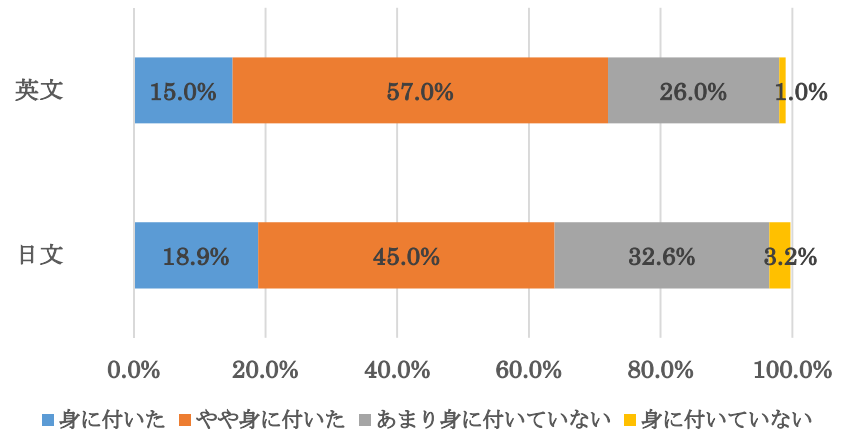
大学全体 (学部別)



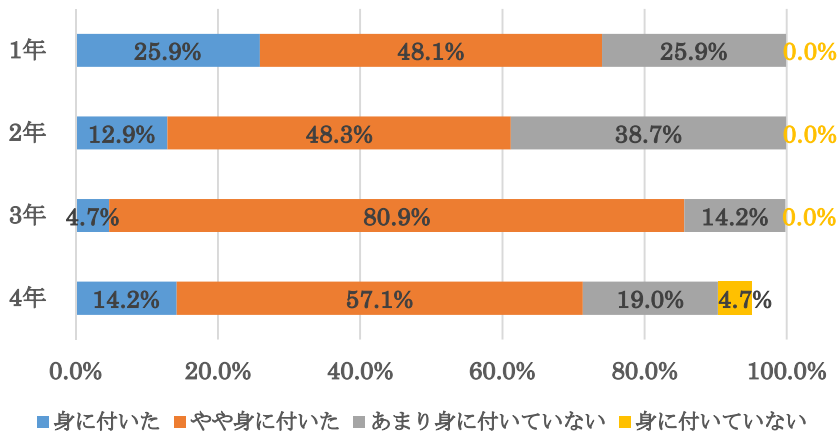
大学全体 (学年別)



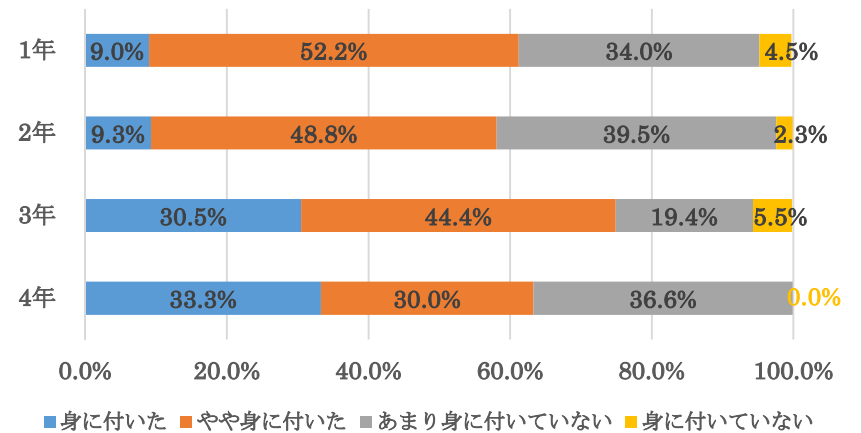
文学部 (学科別)



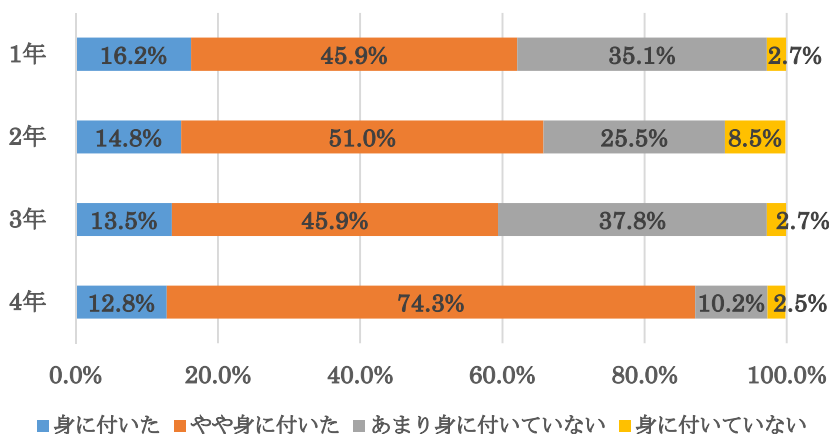
英語・英米文学科 (学年別)



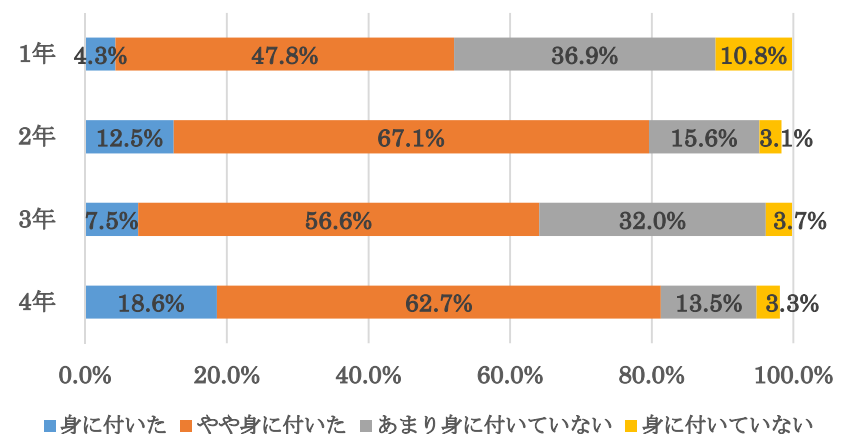
日本語・日本文学科 (学年別)



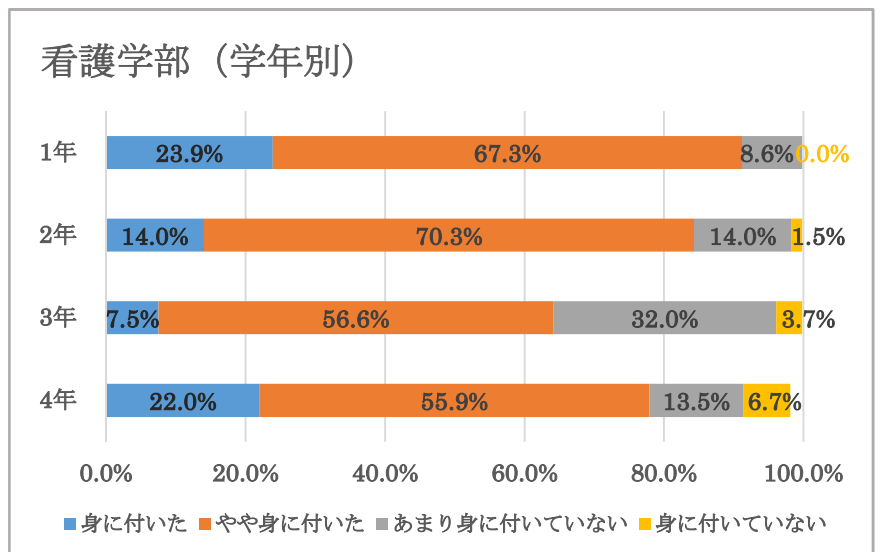
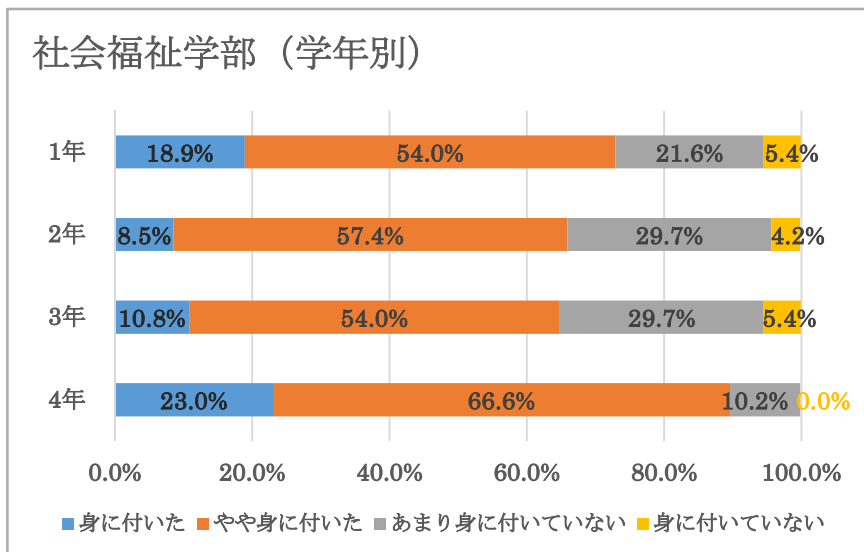
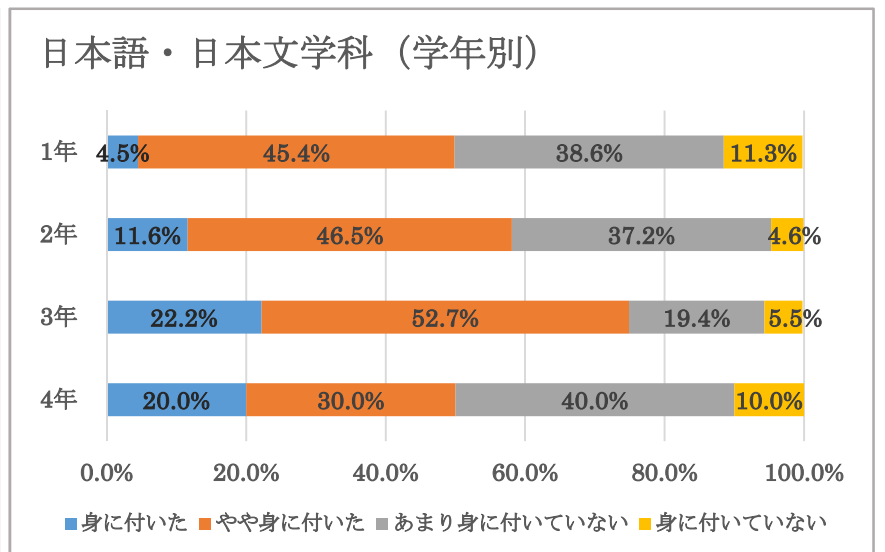
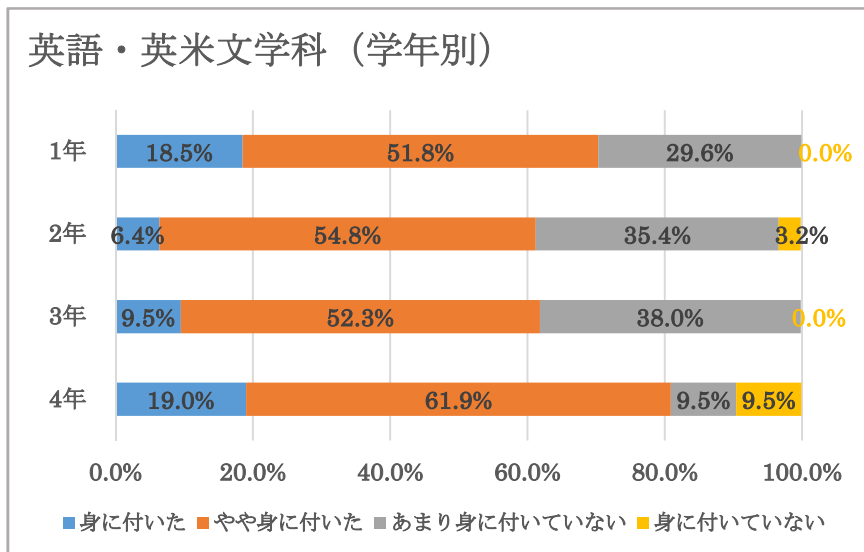
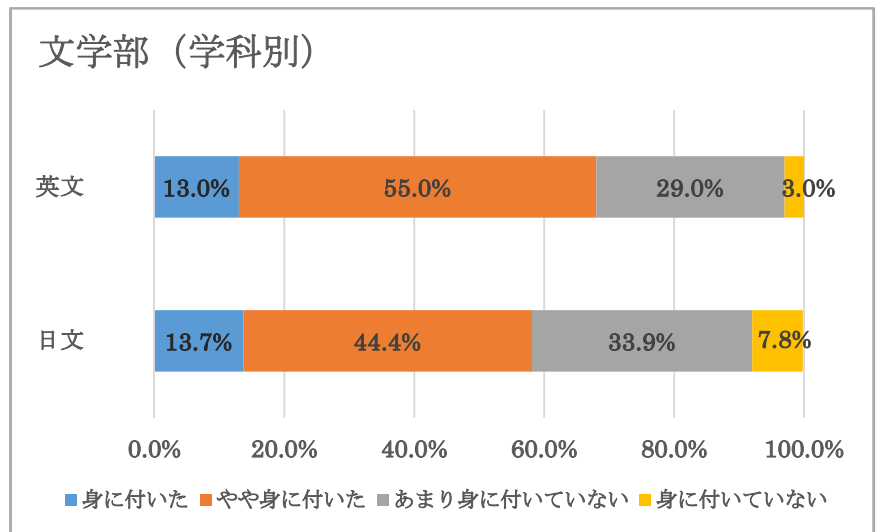
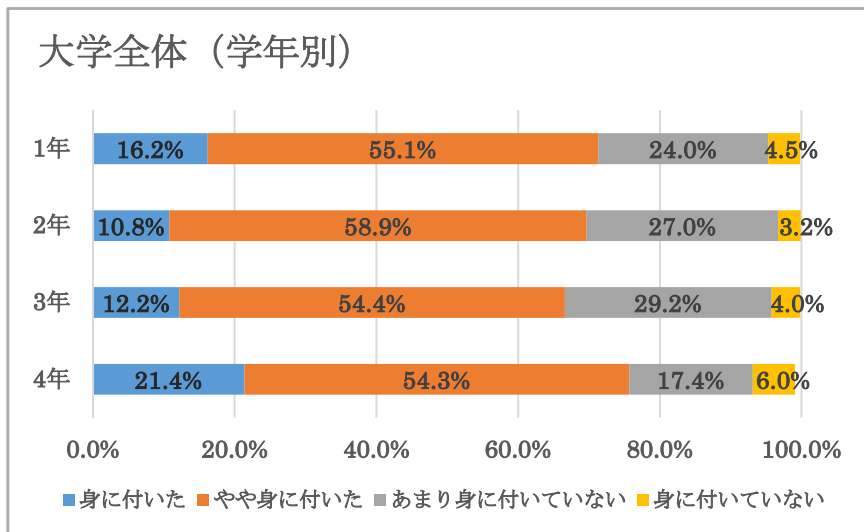
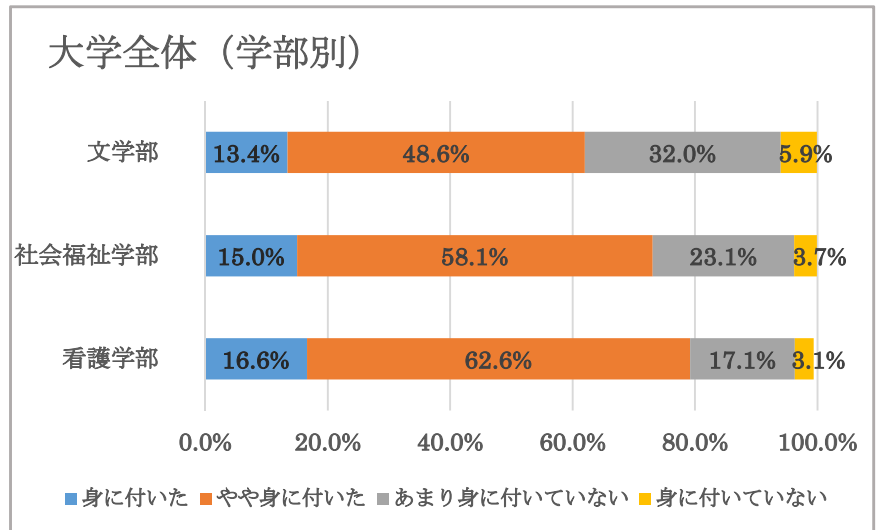
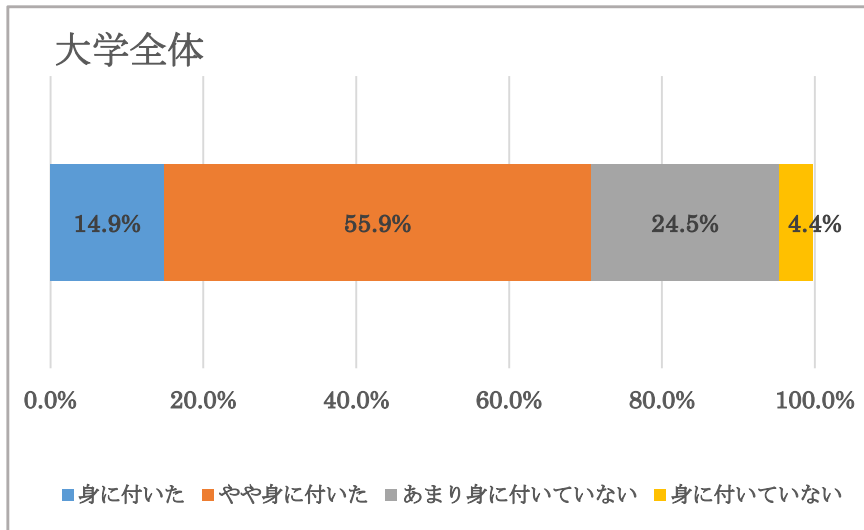
社会福祉学部 (学年別)



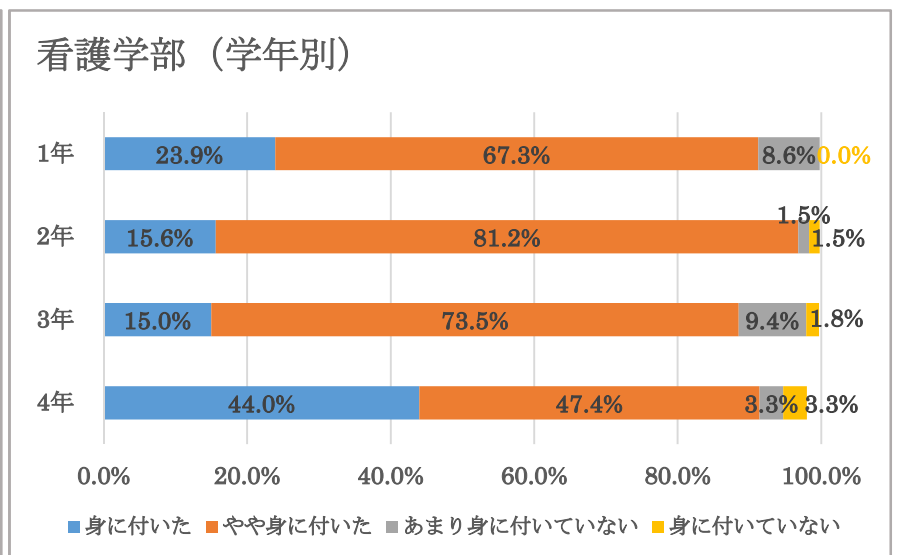
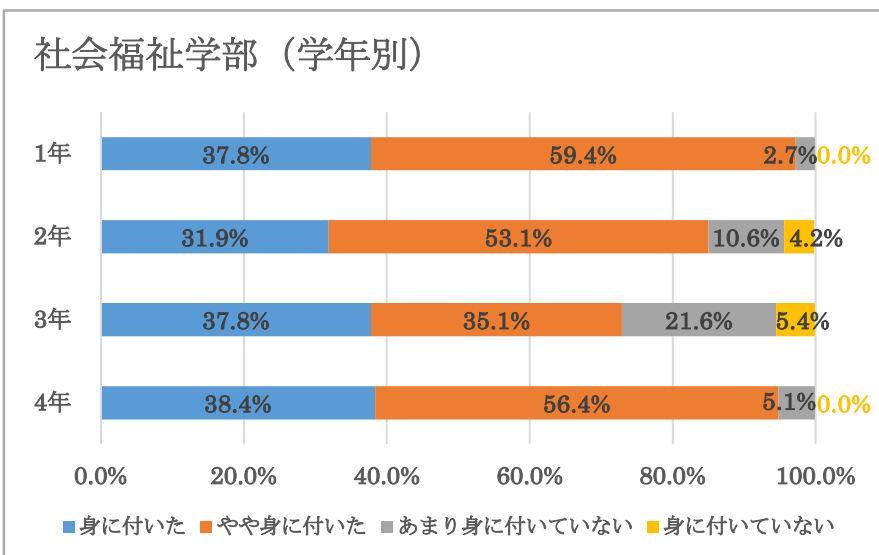
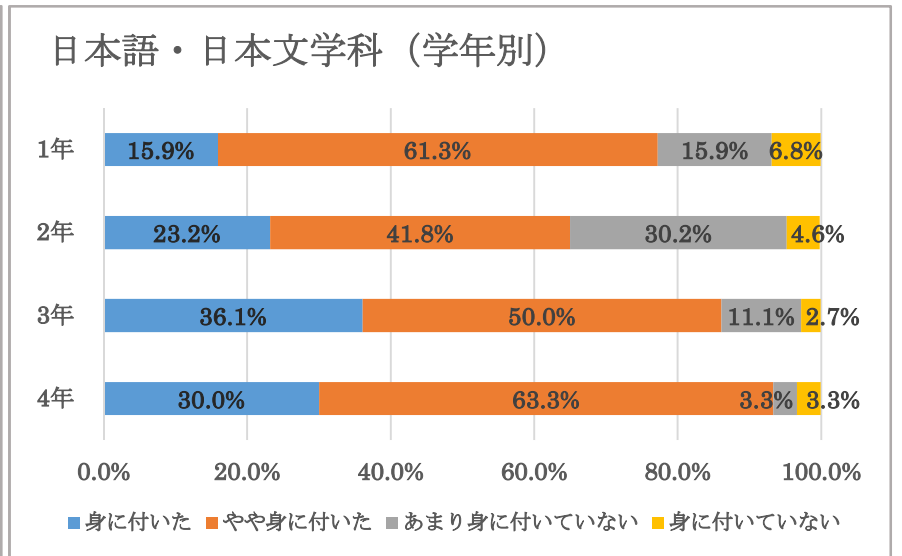
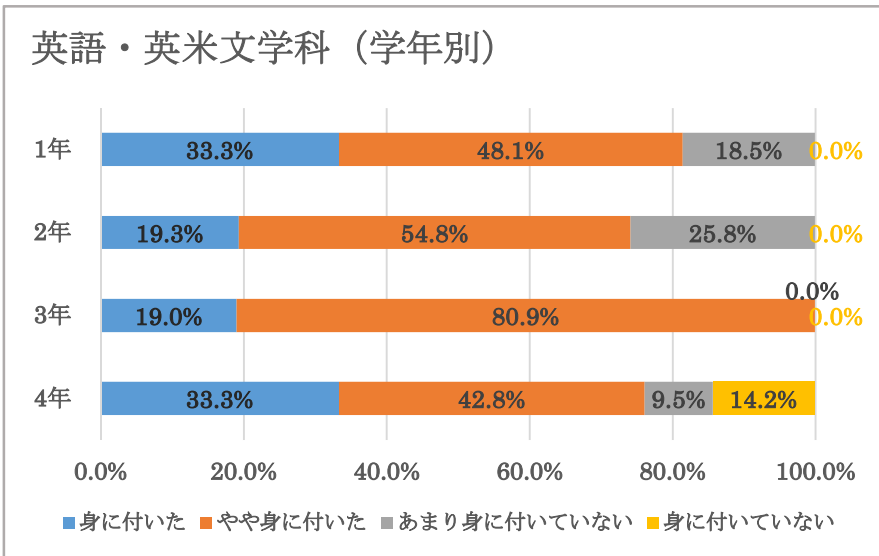
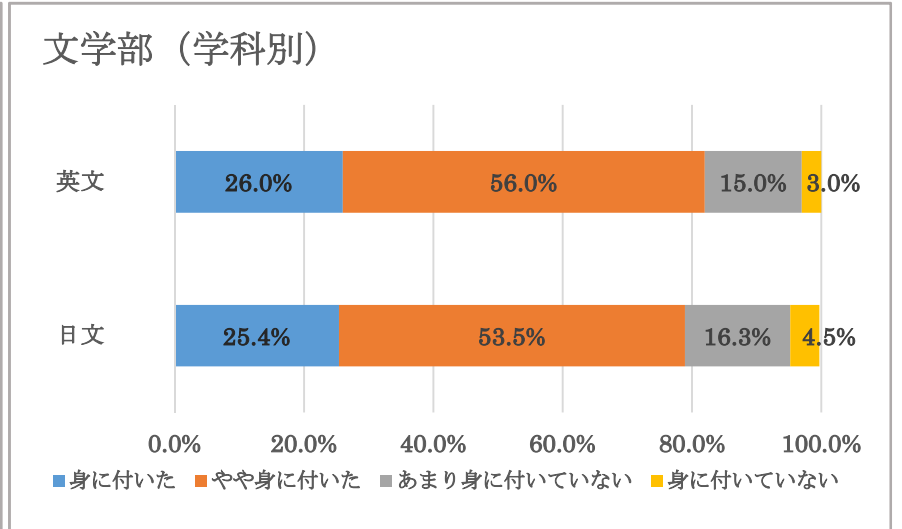
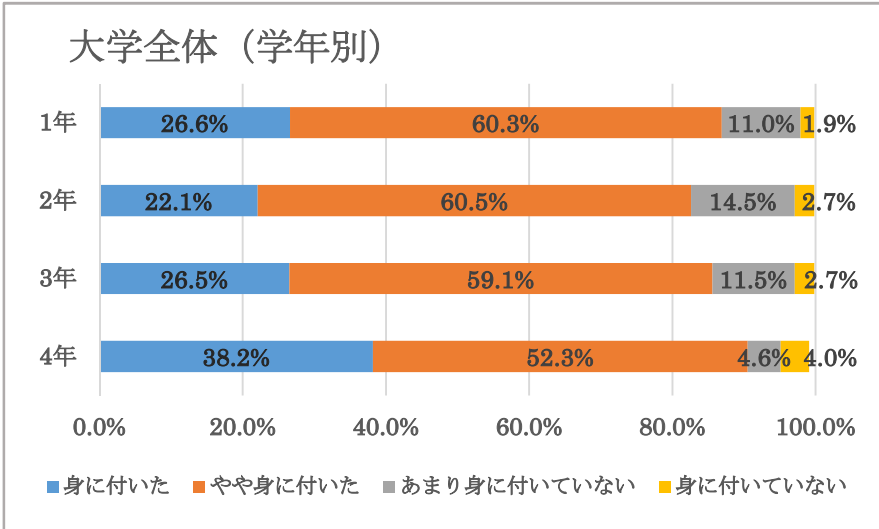
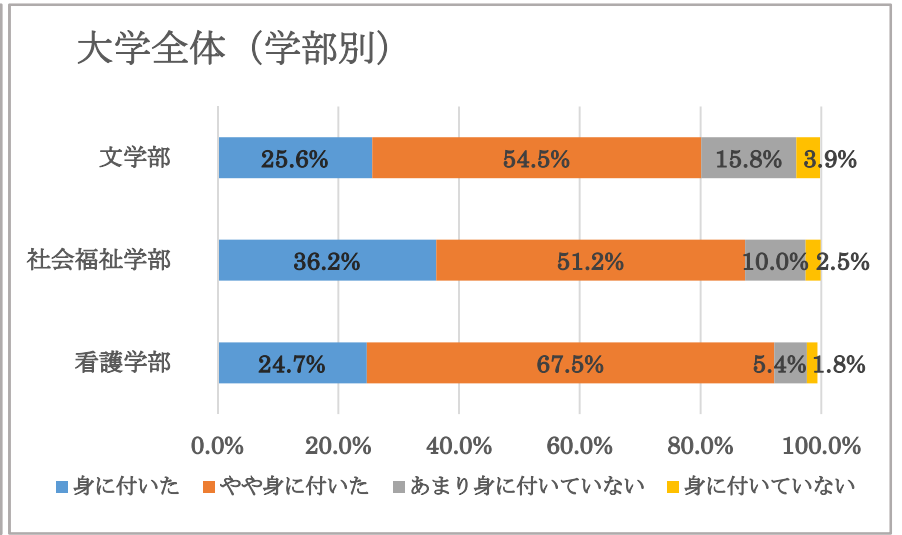
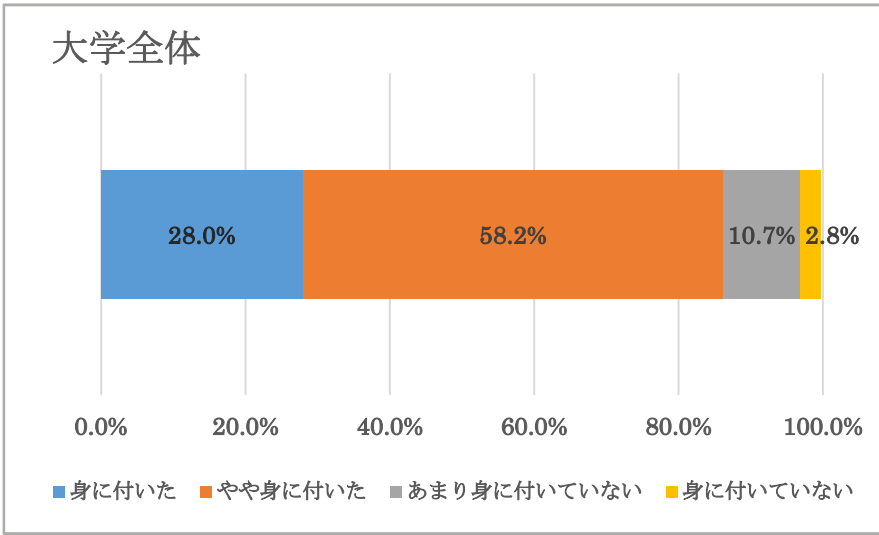
看護学部 (学年別)



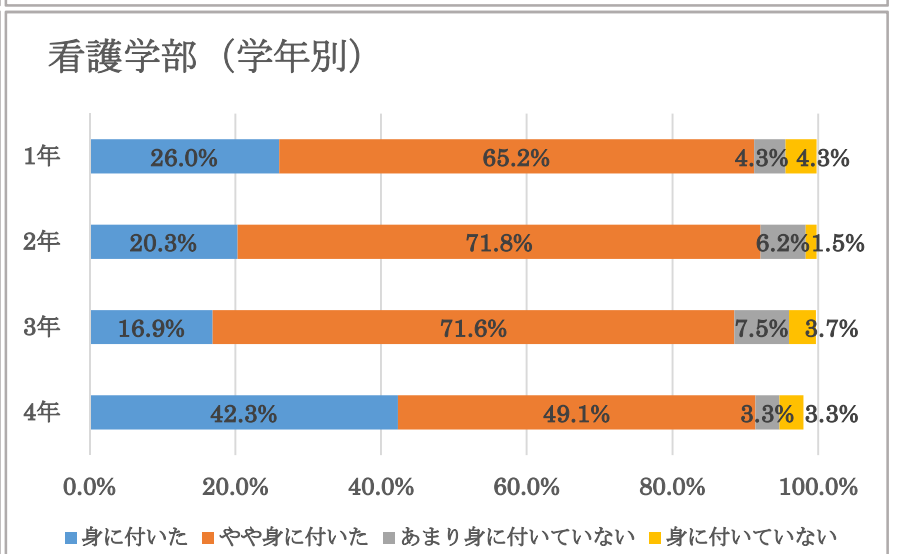
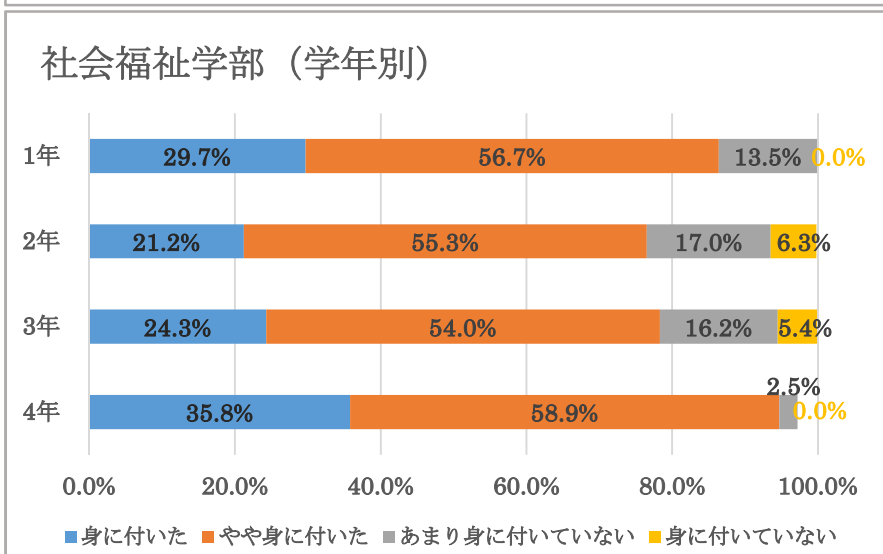
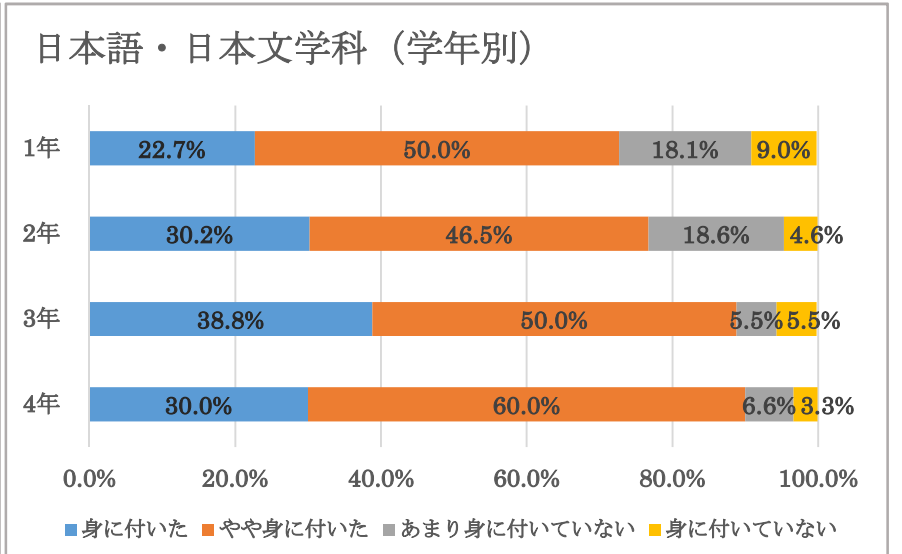
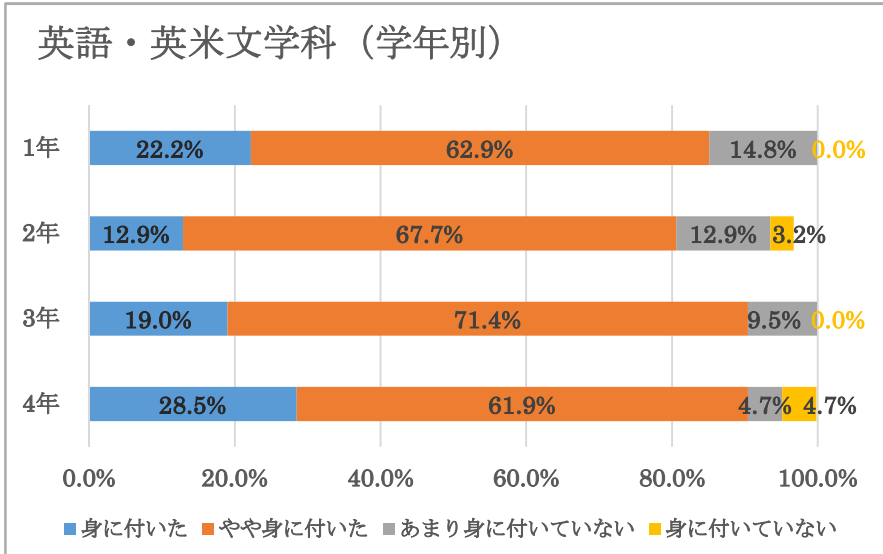
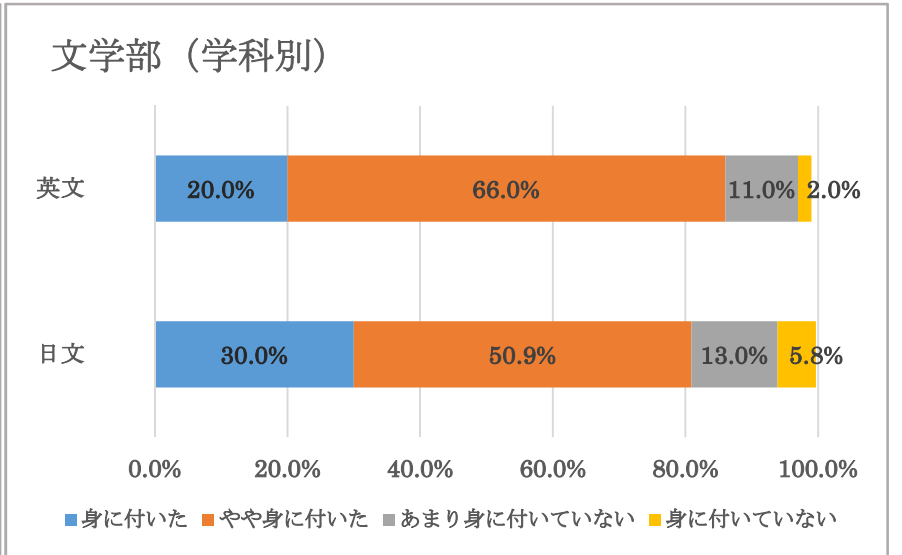
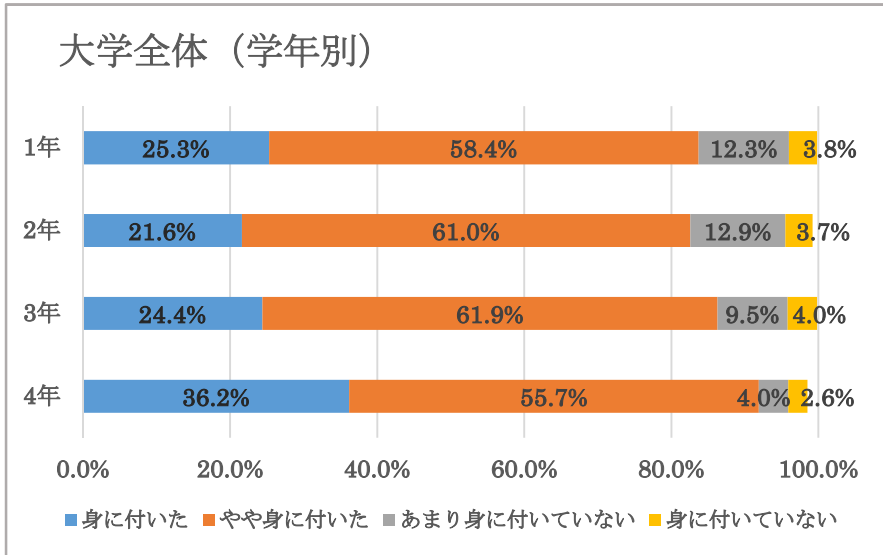
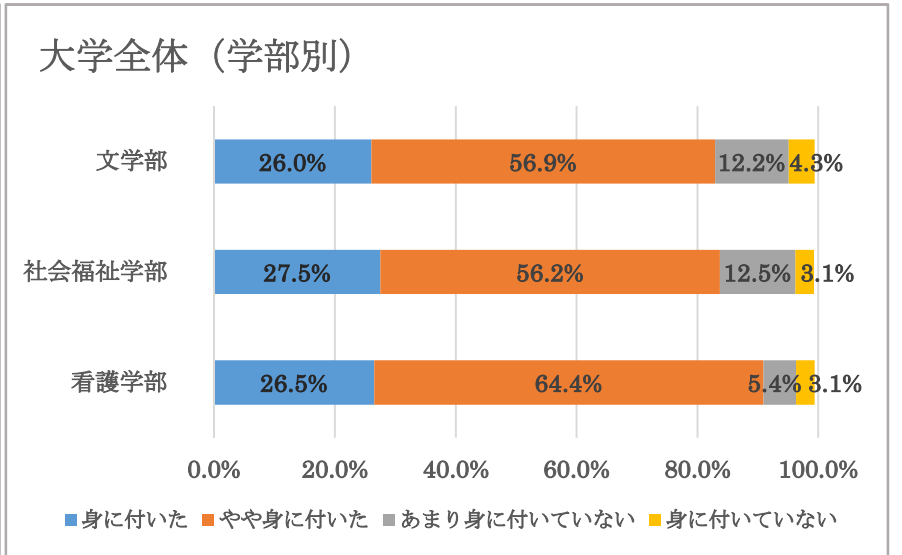
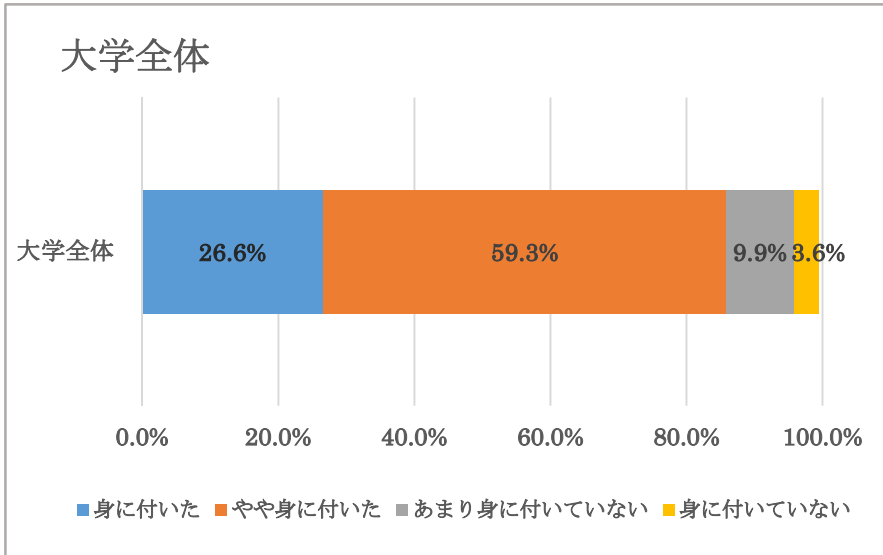
問 43 ディスカッション能力が身に付きましたか。



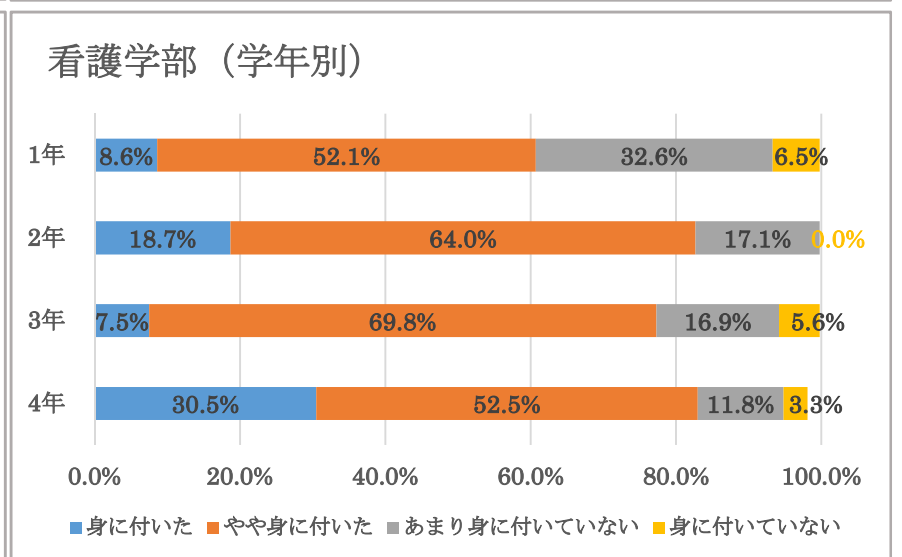
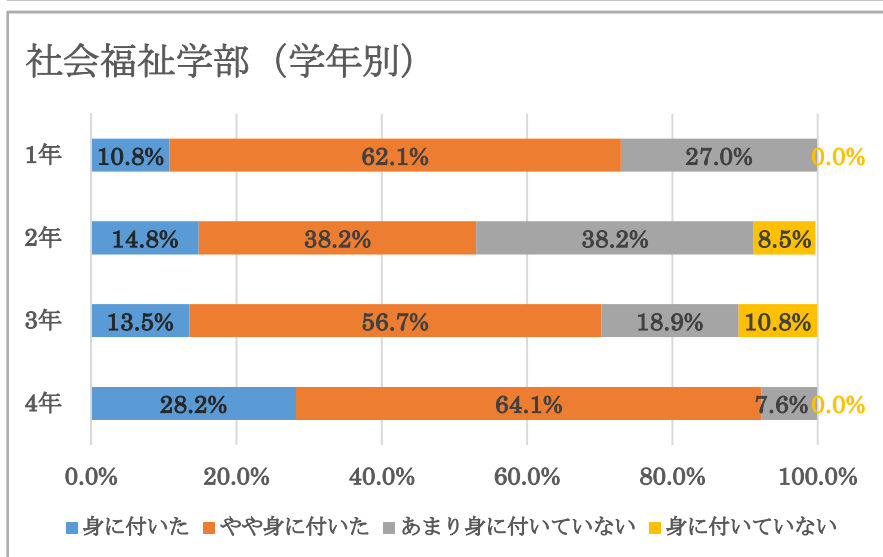
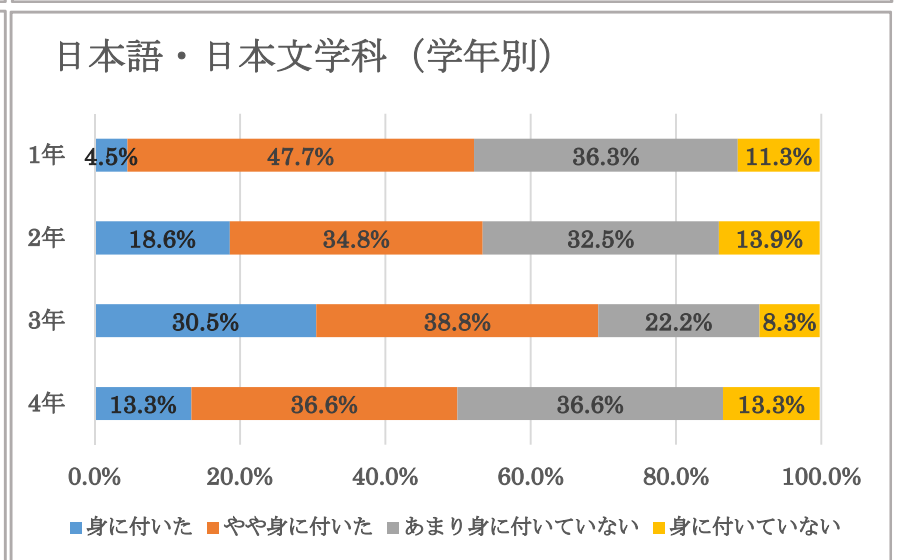
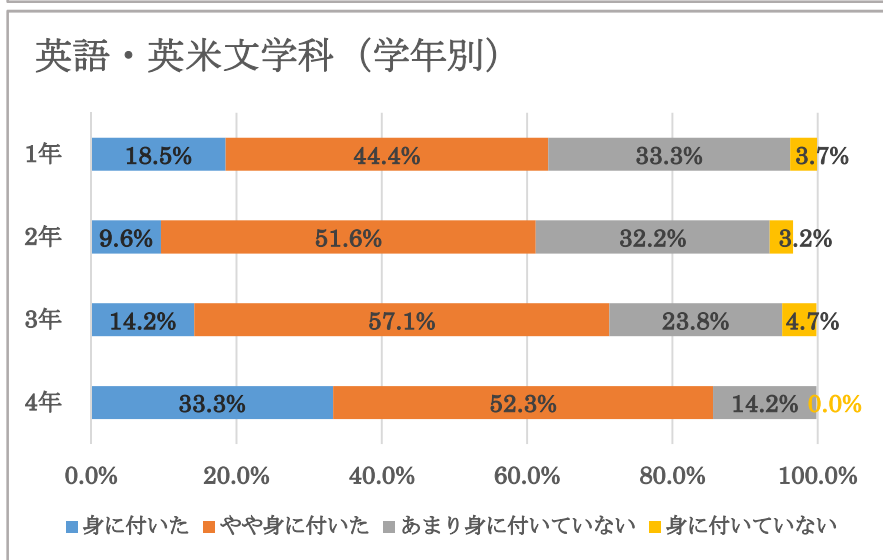
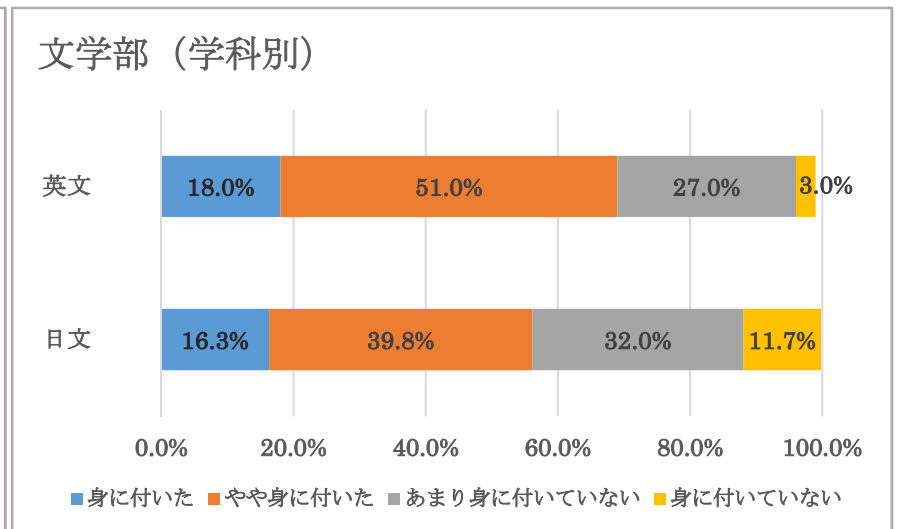
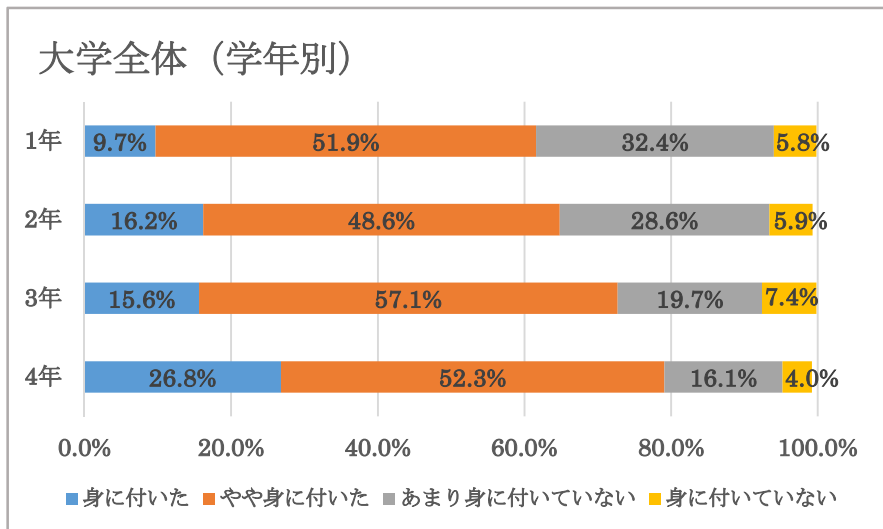
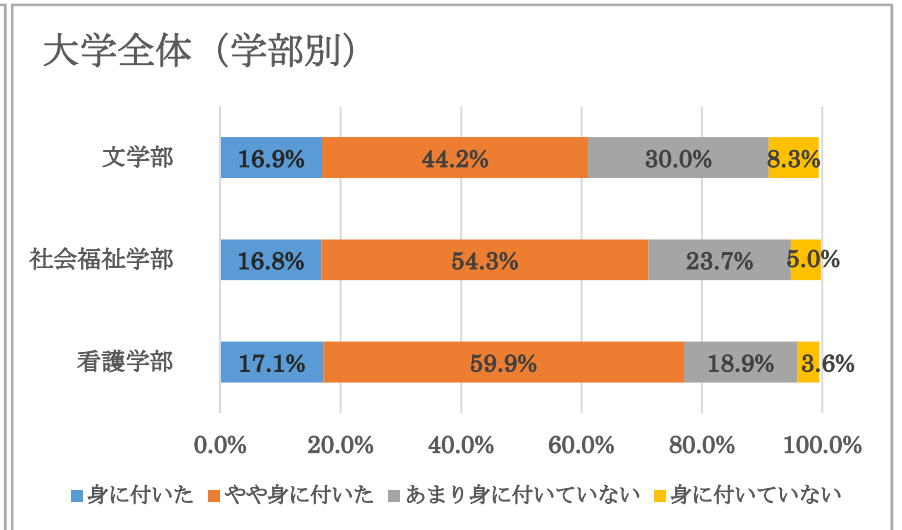
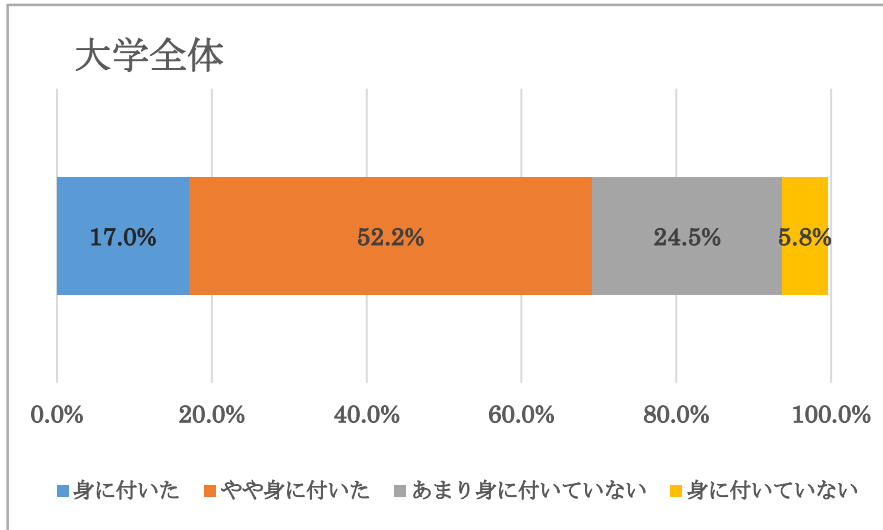
(3) 他者と協働する力の変化、向上について  
 問 44 他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。



問 45 協働して物事を進める力が身に付きましたか。



問 46 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。



## B 学修成果

B「学修成果」問 21～46 の図表・グラフ (26-51 ページ) を参照されたい。

### 1. 教育理念 (建学精神)、C・P、D・P

本学の建学の精神が、どの程度理解され、浸透しているか、また学士課程教育の骨格部分がどの程度把握されているかを尋ねた。

#### 問 21 建学の精神

リトリート、その他授業等において、本学の歴史、沿革とともに説明しているはずであるが、全体では、「あまり知らない」が 29.9% (昨年度 34.2% 以下カッコ内は昨年度の数値)、次いで「知らない」が 17.6% (21.8%) を占め、前年度より減じたとはいうものの未だ 5 割弱の学生が建学の精神を知らない状況である。

#### 問 22 カリキュラムポリシーとディプロマポリシーの浸透度

大学の教育課程・カリキュラムの仕組みや、それらを通して、卒業時に身につけているべき知識、技能、能力について、全体として、「知らない」が 21.4% (25.0%)、「あまり知らない」が 34.8% (39.3%) で、「知らない・あまり知らない」が 5 割 6 分であるのは、前年の 6 割超より減じたとはいえ、やはり今後の課題であろう。

### 2. 外国語能力

選択した外国語能力について、「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価は、一般的に低く、とくに問 25 会話力では、「身に付いていない・あまり身に付いていない」の方が「身に付いた・やや身に付いた」よりも 8 ポイント高い。

#### 問 23 選択した外国語

この設問では、昨年同様、複数回答も可としている。選択した外国語で、最も多いのが英語で、次いで中国語、ドイツ語、フランス語、韓国語と続く。英語以外では中国語もフランス語も看護学部で多い。

#### 問 24 読む力

全体では、「身に付いた」が 13.3% (11.9%)、「やや身に付いた」が 52.2% (50.6%) で、合わせて 6 割以上となるが、反面、「あまり身に付いていない」22.6% (24.8%) と「身に付いていない」10.5% (11.8%) で、否定的回答は 33% で昨年の 47% より減じている。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答をみると、各学部とも、1 年次の割合が高い。

## 問 25 会話力

全体では、「身に付いた」7.5% (8.4%) と、「やや身に付いた」41.1% (37.6%) とで、48.6%となるが、反面、「あまり身に付いていない」34.9% (37.3%) と「身に付いていない」15.7% (16.1%) で、昨年度同様 5 割が否定的である。前問「読む力」と比較して、「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答は総じて低い。

## 問 26 書く力

全体では、「身に付いた」が 10.7% (9.8%)、「やや身に付いた」が 45.1% (48.3%) で、5 割強が肯定的であるが、反面、「あまり身に付いていない」30.5% (25.6%) と「身に付いていない」13.0% (13.8%) で、昨年度約 4 割が否定的である。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答をみると、問 24「読む力」の場合と同様、各学部とも、1 年次の割合が高い。

## 問 27 語学の資格

大学入学後に取得した語学の資格、あるいは検定試験での点数等を尋ねた。

「ある・目指している」は約 2 割であるが、学部・学科の特色を反映して文学部・英語英米文学科は 5 割を超えている。大学全体として学年が上がると「ある・目指している」は低くなる。なお「ある」と回答し、具体的に記した資格・点数は次のようである。

- ・英検準 1 級 (2 人)
- ・英検 2 級 (3 人)
- ・TOEIC (700 点、680 点、670 点、580 点、550 点、350 点) TOEICIP580 点)

## 3. ICT リテラシー (情報機器やインターネットを使う能力)

この習熟度について、「あまりできない・ほとんどできない」の否定的回答が、文章作成ソフト、プレゼンテーションソフト、表ソフトの順で増加している。

## 問 28 文章作成ソフト

「だいたいできる」が 56.8% (61.2%) で最も多く、「よくできる」が 20.6% (15.6%) でそれに次ぐ。「かなりよくできる」を含めて、全体として 85.5% (83.5%) ができる系の回答である。学年別では、学年が上がるにしたがって、「だいたいできる」以上の肯定的回答が増している。

## 問 29 プレゼンテーションソフト

「だいたいできる」が 55.2% (56.2%) で最も多く、これに次ぐのが「あまりできない」16.8% (17.8%) で、次いで「よくできる」が 16.0% (16.0%) である。「かなりよくできる」を含めて、全体として 77.0% (75.0%) ができる系の回答である。前問に比べて、できない系

の回答が増えている。学年別では、学年が上がるにしたがって、「だいたいできる」「よく」「かなり」の肯定的回答が増えている。

### 問 30 表ソフト

全体として「だいたいできる」が 40.3% (41.1%) で最も多いが、次に多いのが「あまりできない」33.6% (32.4%) である。「だいたい・よく・かなり」合わせて 49.5% (52.9%) となるが、反面、「あまりできない」と「ほとんどできない」17.1% (14.5%) の否定的回答を合わせると 50.1% (46.4%) にも達する。前問 29 のプレゼンテーションソフトよりも習得度がかなり低い。

### 問 31 取得した ICT 関連資格、または検定試験受験の有無

大学入学後に取得した ICT 関連の資格、あるいは検定試験での点数等を尋ねた。「ある」は 3.4% (3.2%)、「目指している」は 5.8% (5.9%) で、合わせても 1 割に届かない。学部別の差も、学年別の相違もとくに見られない。なお「ある」と回答し、具体的に記した資格は次にとどまる。

- ・ IT パスポート、Word・Excel・表計算・データベース 1 級、MosExcel・Word、日本ワープロ 2 級、

## 4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル

知識・教養、情報収集スキル、書くスキルおよび専門的知識・スキルについて、肯定的評価「身に付いた・やや身に付いた」はそれぞれ、87.5%、89.1%、87.5%、84.7%と 8 割超であるが、全体的に昨年度より向上している。「あまり身に付いていない・身に付いていない」は、それぞれ 11.7%、10.3%、12.1%、14.7 % であり、いずれも 2 割未満であった。

### 問 32 幅広い知識、教養が身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が 59.8% (59.9%) で最も多く、次いで「身に付いた」が 27.7% (24.7%) であり、8 割 8 分が肯定的評価である。「身に付いた」について、学年別では、全体としては各学部とも 1 年次が比較的高いが、2 年次にいったん下がるもの、4 年次で上がる傾向があるのは昨年度と同様である。

### 問 33 レポート・論文作成上の情報収集のスキルが身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が 62.9% (63.9%) で最も多く、次いで「身に付いた」が 26.2% (20.8%) であり、約 9 割の学生が肯定的に捉えている。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答は、必ずしも学年が上がるとうくなるというわけでもない。

### 問 34 レポート・論文作成上の書くためのスキルが身に付いたか



全体として「やや身に付いた」が62.8% (61.7%) で最も多く、次いで「身に付いた」が24.7% (22.4%) であり、約8割8分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、「身に付いた」は4年次に増加するという傾向がある。

#### 問35 専門的知識やスキルが身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が63.3% (64.3%) で最も多く、次いで「身に付いた」が21.4% (17.9%) であり、8割5分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、「身に付いた」は4年次に増加するという傾向がある。

### 5, 総合的な力

#### (1) 自己の資質・能力の変化、向上

資質・能力では、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力、批判的思考力、企画力を尋ねた。

「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価を見ると、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力の三者は8割超であるが、批判的思考力はやや低く7割6分で有り、企画力はさらに減じて6割7分にとどまる。

#### 問36 自ら学ぶ姿勢が身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が60.1% (60.3%) で最も多く、次いで「身に付いた」が22.3% (20.1%) であり、8割超の学生が肯定的に捉えている。学年別では、前問36同様、「身に付いた」は4年次に増加するという傾向がある。

#### 問37 論理的に考える力

全体として「やや身に付いた」が63.4% (60.8%) で最も多く、「身に付いた」17.3% (15.8%) と合わせて、8割の学生が肯定的に捉えている。昨年度と比較して、肯定系が増加している。学年別に見ると、学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようではある。

#### 問38 分析力、課題解決能力

全体として「やや身に付いた」が64.7% (65.2%) で最も多く、「身に付いた」は17.9% (13.3%) であり、約8割3分の学生が肯定的に捉えている。前問同様、昨年度と比較して、肯定系が増加しているのは喜ばしい。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

#### 問39 批判的に考える力

全体として「やや身に付いた」が60.0% (55.6%) で最も多く、「身に付いた」は15.9% (18.2%) であり、7割6分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いてい

ない」21.4% (22.2%) が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」2.5% (3.2%) と合わせると 33.9% (25.4%) となり、前問より多くの 2 割 4 分が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するのは前問と同様である。

#### 問 40 企画、アイデアなどの想像力

全体として「やや身に付いた」が 53.8% (51.9%) で最も多く、「身に付いた」は 13.0% (13.5%) であり、6 割 7 分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」28.8% (27.9%) が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」3.9% (5.8%) と合わせると 32.7% (33.7%) となり、さらに前問より多くの 3 割 3 分が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、これもおおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

### (2) 表現する力の変化、向上

表現能力について、日本語、プレゼンテーション、ディスカッション能力の習得度を尋ねたものであるが、習得度の割合は、日本語、ディスカッション、プレゼンテーションの順で低下している。

#### 問 41 日本語表現能力

全体として「やや身に付いた」が 65.5% (59.9%) で最も多く、「身に付いた」は 16.0% (15.2%) であり、8 割超の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」16.3% (19.8%) が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」1.7% (4.7%) と合わせると 18.0% (24.5%) となり、否定的評価は昨年度より減じている。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

#### 問 42 プレゼンテーション能力

全体として「やや身に付いた」が 54.3% (36.7%) で最も多く、「身に付いた」は 14.4% (31.7%) であり、6 割 9 分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」26.9% (26.2%) が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」3.7% (4.6%) と合わせると 30.6% (30.8%) となり、昨年度と同様 3 割の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

#### 問 43 ディスカッション能力

全体として「やや身に付いた」が55.9% (52.8%) で最も多く、「身に付いた」は14.9% (13.9%) であり、約7割の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」24.5% (27.1%) と「身に付いていない」4.4% (5.2%) と合わせると28.9% (32.3%) となり、3割弱の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

表現力については、問41・問43・問42の順で表現能力の習得度が低くなっている。

### (3) 他者と協働する力の変化、向上

この設問は社会で必要とされる「協働」についてであるが、この中で「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価が高かったのは問44「コミュニケーションによる相互理解」及び問45「協働して進める力」であった。これに比べて、問46の「まとめ上げる力」(リーダーシップ)は意外に低かった。

#### 問44 コミュニケーションによる相互理解

全体として「やや身に付いた」が58.2% (61.1%) で最も多く、「身に付いた」は28.0% (22.1%) であり、昨年度より増加して8割6分の学生が肯定的に捉えている。「あまり身に付いていない」10.7% (12.4%) と「身に付いていない」2.8% (3.8%) とを合わせると13.5% (16.2%) となり、否定的評価は1割4分である。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

#### 問45 協働して進める力

全体として「やや身に付いた」が59.3% (59.2%) で最も多く、「身に付いた」は26.6% (23.1%) であり、8割6分の学生が肯定的に捉えている。一方、「あまり身に付いていない」9.9% (13.0%) と「身に付いていない」3.6% (3.8%) と合わせると13.5% (16.8%) となり、1割超の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

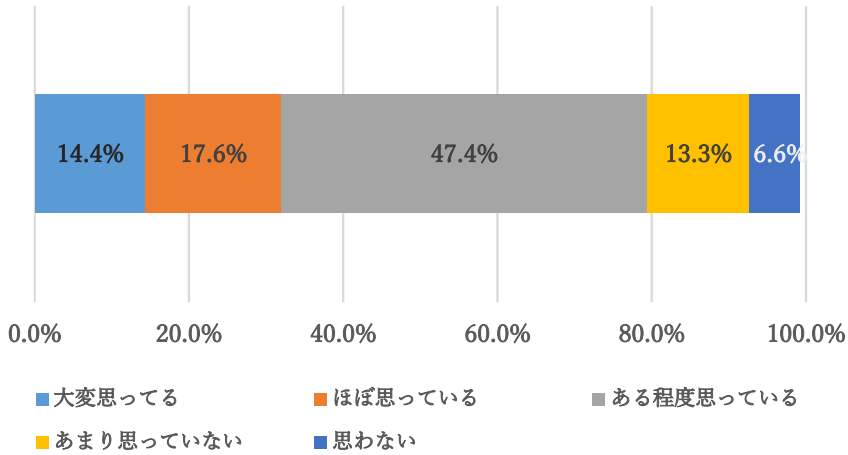
#### 問46 協働作業でグループをまとめ上げる力

この問はリーダーシップとしての力である。全体として「やや身に付いた」が52.2% (49.9%) で最も多く、「身に付いた」は17.0% (17.6%) であり、約7割の学生が肯定的に捉えており、昨年度より増加している。一方、「あまり身に付いていない」24.5% (25.9%) と「身に付いていない」5.8% (6.4%) と合わせると30.3% (32.3%) となり、3割の学生が否定的に評価していることになる。前問44・45と比べて最も習得度が低い力である。なお学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

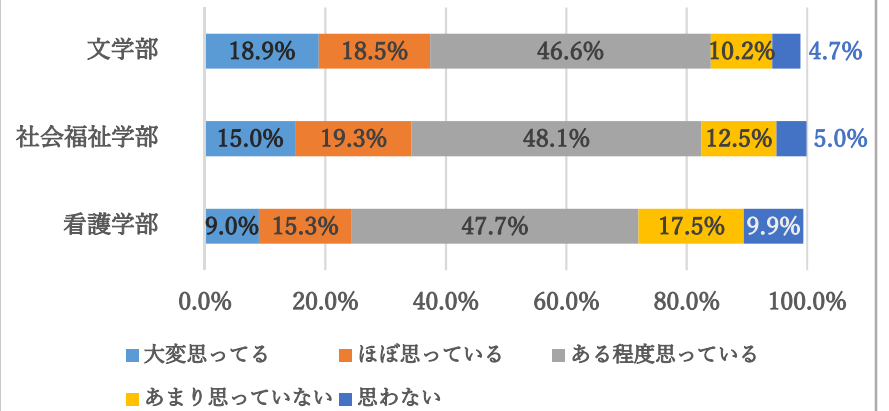
その他

問 47 弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。

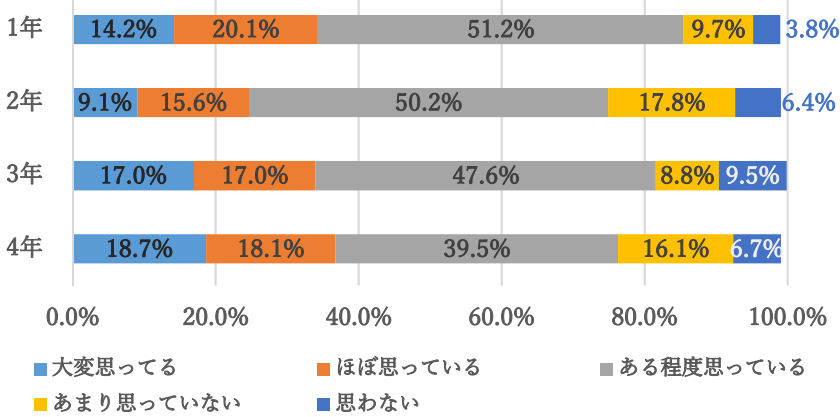
大学全体



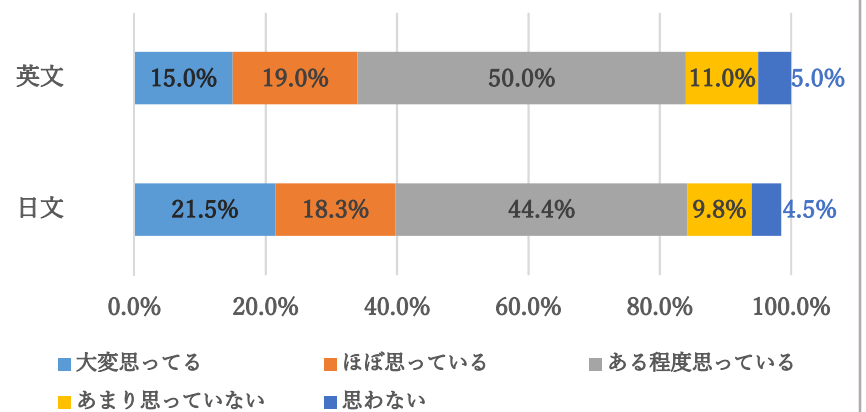
大学全体 (学部別)



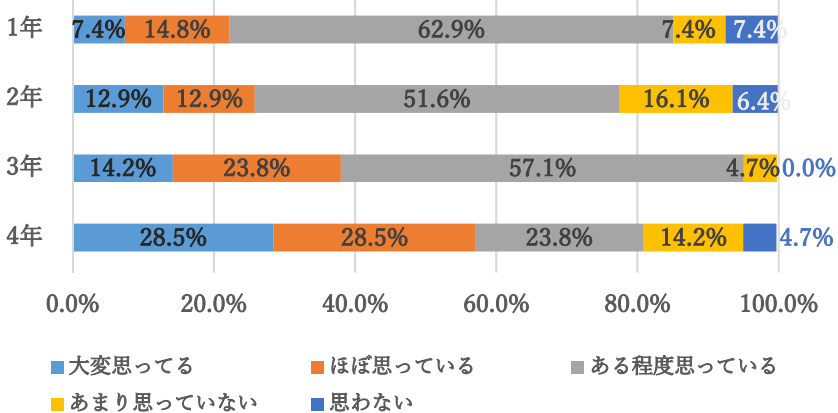
大学全体 (学年別)



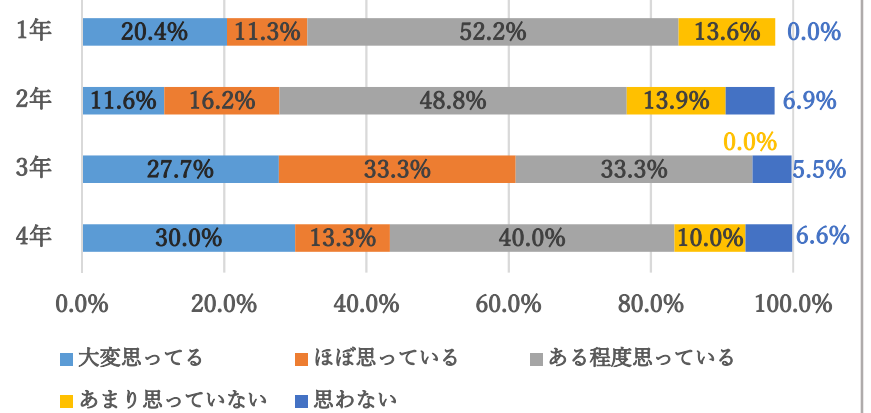
文学部 (学科別)



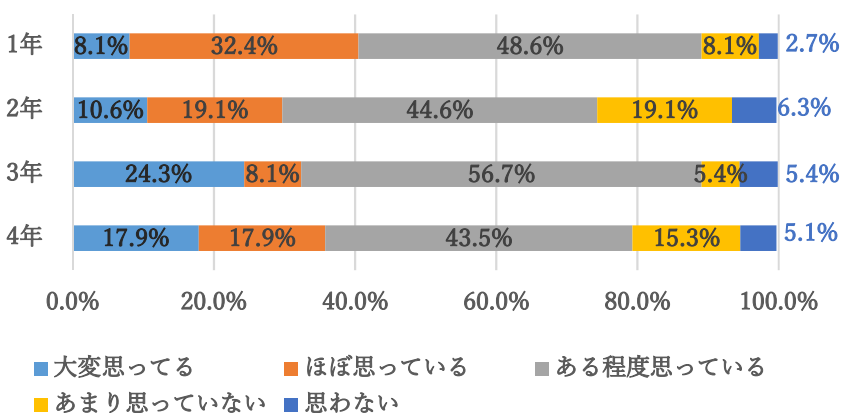
英語・英米文学科 (学年別)



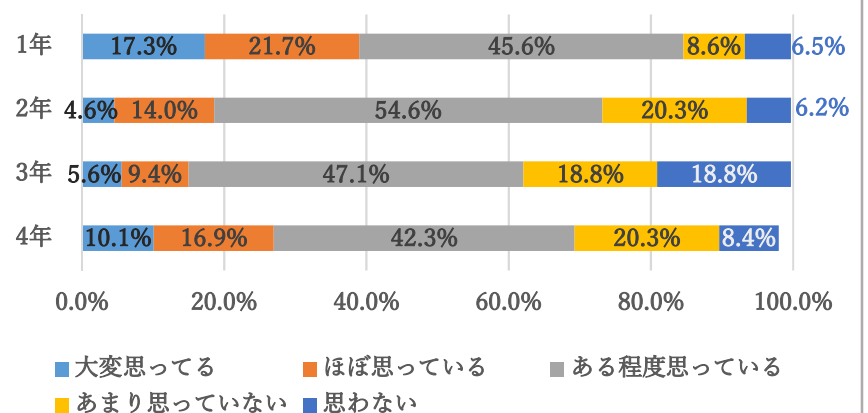
日本語・日本文学科 (学年別)



社会福祉学部 (学年別)



看護学部 (学年別)



## C その他

C「その他」：問47の図表・グラフ（58ページ）を参照されたい。

問47 弘前学院大学に入学して良かったか。

最後に、全体的な満足度に関する設問である。

全体では、「あまり思っていない」と「思わない」の否定的な感想は、19.9%（昨年度24.8%以下同じ）であり、昨年度より減少したものの、無視できない割合である。これを学部別に見ると、文学部が14.9%（21%）、社会福祉学部が17.5%（20%）、看護学部が27.4%（32%）となる。ただし、卒業時の4年生についてみると、3学部とも、おおむね3年次に比べて「ある程度思っている」以上の肯定的回答が若干だが増えている。

## 自由記述 弘前学院大学への要望・希望に関する自由記述である。

自由記述は、要望・希望の内容によって分けると、延べ数十件である。

### I 施設・設備関係

#### (1) エアコン・冷房の要望（多数）

・エアコンをつけてほしい。

#### (2) 食堂・学食（多数）

・学食・食堂がほしい。

#### (3) その他

・看護棟に勉強するスペースがない。

・2号館にもWi-Fiを用意してほしい。

・パソコンを新しくしてほしい。

・駐車場利用、無許可の1・2年がいる。冬止められないで困った。

・ラウンジを広くしてほしい。

・トイレにウォシュレットをつけてほしい。

・ロッカーを無料にしてほしい。

・カラーコピーにしてほしい。

### II 大学の情報発信、大学・学部からの連絡、通知について

#### (1) 情報発信

・HPなどで休講情報などもっと確認できるようにしてほしい。

・連絡のメール配信をお願いしたい。

#### (2) 授業関係の連絡

・休講や行事予定をHPでも知らせてほしい。

- ・ 掲示板だけでなく、メールやホームページでも授業変更等をだしてほしい。
- ・ 補講、休講の連絡を早くして。
- ・ 日程の連絡はもっと早めに教えてほしい。
- ・ 実習の日程の連絡を早めに。

### (3) その他

- ・ 医中誌 WEB を同時閲覧できる数を増やしてほしい。

## Ⅲ カリキュラム、授業関係

### (1) カリキュラム関係

- ・ 1年から専門科目を履修できるようにしてほしい。
- ・ 1, 2年の段階で、複数人でパワーポイントを作成して発表するといった共同作業を今以上に増やしてほしい。
- ・ レポートの書き方を詳しく知りたい。
- ・ ディスカッション、プレゼンをもっと導入してほしい。

### (2) 授業関係

- ・ 授業が分からない先生がいる。
- ・ 分かりやすい授業をお願いしたい。
- ・ 教師の声が小さい。(複数) 字が小さい。字が汚い。
- ・ TOEIC の対策などの取組を積極的にできるようなシステムがほしい。
- ・ 中国語の授業を増やしてほしい。
- ・ 看護学部でもドイツ語は選択できますか。フランス語が取れるようにしてほしい。
- ・ 単位の上限があるため、すべての資格を取ることができず、残念である。
- ・ 卒業単位を分かりやすく表示してほしい。

### (3) 学費関係

- ・ 学費が高い(複数)。何に使われているのかわからない。
- ・ 設備費が高すぎ。
- ・ 再試験代が高すぎる。
- ・ 学費が高いのに支援が手薄すぎる。模試を学費から出してほしい。臨地実習でいない部分の学費を返してほしい。
- ・ 学費が高い。実習がコロナで学内になったのに、なぜ学費が変わらないのか。(複数)
- ・ コロナで行けなくなった実習費は戻ってくるのか。

## Ⅳ 就活、学生支援関係

- ・ 就活に関するイベントや勉強会が他大学に比較して少ない。
- ・ 就職活動の相談にもう少し親身になってほしかった。

- ・バイトができないことに対する支援を考えてほしい。

## V コロナ関係

- ・講義室が密にならないように呼びかけてほしい。
- ・オンライン授業をしてほしい。(多数)

## VI その他

- ・麻雀サークルを却下された。偏見である。学生のサークルを作る権利を学生課や学務課が止める権限はない。
- ・指導教員への意見を伝える手段がない。(直接言いづらいことを伝える手段がほしい。)
- ・アットホームな大学にしてほしい。

以上

### Ⅲ 資料

#### (1) 回収状況等

	年次		在籍者数		配布数		回収数		回収率%	
大学全体			718		692		635		91.8	
文学部 上： 英語英米文 学科 下： 日本語日本 文学科	全体	英	308	124	294	116	253	100	86.0	86.2
		日		184		178		153		85.9
	1年	英	74	28	74	28	71	27	95.9	96.4
		日		46		46		44		95.7
	2年	英	99	42	99	42	74	31	74.7	73.8
		日		57		57		43		75.4
	3年	英	69	25	70	25	57	21	81.4	84.0
		日		44		45		36		80.0
	4年	英	66	29	51	21	51	21	100	100
		日		37		30		30		100
社会福祉 学部	全体		171		167		160		95.8	
	1年		40		40		37		92.5	
	2年		48		48		47		97.9	
	3年		40		40		37		97.9	
	4年		43		39		39		100	
看護 学部	全体		239		231		222		96.1	
	1年		50		50		46		92.0	
	2年		65		65		64		99.9	
	3年		57		57		53		93.0	
	4年		67		59		59		100	

\*在籍者数は、1年から3年は4月現在の新2年から4年のデータで、4年は3月に卒業した人数である。



## (2) 学修行動・学修成果アンケート調査票

### 学修行動・学修成果：アンケート調査のお願い

このアンケートは、弘前学院大学の学士課程教育の点検・評価を目的として、本学に在籍する新2～4年生の皆さんに、前年1年間を振り返って、学修に関する状況や学修の成果等について、どのように感じているかを、

お尋ねするものです。

回答は無記名です。公表される集計結果から個人が特定されることや、回答者が不利益を被ることはまったくありませんので、安心して回答してください。

なお、回答し難い項目はそのままでも結構です。

2022（令和4）年4月 弘前学院大学

(注)「実施要項」に示したように、本アンケートの実施時期を調査学年1年～3年と4年と2回に分けたが、設問は両者全く同一であるので、ここでは「新2～4年生」用の表書きを示す。

問01 あなたの所属学部・学科等・学年についてうかがいます。

問02 あなたの居住形態（自宅・下宿・アパート）についてうかがいます。

自宅→①に、下宿→②に、アパート→③に、それぞれ○印を書いてください。

#### A 学修行動

##### 1. 授業以外の諸活動

問03 アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

- ①なし ②5時間未満 ③5～10時間 ④5～10時間  
⑤10～15時間 ⑥15～20時間 ⑦20～25時間 ⑧25時間以上

問04 部活、サークル活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

- ①なし ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

問05 ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

- ①なし ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

##### 2. 勉学状況

(1)登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修

問06 大学に何日登校しましたか。

- ①0日 ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

問07 授業に出席した割合はどのくらいですか。

- ① 0～20% ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80～100%

問08 しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。

- ① 20%未満 ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80%以上

問09 興味・関心のある授業はどのくらいありますか。

- ① 0～20% ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80～100%

問10 授業の難易度について、総体的にどのように感じていますか。

- ①かなり易しい ②やや易しい ③ふつう ④やや難しい  
⑤かなり難しい

問11 授業に対して、積極的に取り組みましたか。

- ①まったく取り組んでいない ②やや取り組んだ ③ふつう  
④よく取り組んだ ⑤かなり取り組んだ

問12 授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分  
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問13 授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分  
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問14 授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でどのくらいですか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分  
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

## (2)授業以外の学修行動、ふだんの行動

問15 本を、月にどのくらい読んでいますか。

- ①読まない ②2冊以下 ③3～5冊 ④6冊以上

問16 新聞を読んでいますか。

- ①読まない ②たまに読む ③時々読む ④ほぼ毎日

問17 定期的に読んでいるものは何ですか。

- ①読まない ②マンガ、雑誌 ③週刊誌 ④専門誌

問18 インターネット（LINE、SNSなども含む）を、1日どのくらい使っていますか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分  
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問19 ゲーム（オンラインゲームも含む）を、1日どのくらい使っていますか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分  
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問20 図書館をどのくらい利用していますか。

- ①まったく利用していない ②ほとんど利用していない ③月に1～2回

- ④週に1～2回    ⑤週に3～4回    ⑥ほとんど毎日

## B 学修成果

### 1. 教育理念（建学精神）、C・P、D・P

問21 本学の建学の精神について、知っていますか。

- ①知らない    ②あまり知らない    ③多少は知っている    ④よく知っている

問22 シラバスに記載されているC・P（カリキュラム・ポリシー）、D・P（ディプロマ・ポリシー）とは何か知っていますか。

（注）カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い。

ディプロマ・ポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。

- ①知らない    ②あまり知らない    ③多少は知っている    ④よく知っている

### 2. 外国語能力

問23 昨年度どんな外国語の授業を履修していましたか。

- ①英語    ②ドイツ語    ③フランス語    ④中国語    ⑤韓国語

学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。

問24 読む力について

- ①身に付いていない    ②あまり身に付いていない    ③やや身に付いた  
④身に付いた

問25 会話力について

- ①身に付いていない    ②あまり身に付いていない    ③やや身に付いた  
④身に付いた

問26 書く力について

- ①身に付いていない    ②あまり身に付いていない    ③やや身に付いた  
④身に付いた

問27 大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

- ①ない    ②ある    ③現在は無いが目指している

※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→（例）英検1級合格、TOEICで500点、など

### 3. ICTリテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）について

問28 文章作成ソフト（Wordなど）を使える。

- ①ほとんどできない    ②あまりできない    ③だいたいできる  
④よくできる    ⑤かなりよくできる

問29 プレゼンテーションソフト（PowerPointなど）を使える。

- ①ほとんどできない    ②あまりできない    ③だいたいできる

- ④よくできる ⑤かなりよくできる

**問30** 表ソフトを使うことができる。

- ①ほとんどできない ②あまりできない ③だいたいできる  
④よくできる ⑤かなりよくできる

**問31** 大学入学後、取得した ICT 関連の資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

- ①ない ②ある ③現在はないが目指している

※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→ (例) 日本語ワープロ検定試験 1 級合格、情報処理技能検定試験 表計算 2 級合格など

#### 4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて

**問32** 以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

**問33** レポートや論文の作成について、必要な情報収集のスキル（文献、資料統計などの検索方法など）が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

**問34** レポートや論文の作成について、書くために必要なスキル（書式や作法など）が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

**問35** 専門的な知識やスキルが身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

#### 5. 総合的な力

##### (1) 自己の資質・能力の変化、向上について

**問36** 自ら学ぶ姿勢が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

**問37** 論理的に考える力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

**問38** 分析力、課題解決能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 39 批判的に考える力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 40 企画・アイデアなどの創造力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

### (2) 表現する力の変化、向上について

問 41 日本語表現能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 42 プレゼンテーション能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 43 ディスカッション能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

### (3) 他者と協働する力の変化、向上について

問 44 他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 45 協働して物事を進める力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

問 46 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた  
④身に付いた

## C その他

問 47 弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。

- ①思わない ②あまり思っていない ③ある程度思っている。  
④思っている ⑤かなり思っている

### 自由記述

最後に、弘前学院大学への要望・希望があれば、自由に書いてください。

.....  
.....

### (3) 自由記述

今年度の調査では自由記述の件数や量が少なかったため、「Ⅱ 実施結果」の 59 ページにほぼすべてを掲載したので、ここでは割愛する。

## あとがき

この「学修行動・学修成果アンケート調査」は、本学が全学統一的に実施したのは一昨年度の第1回に続いて、今年度が3回目である。

実施したのが卒業時期の3月下旬から新学期始まって早々の4月であり、折悪しくも、前年度に引き続いての新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学内外の各行事の中止、延期、縮小等の措置を余儀なくされていた時期であった。アンケート回答は、こうした学事上の各種説明会やガイダンス等の合間を縫っておこなわれた。

年度末から新学期早々の慌ただしさに加えて、こうした緊迫した時期に、アンケートに快く協力していただいた学生の皆さんに御礼申し上げたい。

本アンケートは、学修行動と学修成果の2つの側面について、設問数も約50問の多岐に亘っているが、かなり率直な意見、感想を寄せていただいた。今後、これらを教育、学修環境の改善・充実にこれを有効に活かさなければならぬと考える。

なお、本報告書の作成にあたって、昨年度に続いてデータの整理、図表化は本学の電子機器管理センターにおいて処理した。これらのデータは、一昨年度設置された弘前学院大学IR室において管理・運用される。

(大学FD委員会委員長 藁科勝之)

2021（令和3）年度 弘前学院大学 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施結果報告書
編集・発行 弘前学院大学：大学FD委員会 弘前学院大学 〒036-8577 弘前市大字稔町13-1 電話 0172-34-5211（代） FAX 0172-32-8768
2022（令和4）年 6月 30日 発行